

高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）
策定のための実態調査及び分析等報告書

令和2年3月

宮城県 多賀城市

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 第 1 部 調査の概要..... | 3 |
| 第 1 章 調査の概要..... | 3 |
| 1. 調査目的について..... | 3 |
| 2. 調査設計について..... | 3 |
| 第 2 章 回収結果..... | 3 |
| 1. 回収結果について..... | 3 |
| 2. 報告書の見方について..... | 3 |
| 第 3 章 調査結果のまとめ..... | 4 |
| 1. 生きがい活動の推進について..... | 4 |
| 2. 介護予防の推進について..... | 4 |
| 3. 日常生活の支援について..... | 5 |
| 4. 地域包括ケアシステム（地域共生社会）の推進について..... | 7 |
| 5. 認知症対策の推進について..... | 8 |
| 6. 介護保険サービスの適切な利用について..... | 10 |
| 第 2 部 調査結果の分析..... | 17 |
| 第 1 章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査..... | 17 |
| 1. 回答者の属性について..... | 17 |
| (1) 回答者の性別..... | 17 |
| (2) 回答者の年齢..... | 17 |
| (3) 回答者の居住地域..... | 18 |
| 2. 家族や生活状況について..... | 19 |
| (1) 家族構成..... | 19 |
| (2) 日中、一人になる頻度..... | 20 |
| (3) 普段の生活における介護・介助の必要性..... | 21 |
| (4) 介護・介助が必要になった主な原因..... | 22 |
| (5) 主な介護・介助者..... | 23 |
| (6) 経済的にみた現在の暮らしの状況..... | 23 |
| (7) 居住形態..... | 24 |

| | |
|-------------------------------------|----|
| 3. からだを動かすことについて | 25 |
| (1) 階段を手すりや壁を使わずに昇ることの可否 | 25 |
| (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること of 可否 | 25 |
| (3) 15分位続けて歩くこと of 可否 | 26 |
| (4) 過去1年間に転んだ経験 | 26 |
| (5) 転倒に対する不安 | 27 |
| (6) 週 of 外出頻度 | 27 |
| (7) 外出を控えている理由 | 28 |
| (8) 昨年と比べて of 外出回数 of 減少状況 | 28 |
| (9) 外出する際 of 移動手段 | 29 |
| 4. 食べることについて | 30 |
| (1) 身長・体重 (BMI 値) | 30 |
| (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか | 30 |
| (3) 歯の数と入れ歯 of 利用状況 | 31 |
| (4) 噛み合わせは良いか | 31 |
| (5) 毎日入れ歯 of 手入れをしているか | 32 |
| (6) 誰かと食事をともにする機会 of 有無 | 32 |
| (7) お茶や汁物等でむせることがあるか | 33 |
| (8) 口 of 渇きが気になるか | 33 |
| (9) 歯磨き (人にやってもら場合も含む) を毎日しているか | 34 |
| (10) 6か月間で2~3kg以上 of 体重減少があったか | 34 |
| 5. 毎日の生活について | 35 |
| (1) 物忘れが多いと感じるか | 35 |
| (2) バスや電車を使って1人での外出 of 可否 (自家用車でも可) | 35 |
| (3) 自分での食品・日用品 of 買物 of 可否 | 36 |
| (4) 食品・日用品 of 買物をする人 | 36 |
| (5) 自分での食事 of 用意 of 可否 | 37 |
| (6) 食事 of 用意をする人 | 37 |
| (7) 自分での請求書 of 支払い of 可否 | 38 |
| (8) 自分での預貯金 of 出し入れ of 可否 | 38 |
| (9) 今日が何月何日かわからない時があるか | 39 |

| | |
|--|----|
| (10) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるか | 39 |
| (11) 新聞を読んでいるか | 40 |
| (12) 本や雑誌を読んでいるか | 40 |
| (13) 健康についての記事や番組に関心があるか | 41 |
| (14) 趣味はあるか | 41 |
| (15) 生きがいはあるか | 42 |
| (16) 生活の中で、自身が毎日担っている役割などはあるか | 42 |
| 6. 地域での活動について | 43 |
| (1) 地域活動への参加頻度 | 43 |
| (2) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向 | 44 |
| (3) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営側としての参加意向 | 44 |
| (4) 自分が地域でできると思う支援活動 | 45 |
| 7. たすけあいについて | 47 |
| (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 | 47 |
| (2) あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 | 49 |
| (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 | 51 |
| (4) あなたが看病や世話をしてあげる人 | 53 |
| (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手 | 55 |
| (6) 友人・知人と会う頻度 | 57 |
| (7) この1か月間に会った友人・知人の人数 | 57 |
| (8) よく会う友人・知人との関係性 | 58 |
| 8. 健康について | 60 |
| (1) 現在の健康状態 | 60 |
| (2) 現在の幸福度 | 61 |
| (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか | 62 |
| (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない等の感じがあったか | 62 |
| (5) 喫煙状況 | 63 |
| (6) 現在治療中、または後遺症のある病気 | 64 |
| (7) 飲酒状況 | 66 |
| (8) 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているか | 67 |
| 9. 認知症にかかる相談窓口の把握について | 68 |

| | |
|---|-----|
| (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか | 68 |
| (2) 認知症に関する相談窓口を知っているか | 69 |
| (3) 認知症関連の取り組みの認知度 | 70 |
| (4) あなた自身や家族が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なもの | 72 |
| 10. 市の高齢者福祉サービスについて | 74 |
| (1) 地域包括支援センターの認知状況 | 74 |
| (2) 家にひとりでいる時間に助けを呼ぶ場合に連絡する人 | 75 |
| (3) 普段、使用している通信手段 | 76 |
| (4) 将来からだの自由が利かなくなった際に、地域でもらいたい支えあい | 77 |
| (5) シルバーヘルスプラザの利用経験の有無 | 79 |
| (6) シルバーヘルスプラザを利用する回数 | 79 |
| (7) シルバーヘルスプラザでよく利用する事業等 | 80 |
| (8) シルバーヘルスプラザを利用していない理由 | 80 |
| (9) 今後、利用してみたい事業等 | 81 |
| (10) シルバーヘルスプラザの必要性 | 81 |
| 11. 介護保険制度について | 82 |
| (1) 今後、自分に介護が必要な状態になったときに受けたい介護 | 82 |
| (2) 必要な介護保険サービス提供のための保険料などの負担増についての考え | 82 |
| 12. 今後の施策について | 83 |
| (1) 今後、より充実してほしい高齢者施策 | 83 |
| 13. 生活機能判定評価について | 85 |
| (1) 生活機能判定評価の結果 | 85 |
| (2) 運動器の機能低下 | 86 |
| (3) 閉じこもり傾向 | 88 |
| (4) 転倒リスク | 90 |
| (5) 低栄養の傾向 | 92 |
| (6) 口腔機能の低下 | 94 |
| (7) 認知機能低下 | 96 |
| (8) うつ傾向 | 98 |
| (9) 虚弱 | 100 |
| (10) 介護予防・日常生活支援総合事業対象者 | 102 |

| | |
|---|------------|
| (11) IADL (手段的自立度) | 104 |
| (12) 社会参加 (知的能動性) | 106 |
| (13) 日常生活圏域ニーズにおける生活機能判定評価の概要 | 108 |
| 第2章 在宅介護実態調査 | 113 |
| 1. 回答者の属性について | 113 |
| (1) 回答者の性別 | 113 |
| (2) 回答者の年齢 | 113 |
| (3) 回答者の居住地域 | 114 |
| (4) 回答者の要介護度 | 114 |
| (5) 回答者の認知症高齢者の日常生活自立度 | 115 |
| 2. ご本人 (要介護者) の状況について | 116 |
| (1) 調査票の回答者 | 116 |
| (2) 本人 (要介護者) の生活場所 | 116 |
| (3) 世帯類型 | 117 |
| (4) 家族や親族の方から介護してもらう日数 | 117 |
| 3. 主な介護者等の状況 (属性等) について | 118 |
| (1) 主な介護者の続柄 | 118 |
| (2) 主な介護者の性別 | 118 |
| (3) 主な介護者の年齢 | 119 |
| (4) 主な介護者を含めた介護者数 | 119 |
| (5) 主な介護者の、本人 (要介護者) との同居状況 | 120 |
| (6) 本人と同居していない場合の居住地 | 120 |
| (7) 主な介護者が行っている介護等 | 121 |
| (8) 本人 (要介護者) の介護のために、仕事を辞めた・転職した家族や親族の有無 | 122 |
| 4. 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて | 123 |
| (1) 「介護保険サービス以外」で利用している支援・サービス | 123 |
| (2) 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス | 124 |
| (3) 施設等への入所・入居の検討状況 | 125 |
| (4) 本人 (要介護者) が現在抱えている傷病名 | 126 |
| (5) 訪問診療の利用状況 | 127 |
| (6) 訪問診療の利用頻度 | 127 |

| | |
|---|------------|
| (7) 利用している訪問診療への満足度 | 128 |
| (8) 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）の利用状況 | 128 |
| (9) 介護保険サービスを利用していない理由 | 129 |
| (10) 利用している介護保険サービス | 130 |
| 5. 主な介護者の就労状況について | 131 |
| (1) 主な介護者の現在の勤務形態 | 131 |
| (2) 介護をするにあたって、行っている働き方についての調整等 | 132 |
| (3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援 | 133 |
| (4) 主な介護者が今後も働きながら介護を継続できる可能性 | 134 |
| 6. 介護生活を続ける際の不安や困りごと | 135 |
| (1) 現在の生活を今後も続けていくにあたり、主な介護者が不安に感じる介護等 | 135 |
| (2) 主な介護者が、介護について相談している人 | 137 |
| (3) 主な介護者が介護を続けていくうえで困ることや不安に感じること | 138 |
| 7. 認知症について | 140 |
| (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか | 140 |
| (2) 認知症関連の取り組みの認知度 | 141 |
| (3) 主な介護者や家族が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なもの | 142 |
| 8. ケアプラン等について | 144 |
| (1) 本人（要介護者）のケアプランに対する主な介護者の満足度 | 144 |
| (2) 本人（要介護者）のケアプランに主な介護者が不満な一番の理由 | 144 |
| (3) 訪問診療と訪問介護などのサービス提供者間での連携状況 | 145 |
| 9. 介護保険制度について | 146 |
| (1) 本人（要介護者）に、今後受けさせたい介護 | 146 |
| (2) 必要な介護保険サービス提供のための保険料などの負担増についての考え | 147 |
| 10. 今後の施策について | 148 |
| (1) 本人（要介護者）のために今後、より充実してほしい高齢者施策 | 148 |
| 第3章 ケアマネジャーに対する調査 | 153 |
| 1. 回答者の属性について | 153 |
| (1) 勤務先の所在地 | 153 |
| (2) ケアマネジャー歴 | 153 |
| (3) ケアプラン担当人数 | 154 |

| | |
|--------------------------------------|------------|
| 2. サービスの過不足について | 155 |
| (1) 介護保険対象サービスの過不足 | 155 |
| (2) 最も供給が不足していると感じる介護保険対象サービスとその理由 | 156 |
| (3) 介護予防・日常生活支援総合事業の過不足 | 158 |
| 3. 必要なサービスについて | 159 |
| (1) 地域にあったら良いと思う生活支援サービス | 159 |
| 4. 介護保険以外のサービスについて | 160 |
| (1) 多賀城市が行っている高齢者福祉サービスのケアプランへの取り入れ | 160 |
| (2) 高齢者向け施設（介護保険サービス以外）の過不足 | 161 |
| 5. 関係者・関係機関との連携について | 162 |
| (1) 関係者・関係機関との連携状況 | 162 |
| 6. 認知症の対応について | 163 |
| (1) 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいること | 163 |
| 7. サービスの質の向上を図ることについて | 164 |
| (1) サービスの質の向上を図るために必要な取り組み | 164 |
| 8. 地域包括ケアの実現に向けた取り組みについて | 165 |
| (1) 利用者にとっての望ましい人生の最期の場所 | 165 |
| (2) 自分らしい暮らしを最期まで続けるため、特に重要だと思うこと | 166 |
| 9. 行政に対する要望について | 167 |
| (1) 行政の支援等が必要だと思われること | 167 |
| 第4章 介護サービス事業所に対する調査 | 171 |
| 1. 回答者の属性について | 171 |
| (1) 職員数 | 171 |
| 2. 運営状況について | 172 |
| (1) 1年前と比べたサービスの利用者数の変化 | 172 |
| (2) 経営上の問題 | 172 |
| 3. サービスの提供状況等について | 173 |
| (1) 介護保険対象サービスの現状と今後 | 173 |
| (2) 新規に参入したいと考える一番の介護保険対象サービスとその理由 | 175 |
| (3) 介護予防・日常生活支援総合事業の過不足 | 176 |
| 4. 人材の定着・育成などについて | 177 |

| | |
|--------------------------------------|-----|
| (1) 人材の定着・育成についての取り組み | 177 |
| 5. 苦情処理体制やサービスの質の向上への対策について | 178 |
| (1) 利用者や家族からあげられる苦情の内容 | 178 |
| (2) サービスの質の向上のために行っていること | 179 |
| 6. 地域とのつながりについて | 180 |
| (1) 地域との交流状況 | 180 |
| (2) 交流を行っている団体・組織 | 180 |
| 7. 関係者・関係機関との連携について | 181 |
| (1) 関係者・関係機関との連携状況 | 181 |
| (2) 他法人との連携について取り組んでいること | 182 |
| 8. 認知症の対応について | 183 |
| (1) 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいること | 183 |
| 9. 地域包括ケアの実現に向けた取り組みについて | 184 |
| (1) 利用者にとっての望ましい人生の最期の場所 | 184 |
| (2) 自分らしい暮らしを最期まで続けるため、特に重要だと思うこと | 185 |
| 10. 行政に対する要望について | 186 |
| (1) 行政の支援等が必要だと思われること | 186 |

資料（調査票） 189

| | |
|---------------------|-----|
| 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 189 |
| 2. 在宅介護実態調査 | 199 |
| 3. ケアマネジャーに対する調査 | 206 |
| 4. 介護サービス事業所に対する調査 | 211 |

第 1 部 調査の概要

第 1 章 調査の概要

第 2 章 回収結果

第 3 章 調査結果のまとめ

第1章 調査の概要

1. 調査目的について

本調査は、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする多賀城市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）の策定に当たり、現在の高齢者の意識やニーズ、高齢者福祉サービス及び介護サービスの利用動向を把握し、計画期間における高齢者への保健・福祉サービス及び介護保険サービスの内容と必要量を見込むための基礎資料とすると共に、高齢者の受益と負担のバランスについて分析調査し、高齢者の意識を当該事業計画に反映することを目的に実施した。

2. 調査設計について

| | |
|-------|--|
| 調査対象 | ①要介護認定を受けていない高齢者 ②在宅の要介護認定者（要支援を含む） ③ケアマネジャー ④介護サービス事業所 |
| 調査対象者 | ①②は、上記の調査対象者から系統抽出 ③④は、対象名簿より選定 |
| 調査方法 | ①②④は、郵送配付－郵送回収、③は④に同封しての託送配付－郵送回収 |
| 調査期間 | 令和元年12月5日～令和元年12月26日 （令和2年1月14日までの回収票を有効とした） |
| 企画実施 | 多賀城市保健福祉部介護福祉課 |
| 集計・分析 | 株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所 |

第2章 回収結果

1. 回収結果について

| | 対象者数 | 回収数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|------------------|--------|--------|--------|-------|
| 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 1,700人 | 1,314人 | 1,313人 | 77.2% |
| 在宅介護実態調査 | 1,000人 | 724人 | 724人 | 72.4% |
| ケアマネジャーに対する調査 | 99人 | 66人 | 66人 | 66.7% |
| 介護サービス事業所に対する調査 | 86事業所 | 67事業所 | 67事業所 | 77.9% |

※回収数には、白紙回収を含む

2. 報告書の見方について

- ◆ 調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ◆ 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ◆ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ◆ 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

第3章 調査結果のまとめ

1. 生きがい活動の推進について

【家族構成について】

要介護認定を受けていない高齢者の家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（37.5%）が最も多く、「息子・娘との2世帯」（33.6%）、「1人暮らし」（14.2%）、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」（3.2%）、多世代世帯を内包する「その他」は9.4%となっている。また、「1人暮らし」は女性が18.0%と男性を上回り、概ね年齢が上がるにしたがって増加している。

【日中独居について】

高齢者が日中、一人になる頻度は、「よくある」が全体では32.6%、女性が35.3%と男性を5.7ポイント上回り、概ね年齢が上がるにしたがって増加している。

【疾病と生きがいなどについて】

現在治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」（41.1%）が最も多く、「目の病気」（29.8%）、「糖尿病」（14.7%）、「高脂血症（脂質異常）」（14.1%）、「心臓病」（11.8%）、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」（11.0%）などとなっている。男性は「高血圧」、「糖尿病」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」で女性を上回り、女性は「目の病気」、「高脂血症（脂質異常）」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」で男性を上回っており、概ね年齢が上がるにしたがって治療中または後遺症のある病気の人が多くなっている。

要介護認定を受けていない高齢者の80.9%は健康状態がよく、75.0%が趣味を持ち、61.5%が生きがいがあり、85.1%が生活の中で高齢者自身が毎日担っている役割などがある。

2. 介護予防の推進について

【高齢者の孤立防止について】

要介護認定を受けていない高齢者自身の心配事や愚痴を聞いてくれる相手は、「配偶者」（55.4%）、「友人」（44.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（34.8%）、「別居の子ども」（31.6%）、「同居の子ども」（24.7%）、「近隣」（12.4%）となっている。

一方、高齢者自身が心配事や愚痴の聞き手となる相手は、「配偶者」（51.9%）が最も多く、「友人」（42.3%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（34.8%）、「別居の子ども」（30.3%）、「同居の子ども」（20.9%）、「近隣」（13.3%）となっており、同様の回答となっている。

男性が聞き手となる相手は「配偶者」（67.4%）に集中し、女性は「友人」（55.5%）が最も多いが、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「配偶者」、「別居の子ども」と分散している。

【高齢者の生活機能の評価項目のリスクについて】

虚弱、運動器の低下、低栄養の傾向、口腔機能の低下の4つの項目すべてを判定できた回答者において、1つでも該当した場合、総合事業対象者となる。高齢者における総合事業対象者割合は、全体では25.0%、男性より女性がやや高く、年齢が上がるにしたがって増加している。

高齢者の生活機能の評価項目のリスクの該当者割合をみると、全体では、「うつ傾向」(42.0%)、「認知機能低下」(35.7%)が上位であり、総合事業対象者では「口腔機能の低下」(77.1%)、「うつ傾向」(60.1%)、「認知機能低下」(55.8%)が高く、一般高齢者では「うつ傾向」(36.0%)、「認知機能低下」(29.7%)、「転倒リスク」(19.5%)となっており、「うつ傾向」、「認知機能低下」が総合事業対象者同様に上位となっている。

うつ傾向のリスク該当者割合は、全体では42.0%、一般高齢者では36.0%、総合事業対象者では60.1%となっており、男性より女性、65～74歳の若い世代がやや高くなっており、女性の65～74歳では49.1%と同年代の男性を12.9ポイント上回っている。

認知機能低下のリスク該当者割合は、全体では35.7%、一般高齢者では29.7%、総合事業対象者では55.8%となっており、男性より女性が高く、年齢が上がるにしたがって増加しており、女性の75歳以上では45.3%と同年代の男性を11.1ポイント上回っている。

うつ傾向や認知機能低下の方へのケアなど、認知症施策推進大綱に基づく施策の推進が重要となる。

高齢者の現在の幸福度は平均7.04点である。一方、元気な一般高齢者は7.24点であるが、総合事業対象者は6.49点と低く、生活機能の状態による影響がみられる。

3. 日常生活の支援について

【介護予防・日常生活支援総合事業等について】

介護予防・日常生活支援総合事業において現在供給が不足していると感じるサービスについてケアマネジャーと介護サービス事業所にたずねた。

ケアマネジャーは、「介護予防訪問介護相当サービス」「軽度生活援助サービス事業（市の独自基準によるサービス）」(ともに27.3%)、「認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス）」(16.7%)などとなっている。

介護サービス事業所は、「認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス）」(22.4%)が最も多く、以下「介護予防訪問介護相当サービス」(19.4%)、「介護予防通所介護相当サービス」(10.4%)、「軽度生活援助サービス事業（市の独自基準によるサービス）」(7.5%)などとなっており、順位は異なるが上位の3サービスは共通となっている。

今後需要の増加が考えられるサービスについて、ケアマネジャーと介護サービス事業所にたずねた。

ケアマネジャーは、「軽度生活援助サービス事業（市の独自基準によるサービス）」(30.3%)が最も多く、以下「認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス）」(27.3%)、「地域リハビリテーション活動支援事業」(19.7%)、「筋運アップ教室」(18.2%)、「健康ストレッチ教室」(16.7%)などとなっている。

介護サービス事業所は、「認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（40.3%）が最も多く、以下「地域リハビリテーション活動支援事業」（23.9%）、「健康ストレッチ教室」（22.4%）、「介護予防通所介護相当サービス」（19.4%）、「介護予防訪問介護相当サービス」「筋運アップ教室」（ともに17.9%）などとなっている。

現在供給が不足していると感じるサービスでもそれぞれ1位だったサービスに加え、リハビリテーションや筋肉トレーニングが多くなっている。

ケアマネジャーの多賀城市が行っている高齢者福祉サービスのケアプランへの取り入れ状況は、『配食サービス事業』、『在宅介護者等紙おむつ支給事業』で「取り入れたことがある」が50.0%以上となっているが、『家族介護支援レスパイト事業』は「知っているが取り入れたことはない」が71.2%と多くなっている。

【地域活動等への参加について】

高齢者の地域活動への参加は、すべての項目で「参加していない」が最も多く、「週4回以上」参加している活動は、『収入のある仕事』（11.6%）となっている。

「週1回以上」の参加率をみると、『収入のある仕事』（17.5%）、『スポーツ関係のグループやクラブ』（16.0%）、『趣味関係のグループ』（11.6%）となっており、『市が主催する介護予防運動教室』は0.9%で最も低くなっている。

高齢者の健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向は、「参加したい」は48.5%となっている一方、「参加したくない」は33.7%となっている。

一方、企画・運営側としての参加意向は、「参加したい」は29.4%にとどまり、「参加したくない」は52.8%と、主体的に関わることに對しては消極的な人が過半数を占めている。

【在宅の要介護認定者に必要な支援について】

在宅の要介護認定者の主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（81.4%）が最も多く、「食事の準備（調理等）」（75.6%）、「外出の付き添い、送迎等」（73.9%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（71.9%）、「服薬」（51.1%）などとなっている。

在宅の要介護認定者が「介護保険サービス以外」で利用している支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（9.5%）が最も多く、「外出同行（通院、買い物など）」（9.1%）、「掃除・洗濯」（6.8%）、「配食」（6.6%）などとなっている一方、「利用していない」は51.8%となっている。

在宅の要介護認定者が在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（34.5%）が最も多く、「外出同行（通院、買い物など）」（31.4%）、「見守り、声かけ」（24.7%）、「掃除・洗濯」（22.7%）、「買い物（宅配は含まない）」（18.4%）、「ゴミ出し」（17.7%）、「配食」（17.1%）、「調理」（16.4%）、「サロンなどの定期的な通いの場」（12.6%）となっており、現在利用しているサービスの上位2位が約20ポイント以上上回っている他、「見守り、声かけ」、「ゴミ出し」なども一定のニーズがある。

【地域でできる支援について】

高齢者自身が地域でできると思う支援活動は、「見守り、声かけ」(33.1%)が最も多く、「話し相手」(27.1%)、「ごみ出し」(25.0%)、「買い物代行」(13.9%)、「掃除・洗濯」(12.7%)、「外出時の送迎」(11.7%)であり、男性が女性を大きく上回っている項目は「ごみ出し」、「外出時の送迎」であり、女性が男性を上回っている項目は「話し相手」、「掃除・洗濯」、「調理」などとなっている。

高齢者が将来からだの自由が利かなくなった際に、地域でもらいたい支えあいは、「掃除・洗濯」(38.8%)が最も多く、「買い物代行」(38.0%)、「外出時の送迎」(37.7%)、「見守り、声かけ」(35.4%)、「ごみ出し」(33.7%)、「外出同行(通院、散歩など)」(33.4%)、「食事の介助」(31.5%)などとなっており、「見守り、声かけ」は自身ができる支援と近い回答割合となっている。

ケアマネジャーが地域にあったら良いと思う生活支援サービスは、「ごみ出し」(75.8%)が最も多く、「外出同行(通院、散歩など)」(69.7%)、「外出時の送迎」(62.1%)、「買い物代行」(57.6%)、「見守り、声かけ」(56.1%)、「話し相手」(47.0%)などとなっており、高齢者本人に比べて、「ごみ出し」の必要性が高くなっている。

4. 地域包括ケアシステム（地域共生社会）の推進について**【家族や友人・知人以外で相談する相手について】**

高齢者が家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」(26.1%)が最も多く、「地域包括支援センター・役所」(15.2%)、「社会福祉協議会・民生委員」(9.3%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(8.9%)、「ケアマネジャー」(4.4%)となっている一方、「そのような人はいない」が38.8%となっている。

【ひとりである時間に助けを呼ぶ相手について】

高齢者が家にひとりである時間に助けを呼ぶ相手は、「子」(70.8%)が最も多く、「配偶者」(61.5%)、「兄弟姉妹」(20.8%)となっており、男性は「配偶者」が74.4%、女性は「子」が74.0%でそれぞれ最も多く、概ね年齢が上がるにしたがって「子」が増加している。

【地域包括支援センターの認知状況について】

高齢者の地域包括支援センターの認知状況は、「知らない」(36.3%)が「自分の地域の包括支援センターを知っている」(35.9%)をわずかに上回り、「名前は知っている」は22.2%となっており、女性は「自分の地域の包括支援センターを知っている」が42.9%で最も多く男性を15ポイント上回り、概ね年齢が上がるにしたがって認知度が上がっている。

【関係機関との連携状況について】

関係機関との連携状況について、ケアマネジャーと介護サービス事業所にたずねた。

ケアマネジャーが「連携がとれている」先は、『利用者・家族』(94.0%)、『他の介護保険サービス事業者』(78.8%)、『医療機関』(72.7%)で70.0%以上となっている一方、「連携はとれて

いない」先は、『ボランティア・NPO』（71.3%）、『地域の住民や団体など』（59.1%）で多くなっている。

介護サービス事業所は、「連携はとれている」先は、『利用者・家族』（97.0%）、『外部の居宅介護支援事業者』（80.6%）、『地域包括支援センター』（82.1%）が80.0%以上となっている一方、「連携はとれていない」先は『ボランティア・NPO』、『地域の住民や団体など』（ともに37.3%）で、ケアマネジャーと同様の回答先となっている。

介護サービス事業所の他法人との連携内容は、「勉強会、ケース検討会の共同開催」（40.3%）が最も多く、次いで「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」「困難事例等の相談」（ともに32.8%）となっている。

【利用者にとっての望ましい人生の最期の場所について】

利用者にとっての望ましい人生の最期の場所について、ケアマネジャーと介護サービス事業所にたずねた。

「ご本人（要介護者）の自宅」（ケアマネジャー：50.0%、介護サービス事業所：61.2%）が最も多くなっている。

【自分らしい暮らしを最期まで続けるため、特に重要だと思うことについて】

自分らしい暮らしを最期まで続けるため、特に重要だと思うことについて、ケアマネジャーと介護サービス事業所にたずねた。

「買い物や見守りなどの日常生活を支える生活支援サービス」（ケアマネジャー：54.5%、介護サービス事業所：61.2%）が最も多く、「かかりつけ医等による訪問診療」（ケアマネジャー：53.0%、介護サービス事業所：55.2%）、「低所得者の高齢者が暮らせる住宅」（ケアマネジャー：48.5%、介護サービス事業所：55.2%）の上位3位は同じとなっている。

以下「定期巡回・随時対応型訪問介護看護や夜間対応型訪問介護」（ケアマネジャー：36.4%、介護サービス事業所：32.8%）、「地域の元気な高齢者による見守りや声かけなどを行うボランティア」（ケアマネジャー：33.3%、介護サービス事業所：46.3%）、「地域包括支援センターなどの介護について相談できる機関」（ケアマネジャー：22.7%、介護サービス事業所：34.3%）などとなっており、事業所の回答比率が高い項目が多くなっている。

5. 認知症対策の推進について

【認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無について】

高齢者自身又は家族に認知症の症状がある人は、全体では9.6%となっており、65～69歳と85歳以上にやや多く、在宅の要介護認定者全体では、38.3%となっている。

【認知症に関する相談窓口の認知度について】

高齢者の認知症に関する相談窓口の認知度は、全体では26.7%、女性が30.4%と男性を8.4ポイント上回り、概ね年齢が上がるにしたがって減少している。

【在宅の要介護認定者の傷病について】

在宅の要介護認定者の傷病は、「認知症」（29.1%）が最も多く、「筋骨格系疾患（骨粗しょう

症、脊柱管狭窄症等) (26.9%)、「眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)」 (25.4%)、「心疾患 (心臓病)」 (19.3%)、「糖尿病」 (18.0%)、「脳血管疾患 (脳卒中)」 (15.9%)、「変形性関節疾患」 (15.2%) などとなっており、「なし」は3.3%と少数となっている。

【認知症関連の取り組みの認知度について】

認知症関連の取り組みのうち、認知度が高い取り組みは、高齢者においては『認知症サポーター養成講座』 (15.0%) であり、在宅の要介護認定者においては、『認知症カフェ』 (19.8%)、『認知症サポーター養成講座』 (17.1%)、『多賀城市認知症ガイドブック (ケアパス)』 (10.2%) となっており、高齢者に比べ認知度はやや高いが、今後一層の広報や啓発が必要である。

【認知症になっても自宅で暮らし続けるために必要なものについて】

高齢者自身や家族や主な介護者が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なものは、「通所介護 (デイサービス) や短期入所 (ショートステイ) などの介護サービスの充実」 (高齢者: 52.7%、在宅の要介護認定者: 53.7%) が最も多く、「見守りや、入浴や排せつなどの介護サービスの充実」 (高齢者: 41.4%、在宅の要介護認定者: 38.1%)、「専門的な相談窓口の充実」 (高齢者: 40.4%、在宅の要介護認定者: 32.6%)、「認知症の専門医療機関の充実」 (高齢者: 37.6%、在宅の要介護認定者: 33.0%)、「同居していない家族も含めた介護への協力」 (高齢者: 33.0%、在宅の要介護認定者: 31.5%) など、一部順位は異なるが上位5項目は同じとなっている。

【主な介護者が不安に感じる介護や困ることや不安に感じることについて】

在宅の要介護認定者の主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」 (27.1%) が最も多く、「外出の付き添い、送迎等」 (26.0%)、「夜間の排泄」 (24.0%)、「入浴・洗身」 (23.9%)、「日中の排泄」 (15.9%)、「食事の準備 (調理等)」 (12.4%) などとなっている。

さらに、困ることや不安に感じることは、「将来の介護に不安がある」 (57.7%) が最も多く、「自分が病気等のとき、介護を替わってくれる人がいない」 (41.4%)、「介護には休みがないのでストレスを解消できない」 (27.5%)、「気軽に利用できる一時預かりサービスがあると助かる」 (22.7%)、「心にゆとりがなく、要介護者に辛くあたることがある」 (18.9%)、「介護の仕方に不安がある」 (15.3%) など介護者の負担の重さが上位となっている。

【認知症の要介護 (要支援) 認定者とその家族に対し悩んでいることについて】

認知症の要介護 (要支援) 認定者とその家族に対し、悩んでいることについて、ケアマネジャーと介護サービス事業所にたずねた。

ケアマネジャーは、「家族が認知症の方への対応方法が分からない」 (45.5%) が最も多く、「本人や家族からの要求に対し対応に困ることがある」 (42.4%)、「本人とコミュニケーションがとりにくいことがある」、「家族がなかなか認知症と認めない」 (ともに 36.4%)、「自分自身の知識不足を感じ自信がないときがある」 (27.3%) などとなっている。

介護サービス事業所は、「本人や家族からの要求に対し対応に困ることがある」 (46.3%) が最も多く、「本人とコミュニケーションがとりにくいことがある」 (37.3%)、「家族がなかなか認知症と認めない」 (35.8%)、「家族が認知症の方への対応方法が分からない」 (34.3%)、「知識や技

術習得のための時間が確保できない」(20.9%)、「専門医まで結びつけられない」(17.9%)、「自分自身の知識不足を感じ自信がないときがある」(16.4%)などとなっている。

両方で10ポイント以上の違いがある項目は、「家族が認知症の方への対応方法が分からない」(ケアマネジャー：45.5%、介護サービス事業所：34.3%)、「自分自身の知識不足を感じ自信がないときがある」(ケアマネジャー：27.3%、介護サービス事業所：16.4%)などと、家族の相談先であるケアマネジャーに不安があらわれている。

6. 介護保険サービスの適切な利用について

【介護保険サービスの利用状況について】

在宅の要介護認定者の介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）は、「利用している」が58.1%となっており、「利用していない」(33.6%)を上回っている。

在宅の要介護認定者の介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.6%と最も多く、「家族が介護をするため必要ない」(23.5%)、「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」(14.0%)、「サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない」(9.1%)などとなっている。

在宅の要介護認定者の認定データと突合した主要介護保険サービスの利用状況は、「通所介護（デイサービス）」(要介護1～5：54.8%、要支援1・2：35.5%)が最も多くなっている。

要介護1～5では「通所リハビリテーション（デイケア）」(12.6%)、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「短期入所生活介護（ショートステイ）」(ともに12.2%)、「訪問看護」(9.7%)となっている。

要支援1・2では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(18.5%)、「通所リハビリテーション（デイケア）」(14.0%)となっている。

【施設等への入所・入居の検討状況について】

在宅の要介護認定者の施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が61.9%と最も多く、「入所・入居を検討している」(17.4%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(9.4%)となっている。

【介護保険サービスの需給見込みについて】

ケアマネジャーが、現在供給が不足していると感じるサービスは、「介護老人福祉施設」(36.4%)が最も多く、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(28.8%)、「短期入所生活介護」(27.3%)、「訪問介護」「訪問リハビリテーション」(ともに25.8%)、「短期入所療養介護」「介護療養型医療施設」(ともに24.2%)、「介護老人保健施設」(22.7%)などとなっている。

さらに、今後需要が増加すると考えられるサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(34.8%)が最も多く、「訪問リハビリテーション」「介護老人福祉施設」(ともに28.8%)、「訪問看護」(25.8%)、「訪問介護」(24.2%)、「介護療養型医療施設」(22.7%)などとなっている。

介護サービス事業所が新規に参入したいサービスは、「小規模多機能型居宅介護」「介護予防短

期入所生活介護」がともに3.0%で最も多いが、必ずしもケアマネジャーの考えと合致していない。

【経営上の課題と人材の定着・育成（離職の防止）について】

介護サービス事業所の経営上の問題は、「従事者の確保が難しい」（62.7%）が最も多く、人材の定着・育成（離職の防止）についての取り組みは、「労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」（58.2%）が最も多い他、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」（53.7%）、「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」（41.8%）、「外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている」（34.3%）、「新人職員に対し、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている」（29.9%）、「職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている」（28.4%）など働き方改革を進めていることがわかる。

【サービスの質の向上のために、今後必要な取り組みについて】

サービスの質の向上のために、今後必要な取り組みについて、ケアマネジャーと介護サービス事業所にたずねた。

ケアマネジャーは、「アセスメントなどのケアマネジメント技術の向上」「サービスや地域資源の把握」（ともに62.1%）が最も多く、「関係機関との連携体制構築」（51.5%）、「処遇困難者への対処能力の向上」（48.5%）、「制度に関する最新情報の入手」（47.0%）などとなっている。

介護サービス事業所は、「相談窓口の設置」（71.6%）が最も多く、「事業者間の情報交換・交流への参加」（65.7%）、「ケアカンファレンスの定期的な開催」（52.2%）、「サービス提供マニュアルの作成」（50.7%）、「従事者（サービス提供者）の継続的な研修・OJTの実施」（44.8%）などとなっている。

ケアマネジャーは個人の能力向上が、介護サービス事業所は組織の体制や連携強化が今後必要な取り組みとして上位となっている。

【行政の支援等が必要だと思われることについて】

行政の支援等が必要だと思われることについて、ケアマネジャーと介護サービス事業所にたずねた。

ケアマネジャーは、「処遇困難者への対応支援」（56.1%）が最も多く、「介護保険制度に関する最新情報の提供」（54.5%）、「市の高齢者保健福祉事業に関する最新情報の提供」（53.0%）、「ケアマネジャーや従事者（サービス提供者）の技術向上の支援（研修や講習等の実施）」（50.0%）、「ケアマネジャーや従事者（サービス提供者）のための相談支援」（48.5%）など対応や相談の支援に加え情報提供が上位となっている。

介護サービス事業所は、「人材確保の支援」（44.8%）、「処遇困難者への対応支援」（43.3%）、「関係者間の連携強化のための支援」（41.8%）がともに多く、「介護保険制度に関する最新情報の提供」（38.8%）、「介護サービス提供事業者に関する最新情報の提供」（35.8%）、「市の高齢者保健福祉事業に関する最新情報の提供」（34.3%）、「ケアマネジャーや従事者（サービス提供者）の技術向上の支援（研修や講習等の実施）」（32.8%）などとなっている。

【充実してほしい高齢者施策について】

今後、より充実してほしい高齢者施策は、「在宅医療や介護サービスの充実」（高齢者：43.4%、在宅の要介護認定者：43.8%）が最も多く、2位は「家族介護者への支援」（高齢者：42.9%、在宅の要介護認定者：38.1%）となっている。

3位以下は立場により異なり、高齢者は「低所得者への経済的支援」（33.4%）、「一人暮らし高齢者への安否確認」（32.4%）、「災害時に備えた支援の充実」（30.5%）、「健康づくりや介護予防の支援」（30.1%）、「身近に相談できる窓口の充実」（29.4%）、「認知症施策（予防、家族への支援）の充実」（27.0%）の順となっている。

在宅の要介護認定者は、「災害時に備えた支援の充実」（30.0%）、「認知症施策（予防、家族への支援）の充実」（29.8%）、「低所得者への経済的支援」（28.5%）などとなっている。

【今後の介護意向について】

今後の介護意向について、高齢者と在宅の要介護認定者にたずねた。

「主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい（させたい）」（高齢者：46.3%、在宅の要介護認定者：50.6%）が最も多く、「介護が受けられる施設やサービス付きの住宅で生活したい（させたい）」（高齢者：24.5%、在宅の要介護認定者：18.9%）、「主に家族だけの介護を受けながら、自宅で生活したい（させたい）」（高齢者：12.9%、在宅の要介護認定者：6.6%）となっており、在宅でのサービス利用は要介護認定者が元気な高齢者を上回っている。

【サービスと負担について】

必要な介護保険サービス提供のための保険料などの負担について高齢者と在宅の要介護認定者の主な介護者にたずねた。

「必要な介護保険サービスが維持できるよう、保険料などの負担が増えてもやむを得ない」（高齢者：38.8%、在宅の要介護認定者：45.6%）が最も多く、以下「保険料などの負担が増えるなら、介護保険サービスを充実しなくてもよい」（高齢者：11.5%、在宅の要介護認定者：9.5%）、「保険料などの負担を増やして、介護保険サービスをもっと充実してほしい」（高齢者：5.6%、在宅の要介護認定者：4.0%）となっており、介護保険サービスの維持のための負担増についての賛意は要介護認定者が元気な高齢者を上回っている。

【介護者の勤務形態と辞職・転職経験について】

在宅の要介護認定者の主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」が55.4%を占めており、「フルタイムで働いている」（14.6%）、「パートタイムで働いている」（12.8%）を合わせた「働いている」（27.4%）を上回っている。

在宅の要介護認定者の介護のために、仕事を辞めた・転職した家族や親族は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（56.6%）が最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（7.7%）、「主な介護者が転職した」（2.0%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（1.4%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（1.2%）となっており、主な介護者が仕事を辞めたまたは転職したのは9.7%となっている。

【介護者が行っている働き方についての調整等について】

在宅の要介護認定者の介護者が行っている働き方についての調整等は、「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（29.6%）、「介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（16.6%）、「介護のために「労働時間を調整」、「休暇の取得」、「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」（12.6%）、「介護のために「在宅勤務」を利用しながら、働いている」（3.5%）となっている。一方、「特に調整していない」が38.2%となっている。

【介護者が今後も働きながら介護を継続できる可能性について】

在宅の要介護認定者の主な介護者が今後も働きながら介護を継続できる可能性は、「問題はあるが、何とか続けていける」が54.3%と最も多く、「問題なく、続けていける」（16.6%）を合わせた「続けていける」は70.9%となっている一方、「続けていくのは難しい」は18.1%となっている。

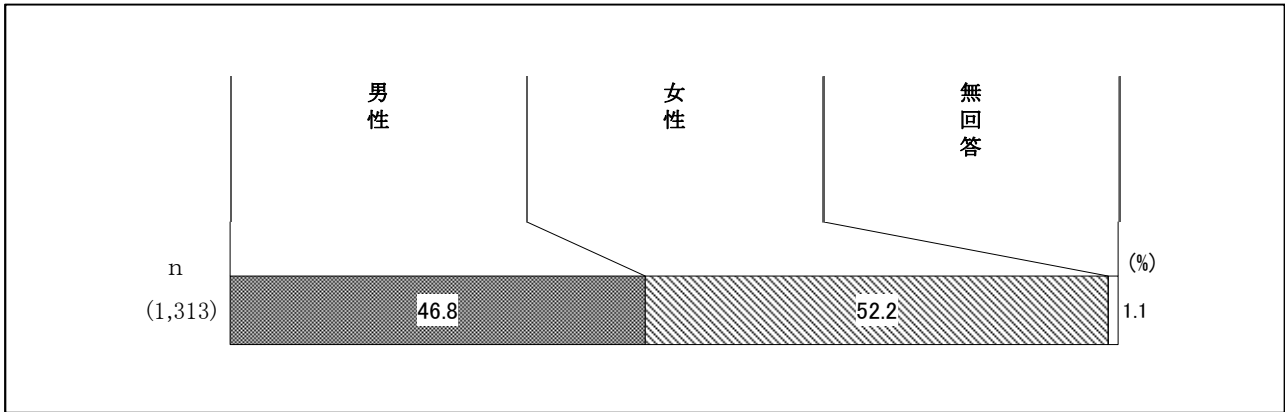
第2部 調査結果の分析

第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

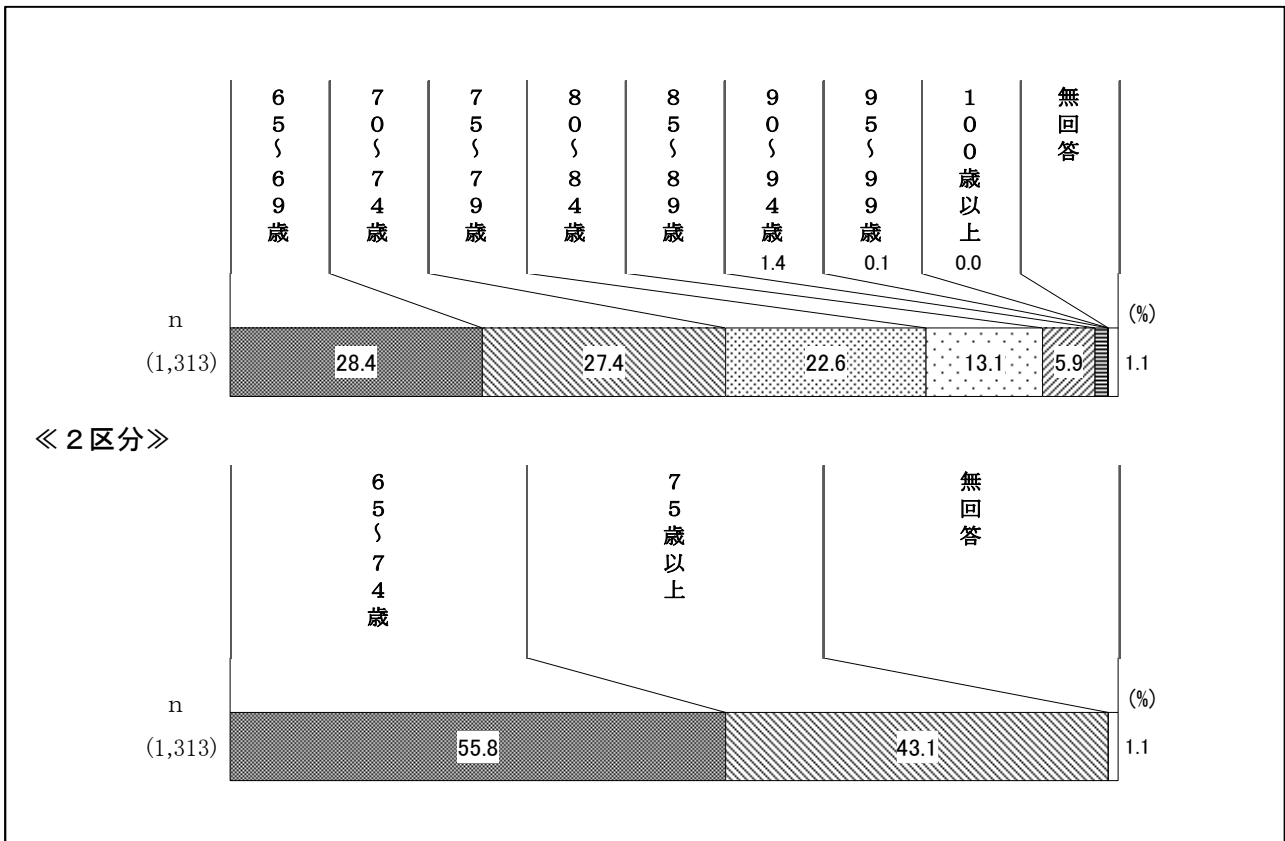
1. 回答者の属性について

(1) 回答者の性別



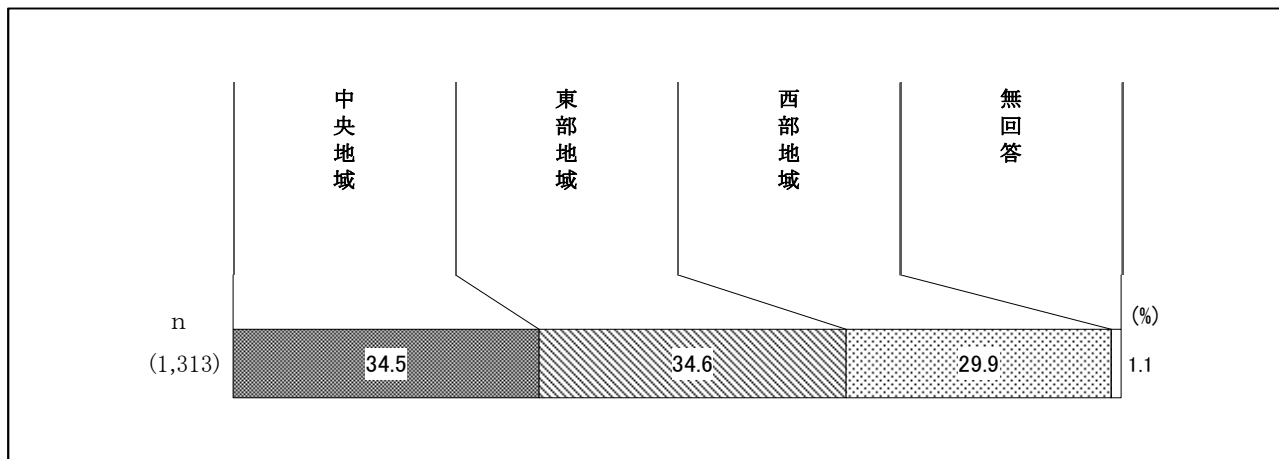
性別は、「女性」が52.2%となっており、「男性」(46.8%)をやや上回っている。

(2) 回答者の年齢



年齢は、「65～69歳」が28.4%と最も多く、以下「70～74歳」(27.4%)、「75～79歳」(22.6%)、「80～84歳」(13.1%)、「85～89歳」(5.9%)などとなっている。
 年齢<<2区分>>は、「65～74歳」(55.8%)が「75歳以上」(43.1%)を上回っている。

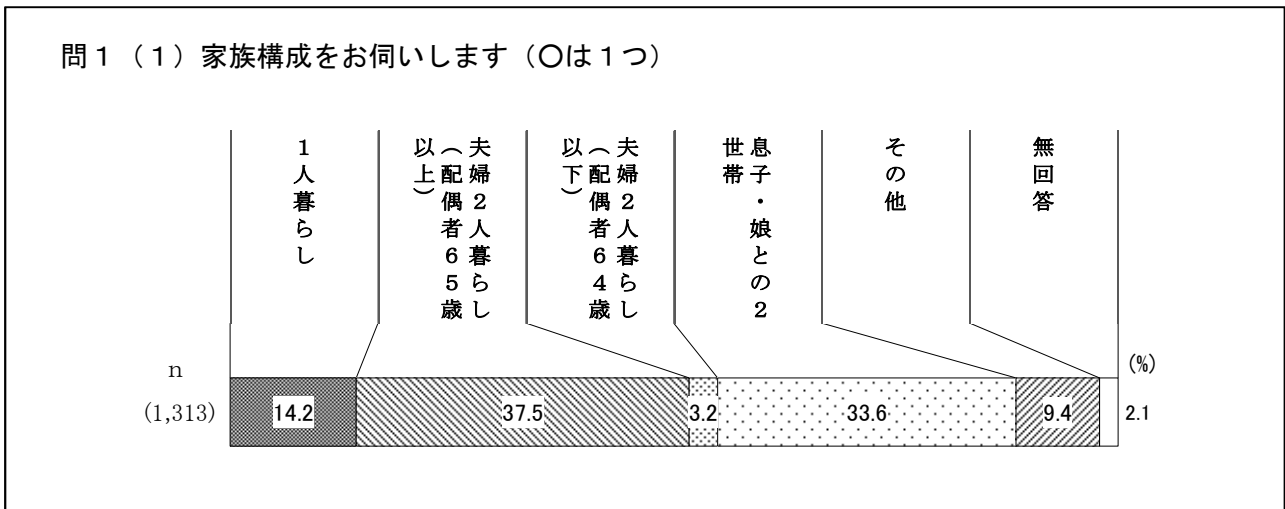
(3) 回答者の居住地



居住地は、「中央地域」が34.5%、「東部地域」が34.6%、「西部地域」が29.9%となっている。

2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成



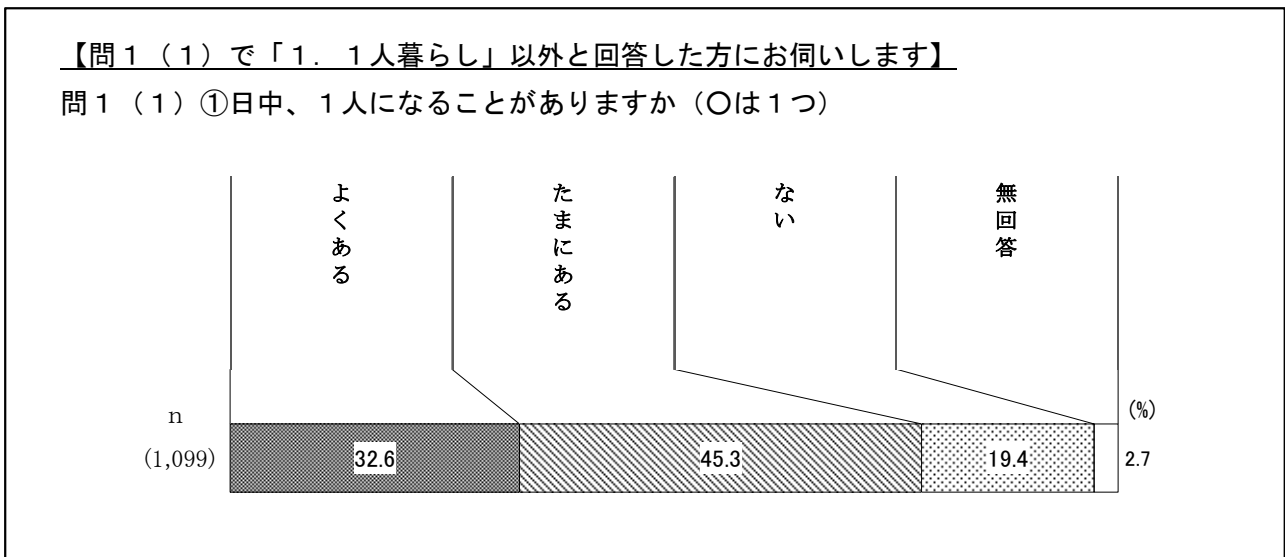
家族構成をたずねたところ、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が37.5%と最も多く、以下「息子・娘との2世帯」(33.6%)、「1人暮らし」(14.2%)、「夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)」(3.2%)、多世代世帯を内包する「その他」は9.4%となっている。

性別にみると、「1人暮らし」は女性が18.0%と男性を上回り、概ね年齢が上がるにしたがって増加している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 1人暮らし | 夫婦65歳以上暮らし (配偶者) | 夫婦64歳以下暮らし (配偶者) | 息子・娘との2世帯 | その他 | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|------------------|------------------|-------------|------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | |
| 全体 | 1,313 100.0 | 186 14.2 | 493 37.5 | 42 3.2 | 441 33.6 | 123 9.4 | 28 2.1 |
| 性別 | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 61 9.9 | 263 42.8 | 30 4.9 | 198 32.2 | 50 8.1 | 12 2.0 |
| 女性 | 685 100.0 | 123 18.0 | 224 32.7 | 11 1.6 | 240 35.0 | 71 10.4 | 16 2.3 |
| 年齢 | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 40 10.7 | 135 36.2 | 21 5.6 | 123 33.0 | 48 12.9 | 6 1.6 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 54 15.0 | 142 39.4 | 8 2.2 | 119 33.1 | 32 8.9 | 5 1.4 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 43 14.5 | 119 40.1 | 5 1.7 | 104 35.0 | 20 6.7 | 6 2.0 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 27 15.7 | 62 36.0 | 5 2.9 | 58 33.7 | 14 8.1 | 6 3.5 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 16 20.5 | 27 34.6 | 2 2.6 | 22 28.2 | 6 7.7 | 5 6.4 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 4 22.2 | 2 11.1 | - | 11 61.1 | 1 5.6 | - |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | - | 1 100.0 | - | - |
| 年齢 (2区分) | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 94 12.8 | 277 37.8 | 29 4.0 | 242 33.0 | 80 10.9 | 11 1.5 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 90 15.9 | 210 37.1 | 12 2.1 | 196 34.6 | 41 7.2 | 17 3.0 |

(2) 日中、一人になる頻度



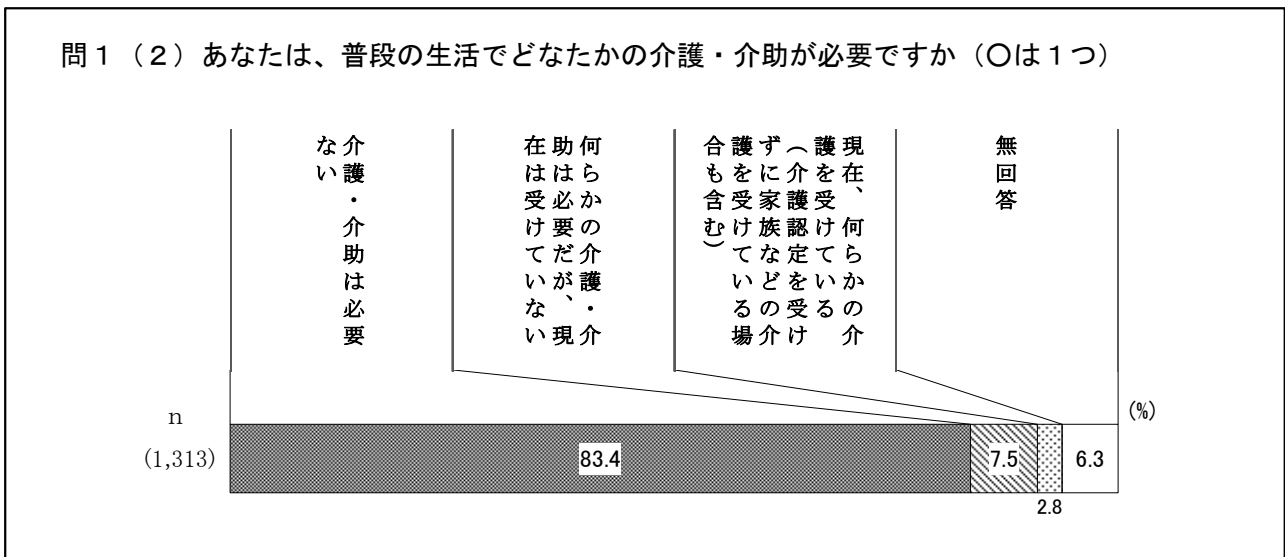
日中、一人になる頻度をたずねたところ、「たまにある」が45.3%と最も多く、以下「よくある」(32.6%)、「ない」(19.4%)となっている。

性別にみると、女性は「よくある」が35.3%と男性を5.7ポイント上回り、年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって増加している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | よくある | たまにある | ない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | |
| 全体 | 1,099 100.0 | 358 32.6 | 498 45.3 | 213 19.4 | 30 2.7 |
| 性別 | | | | | |
| 男性 | 541 100.0 | 160 29.6 | 263 48.6 | 102 18.9 | 16 3.0 |
| 女性 | 546 100.0 | 193 35.3 | 229 41.9 | 110 20.1 | 14 2.6 |
| 年齢 | | | | | |
| 65～69歳 | 327 100.0 | 103 31.5 | 143 43.7 | 71 21.7 | 10 3.1 |
| 70～74歳 | 301 100.0 | 98 32.6 | 139 46.2 | 58 19.3 | 6 2.0 |
| 75～79歳 | 248 100.0 | 73 29.4 | 118 47.6 | 50 20.2 | 7 2.8 |
| 80～84歳 | 139 100.0 | 41 29.5 | 68 48.9 | 26 18.7 | 4 2.9 |
| 85～89歳 | 57 100.0 | 28 49.1 | 23 40.4 | 4 7.0 | 2 3.5 |
| 90～94歳 | 14 100.0 | 10 71.4 | 1 7.1 | 2 14.3 | 1 7.1 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | 1 100.0 | - |
| 年齢(2区分) | | | | | |
| 65～74歳 | 628 100.0 | 201 32.0 | 282 44.9 | 129 20.5 | 16 2.5 |
| 75歳以上 | 459 100.0 | 152 33.1 | 210 45.8 | 83 18.1 | 14 3.1 |

(3) 普段の生活における介護・介助の必要性



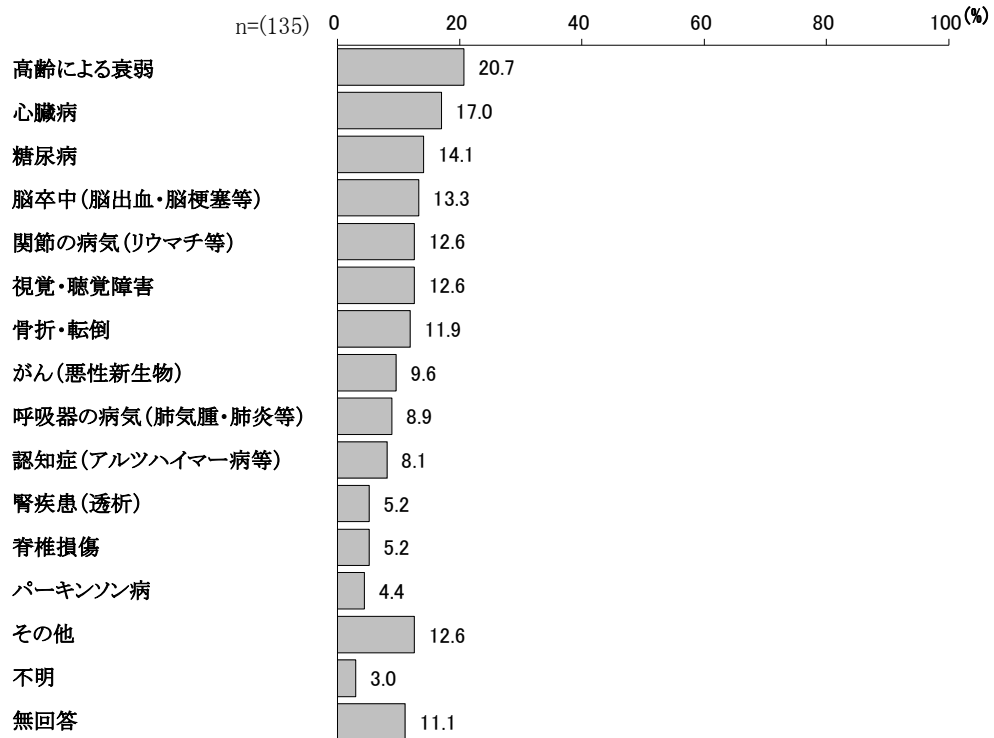
普段の生活における介護・介助の必要性をたずねたところ、「介護・介助は必要ない」が83.4%を占めている。

一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(7.5%)、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(2.8%)を合わせた“介護が必要”は10.3%となっている。

(4) 介護・介助が必要になった主な原因

【問1(2)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお伺いします】

問1(2)①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(○はいくつでも)

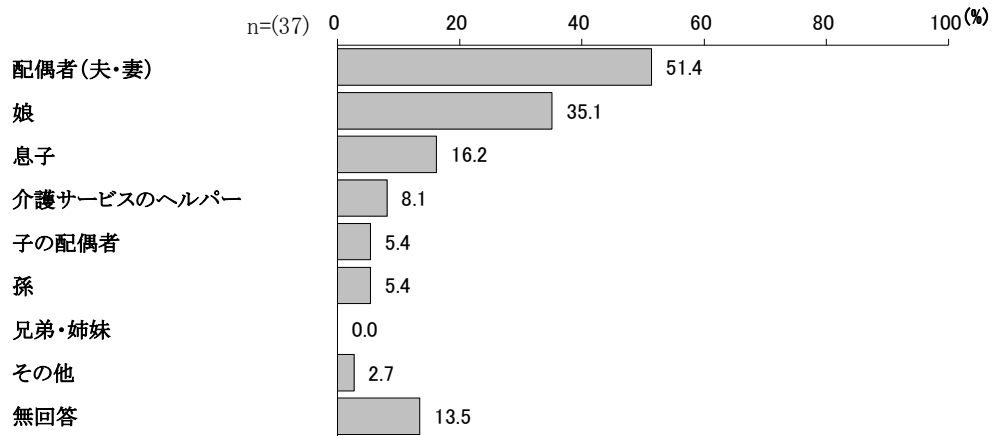


介護・介助が必要になった主な原因をたずねたところ、「高齢による衰弱」が20.7%と最も多く、以下「心臓病」(17.0%)、「糖尿病」(14.1%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(13.3%)、「関節の病気(リウマチ等)」「視覚・聴覚障害」(ともに12.6%)などとなっている。

(5) 主な介護・介助者

【問1(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお伺いします】

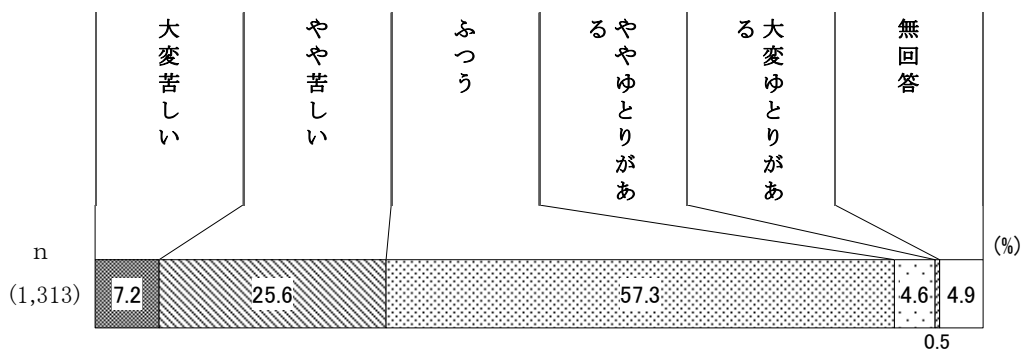
問1(2)②主にどなたの介護、介助を受けていますか(〇はいくつでも)



主な介護・介助者をたずねたところ、「配偶者(夫・妻)」が51.4%と最も多く、以下「娘」(35.1%)、「息子」(16.2%)、「介護サービスのヘルパー」(8.1%)、「子の配偶者」「孫」(ともに5.4%)となっている。

(6) 経済的にみた現在の暮らしの状況

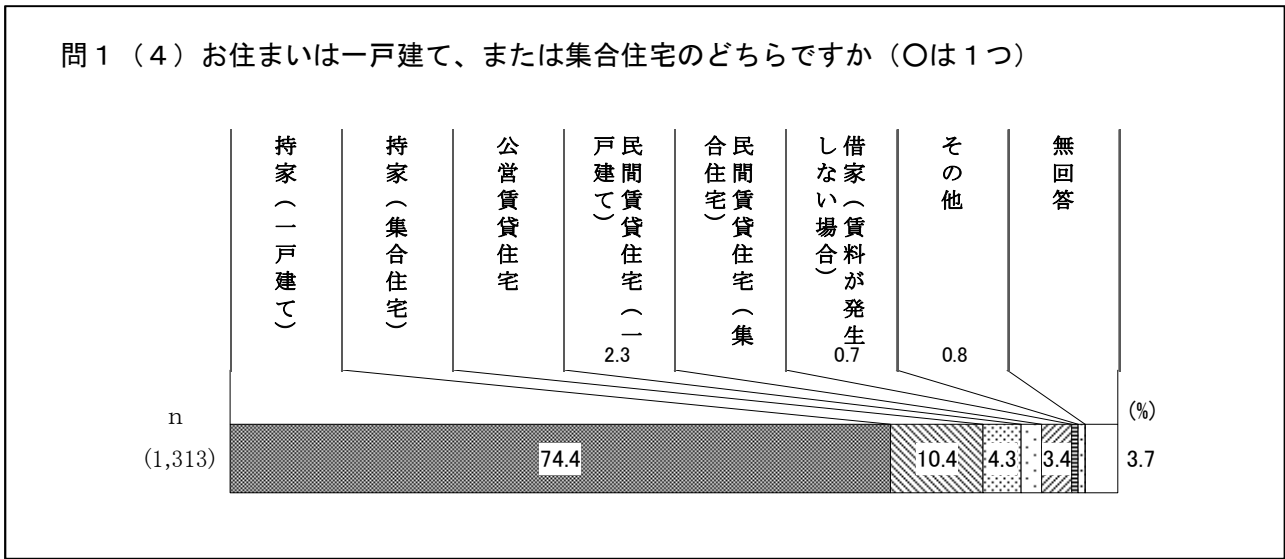
問1(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(〇は1つ)



経済的にみた現在の暮らしの状況をたずねたところ、「ふつう」が57.3%と最も多く、以下「やや苦しい」(25.6%)となっており、「大変苦しい」(7.2%)を合わせた“苦しい”は32.8%となっている。

一方、「ややゆとりがある」(4.6%)、「大変ゆとりがある」(0.5%)を合わせた“ゆとりがある”は5.1%となっている。

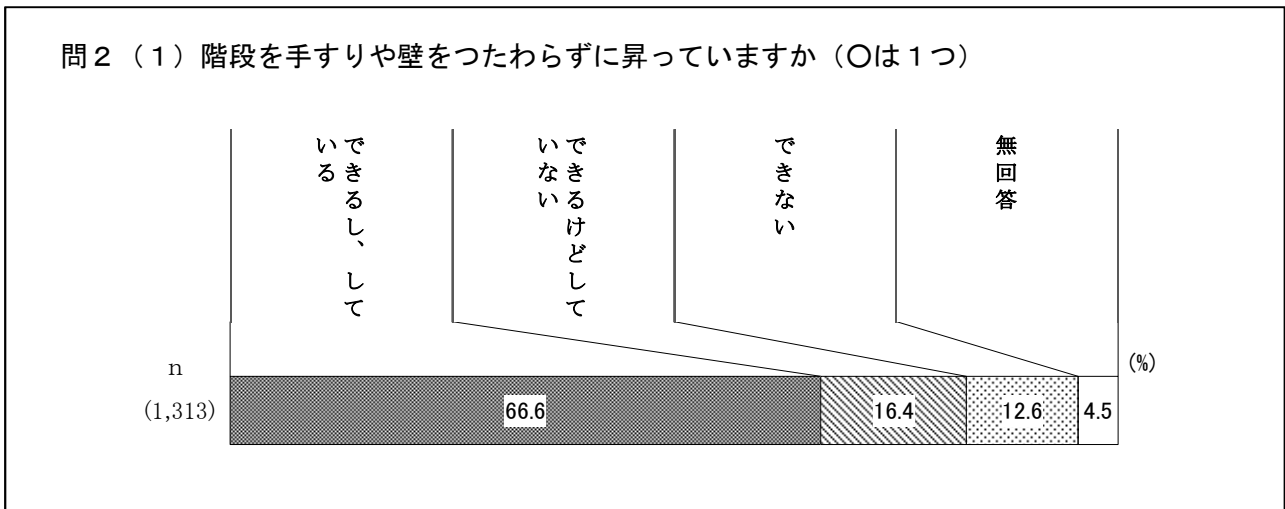
(7) 居住形態



居住形態をたずねたところ、「持家 (一戸建て)」が 74.4%と最も多く、以下「持家 (集合住宅)」(10.4%)、「公営賃貸住宅」(4.3%)、「民間賃貸住宅 (集合住宅)」(3.4%)、「民間賃貸住宅 (一戸建て)」(2.3%) などとなっている。

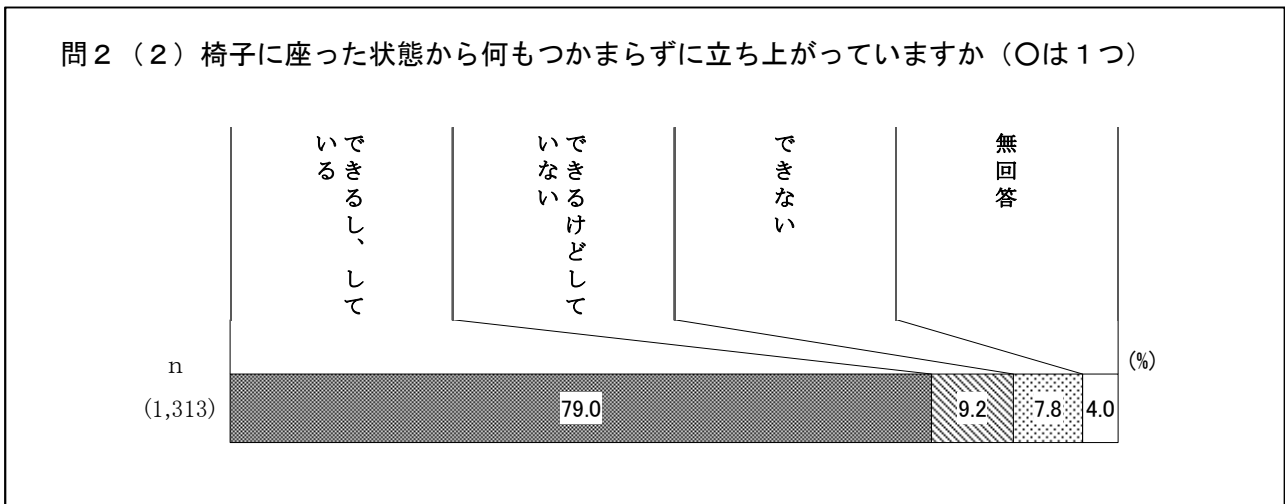
3. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁を使わずに昇ることの可否



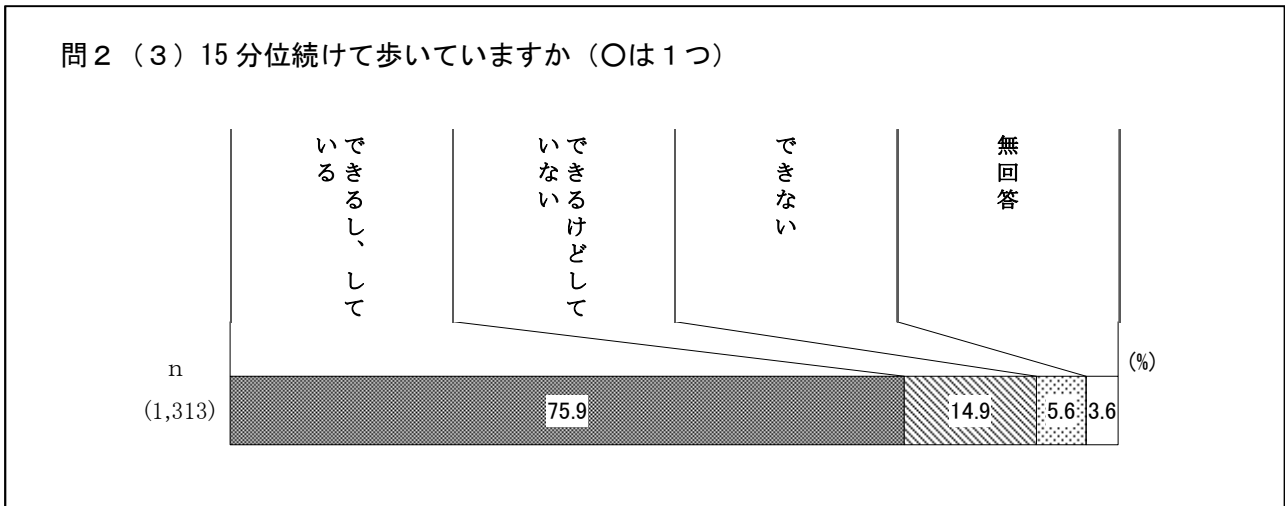
階段を手すりや壁を使わずに昇ることの可否をたずねたところ、「できるし、している」が66.6%を占めており、「できない」は12.6%となっている。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることの可否



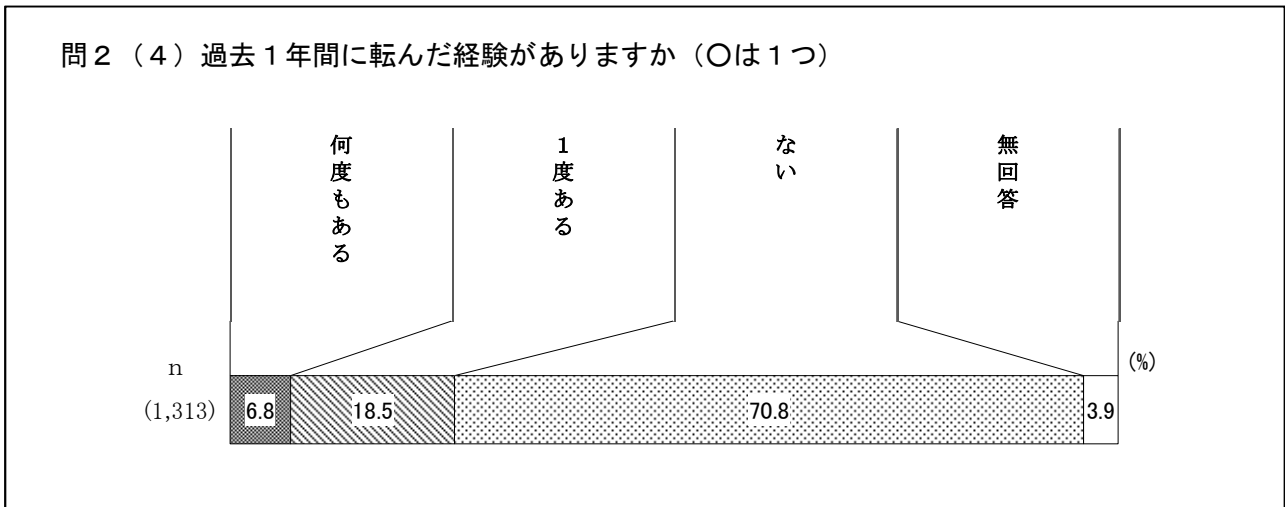
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることの可否をたずねたところ、「できるし、している」が79.0%を占めており、「できない」は7.8%となっている。

(3) 15分位続けて歩くことの可否



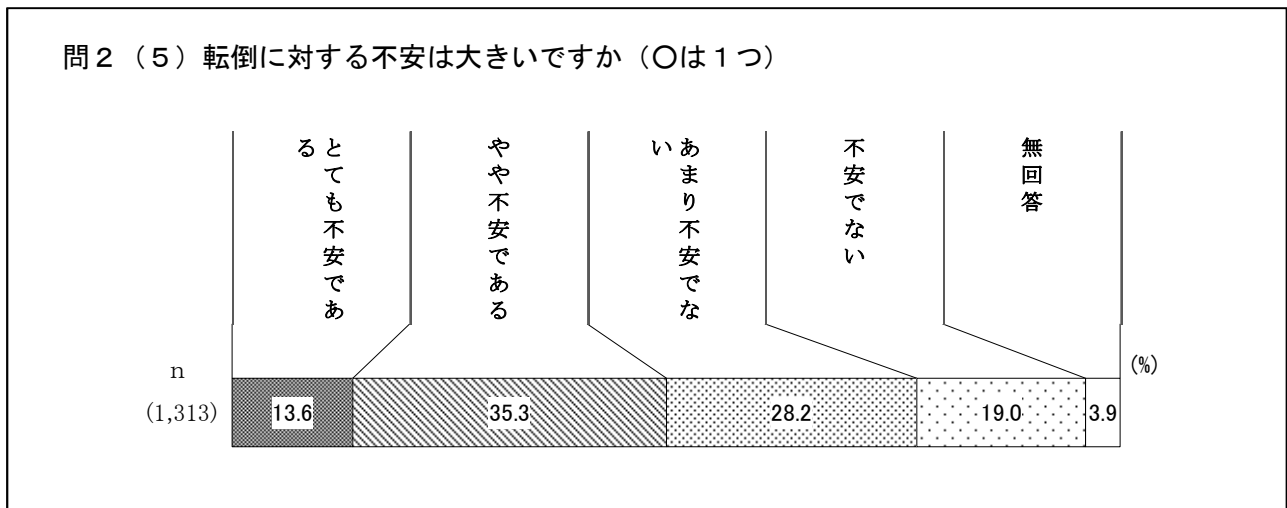
15分位続けて歩くことの可否をたずねたところ、「できるし、している」が75.9%を占めており、「できない」は5.6%となっている。

(4) 過去1年間に転んだ経験



過去1年間に転んだ経験をたずねたところ、「ない」が70.8%を占めており、「何度もある」(6.8%)、「1度ある」(18.5%)を合わせた“ある”は25.3%となっている。

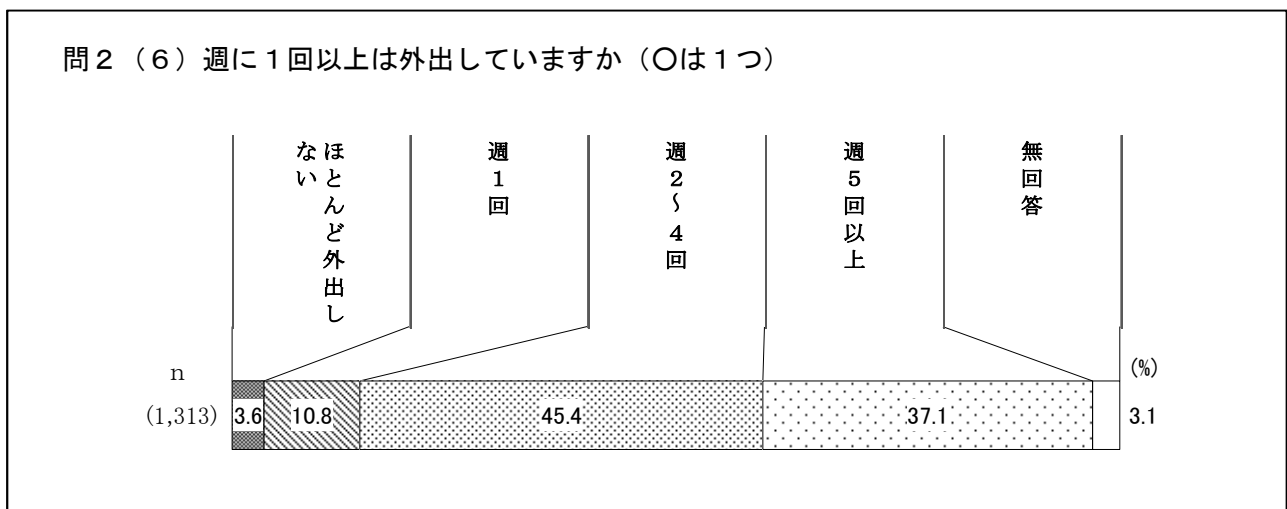
(5) 転倒に対する不安



転倒に対する不安をたずねたところ、「やや不安である」が35.3%と最も多く、「とても不安である」(13.6%)を合わせた“不安である”は48.9%となっている。

一方、「あまり不安でない」(28.2%)、「不安でない」(19.0%)を合わせた“不安でない”は47.2%となっており、“不安である”がやや多い。

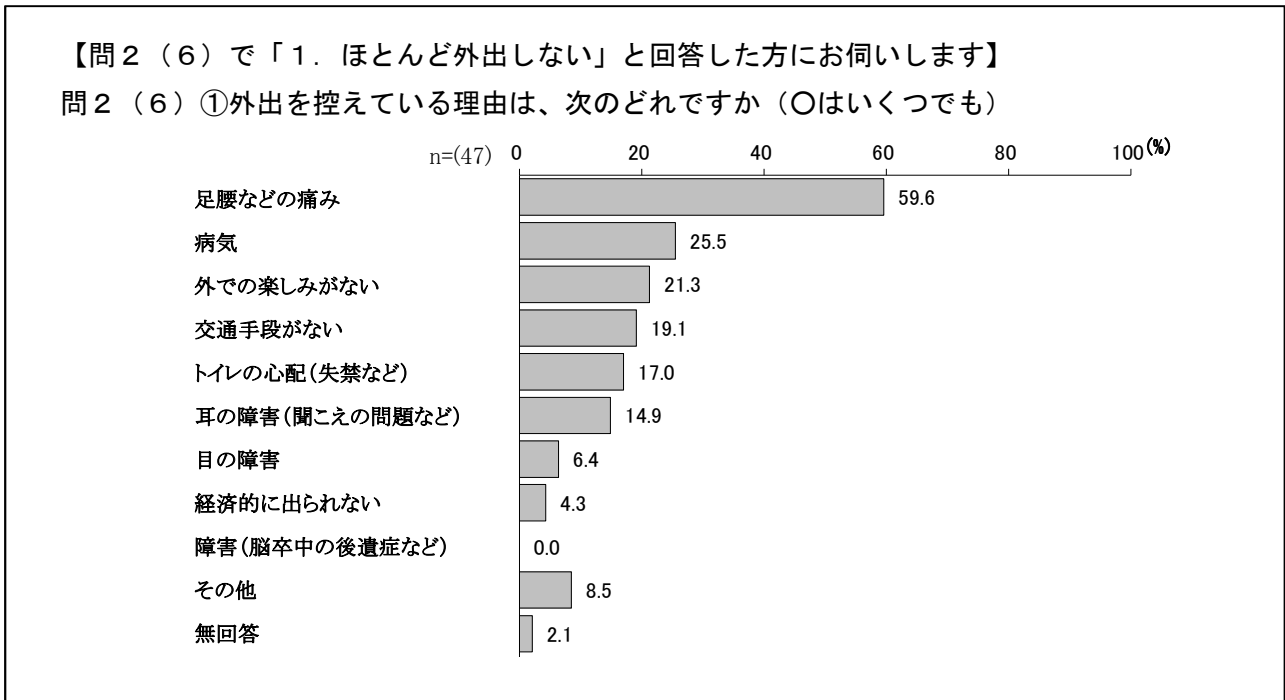
(6) 週の外出頻度



週の外出頻度をたずねたところ、「週2〜4回」が45.4%と最も多く、以下「週5回以上」(37.1%)、「週1回」(10.8%)となっており、“週1回以上”は93.3%となっている。

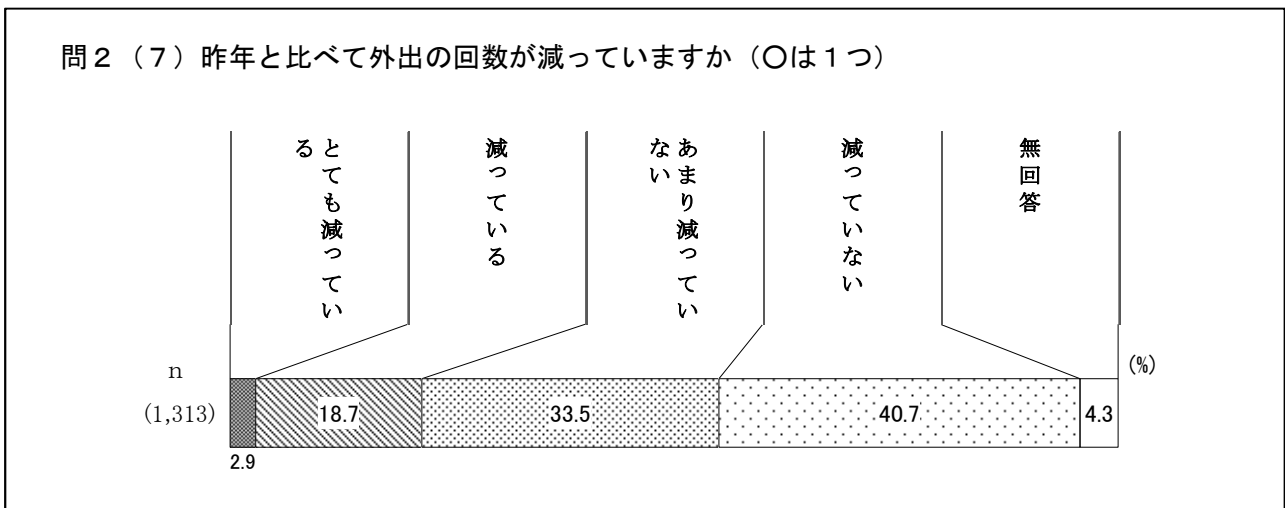
一方、「ほとんど外出しない」は3.6%となっている。

(7) 外出を控えている理由



外出を控えている理由をたずねたところ、「足腰などの痛み」が59.6%と最も多く、以下「病気」(25.5%)、「外での楽しみがない」(21.3%)、「交通手段がない」(19.1%)、「トイレの心配(失禁など)」(17.0%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」(14.9%)などとなっている。

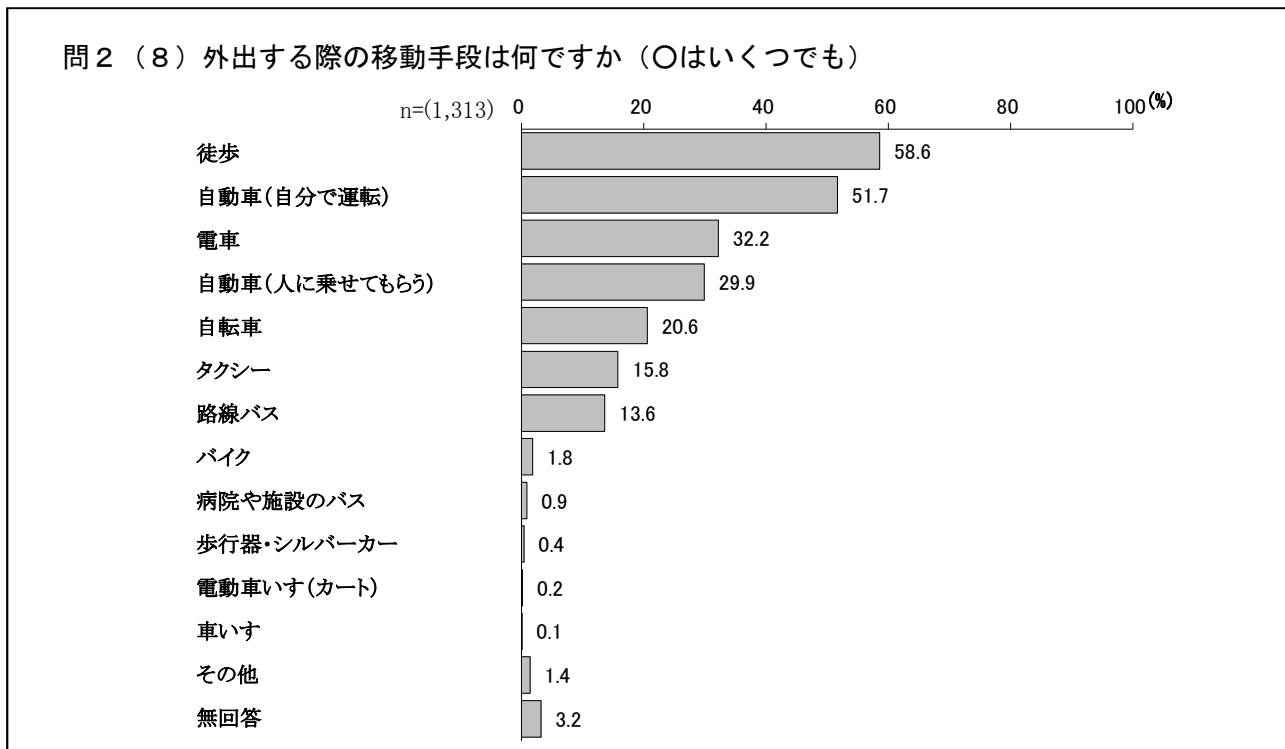
(8) 昨年と比べての外出回数の減少状況



昨年と比べての外出回数の減少状況をたずねたところ、「減っていない」が40.7%と最も多く、「あまり減っていない」(33.5%)を合わせた“減っていない”は74.2%となっている。

一方、「とても減っている」(2.9%)、「減っている」(18.7%)を合わせた“減っている”は21.6%となっている。

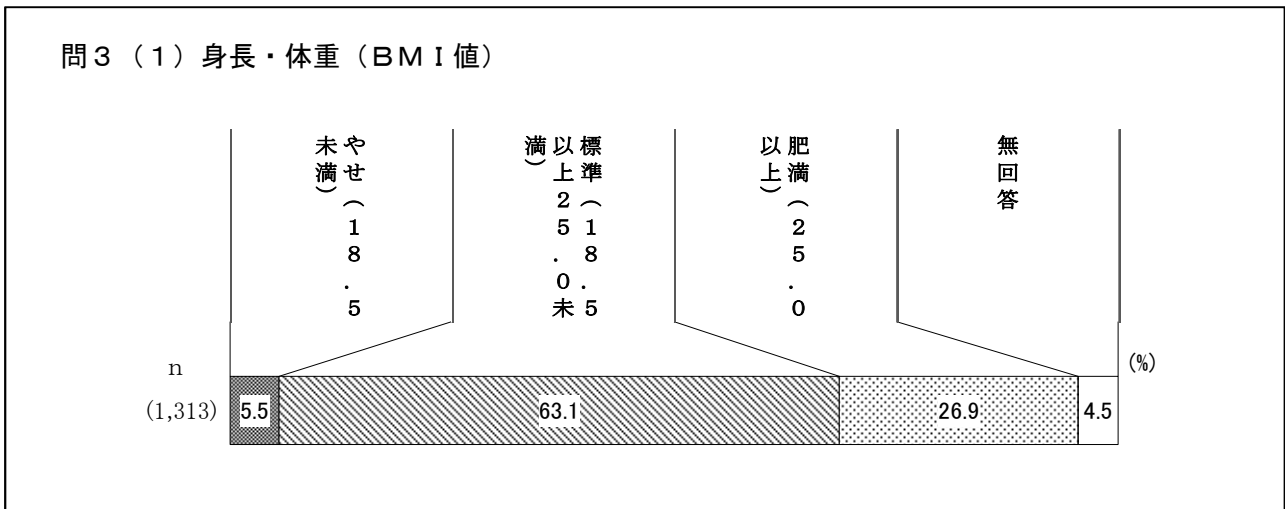
(9) 外出する際の移動手段



外出する際の移動手段をたずねたところ、「徒歩」が 58.6%と最も多く、以下「自動車（自分で運転）」(51.7%)、「電車」(32.2%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(29.9%)、「自転車」(20.6%) などとなっている。

4. 食べることについて

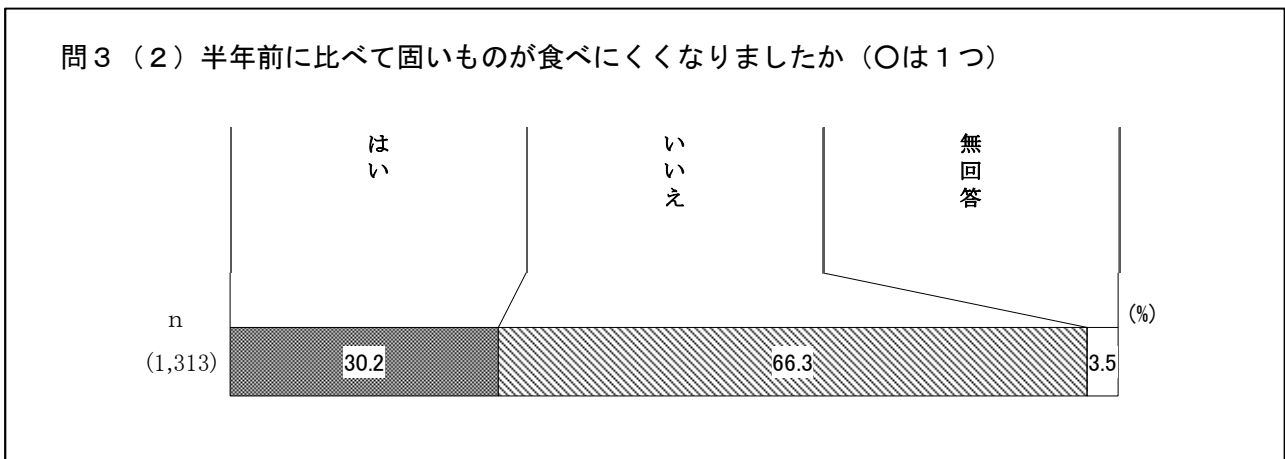
(1) 身長・体重 (BMI値)



身長・体重からBMI値を算出したところ、「標準 (18.5以上25.0未満)」が63.1%を占めている。

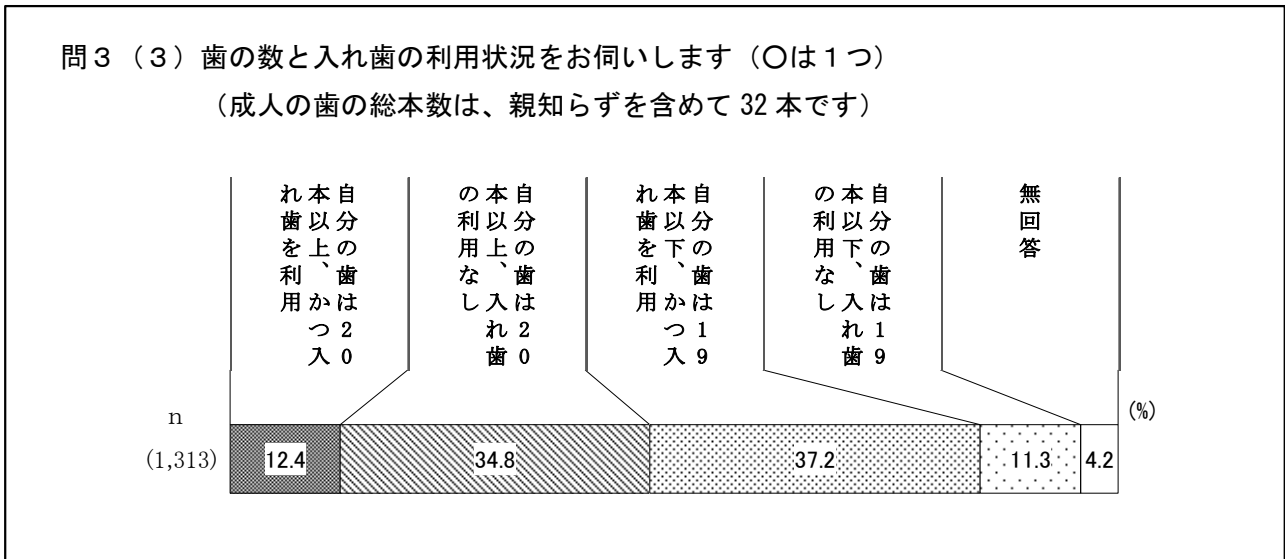
一方、「肥満 (25.0以上)」は26.9%、「やせ (18.5未満)」は5.5%となっている。

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか



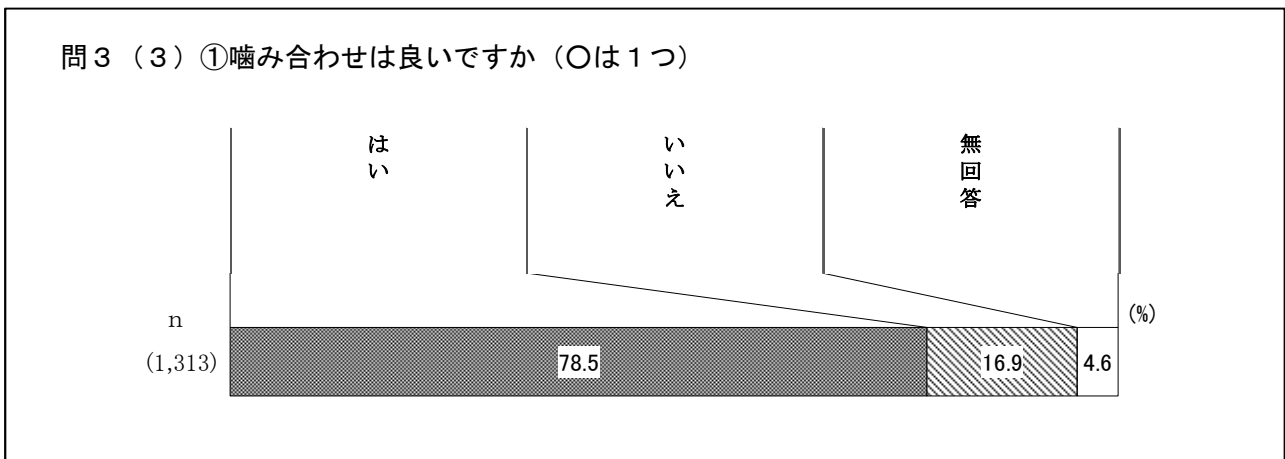
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかをたずねたところ、「いいえ」が66.3%を占めており、「はい」は30.2%となっている。

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況



歯の数と入れ歯の利用状況をたずねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.2%と最も多く、以下「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(34.8%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(12.4%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(11.3%)となっている。

(4) 噛み合わせは良いか

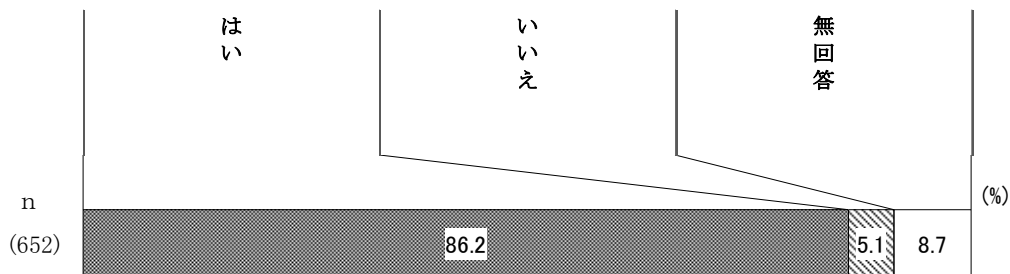


噛み合わせは良いかをたずねたところ、「はい」が78.5%を占めており、「いいえ」は16.9%となっている。

(5) 毎日入れ歯の手入れをしているか

【問3(3)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお伺いします】

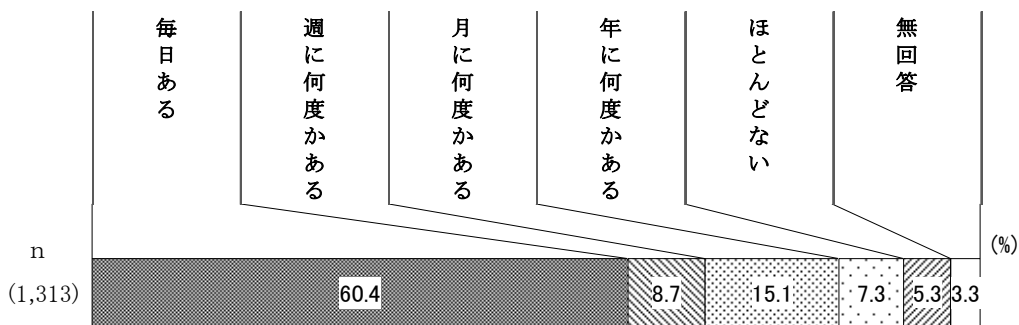
問3(3)②毎日入れ歯の手入れをしていますか(○は1つ)



毎日入れ歯の手入れをしているかをたずねたところ、「はい」が86.2%を占めており、「いいえ」は5.1%となっている。

(6) 誰かと食事をとる機会の有無

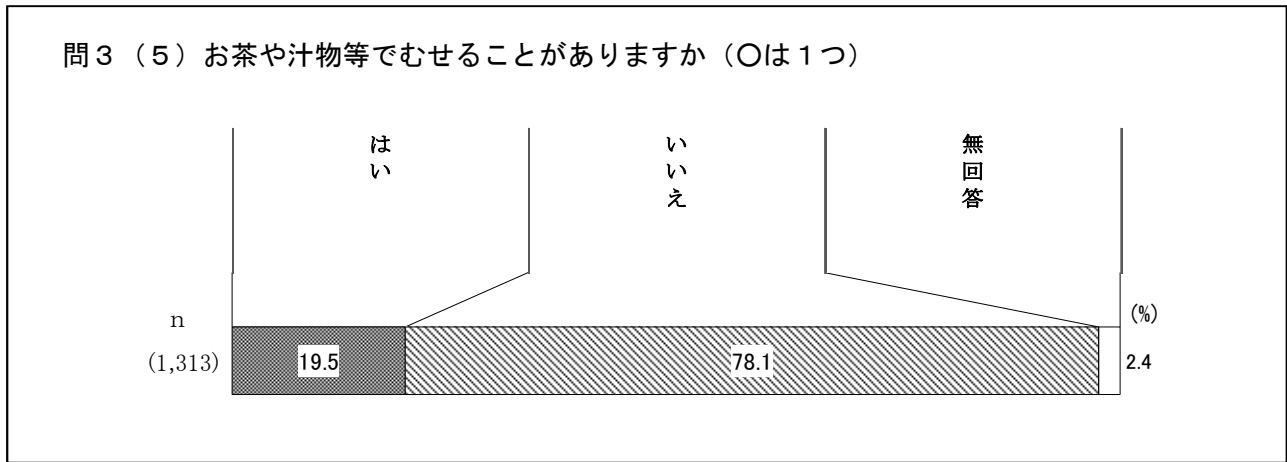
問3(4) どなたかと食事をとる機会がありますか(○は1つ)



誰かと食事をとる機会の有無をたずねたところ、「毎日ある」が60.4%と最も多く、以下「月に何度かある」(15.1%)、「週に何度かある」(8.7%)、「年に何度かある」(7.3%)となっている。

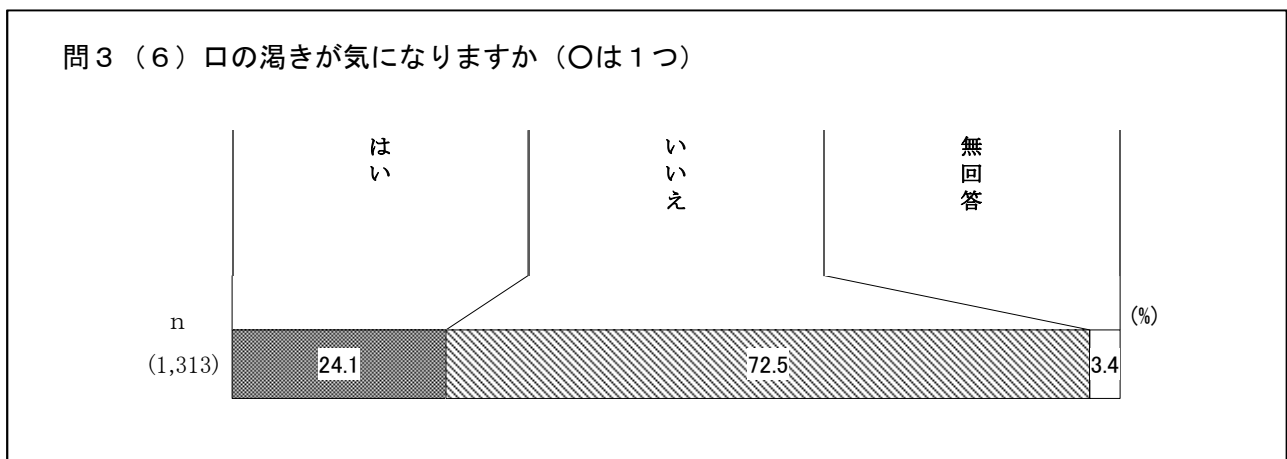
一方、「ほとんどない」は5.3%となっている。

(7) お茶や汁物等でむせることがあるか



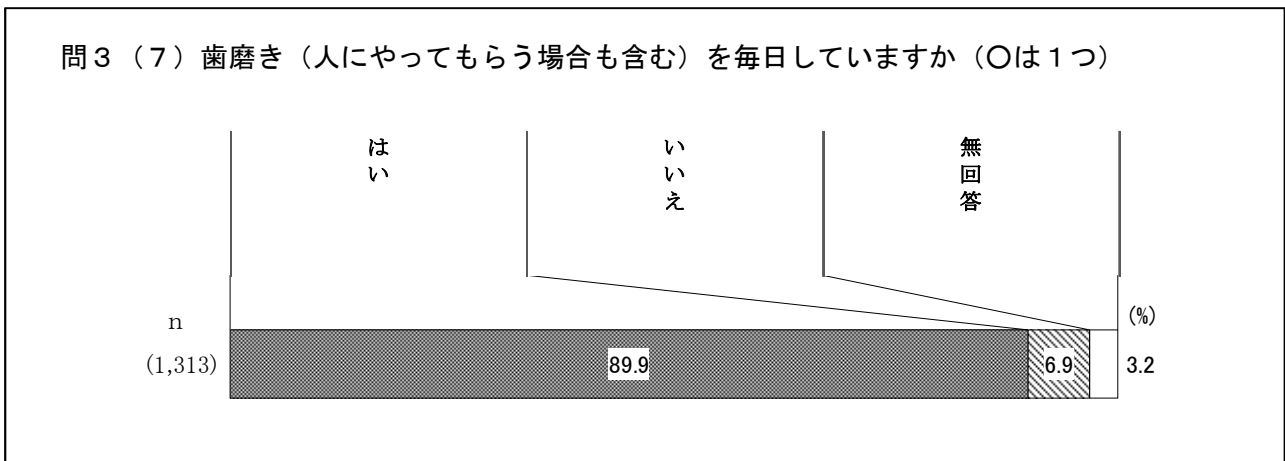
お茶や汁物等でむせることがあるかをたずねたところ、「いいえ」が78.1%を占めており、「はい」は19.5%となっている。

(8) 口の渇きが気になるか



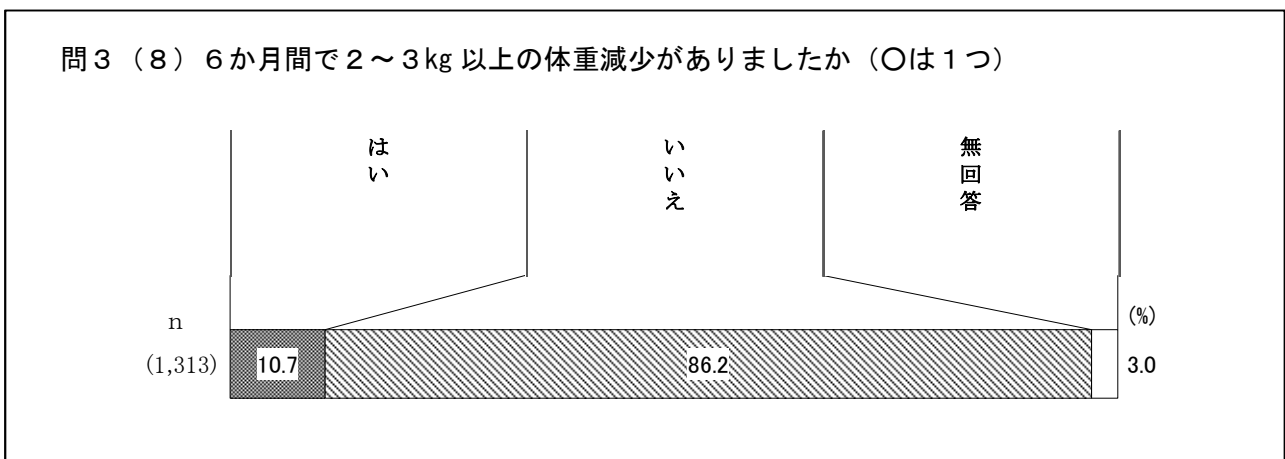
口の渇きが気になるかをたずねたところ、「いいえ」が72.5%を占めており、「はい」は24.1%となっている。

(9) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているか



歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかをたずねたところ、「はい」が89.9%を占めており、「いいえ」は6.9%となっている。

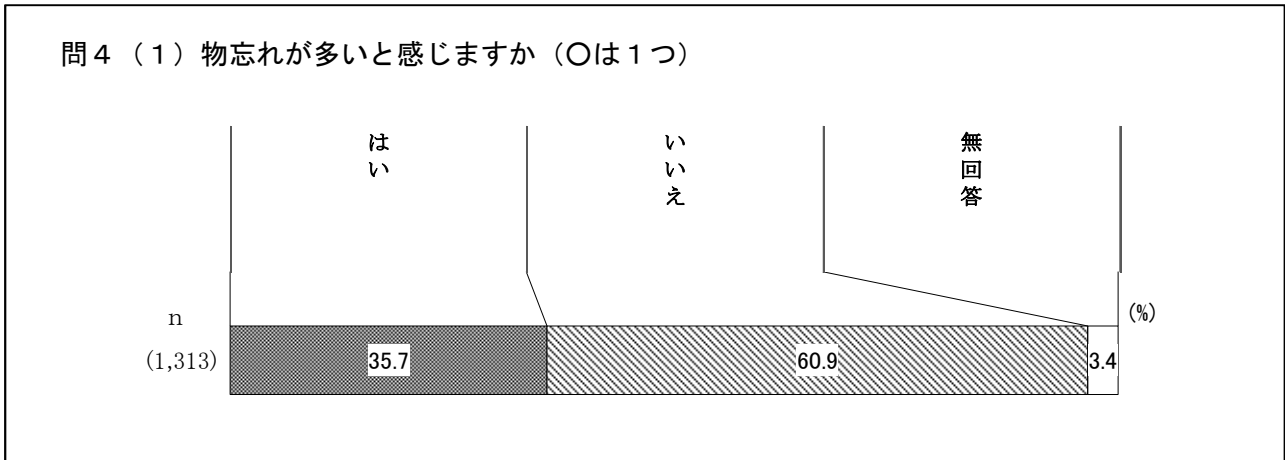
(10) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか



6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかをたずねたところ、「いいえ」が86.2%を占めており、「はい」は10.7%となっている。

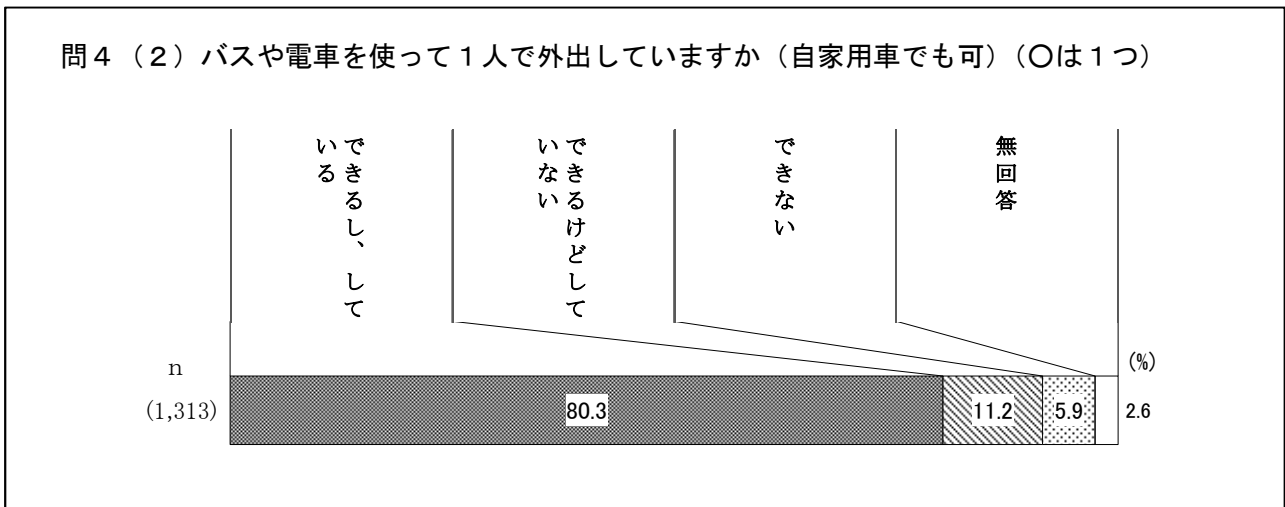
5. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか



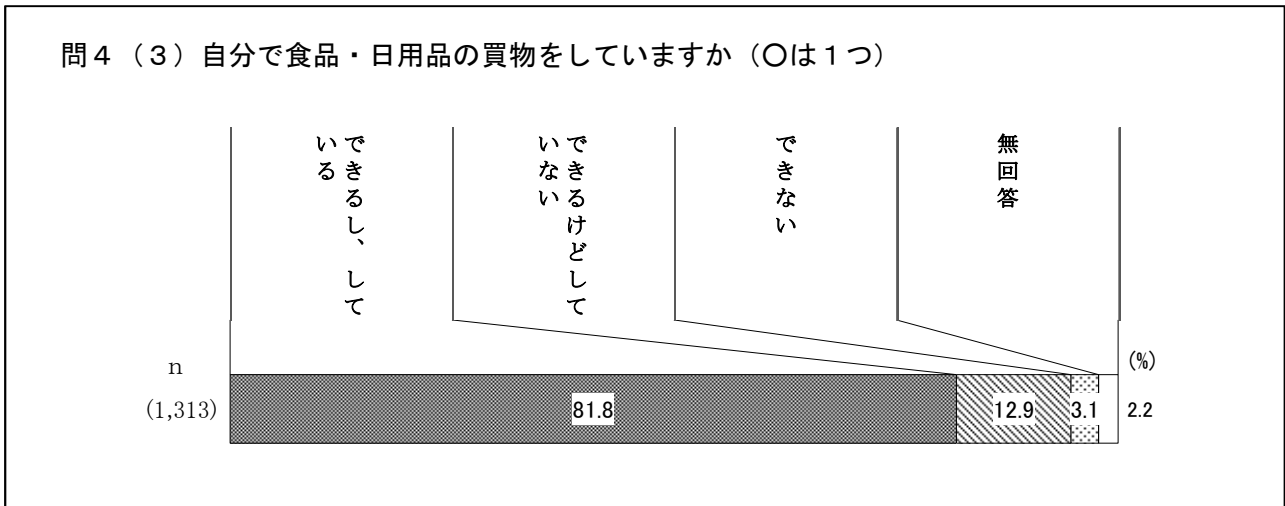
物忘れが多いと感じるかをたずねたところ、「いいえ」が 60.9%を占めており、「はい」は 35.7%となっている。

(2) バスや電車を使って1人での外出の可否 (自家用車でも可)



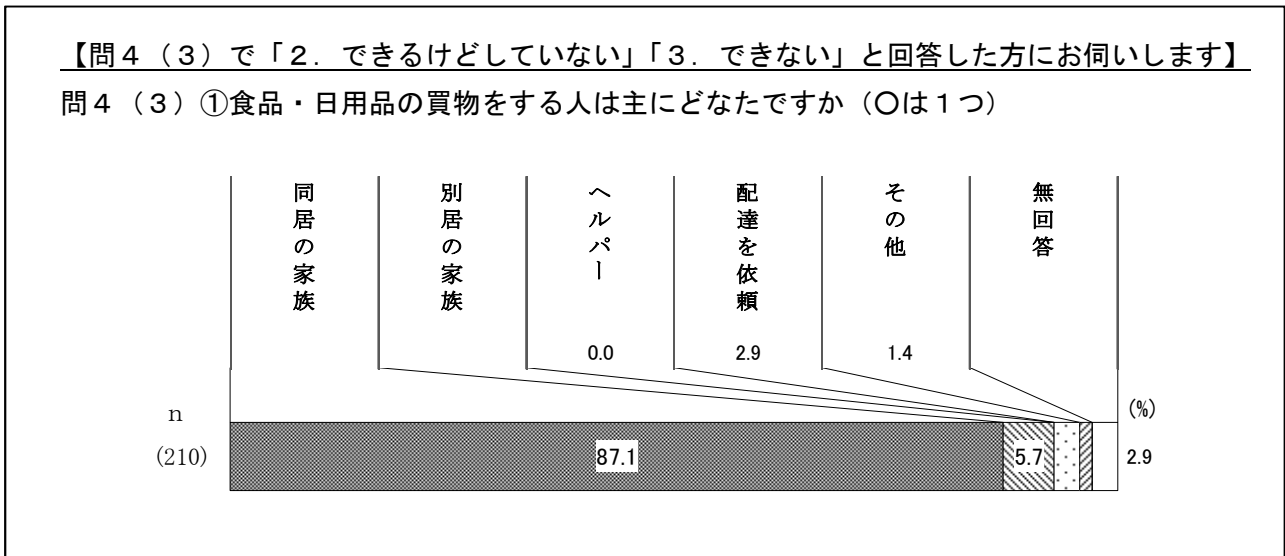
バスや電車を使って1人での外出の可否 (自家用車でも可) をたずねたところ、「できるし、している」が 80.3%を占めており、「できない」は 5.9%となっている。

(3) 自分での食品・日用品の買物の可否



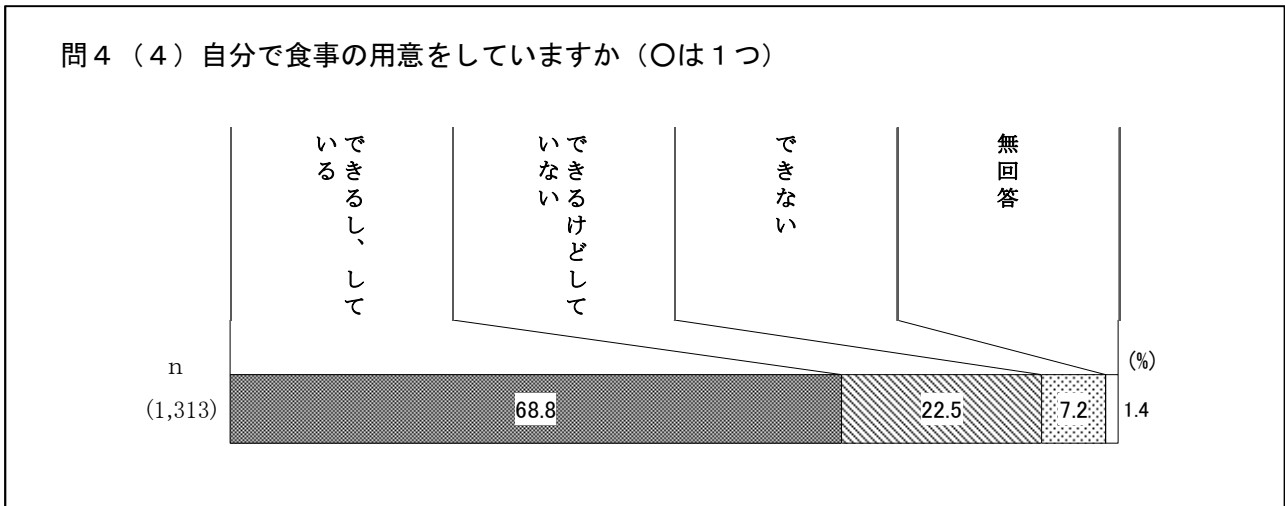
自分での食品・日用品の買物の可否をたずねたところ、「できるし、している」が 81.8%を占めており、「できない」は 3.1%となっている。

(4) 食品・日用品の買物をする人



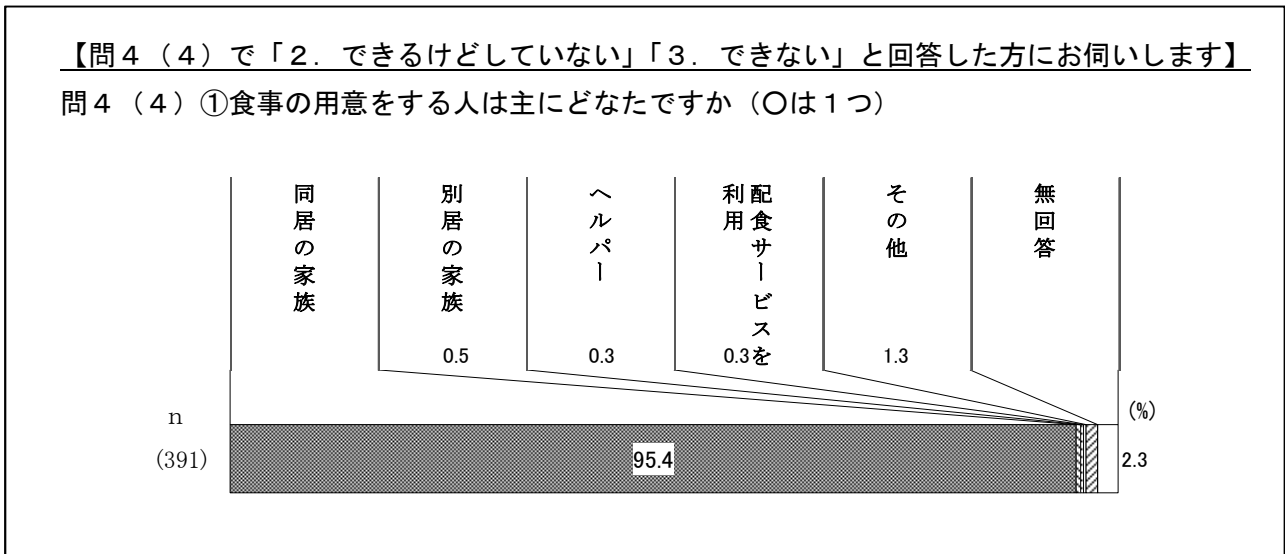
食品・日用品の買物をする人をたずねたところ、「同居の家族」が 87.1%と最も多く、以下「別居の家族」(5.7%)、「配達を依頼」(2.9%) となっている。

(5) 自分での食事の用意の可否



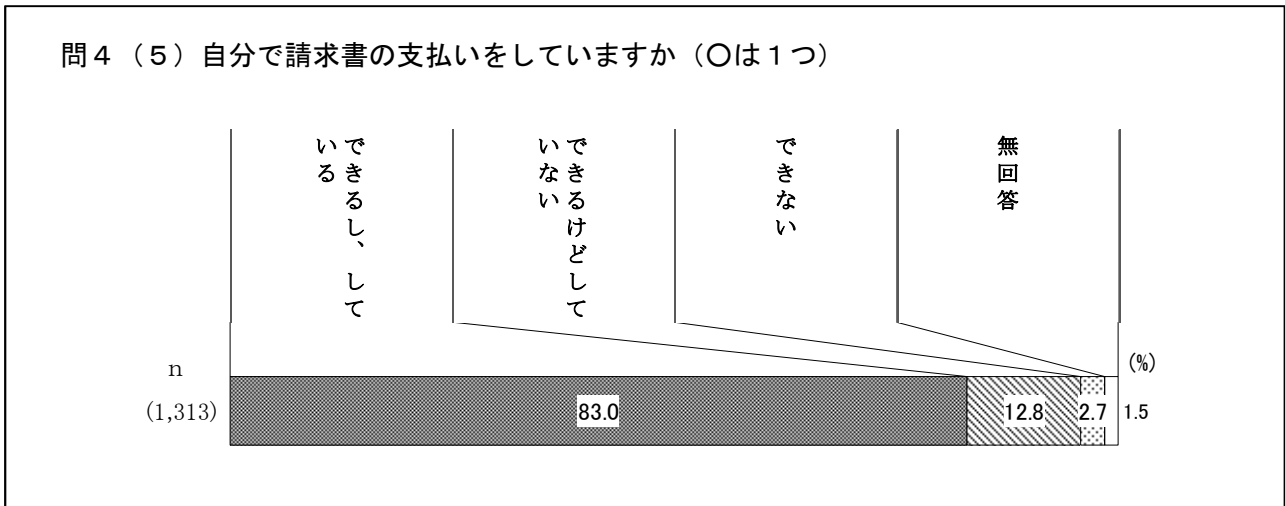
自分での食事の用意の可否をたずねたところ、「できるし、している」が 68.8%を占めており、「できない」は 7.2%となっている。

(6) 食事の用意をする人



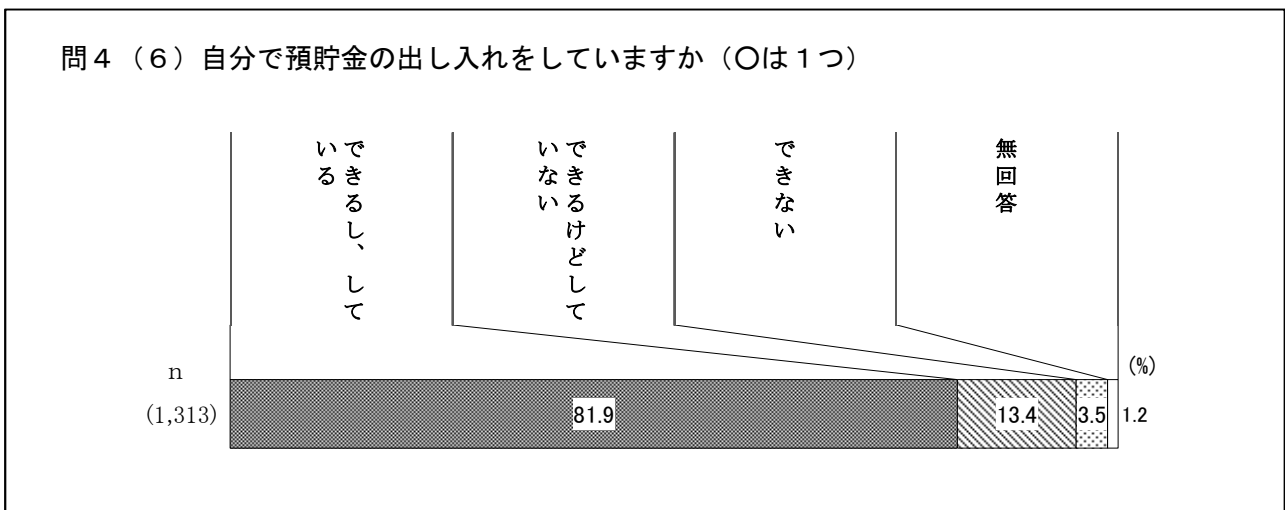
食事の用意をする人をたずねたところ、「同居の家族」が 95.4%を占めている。

(7) 自分での請求書の支払いの可否



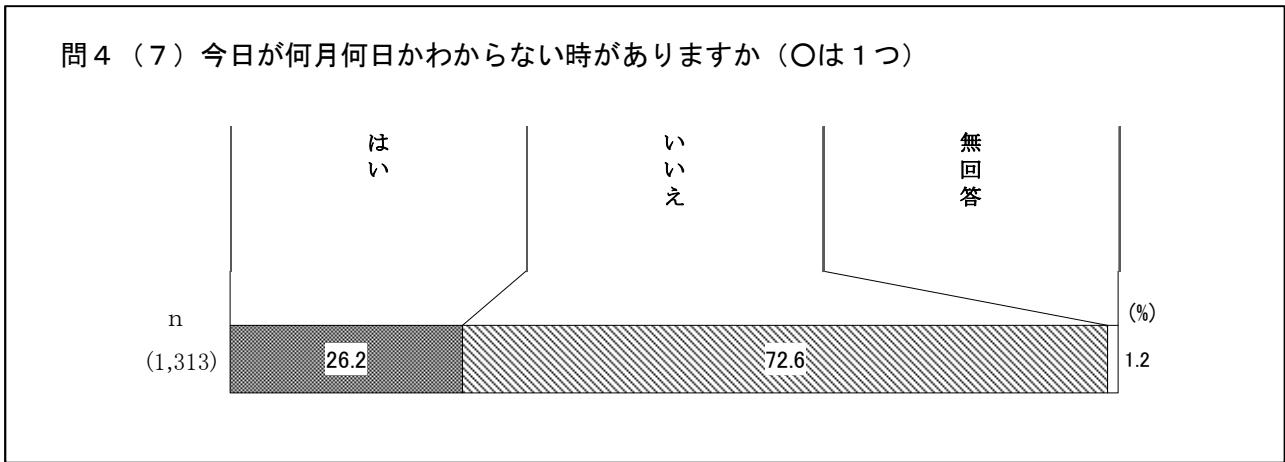
自分での請求書の支払いの可否をたずねたところ、「できるし、している」が83.0%を占めており、「できない」は2.7%となっている。

(8) 自分での預貯金の出し入れの可否



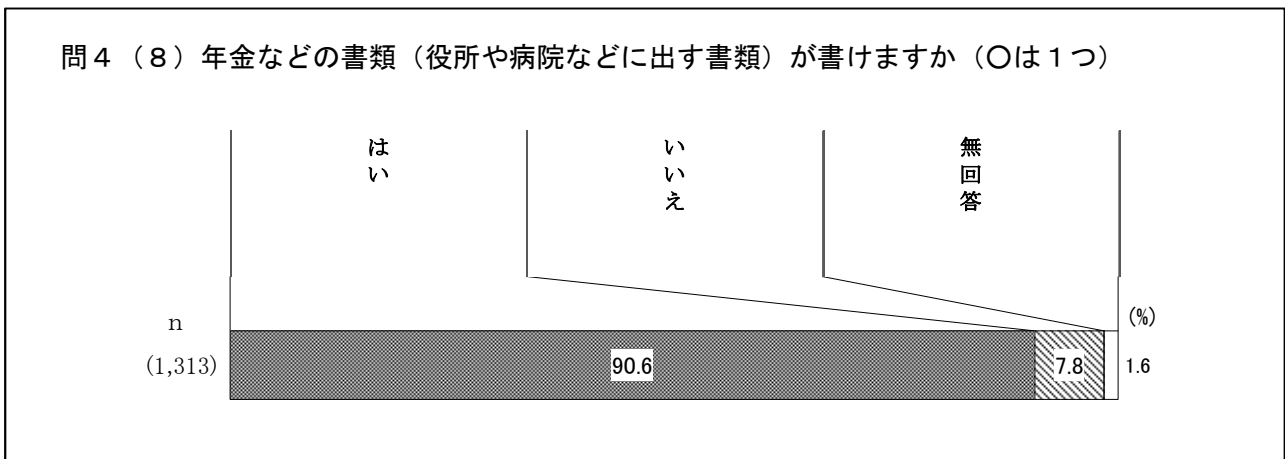
自分での預貯金の出し入れの可否をたずねたところ、「できるし、している」が81.9%を占めており、「できない」は3.5%となっている。

(9) 今日が何月何日かわからない時があるか



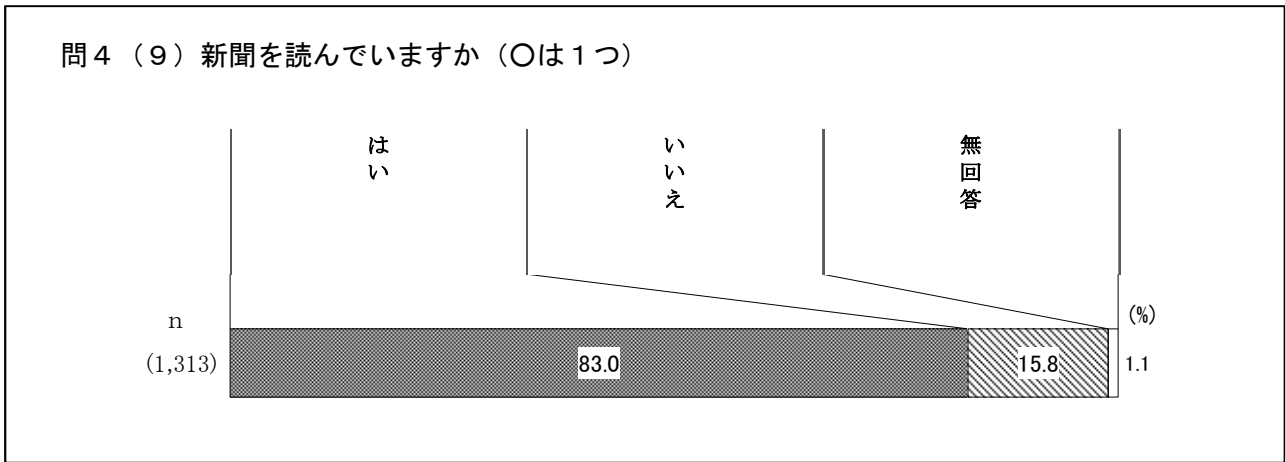
今日が何月何日かわからない時があるかをたずねたところ、「いいえ」が72.6%を占めており、「はい」は26.2%となっている。

(10) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けるか



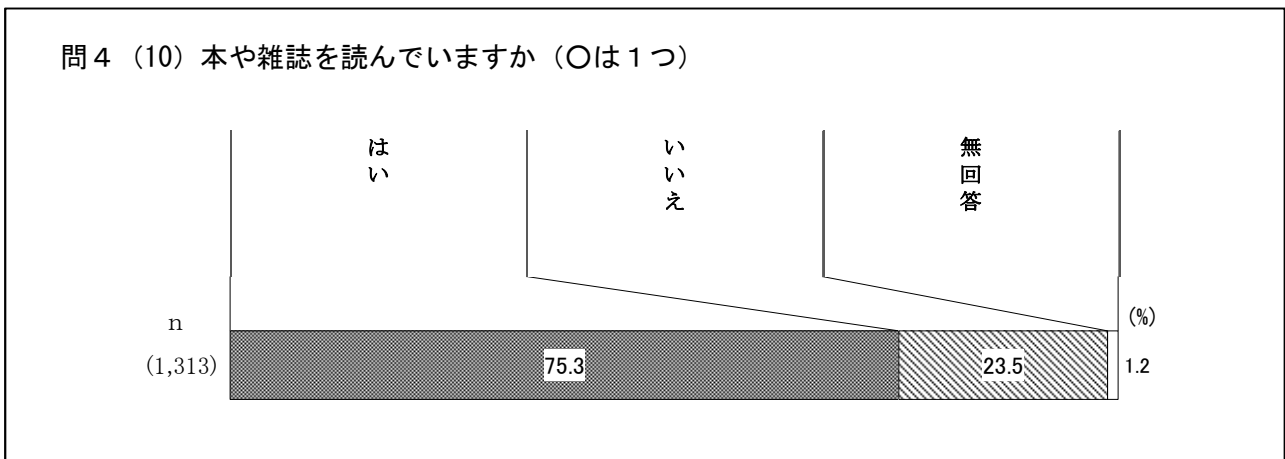
年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けるかをたずねたところ、「はい」が90.6%を占めており、「いいえ」は7.8%となっている。

(11) 新聞を読んでいるか



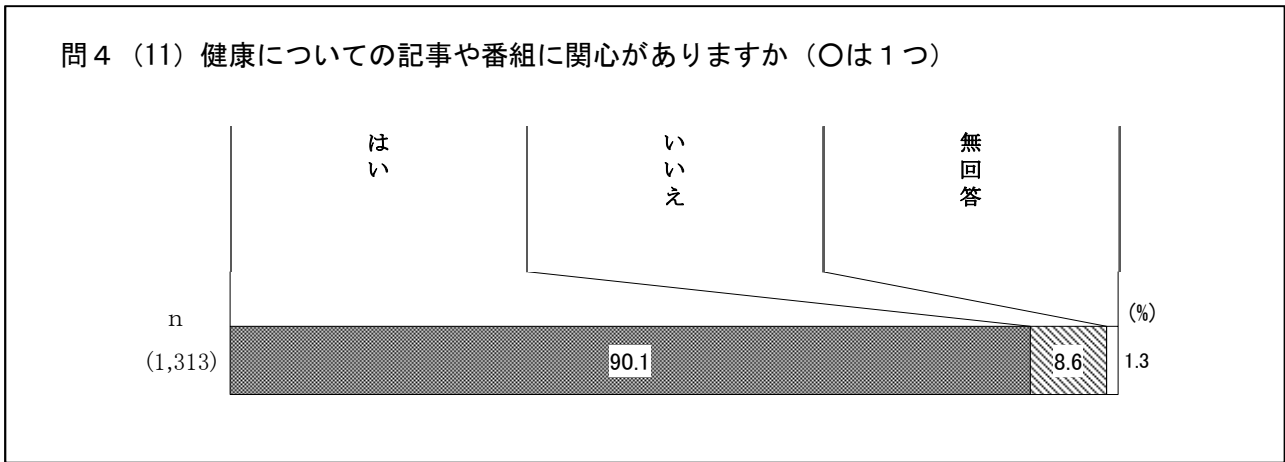
新聞を読んでいるかをたずねたところ、「はい」が83.0%を占めており、「いいえ」は15.8%となっている。

(12) 本や雑誌を読んでいるか



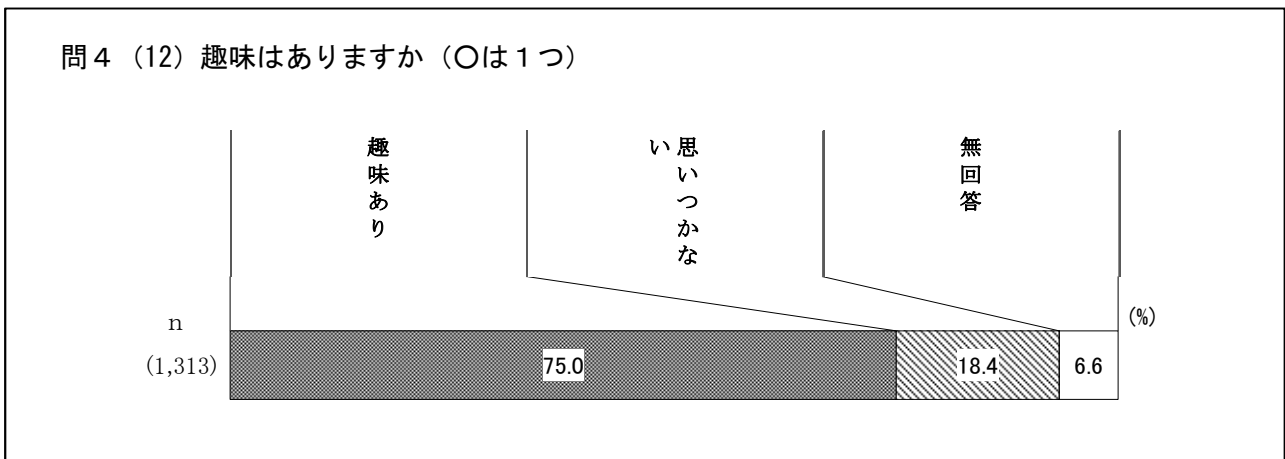
本や雑誌を読んでいるかをたずねたところ、「はい」が75.3%を占めており、「いいえ」は23.5%となっている。

(13) 健康についての記事や番組に関心があるか



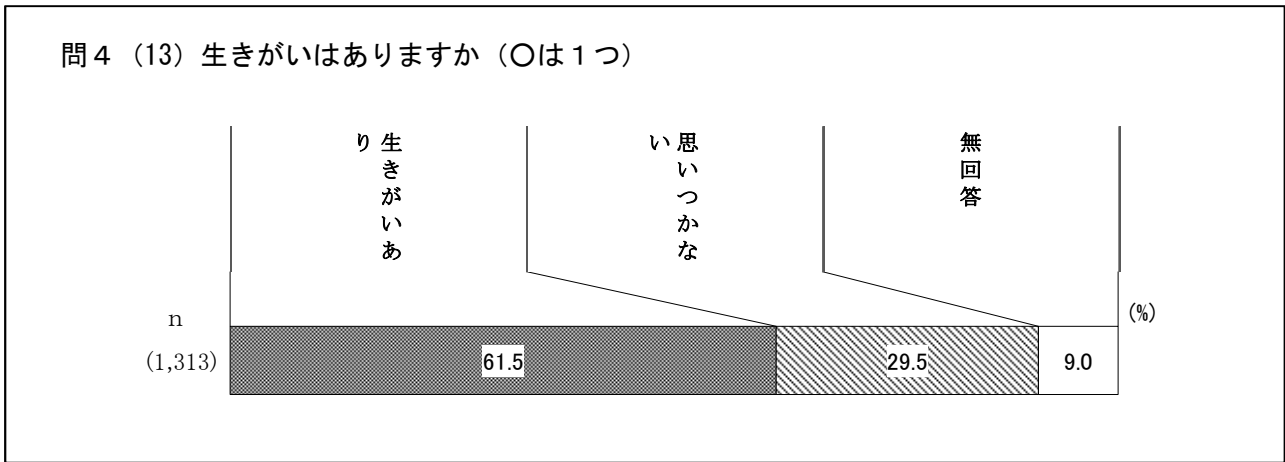
健康についての記事や番組に関心があるかをたずねたところ、「はい」が90.1%を占めており、「いいえ」は8.6%となっている。

(14) 趣味はあるか



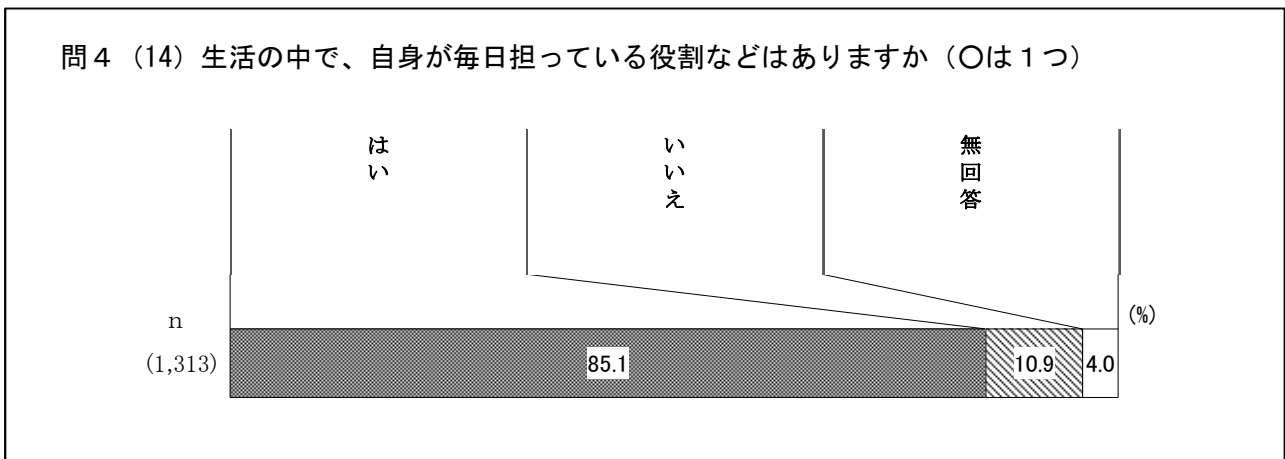
趣味はあるかをたずねたところ、「趣味あり」が75.0%を占めており、「思いつかない」は18.4%となっている。

(15) 生きがいはあるか



生きがいがあるかをたずねたところ、「生きがいあり」が61.5%を占めており、「思いつかない」は29.5%となっている。

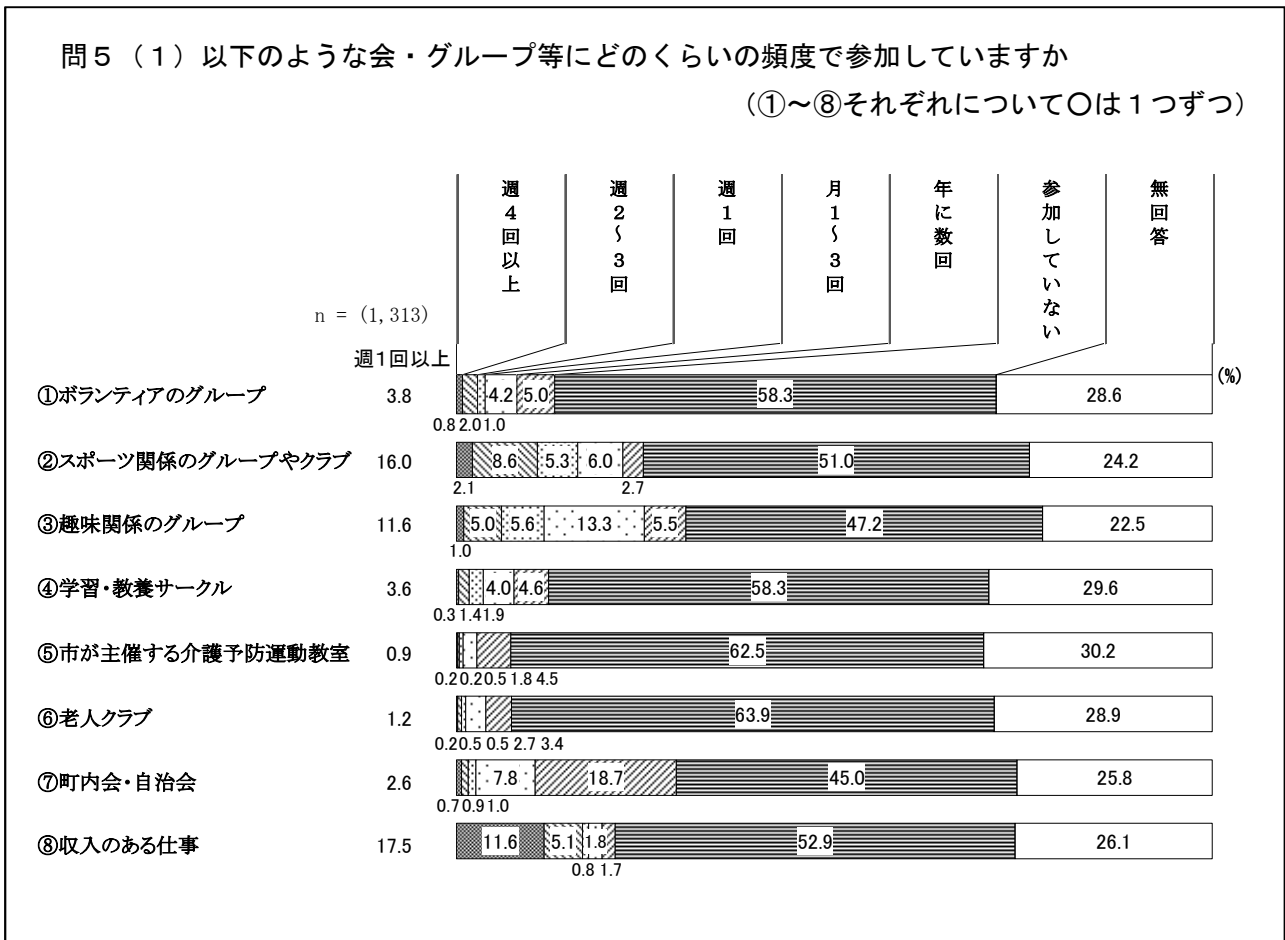
(16) 生活の中で、自身が毎日担っている役割などはあるか



生活の中で、自身が毎日担っている役割などがあるかをたずねたところ、「はい」が85.1%を占めており、「いいえ」は10.9%となっている。

6. 地域での活動について

(1) 地域活動への参加頻度



地域活動への参加頻度をたずねたところ、すべての項目で「参加していない」が最も多く、特に『⑤市が主催する介護予防運動教室』、『⑥老人クラブ』では60.0%以上となっている。

一方、「週4回以上」参加している活動は、『⑧収入のある仕事』で、11.6%となっている。

“週1回以上”の参加率をみると、『⑧収入のある仕事』(17.5%)、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(16.0%)、『③趣味関係のグループ』(11.6%)となっており、『⑤市が主催する介護予防運動教室』は0.9%で最も低くなっている。

<参考>

平成30年(2018年)時点 週1回以上の通いの場の参加率(%)

| 全国 | 宮城県 | 仙台市 | 多賀城市 | 塩竈市 |
|-----|-----|-----|------|-----|
| 2.2 | 1.9 | 1.6 | 0.4 | 2.4 |

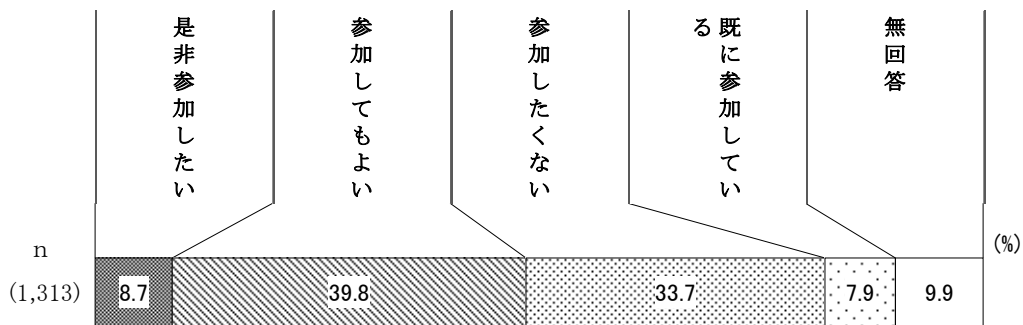
出典：地域包括ケア「見える化」システム(現状分析より)

厚生労働省「介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査」

および総務省「住民基本台帳」

(2) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○は1つ)



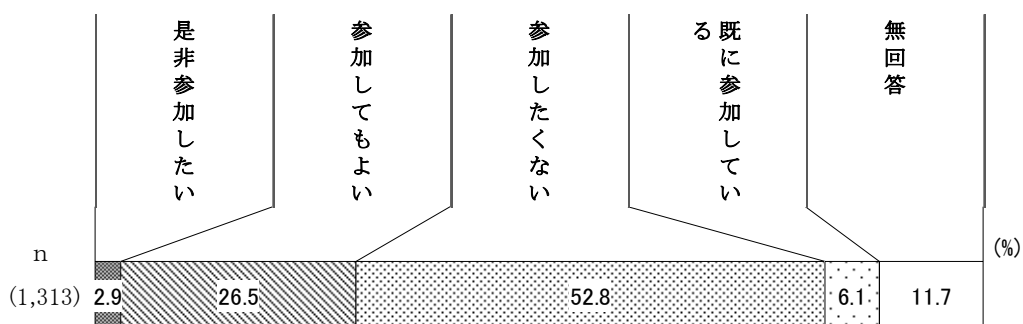
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向をたずねたところ、「参加してもよい」が39.8%と最も多く、「是非参加したい」(8.7%)を合わせた“参加したい”は48.5%となっている。

また、「既に参加している」は7.9%となっている。

一方、「参加したくない」は33.7%となっている。

(3) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営側としての参加意向

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (○は1つ)

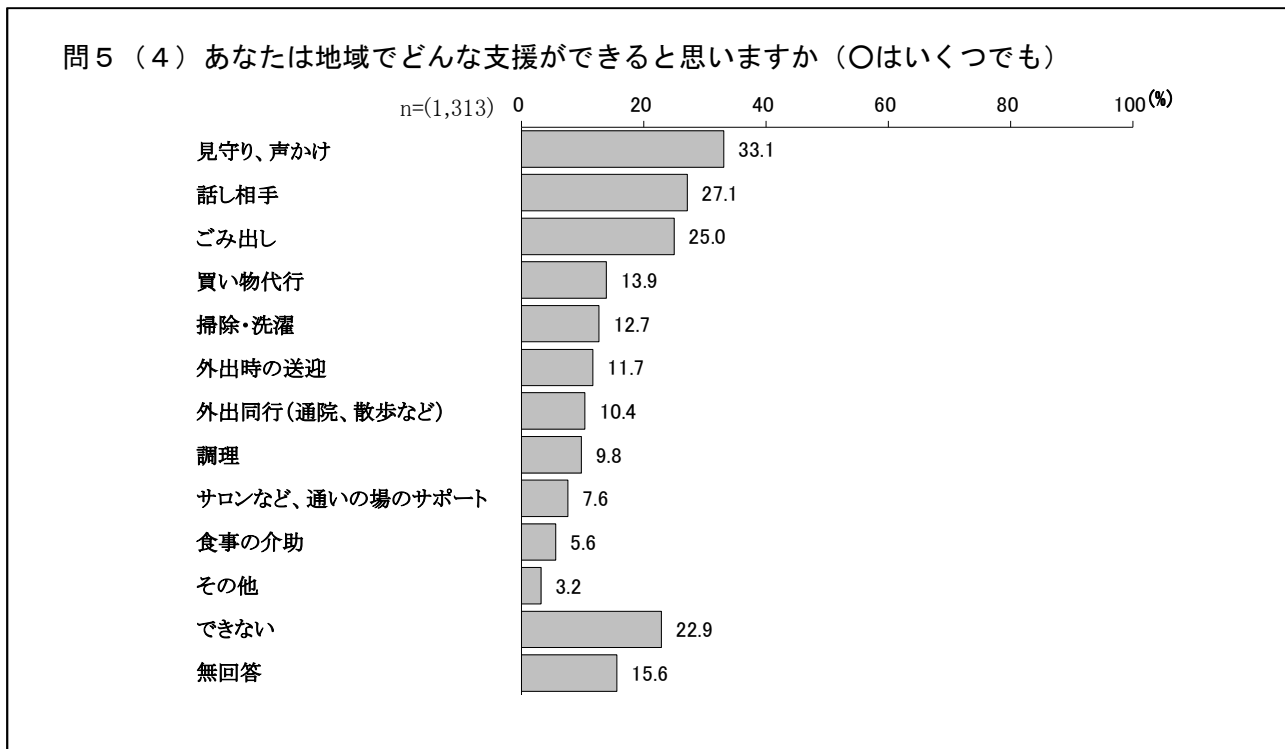


健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営側としての参加意向をたずねたところ、「是非参加したい」(2.9%)、「参加してもよい」(26.5%)を合わせた“参加したい”は29.4%となっている。

また、「既に参加している」は6.1%となっている。

一方、「参加したくない」は52.8%となっている。

(4) 自分が地域でできると思う支援活動



自分が地域でできると思う支援活動をたずねたところ、「見守り、声かけ」が 33.1%と最も多く、以下「話し相手」(27.1%)、「ごみ出し」(25.0%)、「買い物代行」(13.9%)、「掃除・洗濯」(12.7%)、「外出時の送迎」(11.7%) などとなっている。

一方、「できない」は 22.9%となっている。

性別にみると、男性が女性を大きく上回っている項目は「ごみ出し」、「外出時の送迎」であり、一方、女性が男性を上回っている項目は「話し相手」、「掃除・洗濯」、「調理」などとなっている。

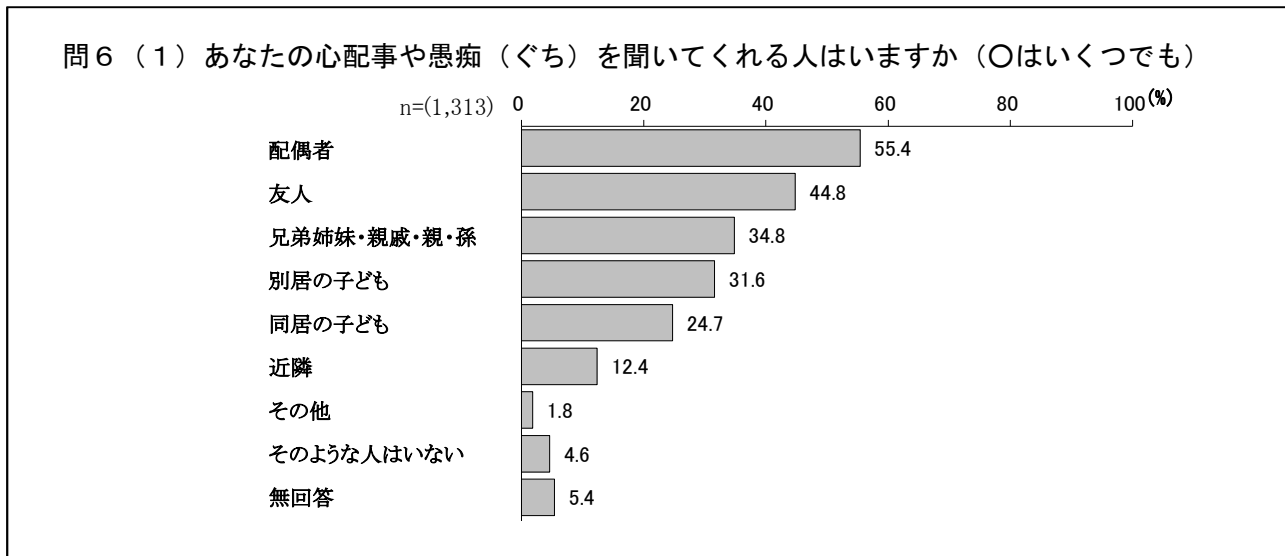
年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがってできると思う支援活動は減少し、「できない」が増加している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 見守り、声かけ | 話し相手 | ごみ出し | 買い物代行 | 掃除・洗濯 | 外出時の送迎 | 外出同行（通院、散歩など） | 調理 | のサロンなど、通いの場 | 食事の介助 | その他 | できない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------------|-------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | 1,313 100.0 | 435 33.1 | 356 27.1 | 328 25.0 | 183 13.9 | 167 12.7 | 154 11.7 | 137 10.4 | 129 9.8 | 100 7.6 | 74 5.6 | 42 3.2 | 301 22.9 | 205 15.6 |
| 性別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 213 34.7 | 123 20.0 | 182 29.6 | 87 14.2 | 52 8.5 | 120 19.5 | 72 11.7 | 27 4.4 | 38 6.2 | 7 1.1 | 21 3.4 | 145 23.6 | 84 13.7 |
| 女性 | 685 100.0 | 217 31.7 | 228 33.3 | 143 20.9 | 94 13.7 | 113 16.5 | 34 5.0 | 64 9.3 | 100 14.6 | 61 8.9 | 65 9.5 | 17 2.5 | 156 22.8 | 121 17.7 |
| 年齢 | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 153 41.0 | 108 29.0 | 103 27.6 | 76 20.4 | 53 14.2 | 69 18.5 | 53 14.2 | 39 10.5 | 39 10.5 | 21 5.6 | 15 4.0 | 65 17.4 | 42 11.3 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 118 32.8 | 90 25.0 | 96 26.7 | 45 12.5 | 45 12.5 | 41 11.4 | 30 8.3 | 37 10.3 | 33 9.2 | 22 6.1 | 7 1.9 | 75 20.8 | 65 18.1 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 103 34.7 | 80 26.9 | 85 28.6 | 43 14.5 | 43 14.5 | 30 10.1 | 31 10.4 | 38 12.8 | 15 5.1 | 21 7.1 | 10 3.4 | 60 20.2 | 52 17.5 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 35 20.3 | 49 28.5 | 27 15.7 | 11 6.4 | 12 7.0 | 11 6.4 | 17 9.9 | 7 4.1 | 9 5.2 | 6 3.5 | 5 2.9 | 61 35.5 | 27 15.7 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 18 23.1 | 18 23.1 | 11 14.1 | 5 6.4 | 9 11.5 | 3 3.8 | 4 5.1 | 5 6.4 | 3 3.8 | 2 2.6 | 1 1.3 | 33 42.3 | 16 20.5 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 3 16.7 | 6 33.3 | 3 16.7 | 1 5.6 | 3 16.7 | - | 1 5.6 | 1 5.6 | - | - | - | 6 33.3 | 3 16.7 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 100.0 | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 271 37.0 | 198 27.0 | 199 27.1 | 121 16.5 | 98 13.4 | 110 15.0 | 83 11.3 | 76 10.4 | 72 9.8 | 43 5.9 | 22 3.0 | 140 19.1 | 107 14.6 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 159 28.1 | 153 27.0 | 126 22.3 | 60 10.6 | 67 11.8 | 44 7.8 | 53 9.4 | 51 9.0 | 27 4.8 | 29 5.1 | 16 2.8 | 161 28.4 | 98 17.3 |

7. たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人



あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人をたずねたところ、「配偶者」が55.4%と最も多く、以下「友人」(44.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.8%)、「別居の子ども」(31.6%)、「同居の子ども」(24.7%)、「近隣」(12.4%)となっている。

一方、「そのような人はいない」は4.6%となっている。

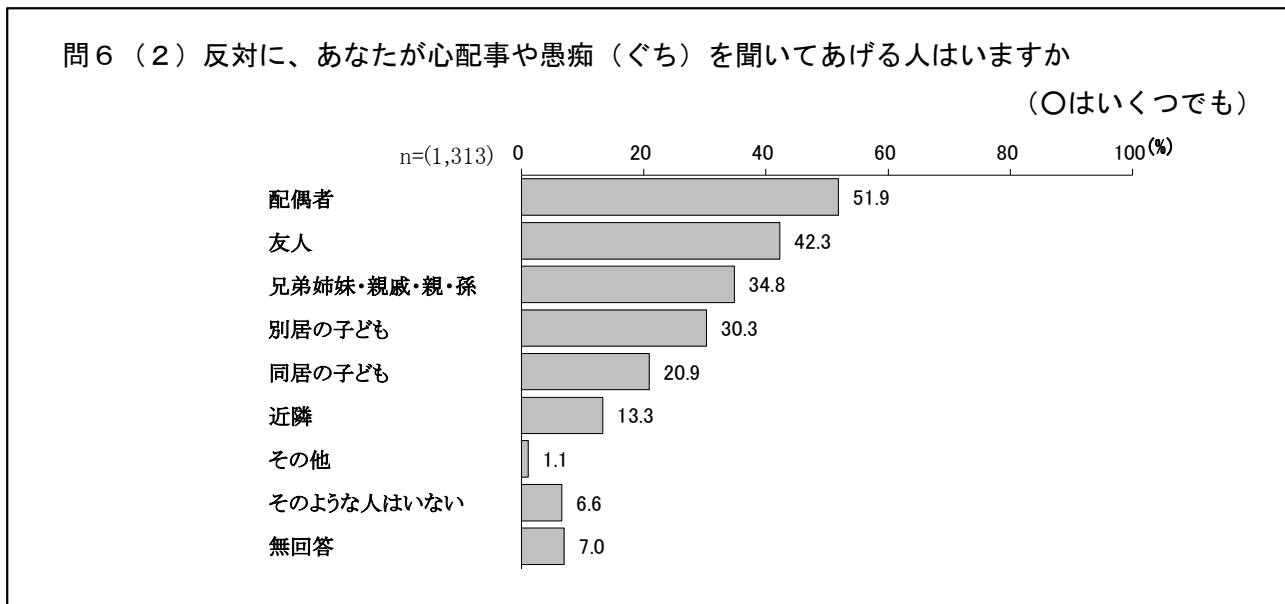
性別にみると、男性は「配偶者」が69.9%と最も多く、女性は「友人」が57.4%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「配偶者」、「別居の子ども」となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにしたがって「配偶者」、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が減少し、「同居の子ども」、「近隣」が増加している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 配偶者 | 友人 | 孫兄弟姉妹・親戚・親 | 別居の子ども | 同居の子ども | 近隣 | その他 | そのような人はいない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | |
| 全体 | 1,313 100.0 | 728 55.4 | 588 44.8 | 457 34.8 | 415 31.6 | 324 24.7 | 163 12.4 | 23 1.8 | 61 4.6 | 71 5.4 |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 429 69.9 | 188 30.6 | 160 26.1 | 155 25.2 | 128 20.8 | 52 8.5 | 9 1.5 | 40 6.5 | 33 5.4 |
| 女性 | 685 100.0 | 289 42.2 | 393 57.4 | 292 42.6 | 256 37.4 | 194 28.3 | 109 15.9 | 13 1.9 | 21 3.1 | 38 5.5 |
| 年齢 | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 238 63.8 | 182 48.8 | 139 37.3 | 127 34.0 | 96 25.7 | 33 8.8 | 4 1.1 | 12 3.2 | 18 4.8 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 194 53.9 | 171 47.5 | 132 36.7 | 102 28.3 | 78 21.7 | 43 11.9 | 8 2.2 | 17 4.7 | 23 6.4 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 171 57.6 | 128 43.1 | 100 33.7 | 97 32.7 | 76 25.6 | 42 14.1 | 4 1.3 | 17 5.7 | 15 5.1 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 78 45.3 | 67 39.0 | 53 30.8 | 49 28.5 | 45 26.2 | 25 14.5 | 3 1.7 | 11 6.4 | 10 5.8 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 35 44.9 | 28 35.9 | 23 29.5 | 26 33.3 | 19 24.4 | 16 20.5 | 3 3.8 | 4 5.1 | 2 2.6 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 2 11.1 | 5 27.8 | 4 22.2 | 10 55.6 | 8 44.4 | 1 5.6 | - | - | 3 16.7 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | 1 100.0 | - | - | 1 100.0 | - | - | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 432 58.9 | 353 48.2 | 271 37.0 | 229 31.2 | 174 23.7 | 76 10.4 | 12 1.6 | 29 4.0 | 41 5.6 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 286 50.5 | 228 40.3 | 181 32.0 | 182 32.2 | 148 26.1 | 85 15.0 | 10 1.8 | 32 5.7 | 30 5.3 |

(2) あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人



あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人をたずねたところ、「配偶者」が51.9%と最も多く、以下「友人」(42.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.8%)、「別居の子ども」(30.3%)、「同居の子ども」(20.9%)、「近隣」(13.3%)となっている。

一方、「そのような人はいない」は6.6%となっている。

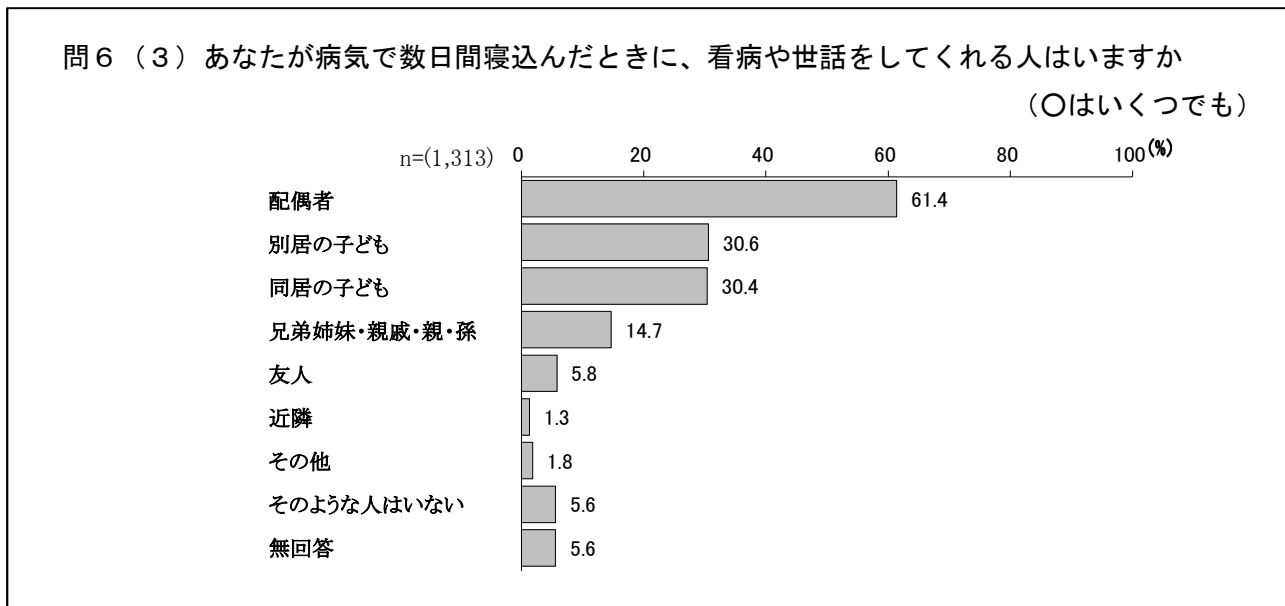
性別にみると、男性は「配偶者」が67.4%と最も多く、女性は「友人」が55.5%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「配偶者」、「別居の子ども」となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにしたがって「配偶者」、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が減少している。

【性別・年齢別】

| 上段：件数 下段：% | 調査数 | 配偶者 | 友人 | 孫兄弟姉妹・親戚・親 | 別居の子ども | 同居の子ども | 近隣 | その他 | そのような人はいない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|-----------|
| 全 体 | 1,313 100.0 | 681 51.9 | 556 42.3 | 457 34.8 | 398 30.3 | 275 20.9 | 175 13.3 | 15 1.1 | 87 6.6 | 92 7.0 |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 414 67.4 | 171 27.9 | 173 28.2 | 162 26.4 | 118 19.2 | 49 8.0 | 6 1.0 | 49 8.0 | 38 6.2 |
| 女性 | 685 100.0 | 259 37.8 | 380 55.5 | 277 40.4 | 231 33.7 | 156 22.8 | 124 18.1 | 8 1.2 | 38 5.5 | 54 7.9 |
| 年齢 | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 230 61.7 | 181 48.5 | 152 40.8 | 129 34.6 | 85 22.8 | 50 13.4 | 5 1.3 | 12 3.2 | 20 5.4 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 192 53.3 | 162 45.0 | 125 34.7 | 113 31.4 | 73 20.3 | 48 13.3 | 4 1.1 | 19 5.3 | 23 6.4 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 150 50.5 | 123 41.4 | 104 35.0 | 88 29.6 | 67 22.6 | 36 12.1 | 3 1.0 | 21 7.1 | 22 7.4 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 72 41.9 | 58 33.7 | 51 29.7 | 41 23.8 | 34 19.8 | 25 14.5 | 1 0.6 | 18 10.5 | 17 9.9 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 27 34.6 | 22 28.2 | 16 20.5 | 16 20.5 | 9 11.5 | 13 16.7 | 1 1.3 | 15 19.2 | 6 7.7 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 2 11.1 | 5 27.8 | 1 5.6 | 6 33.3 | 6 33.3 | 1 5.6 | - | 2 11.1 | 4 22.2 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 422 57.6 | 343 46.8 | 277 37.8 | 242 33.0 | 158 21.6 | 98 13.4 | 9 1.2 | 31 4.2 | 43 5.9 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 251 44.3 | 208 36.7 | 173 30.6 | 151 26.7 | 116 20.5 | 75 13.3 | 5 0.9 | 56 9.9 | 49 8.7 |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人をたずねたところ、「配偶者」が61.4%と最も多く、以下「別居の子ども」(30.6%)、「同居の子ども」(30.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(14.7%)、「友人」(5.8%)、「近隣」(1.3%)となっている。

一方、「そのような人はいない」は5.6%となっている。

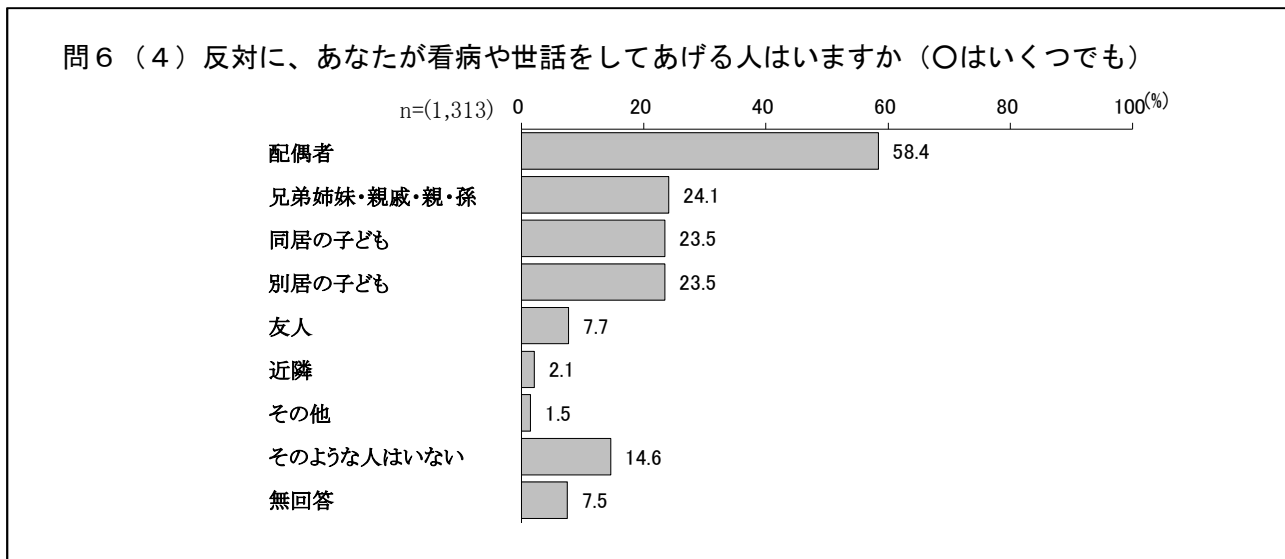
性別にみると、「配偶者」（男性：76.2%、女性：47.9%）が最も多く、女性は次いで「別居の子ども」、「同居の子ども」となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにしたがって「配偶者」が減少し、「別居の子ども」、「同居の子ども」が増加している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 配偶者 | 別居の子ども | 同居の子ども | 孫兄弟姉妹・親戚・親・ | 友人 | 近隣 | その他 | そのような人はいない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 1,313 100.0 | 806 61.4 | 402 30.6 | 399 30.4 | 193 14.7 | 76 5.8 | 17 1.3 | 24 1.8 | 74 5.6 | 74 5.6 |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 468 76.2 | 151 24.6 | 154 25.1 | 66 10.7 | 20 3.3 | 7 1.1 | 6 1.0 | 38 6.2 | 32 5.2 |
| 女性 | 685 100.0 | 328 47.9 | 248 36.2 | 241 35.2 | 126 18.4 | 56 8.2 | 10 1.5 | 18 2.6 | 34 5.0 | 42 6.1 |
| 年齢 | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 268 71.8 | 113 30.3 | 112 30.0 | 69 18.5 | 25 6.7 | 1 0.3 | 3 0.8 | 16 4.3 | 19 5.1 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 223 61.9 | 104 28.9 | 102 28.3 | 42 11.7 | 23 6.4 | 9 2.5 | 5 1.4 | 23 6.4 | 22 6.1 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 179 60.3 | 99 33.3 | 91 30.6 | 41 13.8 | 17 5.7 | 1 0.3 | 8 2.7 | 18 6.1 | 18 6.1 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 89 51.7 | 49 28.5 | 57 33.1 | 26 15.1 | 7 4.1 | 3 1.7 | 4 2.3 | 10 5.8 | 10 5.8 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 35 44.9 | 27 34.6 | 22 28.2 | 13 16.7 | 4 5.1 | 3 3.8 | 2 2.6 | 5 6.4 | 4 5.1 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 2 11.1 | 7 38.9 | 11 61.1 | 1 5.6 | - | - | 1 5.6 | - | 1 5.6 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | 1 100.0 | - | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 491 67.0 | 217 29.6 | 214 29.2 | 111 15.1 | 48 6.5 | 10 1.4 | 8 1.1 | 39 5.3 | 41 5.6 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 305 53.9 | 182 32.2 | 181 32.0 | 81 14.3 | 28 4.9 | 7 1.2 | 16 2.8 | 33 5.8 | 33 5.8 |

(4) あなたが看病や世話をしあける人



あなたが看病や世話をしあける人をたずねたところ、「配偶者」が 58.4%と最も多く、以下「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.1%)、「同居の子ども」「別居の子ども」(ともに 23.5%)、「友人」(7.7%)、「近隣」(2.1%) となっている。

一方、「そのような人はいない」は 14.6%となっている。

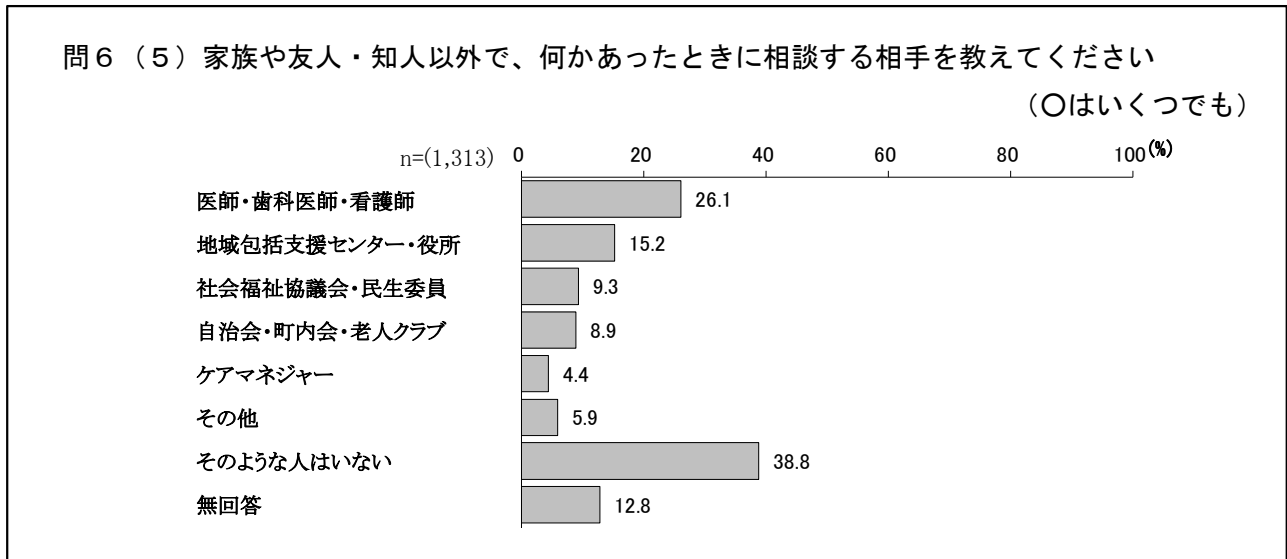
性別にみると、「配偶者」（男性：69.5%、女性：48.3%）が最も多く、女性は次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」、「同居の子ども」となっている。

年齢別にみると、80代までは年齢が上がるにしたがって「そのような人はいない」が増加している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 配偶者 | 孫兄弟姉妹・親戚・親・ | 同居の子ども | 別居の子ども | 友人 | 近隣 | その他 | そのような人はいない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 1,313 100.0 | 767 58.4 | 317 24.1 | 308 23.5 | 308 23.5 | 101 7.7 | 27 2.1 | 20 1.5 | 192 14.6 | 98 7.5 |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 427 69.5 | 103 16.8 | 122 19.9 | 110 17.9 | 30 4.9 | 9 1.5 | 6 1.0 | 87 14.2 | 37 6.0 |
| 女性 | 685 100.0 | 331 48.3 | 211 30.8 | 185 27.0 | 195 28.5 | 70 10.2 | 18 2.6 | 13 1.9 | 102 14.9 | 61 8.9 |
| 年齢 | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 250 67.0 | 131 35.1 | 101 27.1 | 113 30.3 | 31 8.3 | 7 1.9 | 4 1.1 | 35 9.4 | 22 5.9 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 213 59.2 | 83 23.1 | 84 23.3 | 79 21.9 | 28 7.8 | 10 2.8 | 7 1.9 | 47 13.1 | 27 7.5 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 180 60.6 | 56 18.9 | 64 21.5 | 70 23.6 | 27 9.1 | 6 2.0 | 5 1.7 | 49 16.5 | 23 7.7 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 80 46.5 | 32 18.6 | 36 20.9 | 27 15.7 | 11 6.4 | 2 1.2 | - | 37 21.5 | 16 9.3 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 31 39.7 | 10 12.8 | 13 16.7 | 11 14.1 | 3 3.8 | 2 2.6 | 3 3.8 | 19 24.4 | 7 9.0 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 4 22.2 | 2 11.1 | 9 50.0 | 5 27.8 | - | - | - | 1 5.6 | 3 16.7 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | 1 100.0 | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 463 63.2 | 214 29.2 | 185 25.2 | 192 26.2 | 59 8.0 | 17 2.3 | 11 1.5 | 82 11.2 | 49 6.7 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 295 52.1 | 100 17.7 | 122 21.6 | 113 20.0 | 41 7.2 | 10 1.8 | 8 1.4 | 107 18.9 | 49 8.7 |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手



家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手をたずねたところ、「医師・歯科医師・看護師」が26.1%と最も多く、以下「地域包括支援センター・役所」(15.2%)、「社会福祉協議会・民生委員」(9.3%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(8.9%)、「ケアマネジャー」(4.4%)となっている。

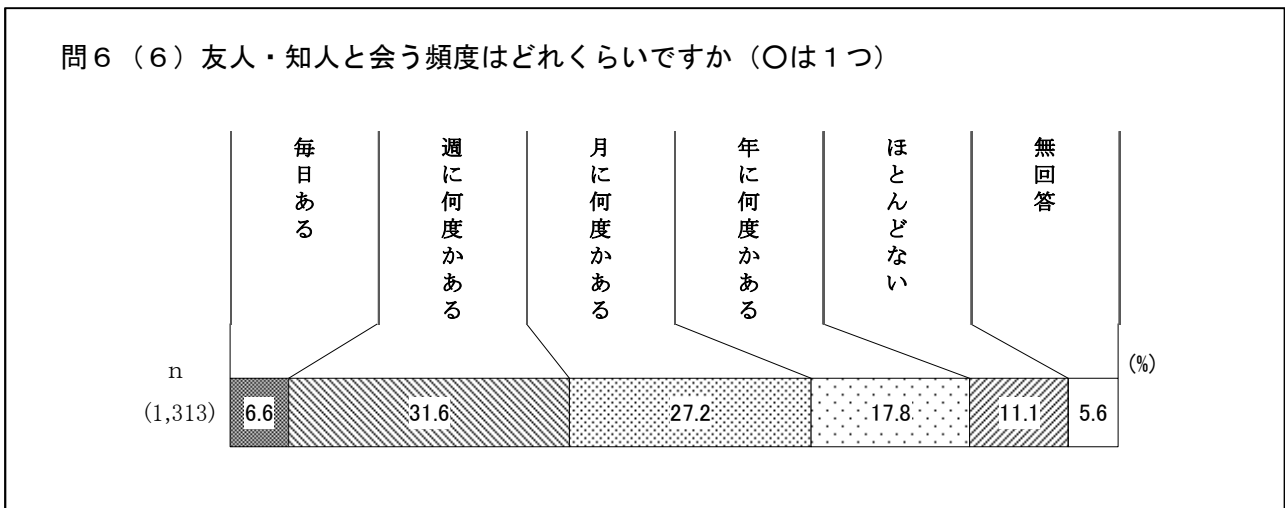
一方、「そのような人はいない」は38.8%となっている。

性別にみると、「医師・歯科医師・看護師」（男性：26.1%、女性：25.7%）が最も多くなっている。

【性別・年齢別】

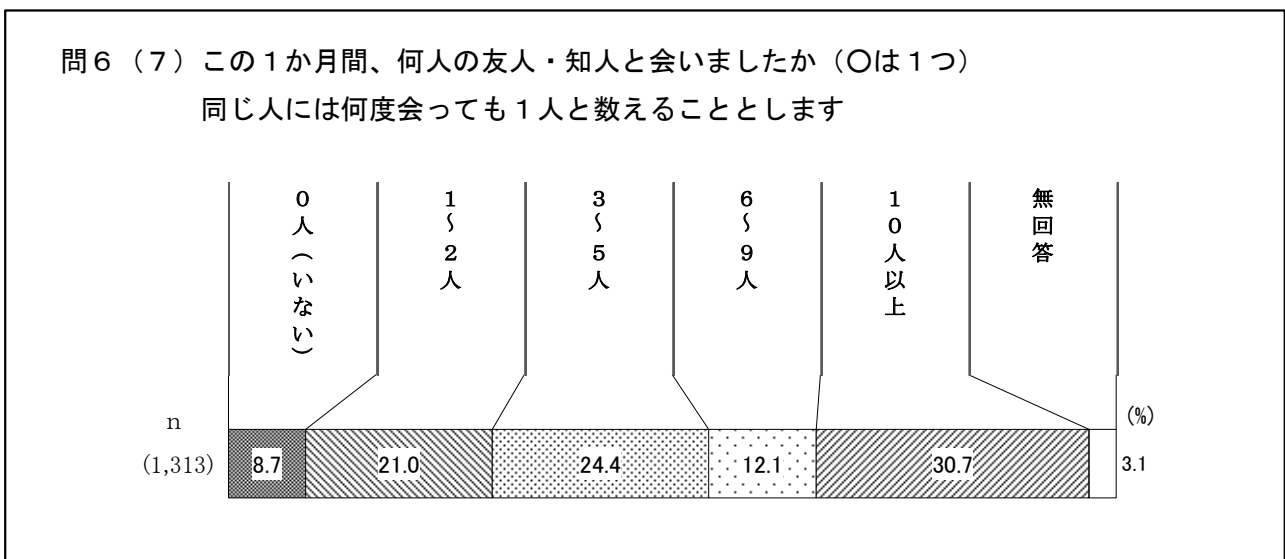
| | 調査数 | 医師・ 歯科医師・ 看護師 | 地域・ 包括 支援セン ター | 社会 福祉 協議会・ 民生 委員 | 自治 会・ 町内 会・ 老人 クラブ | ケア マネ ジャー | その他 | その よう な人 はい ない | 無 回 答 |
|---------------|----------------|---------------------|-------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-----------------|-----------|----------------------------|-------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | |
| 全 体 | 1,313 100.0 | 343 26.1 | 200 15.2 | 122 9.3 | 117 8.9 | 58 4.4 | 78 5.9 | 509 38.8 | 168 12.8 |
| 性別 | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 160 26.1 | 79 12.9 | 58 9.4 | 69 11.2 | 22 3.6 | 41 6.7 | 260 42.3 | 59 9.6 |
| 女性 | 685 100.0 | 176 25.7 | 116 16.9 | 62 9.1 | 48 7.0 | 36 5.3 | 36 5.3 | 245 35.8 | 109 15.9 |
| 年齢 | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 85 22.8 | 47 12.6 | 22 5.9 | 27 7.2 | 19 5.1 | 27 7.2 | 172 46.1 | 40 10.7 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 90 25.0 | 46 12.8 | 29 8.1 | 23 6.4 | 12 3.3 | 25 6.9 | 156 43.3 | 44 12.2 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 81 27.3 | 45 15.2 | 33 11.1 | 28 9.4 | 10 3.4 | 11 3.7 | 99 33.3 | 49 16.5 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 51 29.7 | 31 18.0 | 23 13.4 | 26 15.1 | 12 7.0 | 7 4.1 | 52 30.2 | 23 13.4 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 21 26.9 | 19 24.4 | 9 11.5 | 10 12.8 | 3 3.8 | 6 7.7 | 24 30.8 | 9 11.5 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 8 44.4 | 7 38.9 | 4 22.2 | 3 16.7 | 2 11.1 | 1 5.6 | 1 5.6 | 3 16.7 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | 1 100.0 | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 175 23.9 | 93 12.7 | 51 7.0 | 50 6.8 | 31 4.2 | 52 7.1 | 328 44.7 | 84 11.5 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 161 28.4 | 102 18.0 | 69 12.2 | 67 11.8 | 27 4.8 | 25 4.4 | 177 31.3 | 84 14.8 |

(6) 友人・知人と会う頻度



友人・知人と会う頻度をたずねたところ、「週に何度かある」が31.6%と最も多く、以下「月に何度かある」(27.2%)、「年に何度かある」(17.8%)、「毎日ある」(6.6%)となっている。一方、「ほとんどない」は11.1%となっている。

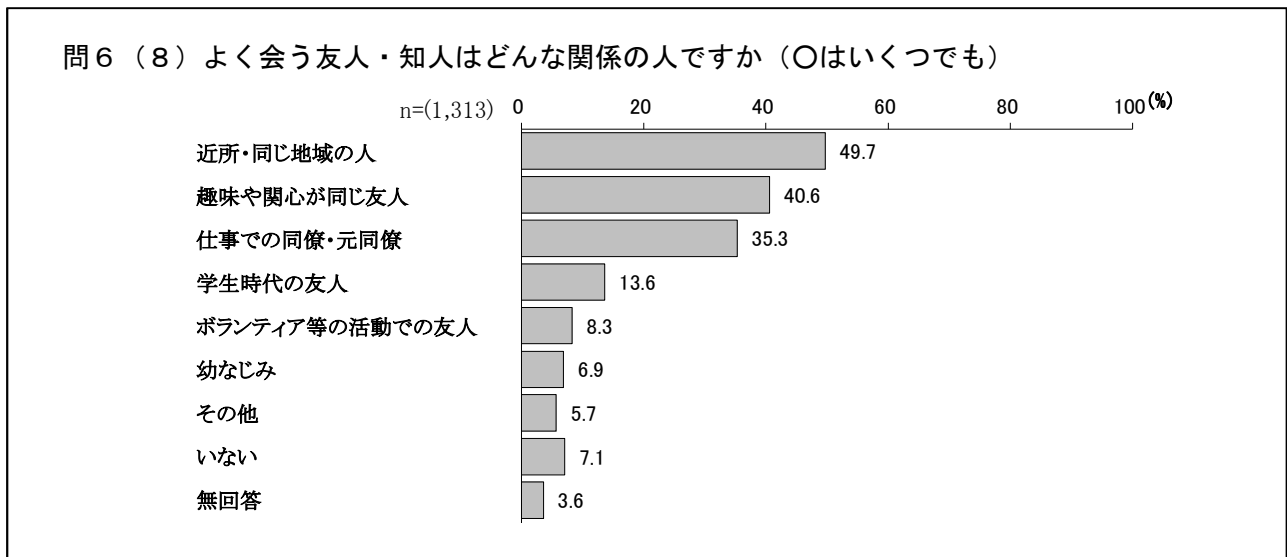
(7) この1か月間に会った友人・知人の人数



この1か月間に会った友人・知人の人数をたずねたところ、「10人以上」が30.7%と最も多く、以下「3~5人」(24.4%)、「1~2人」(21.0%)、「6~9人」(12.1%)となっている。

一方、「0人(いない)」は8.7%となっている。

(8) よく会う友人・知人との関係性



よく会う友人・知人との関係性についてたずねたところ、「近所・同じ地域の人」が 49.7% と最も多く、以下「趣味や関心が同じ友人」(40.6%)、「仕事での同僚・元同僚」(35.3%)、「学生時代の友人」(13.6%)、「ボランティア等の活動での友人」(8.3%)、「幼なじみ」(6.9%) となっている。

一方、「いない」は 7.1% となっている。

性別にみると、「近所・同じ地域の人」(男性：41.9%、女性：56.8%)が最も多く、男性は同率で「仕事での同僚・元同僚」が並んでいる。

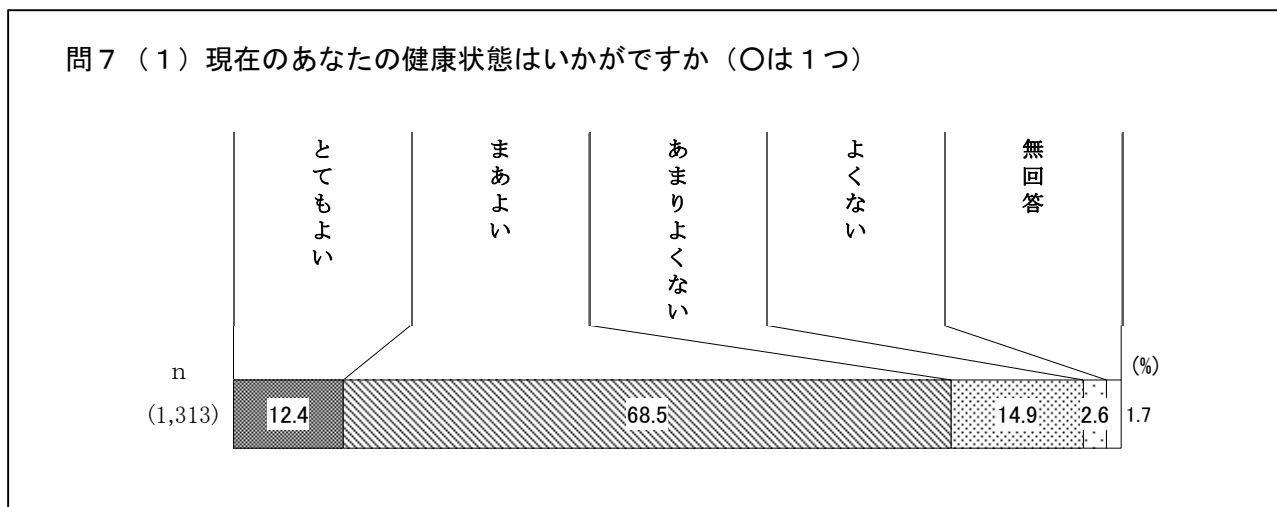
年齢別にみると、年齢が上がるにしたがって「近所・同じ地域の人」が増加し、「仕事での同僚・元同僚」が減少している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 近所・同じ地域の人 | 趣味や関心が同じ友人 | 仕事での同僚・元同僚 | 学生時代の友人 | ボランティア等の活動 | 幼なじみ | その他 | いない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 1,313 100.0 | 653 49.7 | 533 40.6 | 463 35.3 | 178 13.6 | 109 8.3 | 91 6.9 | 75 5.7 | 93 7.1 | 47 3.6 |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 257 41.9 | 224 36.5 | 257 41.9 | 67 10.9 | 47 7.7 | 32 5.2 | 31 5.0 | 59 9.6 | 22 3.6 |
| 女性 | 685 100.0 | 389 56.8 | 303 44.2 | 200 29.2 | 110 16.1 | 60 8.8 | 59 8.6 | 43 6.3 | 34 5.0 | 25 3.6 |
| 年齢 | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 148 39.7 | 134 35.9 | 173 46.4 | 69 18.5 | 29 7.8 | 33 8.8 | 21 5.6 | 31 8.3 | 10 2.7 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 162 45.0 | 164 45.6 | 151 41.9 | 50 13.9 | 31 8.6 | 21 5.8 | 19 5.3 | 20 5.6 | 9 2.5 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 171 57.6 | 134 45.1 | 73 24.6 | 35 11.8 | 30 10.1 | 21 7.1 | 18 6.1 | 18 6.1 | 10 3.4 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 100 58.1 | 63 36.6 | 43 25.0 | 17 9.9 | 15 8.7 | 10 5.8 | 5 2.9 | 12 7.0 | 13 7.6 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 52 66.7 | 23 29.5 | 13 16.7 | 5 6.4 | 1 1.3 | 6 7.7 | 9 11.5 | 11 14.1 | 4 5.1 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 12 66.7 | 9 50.0 | 4 22.2 | 1 5.6 | 1 5.6 | - | 2 11.1 | 1 5.6 | 1 5.6 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 年齢(2区分) | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 310 42.3 | 298 40.7 | 324 44.2 | 119 16.2 | 60 8.2 | 54 7.4 | 40 5.5 | 51 7.0 | 19 2.6 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 336 59.4 | 229 40.5 | 133 23.5 | 58 10.2 | 47 8.3 | 37 6.5 | 34 6.0 | 42 7.4 | 28 4.9 |

8. 健康について

(1) 現在の健康状態



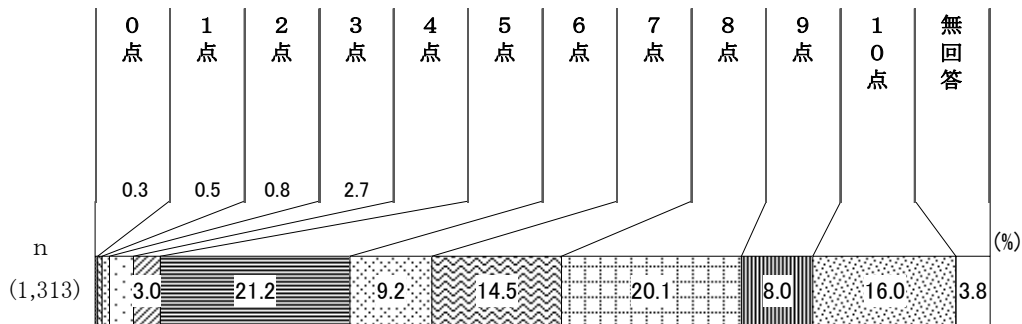
現在の健康状態をたずねたところ、「まあよい」が68.5%と最も多く、「とてもよい」(12.4%)を合わせた“よい”は80.9%となっている。

一方、「あまりよくない」(14.9%)、「よくない」(2.6%)を合わせた“よくない”は17.5%となっている。

(2) 現在の幸福度

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



平均点 : 7.04 点

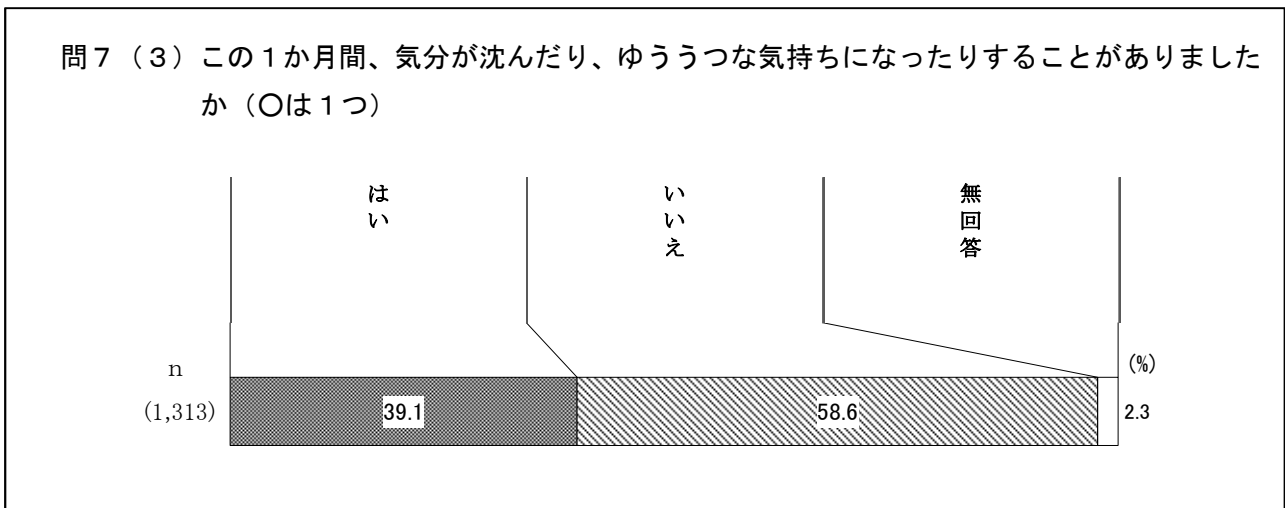
| | 調査数 | 平均 | 標準偏差 | 最小値 | 最大値 |
|----------------------|----------------|---------------|------|-----|-----|
| 上段 : 件数 下段 : % | | | | | |
| 全 体 | 1,263 100.0 | 8,892 7.04 | 2.07 | 0 | 10 |
| 介護予防・日常生活支援総合事業対象者区分 | | | | | |
| 一般高齢者 | 883 69.9 | 6,393 7.24 | 1.99 | 0 | 10 |
| 総合事業対象者 | 318 25.2 | 2,063 6.49 | 2.18 | 0 | 10 |

現在の幸福度をたずねたところ、「5点」が21.2%と最も多く、以下「8点」(20.1%)、「10点」(16.0%)、「7点」(14.5%)となっており、「7点以上」は58.6%となっている。

高齢者の現在の幸福度の平均点は、7.04点となっている。

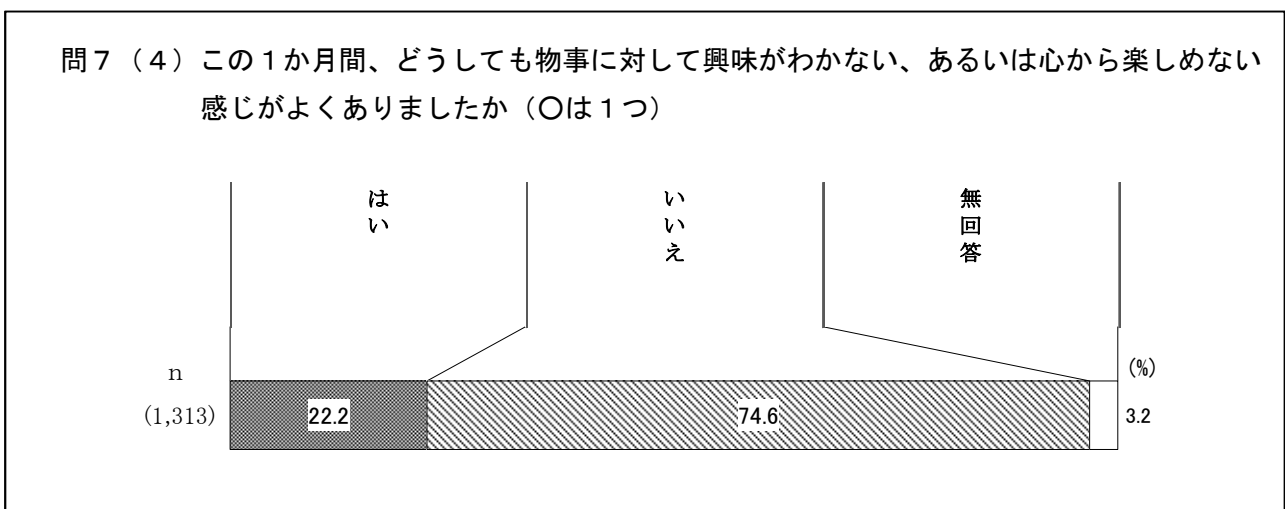
介護予防・日常生活支援総合事業対象者(後述する基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方)別にみると、元気な一般高齢者は7.24点であるが、総合事業対象者は6.49点と低くなっている。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか



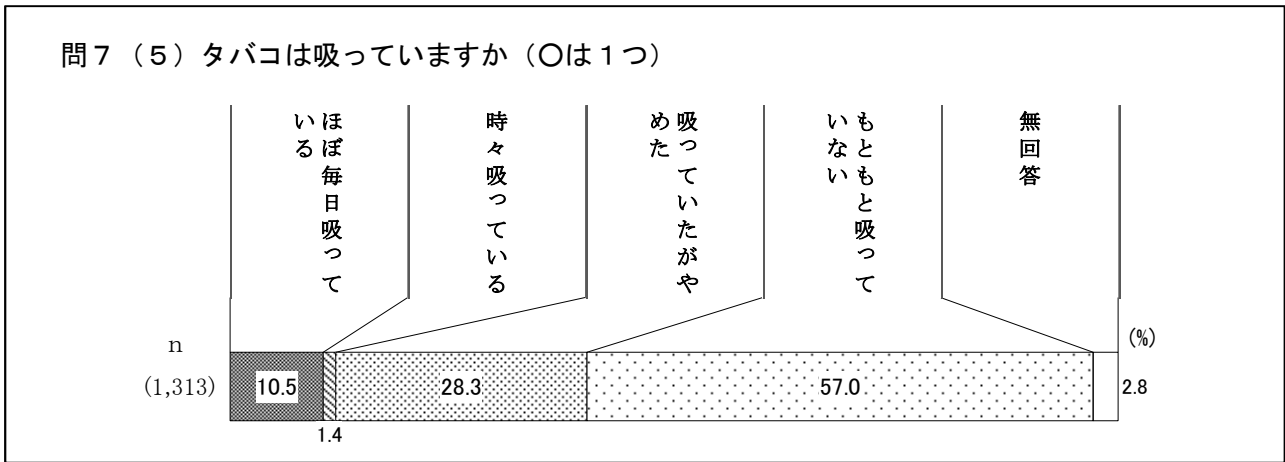
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったかをたずねたところ、「いいえ」が58.6%を占めており、「はい」は39.1%となっている。

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない等の感じがあったか



この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない等の感じがあったかをたずねたところ、「いいえ」が74.6%を占めており、「はい」は22.2%となっている。

(5) 喫煙状況



喫煙状況をたずねたところ、「もともと吸っていない」が57.0%と最も多く、「吸っていたがやめた」(28.3%)を合わせた“吸っていない”は85.3%となっている。

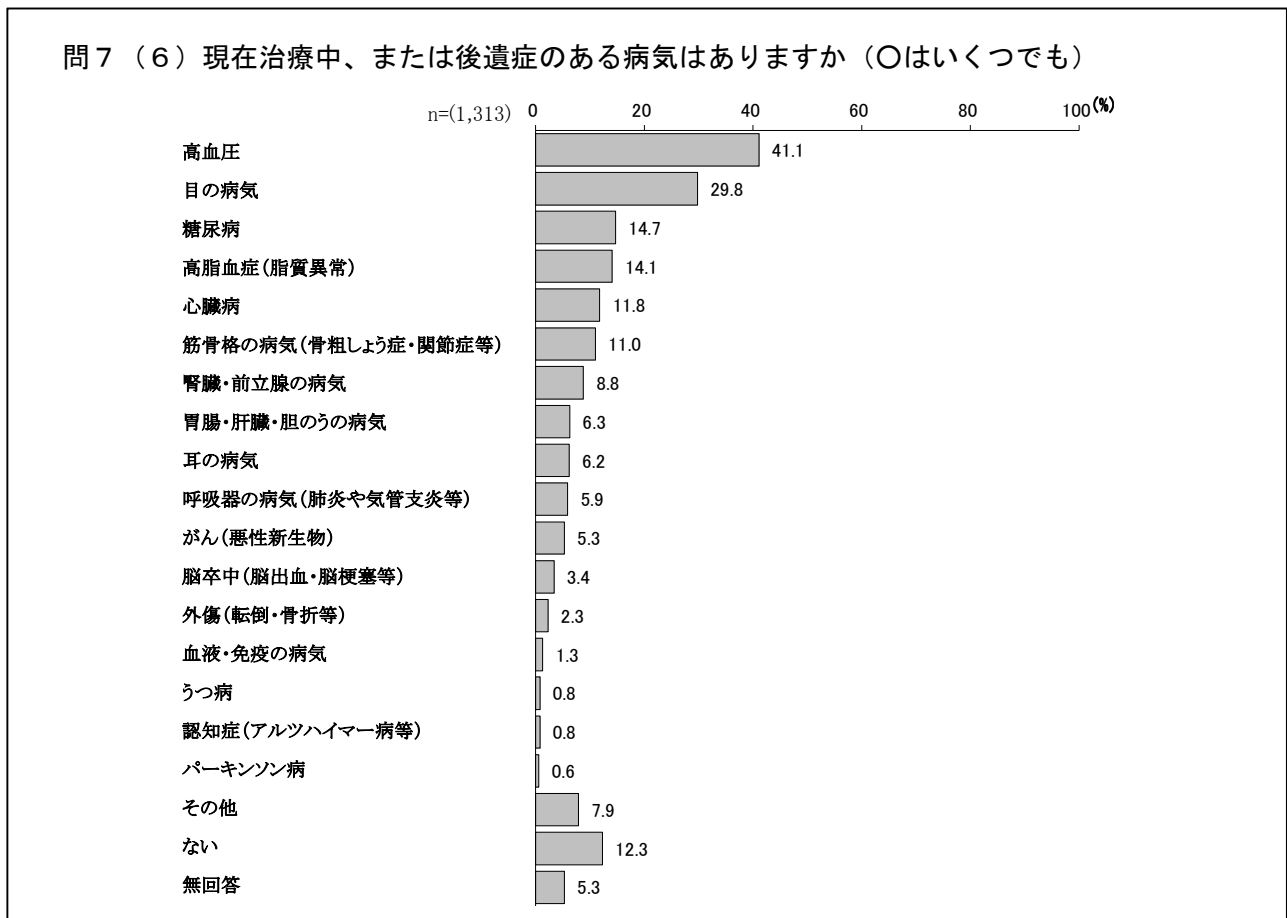
一方、「ほぼ毎日吸っている」(10.5%)、「時々吸っている」(1.4%)を合わせた“吸っている”は11.9%となっている。

性別にみると、“吸っている”は男性が21.5%と女性を18ポイント上回り、年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって減少している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | ほぼ毎日吸っている | 時々吸っている | 吸っていたがやめた | もともと吸っていない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | |
| 全体 | 1,313 100.0 | 138 10.5 | 18 1.4 | 371 28.3 | 749 57.0 | 37 2.8 |
| 性別 | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 119 19.4 | 13 2.1 | 323 52.6 | 146 23.8 | 13 2.1 |
| 女性 | 685 100.0 | 19 2.8 | 5 0.7 | 42 6.1 | 595 86.9 | 24 3.5 |
| 年齢 | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 57 15.3 | 6 1.6 | 108 29.0 | 196 52.5 | 6 1.6 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 43 11.9 | 9 2.5 | 95 26.4 | 207 57.5 | 6 1.7 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 27 9.1 | 3 1.0 | 87 29.3 | 170 57.2 | 10 3.4 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 8 4.7 | - | 51 29.7 | 104 60.5 | 9 5.2 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 2 2.6 | - | 19 24.4 | 52 66.7 | 5 6.4 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 1 5.6 | - | 4 22.2 | 12 66.7 | 1 5.6 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | 1 100.0 | - | - |
| 年齢(2区分) | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 100 13.6 | 15 2.0 | 203 27.7 | 403 55.0 | 12 1.6 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 38 6.7 | 3 0.5 | 162 28.6 | 338 59.7 | 25 4.4 |

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気



現在治療中、または後遺症のある病気をたずねたところ、「高血圧」が 41.1%と最も多く、以下「目の病気」(29.8%)、「糖尿病」(14.7%)、「高脂血症(脂質異常)」(14.1%)、「心臓病」(11.8%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(11.0%) などとなっている。一方、「ない」は 12.3%となっている。

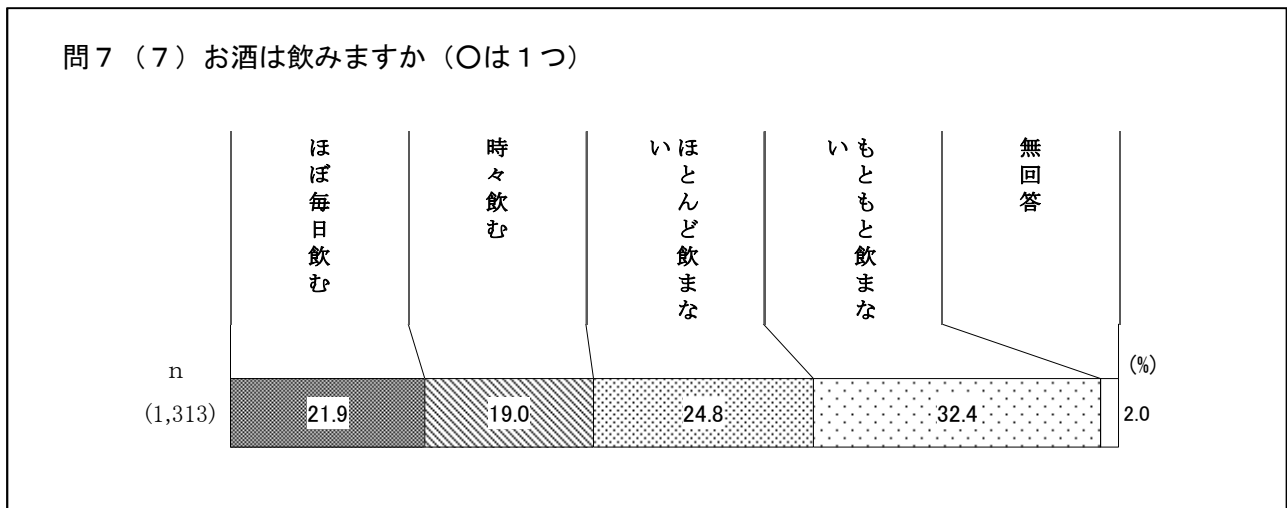
性別にみると、男性は「高血圧」、「糖尿病」、「心臓病」などで女性を上回っており、女性は「目の病気」、「高脂血症（脂質異常）」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」で男性を上回っている。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって治療中、または後遺症のある病気は増加しているが、「高脂血症（脂質異常）」は減少している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 高血圧 | 目の病気 | 糖尿病 | 高脂血症（脂質異常） | 心臓病 | し筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等） | 腎臓・前立腺の病気 | 病気 胃腸・肝臓・胆のうの | 耳の病気 | 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | がん（悪性新生物） | 塞脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 外傷（転倒・骨折等） | 血液・免疫の病気 | うつ病 | マ認知症（アルツハイマー病等） | パーキンソン病 | その他 | ない | 無回答 |
|---------|-------|------|-------|------|------------|------|----------------------|-----------|------------------|-------|------------------|-----------|----------------|------------|----------|-----|-----------------|---------|------|------|-----|
| 全 体 | 1,313 | 540 | 391 | 193 | 185 | 155 | 145 | 115 | 83 | 82 | 78 | 70 | 45 | 30 | 17 | 11 | 11 | 8 | 104 | 161 | 70 |
| | 100.0 | 41.1 | 29.8 | 14.7 | 14.1 | 11.8 | 11.0 | 8.8 | 6.3 | 6.2 | 5.9 | 5.3 | 3.4 | 2.3 | 1.3 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 7.9 | 12.3 | 5.3 |
| 性別 | 614 | 264 | 162 | 115 | 64 | 91 | 21 | 110 | 46 | 40 | 47 | 38 | 31 | 11 | 11 | - | 5 | 2 | 41 | 73 | 31 |
| 男性 | 100.0 | 43.0 | 26.4 | 18.7 | 10.4 | 14.8 | 3.4 | 17.9 | 7.5 | 6.5 | 7.7 | 6.2 | 5.0 | 1.8 | 1.8 | - | 0.8 | 0.3 | 6.7 | 11.9 | 5.0 |
| 女性 | 685 | 268 | 225 | 76 | 117 | 62 | 119 | 5 | 36 | 42 | 30 | 32 | 13 | 19 | 6 | 11 | 6 | 6 | 62 | 86 | 39 |
| | 100.0 | 39.1 | 32.8 | 11.1 | 17.1 | 9.1 | 17.4 | 0.7 | 5.3 | 6.1 | 4.4 | 4.7 | 1.9 | 2.8 | 0.9 | 1.6 | 0.9 | 0.9 | 9.1 | 12.6 | 5.7 |
| 年齢 | 373 | 142 | 79 | 49 | 64 | 37 | 24 | 16 | 18 | 9 | 16 | 23 | 7 | 3 | 7 | 2 | 1 | 1 | 32 | 61 | 26 |
| 65～69歳 | 100.0 | 38.1 | 21.2 | 13.1 | 17.2 | 9.9 | 6.4 | 4.3 | 4.8 | 2.4 | 4.3 | 6.2 | 1.9 | 0.8 | 1.9 | 0.5 | 0.3 | 0.3 | 8.6 | 16.4 | 7.0 |
| 70～74歳 | 360 | 136 | 98 | 50 | 59 | 38 | 40 | 33 | 19 | 26 | 17 | 21 | 13 | 5 | 4 | 3 | 1 | 1 | 26 | 55 | 19 |
| | 100.0 | 37.8 | 27.2 | 13.9 | 16.4 | 10.6 | 11.1 | 9.2 | 5.3 | 7.2 | 4.7 | 5.8 | 3.6 | 1.4 | 1.1 | 0.8 | 0.3 | 0.3 | 7.2 | 15.3 | 5.3 |
| 75～79歳 | 297 | 126 | 106 | 50 | 35 | 39 | 38 | 38 | 21 | 19 | 30 | 15 | 11 | 10 | 3 | 6 | 3 | 3 | 20 | 23 | 14 |
| | 100.0 | 42.4 | 35.7 | 16.8 | 11.8 | 13.1 | 12.8 | 12.8 | 7.1 | 6.4 | 10.1 | 5.1 | 3.7 | 3.4 | 1.0 | 2.0 | 1.0 | 1.0 | 6.7 | 7.7 | 4.7 |
| 80～84歳 | 172 | 85 | 62 | 29 | 19 | 28 | 27 | 13 | 15 | 10 | 11 | 6 | 5 | 9 | 3 | - | 3 | 2 | 20 | 16 | 8 |
| | 100.0 | 49.4 | 36.0 | 16.9 | 11.0 | 16.3 | 15.7 | 7.6 | 8.7 | 5.8 | 6.4 | 3.5 | 2.9 | 5.2 | 1.7 | - | 1.7 | 1.2 | 11.6 | 9.3 | 4.7 |
| 85～89歳 | 78 | 37 | 33 | 12 | 4 | 8 | 8 | 13 | 8 | 15 | 2 | 2 | 7 | 1 | - | - | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 |
| | 100.0 | 47.4 | 42.3 | 15.4 | 5.1 | 10.3 | 10.3 | 16.7 | 10.3 | 19.2 | 2.6 | 2.6 | 9.0 | 1.3 | - | - | 2.6 | 1.3 | 6.4 | 5.1 | 3.8 |
| 90～94歳 | 18 | 6 | 8 | 1 | - | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | - | - | 1 | - | - | - | - |
| | 100.0 | 33.3 | 44.4 | 5.6 | - | 16.7 | 16.7 | 11.1 | 5.6 | 11.1 | 5.6 | 16.7 | 5.6 | 11.1 | - | - | 5.6 | - | - | - | - |
| 95～99歳 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 100.0 | - | 100.0 | - | - | - | - | - | - | 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 年齢（2区分） | 733 | 278 | 177 | 99 | 123 | 75 | 64 | 49 | 37 | 35 | 33 | 44 | 20 | 8 | 11 | 5 | 2 | 2 | 58 | 116 | 45 |
| 65～74歳 | 100.0 | 37.9 | 24.1 | 13.5 | 16.8 | 10.2 | 8.7 | 6.7 | 5.0 | 4.8 | 4.5 | 6.0 | 2.7 | 1.1 | 1.5 | 0.7 | 0.3 | 0.3 | 7.9 | 15.8 | 6.1 |
| 75歳以上 | 566 | 254 | 210 | 92 | 58 | 78 | 76 | 66 | 45 | 47 | 44 | 26 | 24 | 22 | 6 | 6 | 9 | 6 | 45 | 43 | 25 |
| | 100.0 | 44.9 | 37.1 | 16.3 | 10.2 | 13.8 | 13.4 | 11.7 | 8.0 | 8.3 | 7.8 | 4.6 | 4.2 | 3.9 | 1.1 | 1.1 | 1.6 | 1.1 | 8.0 | 7.6 | 4.4 |

(7) 飲酒状況



飲酒状況をたずねたところ、「もともと飲まない」が32.4%と最も多く、「ほとんど飲まない」(24.8%)を合わせた“飲まない”は57.2%となっている。

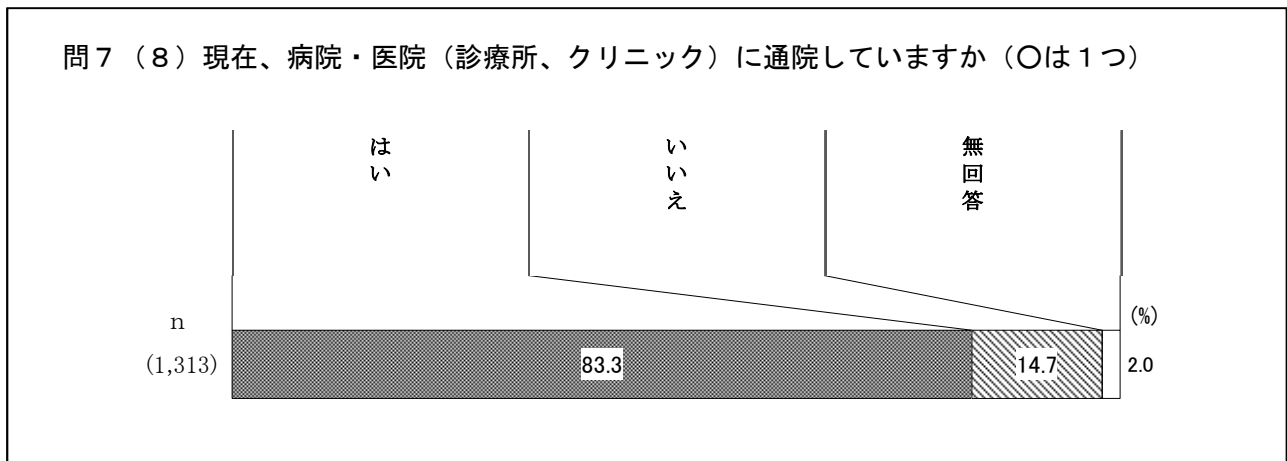
一方、「ほぼ毎日飲む」(21.9%)、「時々飲む」(19.0%)を合わせた“飲む”は40.9%となっている。

性別にみると、「ほぼ毎日飲む」は男性が39.7%と女性を33.7ポイント上回り、「飲む」になると、男性は60.7%と、女性の23.7%を大きく上回り、「飲む」を年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって減少している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | ほぼ毎日飲む | 時々飲む | ほとんど飲まない | もともと飲まない | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | |
| 全体 | 1,313 100.0 | 287 21.9 | 250 19.0 | 325 24.8 | 425 32.4 | 26 2.0 |
| 性別 | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 244 39.7 | 129 21.0 | 145 23.6 | 84 13.7 | 12 2.0 |
| 女性 | 685 100.0 | 41 6.0 | 121 17.7 | 175 25.5 | 334 48.8 | 14 2.0 |
| 年齢 | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 100 26.8 | 82 22.0 | 80 21.4 | 105 28.2 | 6 1.6 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 79 21.9 | 74 20.6 | 88 24.4 | 115 31.9 | 4 1.1 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 66 22.2 | 52 17.5 | 78 26.3 | 94 31.6 | 7 2.4 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 32 18.6 | 24 14.0 | 41 23.8 | 68 39.5 | 7 4.1 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 8 10.3 | 13 16.7 | 26 33.3 | 29 37.2 | 2 2.6 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | - | 5 27.8 | 7 38.9 | 6 33.3 | - |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | - | 1 100.0 | - |
| 年齢(2区分) | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 179 24.4 | 156 21.3 | 168 22.9 | 220 30.0 | 10 1.4 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 106 18.7 | 94 16.6 | 152 26.9 | 198 35.0 | 16 2.8 |

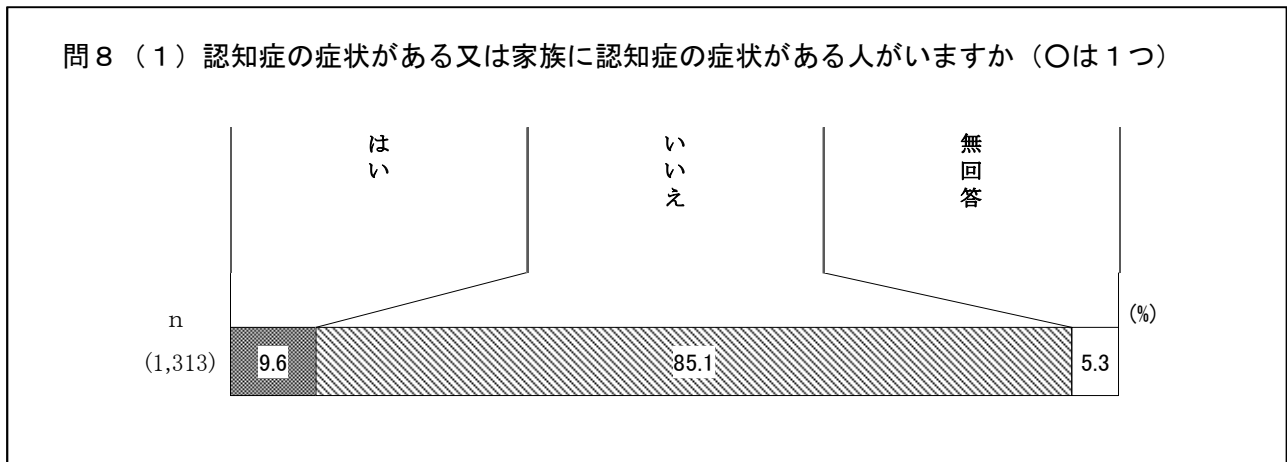
(8) 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているか



現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているかをたずねたところ、「はい」が83.3%を占めており、「いいえ」は14.7%となっている。

9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



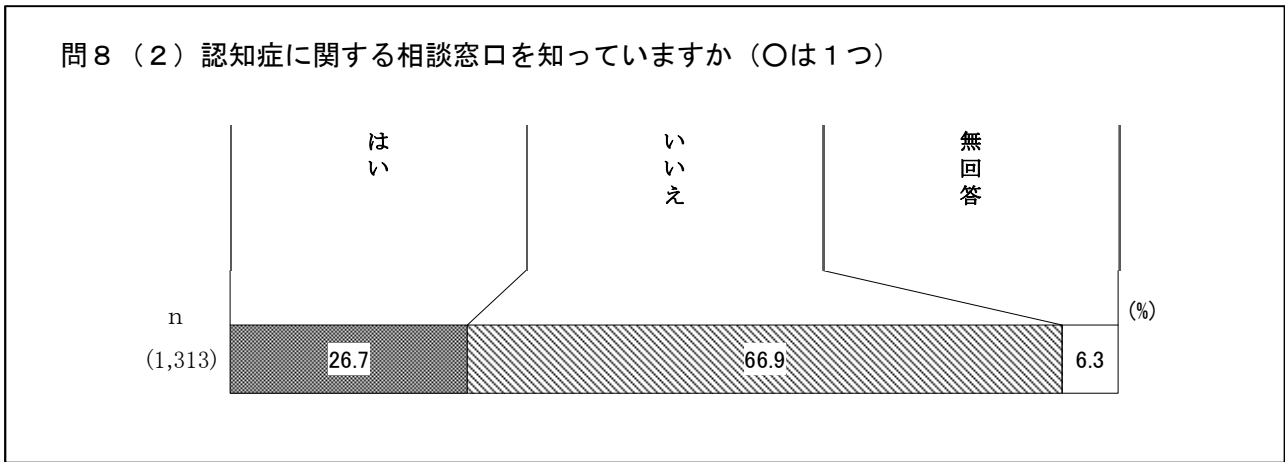
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかをたずねたところ、「いいえ」が85.1%を占めており、「はい」は9.6%となっている。

性別にみると、「はい」は、女性が男性をやや上回り、年齢別にみると、65～69歳と85歳以上にやや多くなっている。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | はい | いいえ | 無回答 |
|---------------|----------------|------------|---------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | |
| 全 体 | 1,313 100.0 | 126 9.6 | 1,118 85.1 | 69 5.3 |
| 性別 | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 54 8.8 | 521 84.9 | 39 6.4 |
| 女性 | 685 100.0 | 71 10.4 | 584 85.3 | 30 4.4 |
| 年齢 | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 43 11.5 | 314 84.2 | 16 4.3 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 27 7.5 | 316 87.8 | 17 4.7 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 24 8.1 | 263 88.6 | 10 3.4 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 17 9.9 | 142 82.6 | 13 7.6 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 10 12.8 | 57 73.1 | 11 14.1 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 4 22.2 | 12 66.7 | 2 11.1 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - |
| 年齢(2区分) | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 70 9.5 | 630 85.9 | 33 4.5 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 55 9.7 | 475 83.9 | 36 6.4 |

(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか



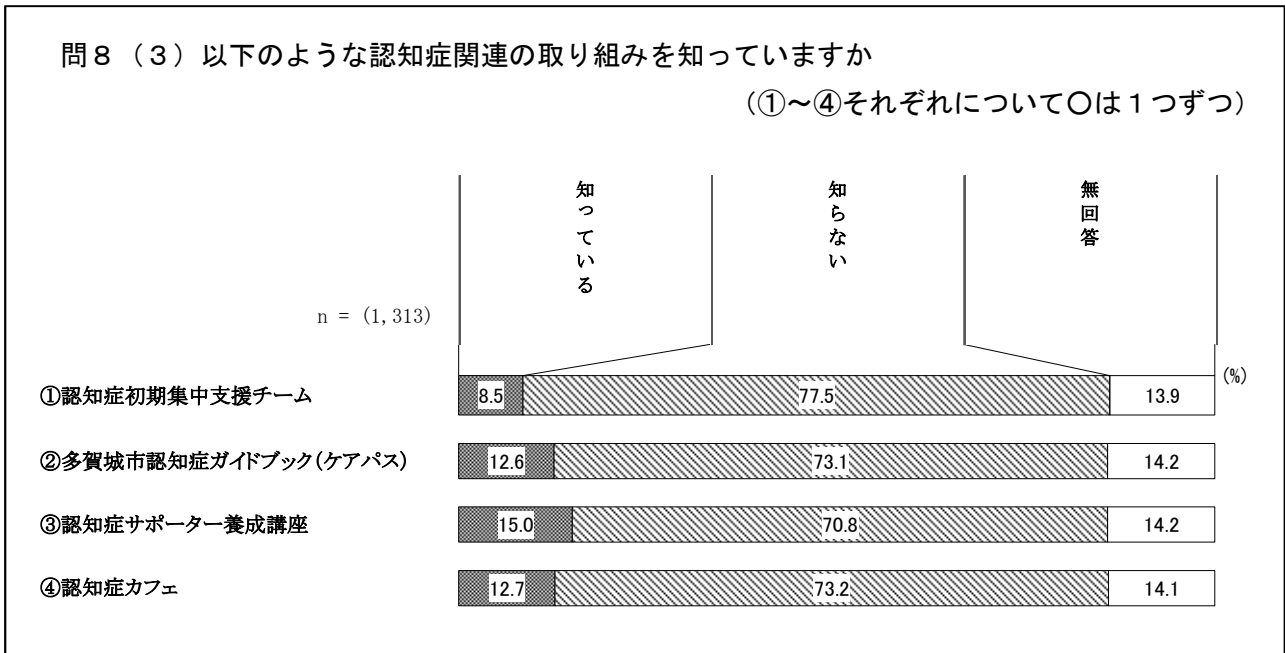
認知症に関する相談窓口を知っているかをたずねたところ、「いいえ」が66.9%を占めており、「はい」は26.7%となっている。

性別にみると、「はい」は、女性が30.4%と男性を8.4ポイント上回り、年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって減少している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | はい | いいえ | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | |
| 全 体 | 1,313 100.0 | 351 26.7 | 879 66.9 | 83 6.3 |
| 性別 | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 135 22.0 | 437 71.2 | 42 6.8 |
| 女性 | 685 100.0 | 208 30.4 | 436 63.6 | 41 6.0 |
| 年齢 | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 110 29.5 | 245 65.7 | 18 4.8 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 96 26.7 | 243 67.5 | 21 5.8 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 71 23.9 | 215 72.4 | 11 3.7 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 41 23.8 | 113 65.7 | 18 10.5 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 20 25.6 | 46 59.0 | 12 15.4 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 5 27.8 | 10 55.6 | 3 16.7 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - |
| 年齢(2区分) | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 206 28.1 | 488 66.6 | 39 5.3 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 137 24.2 | 385 68.0 | 44 7.8 |

(3) 認知症関連の取り組みの認知度



認知症関連の取り組みの認知度をたずねたところ、すべての取り組みで「知らない」が70.0%以上となっている。

認知度が高い取り組みは『③認知症サポーター養成講座』で「知っている」が15.0%、一方、認知度が低い取り組みは『①認知症初期集中支援チーム』で「知っている」が8.5%となっている。

認知症関連の取り組みの認知度を性別にみると、すべての取り組みで「知っている」は女性が男性を上回っており、特に『④認知症カフェ』では9.7ポイントの違いがある。

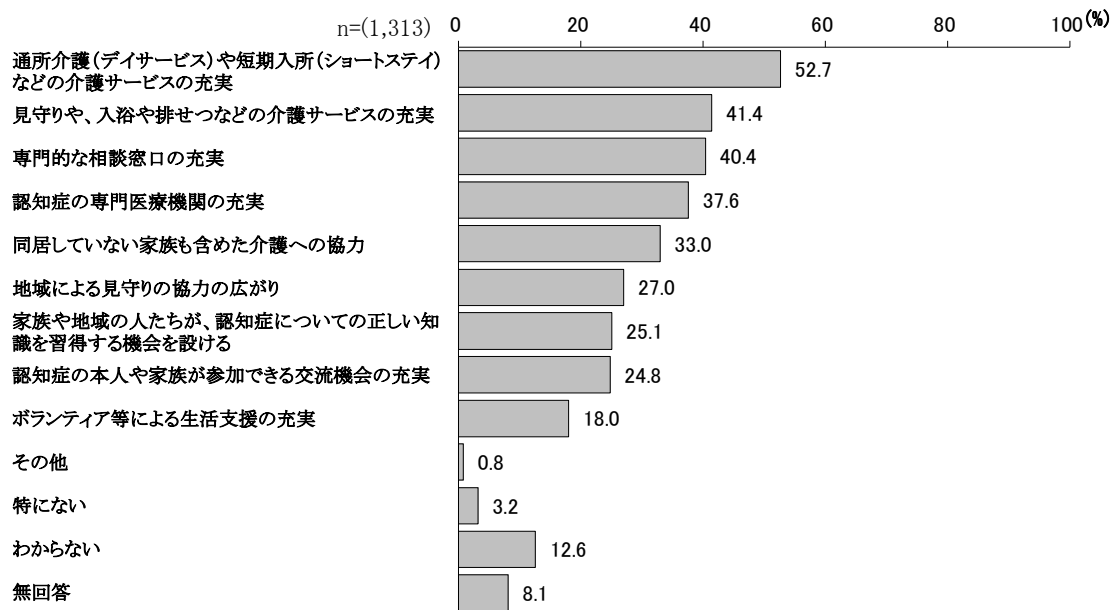
年齢別にみると、「知っている」は、概ね年齢が上がるにしたがって減少しているが大きな開きではない。

【性別・年齢別】

| | ①認知症初期集中支援チーム | | | | ②多賀城市認知症ガイドブック (ケアパス) | | | | ③認知症サポーター養成講座 | | | | ④認知症カフェ | | | |
|---------------|----------------|------------|---------------|-------------|--------------------------|-------------|-------------|-------------|----------------|-------------|-------------|-------------|----------------|-------------|-------------|-------------|
| | 調査数 | 知っている | 知らない | 無回答 | 調査数 | 知っている | 知らない | 無回答 | 調査数 | 知っている | 知らない | 無回答 | 調査数 | 知っている | 知らない | 無回答 |
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 1,313 100.0 | 112 8.5 | 1,018 77.5 | 183 13.9 | 1,313 100.0 | 166 12.6 | 960 73.1 | 187 14.2 | 1,313 100.0 | 197 15.0 | 930 70.8 | 186 14.2 | 1,313 100.0 | 167 12.7 | 961 73.2 | 185 14.1 |
| 性別 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 38 6.2 | 494 80.5 | 82 13.4 | 614 100.0 | 72 11.7 | 459 74.8 | 83 13.5 | 614 100.0 | 66 10.7 | 466 75.9 | 82 13.4 | 614 100.0 | 46 7.5 | 486 79.2 | 82 13.4 |
| 女性 | 685 100.0 | 72 10.5 | 512 74.7 | 101 14.7 | 685 100.0 | 92 13.4 | 489 71.4 | 104 15.2 | 685 100.0 | 128 18.7 | 453 66.1 | 104 15.2 | 685 100.0 | 118 17.2 | 464 67.7 | 103 15.0 |
| 年齢 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 34 9.1 | 305 81.8 | 34 9.1 | 373 100.0 | 49 13.1 | 289 77.5 | 35 9.4 | 373 100.0 | 61 16.4 | 280 75.1 | 32 8.6 | 373 100.0 | 50 13.4 | 290 77.7 | 33 8.8 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 25 6.9 | 295 81.9 | 40 11.1 | 360 100.0 | 44 12.2 | 275 76.4 | 41 11.4 | 360 100.0 | 57 15.8 | 263 73.1 | 40 11.1 | 360 100.0 | 52 14.4 | 269 74.7 | 39 10.8 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 26 8.8 | 226 76.1 | 45 15.2 | 297 100.0 | 40 13.5 | 213 71.7 | 44 14.8 | 297 100.0 | 41 13.8 | 211 71.0 | 45 15.2 | 297 100.0 | 39 13.1 | 213 71.7 | 45 15.2 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 18 10.5 | 109 63.4 | 45 26.2 | 172 100.0 | 22 12.8 | 106 61.6 | 44 25.6 | 172 100.0 | 23 13.4 | 102 59.3 | 47 27.3 | 172 100.0 | 18 10.5 | 108 62.8 | 46 26.7 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 5 6.4 | 56 71.8 | 17 21.8 | 78 100.0 | 7 9.0 | 50 64.1 | 21 26.9 | 78 100.0 | 8 10.3 | 50 64.1 | 20 25.6 | 78 100.0 | 4 5.1 | 54 69.2 | 20 25.6 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 2 11.1 | 14 77.8 | 2 11.1 | 18 100.0 | 2 11.1 | 14 77.8 | 2 11.1 | 18 100.0 | 4 22.2 | 12 66.7 | 2 11.1 | 18 100.0 | 1 5.6 | 15 83.3 | 2 11.1 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - |
| 年齢(2区分) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 59 8.0 | 600 81.9 | 74 10.1 | 733 100.0 | 93 12.7 | 564 76.9 | 76 10.4 | 733 100.0 | 118 16.1 | 543 74.1 | 72 9.8 | 733 100.0 | 102 13.9 | 559 76.3 | 72 9.8 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 51 9.0 | 406 71.7 | 109 19.3 | 566 100.0 | 71 12.5 | 384 67.8 | 111 19.6 | 566 100.0 | 76 13.4 | 376 66.4 | 114 20.1 | 566 100.0 | 62 11.0 | 391 69.1 | 113 20.0 |

(4) あなた自身や家族が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なもの

問8 (4) あなた自身や家族が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なものはどれですか (〇はいくつでも)



あなた自身や家族が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なものをたずねたところ、「通所介護(デイサービス)や短期入所(ショートステイ)などの介護サービスの充実」が52.7%と最も多く、以下「見守りや、入浴や排せつなどの介護サービスの充実」(41.4%)、「専門的な相談窓口の充実」(40.4%)、「認知症の専門医療機関の充実」(37.6%)、「同居していない家族も含めた介護への協力」(33.0%) などとなっている。

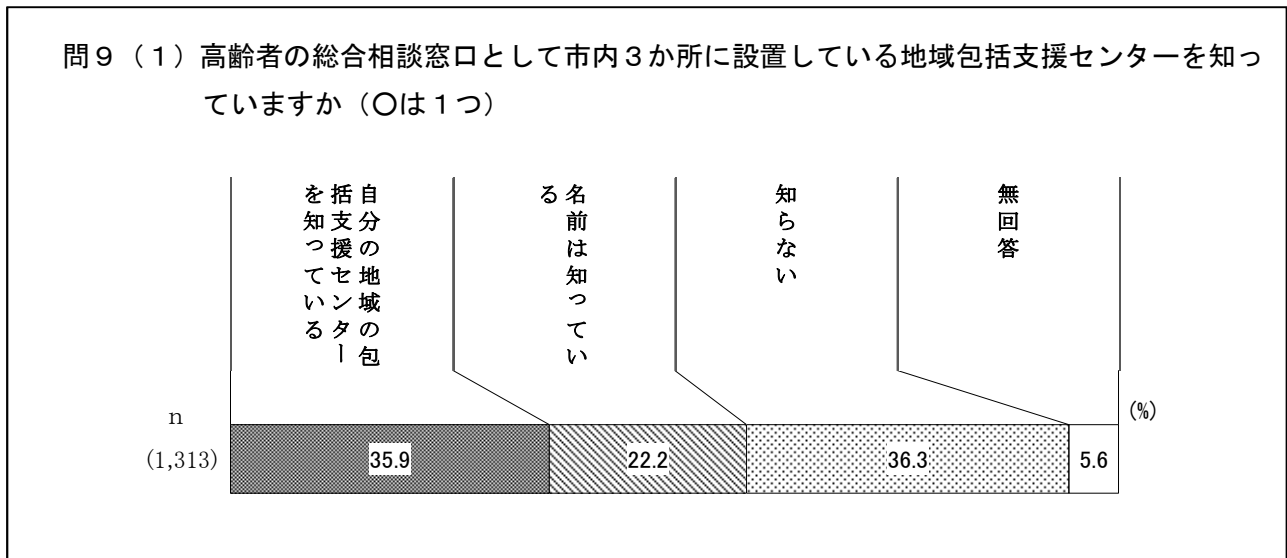
性別にみると、多くの項目で女性が男性を上回っており、特に「通所介護（デイサービス）や短期入所（ショートステイ）などの介護サービスの充実」は10.4ポイントの違いがある。

【性別・年齢別】

| 調査数 | 通所介護（デイサービス）や短期入所（ショートステイ）などの介護サービスの充実 | 見守りや、入浴や排せつなどの介護サービスの充実 | 専門的な相談窓口の充実 | 認知症の専門医療機関の充実 | 同居していない家族も含めた介護への協力 | 地域による見守りの協力の広がり | 家族や地域の人が、認知症の本人や家族が参加できる機会を設ける | 認知症の本人や家族が参加できる機会を設ける | ボランティア等による生活支援の充実 | その他 | 特にない | わからない | 無回答 | |
|---------------|--|-------------------------|-------------|---------------|---------------------|-----------------|--------------------------------|-----------------------|-------------------|-------------|-----------|-----------|-------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | | |
| 全 体 | 1,313 100.0 | 692 52.7 | 543 41.4 | 530 40.4 | 494 37.6 | 433 33.0 | 354 27.0 | 330 25.1 | 326 24.8 | 236 18.0 | 10 0.8 | 42 3.2 | 165 12.6 | 107 8.1 |
| 性別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 289 47.1 | 238 38.8 | 229 37.3 | 211 34.4 | 200 32.6 | 152 24.8 | 140 22.8 | 130 21.2 | 102 16.6 | 5 0.8 | 22 3.6 | 87 14.2 | 56 9.1 |
| 女性 | 685 100.0 | 394 57.5 | 299 43.6 | 294 42.9 | 276 40.3 | 229 33.4 | 200 29.2 | 185 27.0 | 193 28.2 | 133 19.4 | 5 0.7 | 19 2.8 | 75 10.9 | 51 7.4 |
| 年齢 | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 232 62.2 | 181 48.5 | 173 46.4 | 162 43.4 | 135 36.2 | 112 30.0 | 106 28.4 | 90 24.1 | 73 19.6 | 3 0.8 | 10 2.7 | 32 8.6 | 19 5.1 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 182 50.6 | 148 41.1 | 150 41.7 | 141 39.2 | 118 32.8 | 95 26.4 | 77 21.4 | 86 23.9 | 72 20.0 | 2 0.6 | 15 4.2 | 43 11.9 | 28 7.8 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 152 51.2 | 107 36.0 | 102 34.3 | 102 34.3 | 91 30.6 | 71 23.9 | 72 24.2 | 81 27.3 | 49 16.5 | 1 0.3 | 7 2.4 | 44 14.8 | 20 6.7 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 74 43.0 | 64 37.2 | 62 36.0 | 53 30.8 | 51 29.7 | 41 23.8 | 46 26.7 | 43 25.0 | 27 15.7 | - | 7 4.1 | 29 16.9 | 24 14.0 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 35 44.9 | 28 35.9 | 33 42.3 | 23 29.5 | 28 35.9 | 27 34.6 | 22 28.2 | 20 25.6 | 12 15.4 | 3 3.8 | 2 2.6 | 12 15.4 | 13 16.7 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 8 44.4 | 9 50.0 | 3 16.7 | 6 33.3 | 6 33.3 | 6 33.3 | 2 11.1 | 3 16.7 | 2 11.1 | 1 5.6 | - | 1 5.6 | 3 16.7 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 100.0 | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 414 56.5 | 329 44.9 | 323 44.1 | 303 41.3 | 253 34.5 | 207 28.2 | 183 25.0 | 176 24.0 | 145 19.8 | 5 0.7 | 25 3.4 | 75 10.2 | 47 6.4 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 269 47.5 | 208 36.7 | 200 35.3 | 184 32.5 | 176 31.1 | 145 25.6 | 142 25.1 | 147 26.0 | 90 15.9 | 5 0.9 | 16 2.8 | 87 15.4 | 60 10.6 |

10. 市の高齢者福祉サービスについて

(1) 地域包括支援センターの認知状況



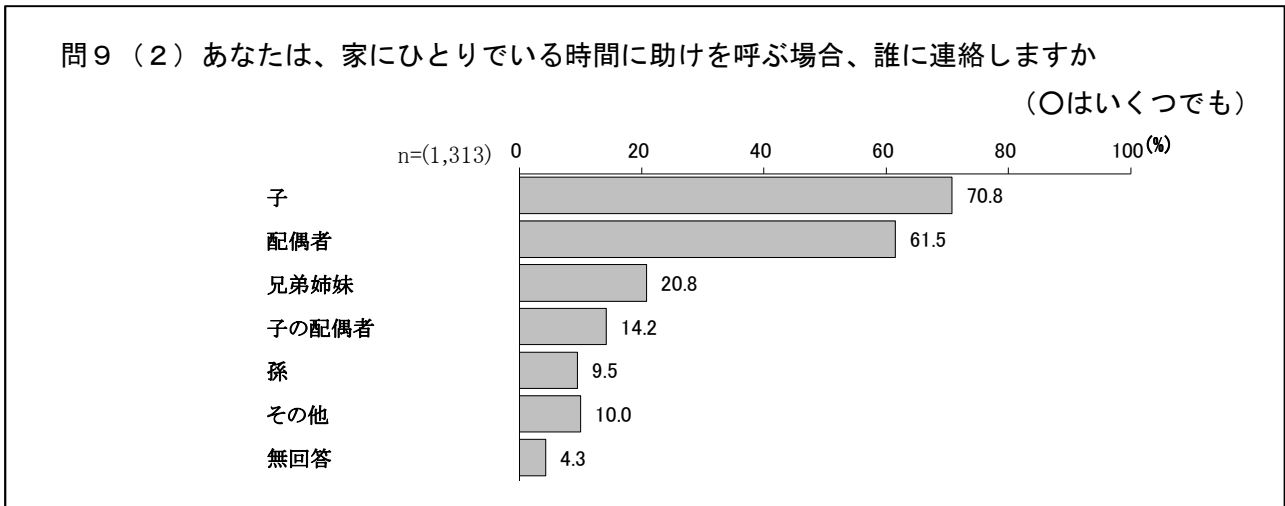
地域包括支援センターの認知状況をたずねたところ、「知らない」は36.3%と最も多く、「自分の地域の包括支援センターを知っている」(35.9%)をわずかに上回っている。「名前は知っている」は22.2%となっている。

性別にみると、女性は「自分の地域の包括支援センターを知っている」が42.9%で最も多く男性を15ポイント上回り、年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって認知度が上がっている。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 自分の地域の包括支援センターを知っている | 名前は知っている | 知らない | 無回答 |
|---------------|----------------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | |
| 全体 | 1,313 100.0 | 471 35.9 | 292 22.2 | 477 36.3 | 73 5.6 |
| 性別 | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 171 27.9 | 138 22.5 | 268 43.6 | 37 6.0 |
| 女性 | 685 100.0 | 294 42.9 | 152 22.2 | 203 29.6 | 36 5.3 |
| 年齢 | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 112 30.0 | 98 26.3 | 146 39.1 | 17 4.6 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 113 31.4 | 85 23.6 | 144 40.0 | 18 5.0 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 128 43.1 | 63 21.2 | 95 32.0 | 11 3.7 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 70 40.7 | 33 19.2 | 55 32.0 | 14 8.1 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 34 43.6 | 8 10.3 | 26 33.3 | 10 12.8 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 8 44.4 | 3 16.7 | 4 22.2 | 3 16.7 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | 1 100.0 | - |
| 年齢(2区分) | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 225 30.7 | 183 25.0 | 290 39.6 | 35 4.8 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 240 42.4 | 107 18.9 | 181 32.0 | 38 6.7 |

(2) 家にひとりである時間に助けを呼ぶ場合に連絡する人



家にひとりである時間に助けを呼ぶ場合に連絡する人をたずねたところ、「子」が70.8%と最も多く、以下「配偶者」(61.5%)、「兄弟姉妹」(20.8%)、「子の配偶者」(14.2%)、「孫」(9.5%)となっている。「その他」の回答では、友人、近所の人、119番などがある。

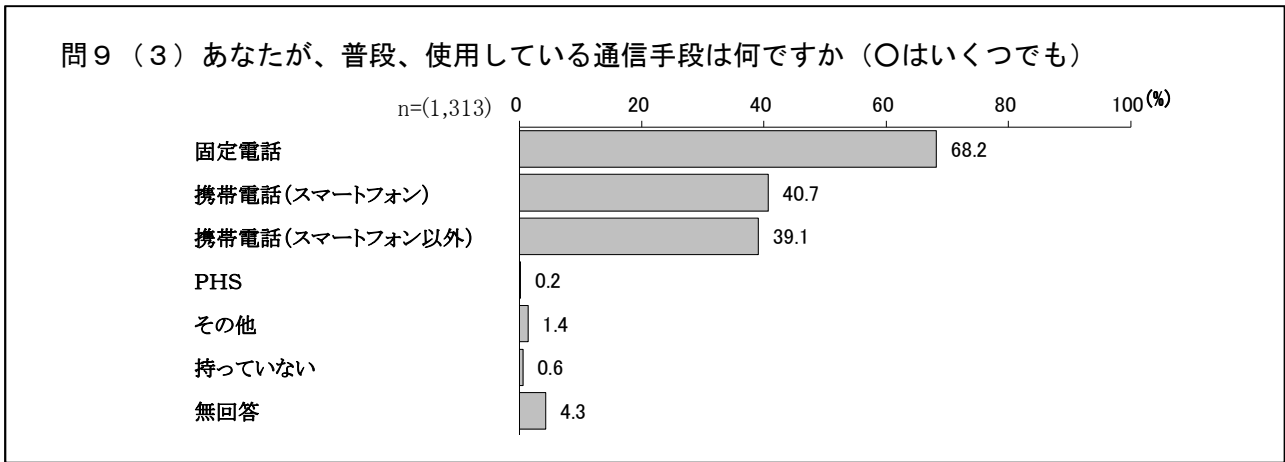
性別にみると、男性は「配偶者」が74.4%、女性は「子」が74.0%でそれぞれ最も多く、「配偶者」は49.6%となっている。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって「子」が増加し、「配偶者」が減少している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 子 | 配偶者 | 兄弟姉妹 | 子の配偶者 | 孫 | その他 | 無回答 |
|---------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | |
| 全体 | 1,313 100.0 | 930 70.8 | 807 61.5 | 273 20.8 | 186 14.2 | 125 9.5 | 131 10.0 | 57 4.3 |
| 性別 | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 415 67.6 | 457 74.4 | 120 19.5 | 85 13.8 | 58 9.4 | 40 6.5 | 33 5.4 |
| 女性 | 685 100.0 | 507 74.0 | 340 49.6 | 151 22.0 | 99 14.5 | 66 9.6 | 88 12.8 | 24 3.5 |
| 年齢 | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 258 69.2 | 275 73.7 | 90 24.1 | 34 9.1 | 17 4.6 | 34 9.1 | 13 3.5 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 245 68.1 | 230 63.9 | 75 20.8 | 51 14.2 | 33 9.2 | 43 11.9 | 18 5.0 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 217 73.1 | 177 59.6 | 58 19.5 | 48 16.2 | 33 11.1 | 28 9.4 | 9 3.0 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 130 75.6 | 78 45.3 | 32 18.6 | 35 20.3 | 24 14.0 | 14 8.1 | 10 5.8 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 56 71.8 | 35 44.9 | 12 15.4 | 11 14.1 | 13 16.7 | 9 11.5 | 6 7.7 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 16 88.9 | 2 11.1 | 4 22.2 | 5 27.8 | 3 16.7 | - | 1 5.6 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | - | - | 1 100.0 | - | - |
| 年齢(2区分) | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 503 68.6 | 505 68.9 | 165 22.5 | 85 11.6 | 50 6.8 | 77 10.5 | 31 4.2 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 419 74.0 | 292 51.6 | 106 18.7 | 99 17.5 | 74 13.1 | 51 9.0 | 26 4.6 |

(3) 普段、使用している通信手段



普段、使用している通信手段をたずねたところ、「固定電話」が68.2%と最も多く、以下「携帯電話 (スマートフォン)」(40.7%)、「携帯電話 (スマートフォン以外)」(39.1%) などとなっている。

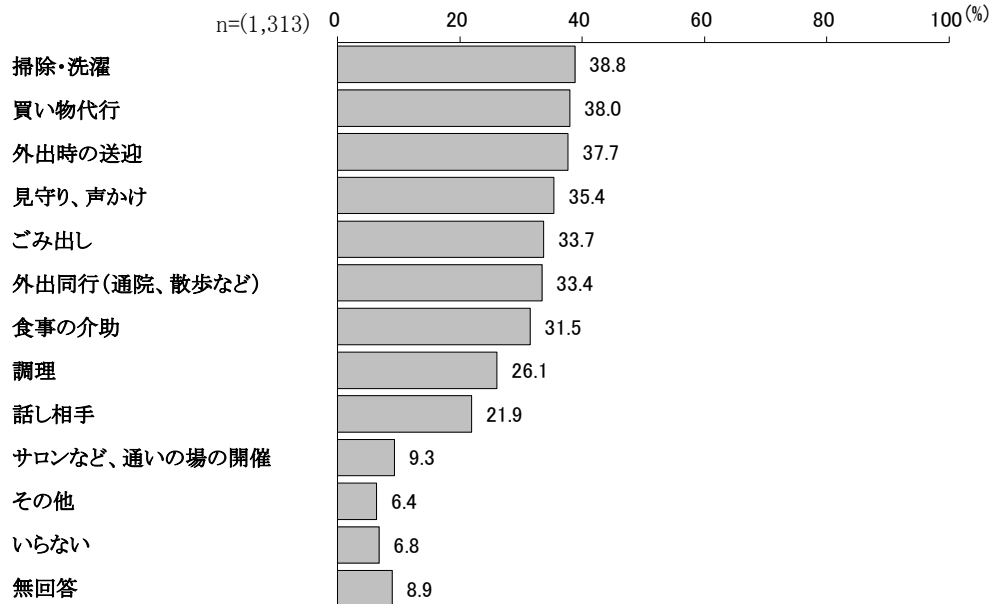
性別にみると、「固定電話」は、女性が男性をやや上回り、年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって増加しており、「携帯電話 (スマートフォン)」は65~69歳で56.0%と最も多く、概ね年齢が上がるにしたがって減少している。

【性別・年齢別】

| | 調査数 | 固定電話 | 携帯電話(スマートフォン) | 携帯電話(スマートフォン以外) | PHS | その他 | 持っていない | 無回答 |
|---------|-------|------|---------------|-----------------|-----|-----|--------|-----|
| 全体 | 1,313 | 896 | 534 | 514 | 3 | 18 | 8 | 56 |
| | 100.0 | 68.2 | 40.7 | 39.1 | 0.2 | 1.4 | 0.6 | 4.3 |
| 性別 | | | | | | | | |
| 男性 | 614 | 403 | 250 | 252 | - | 10 | 5 | 31 |
| | 100.0 | 65.6 | 40.7 | 41.0 | - | 1.6 | 0.8 | 5.0 |
| 女性 | 685 | 481 | 276 | 259 | 3 | 8 | 3 | 25 |
| | 100.0 | 70.2 | 40.3 | 37.8 | 0.4 | 1.2 | 0.4 | 3.6 |
| 年齢 | | | | | | | | |
| 65~69歳 | 373 | 229 | 209 | 130 | 1 | 4 | - | 11 |
| | 100.0 | 61.4 | 56.0 | 34.9 | 0.3 | 1.1 | - | 2.9 |
| 70~74歳 | 360 | 226 | 150 | 164 | - | 8 | 1 | 17 |
| | 100.0 | 62.8 | 41.7 | 45.6 | - | 2.2 | 0.3 | 4.7 |
| 75~79歳 | 297 | 223 | 105 | 119 | - | 1 | 2 | 8 |
| | 100.0 | 75.1 | 35.4 | 40.1 | - | 0.3 | 0.7 | 2.7 |
| 80~84歳 | 172 | 134 | 48 | 65 | 2 | 3 | 3 | 12 |
| | 100.0 | 77.9 | 27.9 | 37.8 | 1.2 | 1.7 | 1.7 | 7.0 |
| 85~89歳 | 78 | 58 | 11 | 28 | - | 2 | 1 | 7 |
| | 100.0 | 74.4 | 14.1 | 35.9 | - | 2.6 | 1.3 | 9.0 |
| 90~94歳 | 18 | 14 | 3 | 4 | - | - | 1 | 1 |
| | 100.0 | 77.8 | 16.7 | 22.2 | - | - | 5.6 | 5.6 |
| 95~99歳 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - |
| | 100.0 | - | - | 100.0 | - | - | - | - |
| 年齢(2区分) | | | | | | | | |
| 65~74歳 | 733 | 455 | 359 | 294 | 1 | 12 | 1 | 28 |
| | 100.0 | 62.1 | 49.0 | 40.1 | 0.1 | 1.6 | 0.1 | 3.8 |
| 75歳以上 | 566 | 429 | 167 | 217 | 2 | 6 | 7 | 28 |
| | 100.0 | 75.8 | 29.5 | 38.3 | 0.4 | 1.1 | 1.2 | 4.9 |

(4) 将来からだの自由が利かなくなった際に、地域でしてもらいたい支えあい

問9 (4) 誰もが加齢に伴い、からだは徐々におとろえますが、あなたは、ご自身が将来からだの自由が利かなくなった際に、地域でどんな支えあいをしてもらいたいと思いますか
(〇はいくつでも)



将来からだの自由が利かなくなった際に、地域でしてもらいたい支えあいをたずねたところ、「掃除・洗濯」が38.8%と最も多く、以下「買い物代行」(38.0%)、「外出時の送迎」(37.7%)、「見守り、声かけ」(35.4%)、「ごみ出し」(33.7%)、「外出同行(通院、散歩など)」(33.4%)、「食事の介助」(31.5%) などとなっている。

性別にみると、男性は、「掃除・洗濯」、「買い物代行」、「外出時の送迎」、「食事の介助」など家事支援の項目が上位となっているが、女性は、「買い物代行」が最も多く、僅差で「見守り、声かけ」となっている。

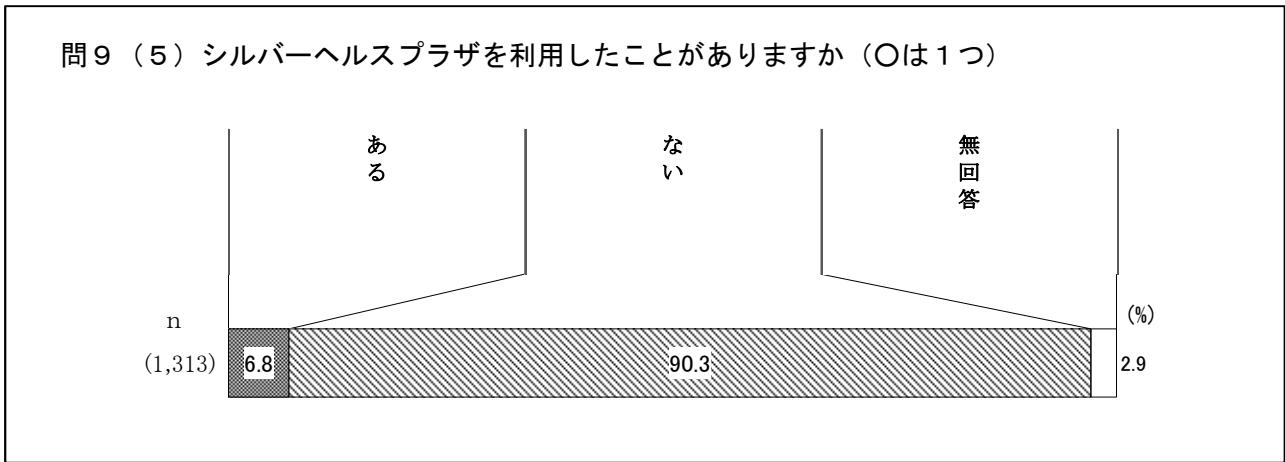
年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって「買い物代行」、「外出時の送迎」、「見守り、声かけ」は減少している。

家族構成別にみると、1人暮らしや夫婦のみ世帯に「ごみ出し」、「食事の介助」、「調理」など家事支援が多くなっている。

【性別・年齢別・家族構成別】

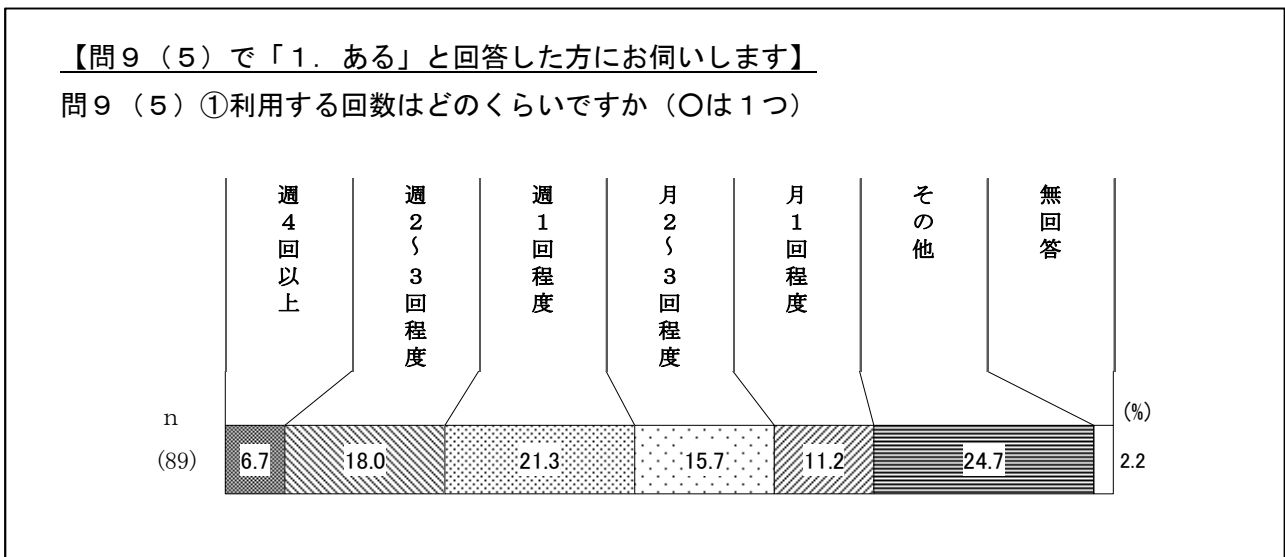
| | 調査数 | 掃除・洗濯 | 買い物代行 | 外出時の送迎 | 見守り、声かけ | ごみ出し | 外出同行（通院、散歩など） | 食事の介助 | 調理 | 話し相手 | のサロンなど、通いの場 | その他 | 知らない | 無回答 |
|-----------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| | 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | 1,313 100.0 | 509 38.8 | 499 38.0 | 495 37.7 | 465 35.4 | 443 33.7 | 438 33.4 | 414 31.5 | 343 26.1 | 287 21.9 | 122 9.3 | 84 6.4 | 89 6.8 | 117 8.9 |
| 性別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 251 40.9 | 228 37.1 | 233 37.9 | 200 32.6 | 216 35.2 | 198 32.2 | 228 37.1 | 154 25.1 | 124 20.2 | 42 6.8 | 44 7.2 | 50 8.1 | 45 7.3 |
| 女性 | 685 100.0 | 252 36.8 | 266 38.8 | 254 37.1 | 260 38.0 | 221 32.3 | 237 34.6 | 181 26.4 | 183 26.7 | 161 23.5 | 77 11.2 | 39 5.7 | 39 5.7 | 72 10.5 |
| 年齢 | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 148 39.7 | 158 42.4 | 152 40.8 | 152 40.8 | 133 35.7 | 126 33.8 | 131 35.1 | 99 26.5 | 91 24.4 | 35 9.4 | 18 4.8 | 27 7.2 | 21 5.6 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 132 36.7 | 133 36.9 | 128 35.6 | 121 33.6 | 117 32.5 | 120 33.3 | 101 28.1 | 91 25.3 | 68 18.9 | 34 9.4 | 23 6.4 | 28 7.8 | 38 10.6 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 115 38.7 | 113 38.0 | 115 38.7 | 98 33.0 | 101 34.0 | 109 36.7 | 94 31.6 | 77 25.9 | 68 22.9 | 27 9.1 | 19 6.4 | 15 5.1 | 25 8.4 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 72 41.9 | 58 33.7 | 58 33.7 | 57 33.1 | 57 33.1 | 53 30.8 | 50 29.1 | 46 26.7 | 32 18.6 | 15 8.7 | 13 7.6 | 12 7.0 | 19 11.0 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 29 37.2 | 24 30.8 | 27 34.6 | 25 32.1 | 25 32.1 | 24 30.8 | 27 34.6 | 17 21.8 | 22 28.2 | 6 7.7 | 10 12.8 | 5 6.4 | 12 15.4 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 6 33.3 | 8 44.4 | 7 38.9 | 7 38.9 | 4 22.2 | 3 16.7 | 5 27.8 | 6 33.3 | 4 22.2 | 2 11.1 | - | 2 11.1 | 2 11.1 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | 1 100.0 | 1 100.0 | - | - | - | - | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 280 38.2 | 291 39.7 | 280 38.2 | 273 37.2 | 250 34.1 | 246 33.6 | 232 31.7 | 190 25.9 | 159 21.7 | 69 9.4 | 41 5.6 | 55 7.5 | 59 8.0 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 223 39.4 | 203 35.9 | 207 36.6 | 187 33.0 | 187 33.0 | 189 33.4 | 177 31.3 | 147 26.0 | 126 22.3 | 50 8.8 | 42 7.4 | 34 6.0 | 58 10.2 |
| 問1（1）家族構成 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1人暮らし | 186 100.0 | 82 44.1 | 81 43.5 | 61 32.8 | 64 34.4 | 75 40.3 | 59 31.7 | 62 33.3 | 57 30.6 | 42 22.6 | 15 8.1 | 16 8.6 | 9 4.8 | 20 10.8 |
| 夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上） | 493 100.0 | 210 42.6 | 222 45.0 | 194 39.4 | 180 36.5 | 188 38.1 | 179 36.3 | 174 35.3 | 151 30.6 | 104 21.1 | 42 8.5 | 35 7.1 | 23 4.7 | 38 7.7 |
| 夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下） | 42 100.0 | 23 54.8 | 19 45.2 | 23 54.8 | 19 45.2 | 21 50.0 | 13 31.0 | 19 45.2 | 14 33.3 | 10 23.8 | 1 2.4 | 3 7.1 | 1 2.4 | 5 11.9 |
| 息子・娘との2世帯 | 441 100.0 | 137 31.1 | 130 29.5 | 160 36.3 | 156 35.4 | 115 26.1 | 138 31.3 | 119 27.0 | 91 20.6 | 93 21.1 | 50 11.3 | 23 5.2 | 38 8.6 | 35 7.9 |
| その他 | 123 100.0 | 48 39.0 | 41 33.3 | 52 42.3 | 43 35.0 | 39 31.7 | 44 35.8 | 33 26.8 | 28 22.8 | 32 26.0 | 13 10.6 | 6 4.9 | 16 13.0 | 10 8.1 |

(5) シルバーヘルスプラザの利用経験の有無



シルバーヘルスプラザの利用経験の有無をたずねたところ、「ない」が90.3%を占めており、「ある」は6.8%となっている。

(6) シルバーヘルスプラザを利用する回数

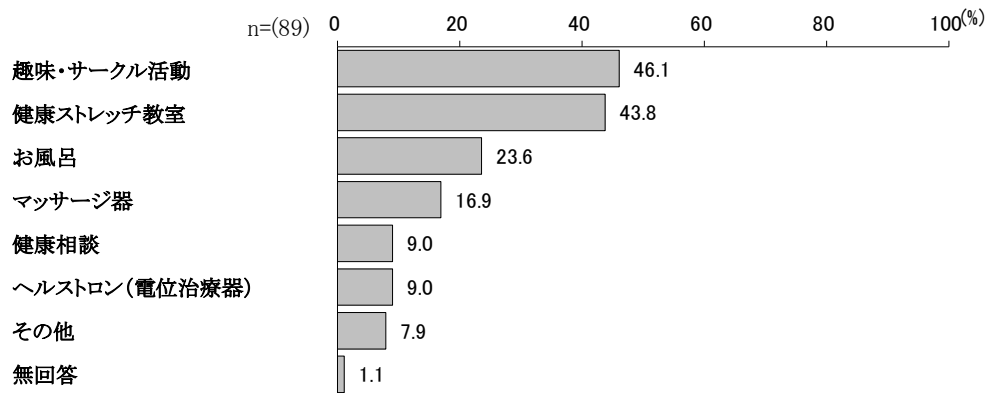


シルバーヘルスプラザを利用する回数をたずねたところ、「週1回程度」が21.3%と最も多く、以下「週2〜3回程度」(18.0%)、「月2〜3回程度」(15.7%)、「月1回程度」(11.2%)、「週4回以上」(6.7%)となっている。

(7) シルバーヘルスプラザでよく利用する事業等

【問9(5)で「1. ある」と回答した方にお伺いします】

問9(5)②よく利用する事業等は何ですか(〇はいくつでも)



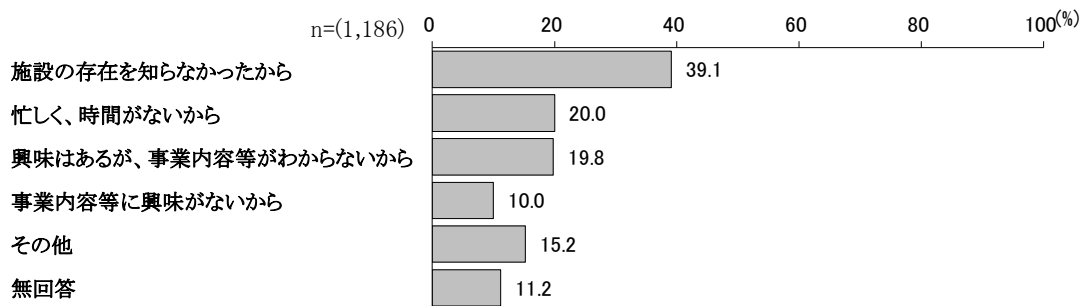
※趣味・サークル活動：囲碁、将棋、カラオケ、健康体操、麻雀、ダンス等

シルバーヘルスプラザでよく利用する事業等をたずねたところ、「趣味・サークル活動」が46.1%と最も多く、以下「健康ストレッチ教室」(43.8%)、「お風呂」(23.6%)、「マッサージ器」(16.9%)、「健康相談」「ヘルストロン(電位治療器)」(ともに9.0%)となっている。

(8) シルバーヘルスプラザを利用していない理由

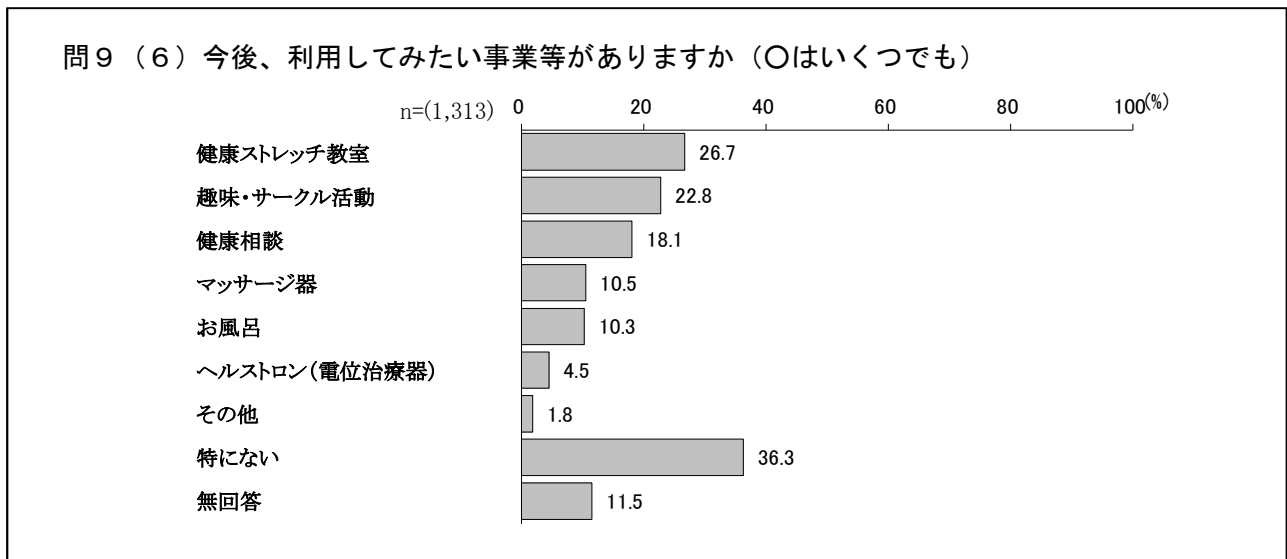
【問9(5)で「2. ない」と回答した方にお伺いします】

問9(5)③利用していない理由は何ですか(〇はいくつでも)



シルバーヘルスプラザを利用していない理由をたずねたところ、「施設の利用を知らなかったから」が39.1%と最も多く、以下「忙しく、時間がないから」(20.0%)、「興味はあるが、事業内容等がわからないから」(19.8%)、「事業内容等に興味がないから」(10.0%)となっている。「その他」の回答では、元気だから、今は必要ないから、遠いからなどがある。

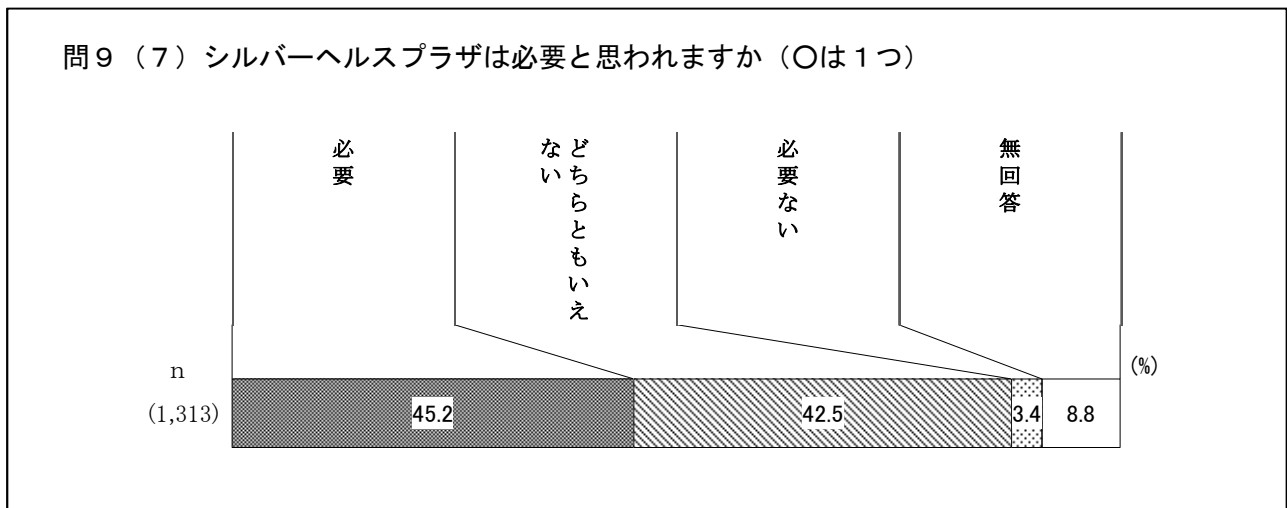
(9) 今後、利用してみたい事業等



今後、利用してみたい事業等をたずねたところ、「健康ストレッチ教室」が26.7%と最も多く、以下「趣味・サークル活動」(22.8%)、「健康相談」(18.1%)、「マッサージ器」(10.5%)、「お風呂」(10.3%)、「ヘルストロン(電位治療器)」(4.5%)となっている。

一方、「特にない」は36.3%となっている。

(10) シルバーヘルスプラザの必要性

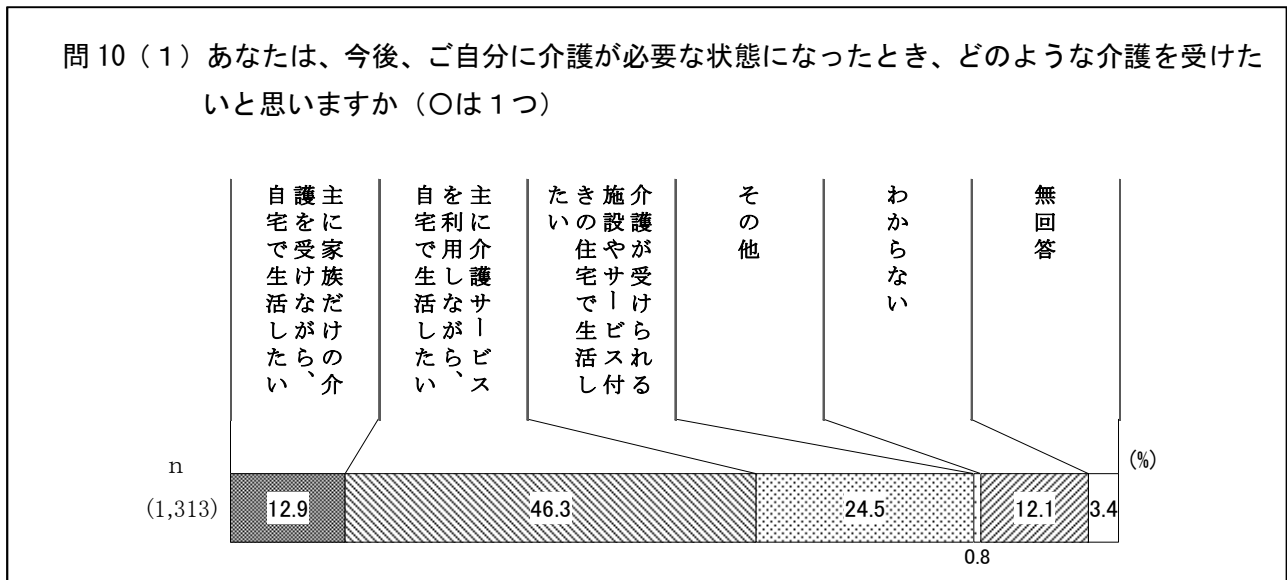


シルバーヘルスプラザの必要性をたずねたところ、「必要」が45.2%と、「必要ない」(3.4%)を上回っている。

なお、「どちらともいえない」が42.5%となっている。

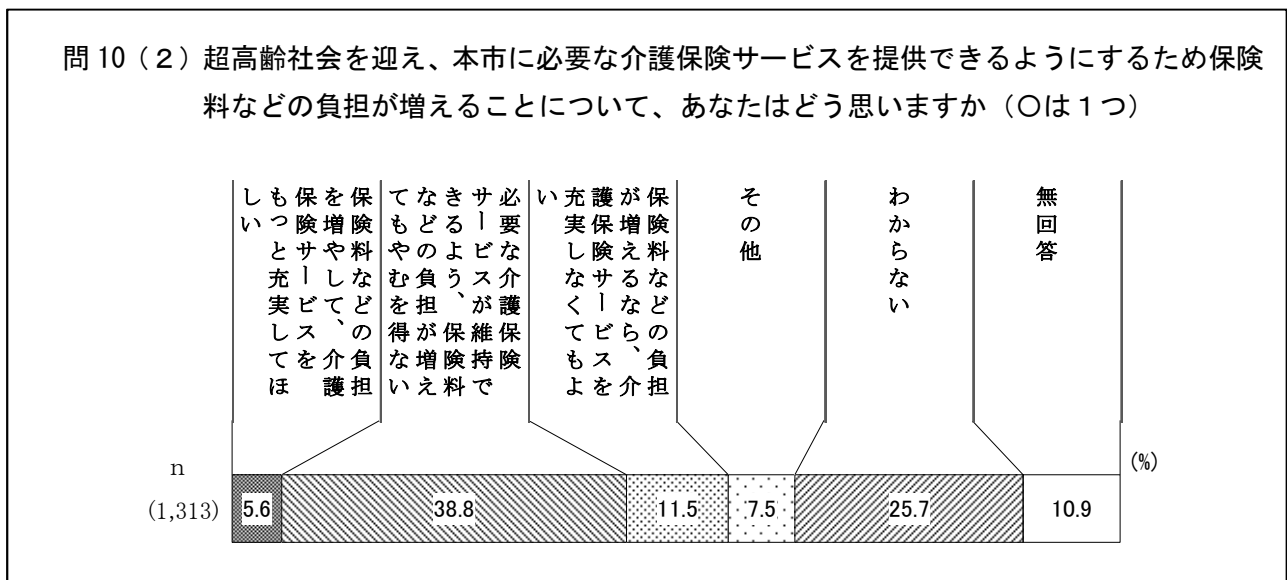
1.1. 介護保険制度について

(1) 今後、自分に介護が必要な状態になったときに受けてほしい介護



今後、自分に介護が必要な状態になったときに受けてほしい介護をたずねたところ、「主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が46.3%と最も多く、以下「介護が受けられる施設やサービス付きの住宅で生活したい」(24.5%)、「主に家族だけの介護を受けながら、自宅で生活したい」(12.9%)となっている。

(2) 必要な介護保険サービス提供のための保険料などの負担増についての考え

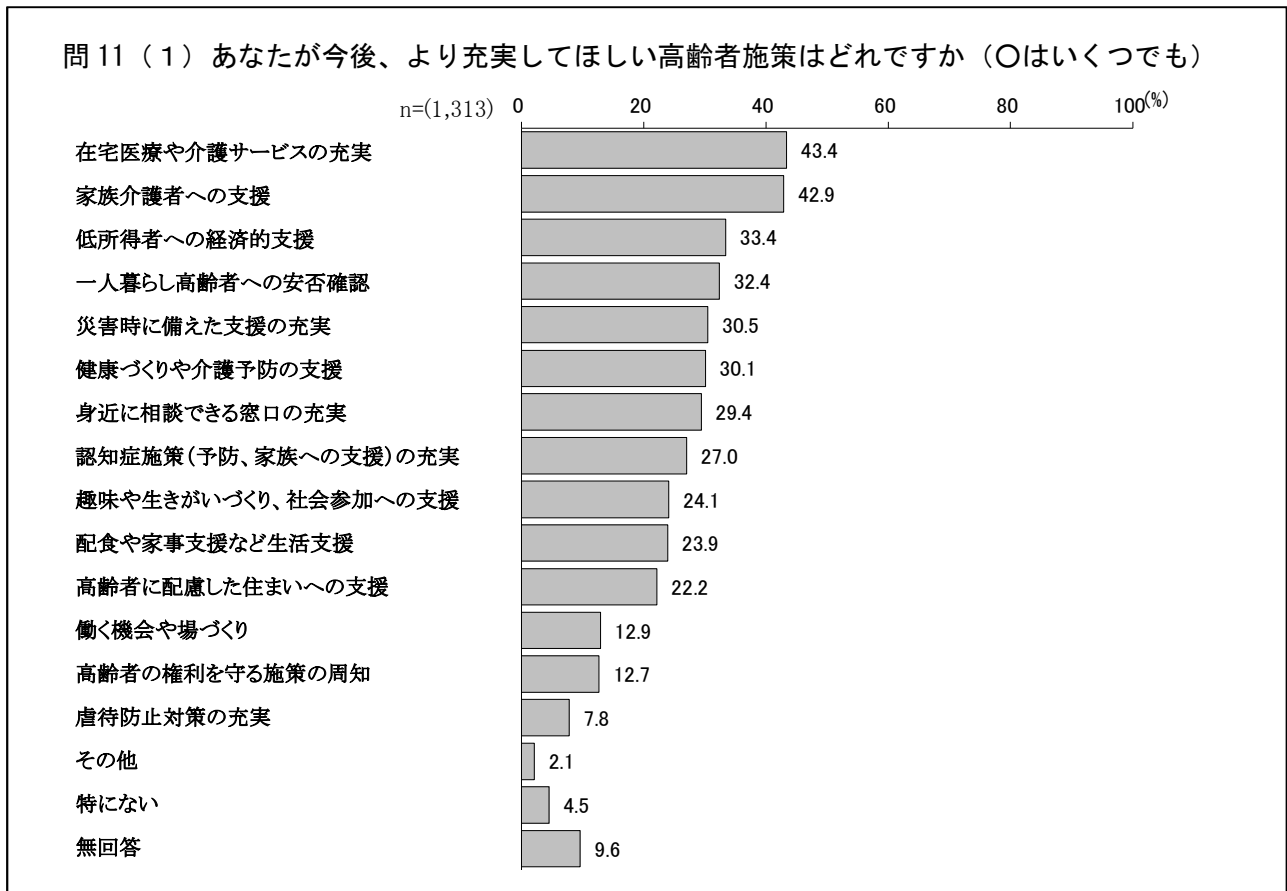


必要な介護保険サービス提供のための保険料などの負担増についての考えをたずねたところ、「必要な介護保険サービスが維持できるよう、保険料などの負担が増えてもやむを得ない」が38.8%と最も多く、以下「保険料などの負担が増えるなら、介護保険サービスを充実しなくてもよい」(11.5%)、「保険料などの負担を増やして、介護保険サービスをもっと充実してほしい」(5.6%)となっている。

なお、「わからない」は25.7%となっている。

12. 今後の施策について

(1) 今後、より充実してほしい高齢者施策



今後、より充実してほしい高齢者施策をたずねたところ、「在宅医療や介護サービスの充実」が 43.4%と最も多く、以下「家族介護者への支援」(42.9%)、「低所得者への経済的支援」(33.4%)、「一人暮らし高齢者への安否確認」(32.4%)、「災害時に備えた支援の充実」(30.5%)、「健康づくりや介護予防の支援」(30.1%)、「身近に相談できる窓口の充実」(29.4%)、「認知症施策(予防、家族への支援)の充実」(27.0%)となっている。

性別にみると、男性は「働く機会や場づくり」、女性は「健康づくりや介護予防の支援」がやや多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにしたがって「働く機会や場づくり」が減少している。

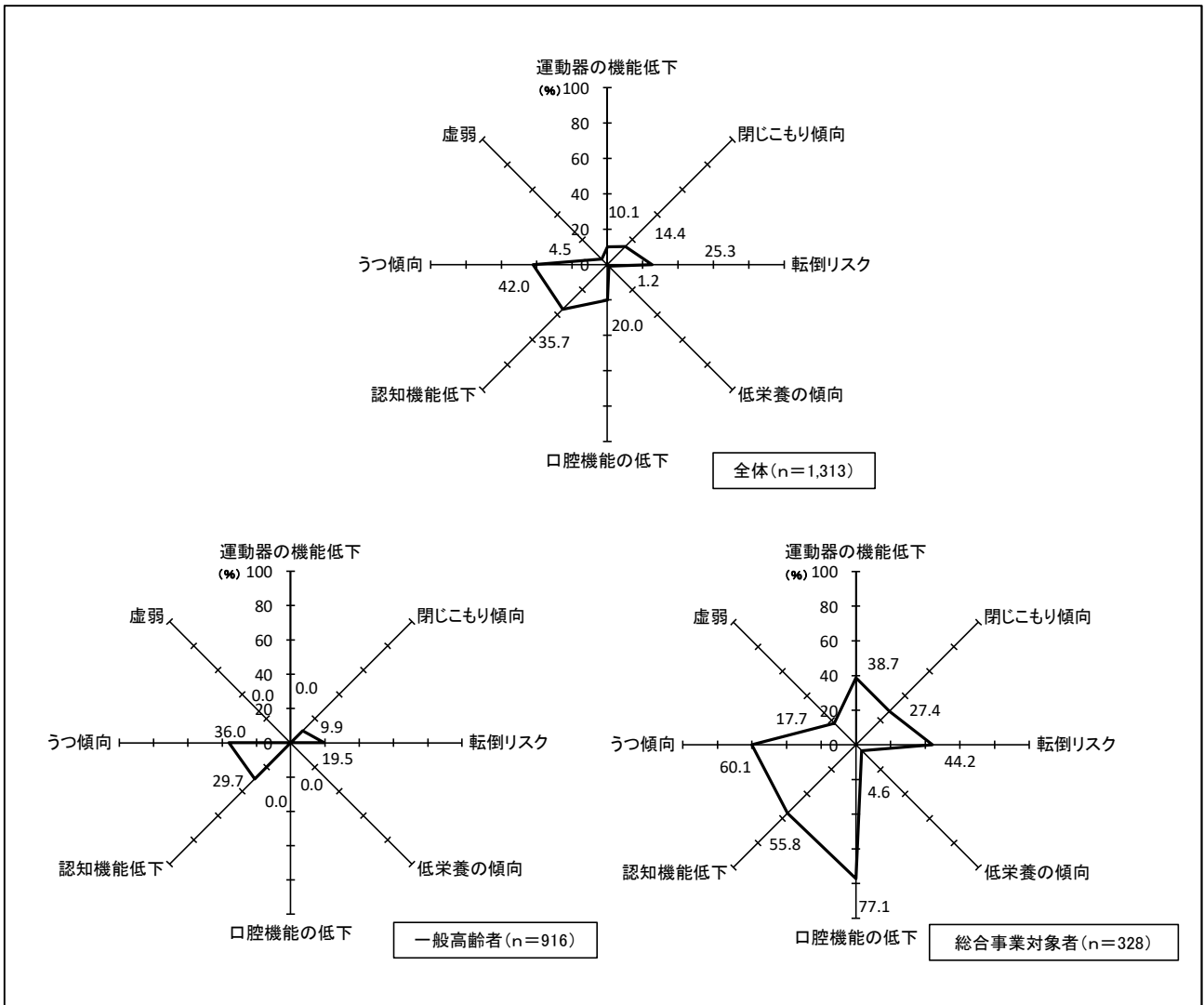
家族構成別にみると、1人暮らしでは「一人暮らし高齢者への安否確認」が最も多く、それ以外の家族と同居している世帯では「家族介護者への支援」が最も多くなっている。

【性別・年齢別・家族構成別】

| | 調査数 | 在宅医療や介護サービスの充実 | 家族介護者への支援 | 低所得者への経済的支援 | 一人暮らし高齢者への安否確認 | 災害時に備えた支援の充実 | 健康づくりや介護予防の支援 | 身近に相談できる窓口の充実 | 認知症施策（予防、家族への支援）の充実 | 趣味や生きがいの参加への支援 | 配食や家事支援など生活支援 | 高齢者に配慮した住まいへの支援 | 働く機会や場づくり | 高齢者の権利を守る施策の周知 | 虐待防止対策の充実 | その他 | 特になし | 無回答 |
|-------------------|----------------|----------------|-------------|-------------|----------------|--------------|---------------|---------------|---------------------|----------------|---------------|-----------------|-------------|----------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 全体 | 1,313 100.0 | 570 43.4 | 563 42.9 | 439 33.4 | 425 32.4 | 401 30.5 | 395 30.1 | 386 29.4 | 355 27.0 | 316 24.1 | 314 23.9 | 292 22.2 | 169 12.9 | 167 12.7 | 103 7.8 | 28 2.1 | 59 4.5 | 126 9.6 |
| 性別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 614 100.0 | 274 44.6 | 279 45.4 | 203 33.1 | 190 30.9 | 183 29.8 | 167 27.2 | 175 28.5 | 174 28.3 | 142 23.1 | 138 22.5 | 143 23.3 | 101 16.4 | 72 11.7 | 45 7.3 | 10 1.6 | 35 5.7 | 60 9.8 |
| 女性 | 685 100.0 | 289 42.2 | 277 40.4 | 227 33.1 | 232 33.9 | 214 31.2 | 224 32.7 | 206 30.1 | 176 25.7 | 171 25.0 | 171 25.0 | 145 21.2 | 65 9.5 | 93 13.6 | 57 8.3 | 18 2.6 | 23 3.4 | 65 9.5 |
| 年齢 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 373 100.0 | 157 42.1 | 166 44.5 | 129 34.6 | 120 32.2 | 110 29.5 | 112 30.0 | 107 28.7 | 99 26.5 | 95 25.5 | 93 24.9 | 86 23.1 | 83 22.3 | 38 10.2 | 32 8.6 | 8 2.1 | 22 5.9 | 31 8.3 |
| 70～74歳 | 360 100.0 | 158 43.9 | 161 44.7 | 99 27.5 | 109 30.3 | 114 31.7 | 110 30.6 | 112 31.1 | 97 26.9 | 87 24.2 | 81 22.5 | 85 23.6 | 43 11.9 | 49 13.6 | 24 6.7 | 12 3.3 | 17 4.7 | 34 9.4 |
| 75～79歳 | 297 100.0 | 135 45.5 | 124 41.8 | 123 41.4 | 93 31.3 | 104 35.0 | 94 31.6 | 86 29.0 | 83 27.9 | 73 24.6 | 67 22.6 | 69 23.2 | 22 7.4 | 44 14.8 | 30 10.1 | 1 0.3 | 10 3.4 | 27 9.1 |
| 80～84歳 | 172 100.0 | 72 41.9 | 69 40.1 | 57 33.1 | 63 36.6 | 43 25.0 | 48 27.9 | 48 27.9 | 46 26.7 | 35 20.3 | 45 26.2 | 31 18.0 | 10 5.8 | 24 14.0 | 10 5.8 | 3 1.7 | 6 3.5 | 22 12.8 |
| 85～89歳 | 78 100.0 | 31 39.7 | 28 35.9 | 16 20.5 | 31 39.7 | 19 24.4 | 20 25.6 | 23 29.5 | 22 28.2 | 19 24.4 | 17 21.8 | 13 16.7 | 8 10.3 | 8 10.3 | 5 6.4 | 4 5.1 | 2 2.6 | 9 11.5 |
| 90～94歳 | 18 100.0 | 10 55.6 | 8 44.4 | 5 27.8 | 6 33.3 | 7 38.9 | 7 38.9 | 5 27.8 | 3 16.7 | 4 22.2 | 5 27.8 | 4 22.2 | - | 2 11.1 | 1 5.6 | - | 1 5.6 | 2 11.1 |
| 95～99歳 | 1 100.0 | - | - | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - |
| 年齢（2区分） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～74歳 | 733 100.0 | 315 43.0 | 327 44.6 | 228 31.1 | 229 31.2 | 224 30.6 | 222 30.3 | 219 29.9 | 196 26.7 | 182 24.8 | 174 23.7 | 171 23.3 | 126 17.2 | 87 11.9 | 56 7.6 | 20 2.7 | 39 5.3 | 65 8.9 |
| 75歳以上 | 566 100.0 | 248 43.8 | 229 40.5 | 202 35.7 | 193 34.1 | 173 30.6 | 169 29.9 | 162 28.6 | 154 27.2 | 131 23.1 | 135 23.9 | 117 20.7 | 40 7.1 | 78 13.8 | 46 8.1 | 8 1.4 | 19 3.4 | 60 10.6 |
| 問1（1）家族構成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1人暮らし | 186 100.0 | 64 34.4 | 27 14.5 | 67 36.0 | 86 46.2 | 54 29.0 | 46 24.7 | 49 26.3 | 31 16.7 | 33 17.7 | 43 23.1 | 41 22.0 | 23 12.4 | 19 10.2 | 7 3.8 | 5 2.7 | 10 5.4 | 23 12.4 |
| 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） | 493 100.0 | 206 41.8 | 223 45.2 | 165 33.5 | 176 35.7 | 158 32.0 | 155 31.4 | 160 32.5 | 138 28.0 | 121 24.5 | 154 31.2 | 119 24.1 | 62 12.6 | 71 14.4 | 37 7.5 | 12 2.4 | 19 3.9 | 46 9.3 |
| 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） | 42 100.0 | 19 45.2 | 22 52.4 | 16 38.1 | 15 35.7 | 11 26.2 | 14 33.3 | 9 21.4 | 16 38.1 | 14 33.3 | 8 19.0 | 10 23.8 | 3 31.0 | 3 7.1 | 2 4.8 | 3 7.1 | 1 2.4 | 6 14.3 |
| 息子・娘との2世帯 | 441 100.0 | 219 49.7 | 232 52.6 | 151 34.2 | 117 26.5 | 130 29.5 | 137 31.1 | 132 29.9 | 132 29.9 | 115 26.1 | 86 19.5 | 91 20.6 | 54 12.2 | 60 13.6 | 48 10.9 | 5 1.1 | 19 4.3 | 32 7.3 |
| その他 | 123 100.0 | 57 46.3 | 56 45.5 | 32 26.0 | 27 22.0 | 45 36.6 | 40 32.5 | 33 26.8 | 35 28.5 | 32 26.0 | 22 17.9 | 28 22.8 | 15 12.2 | 12 9.8 | 7 5.7 | 3 2.4 | 6 4.9 | 10 8.1 |

1.3. 生活機能判定評価について

(1) 生活機能判定評価の結果



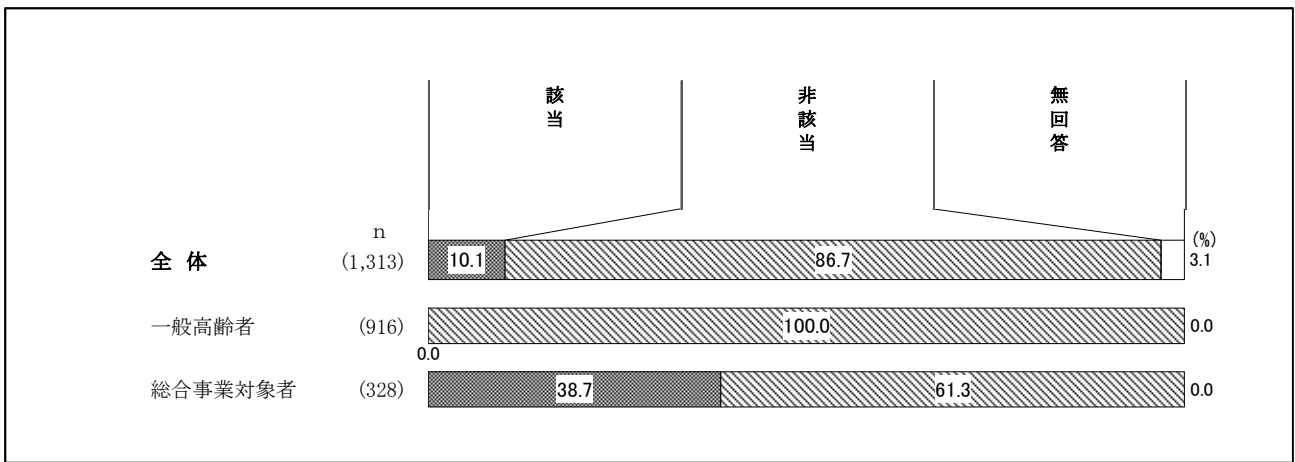
生活機能の各評価項目の該当者割合をみると、全体では、「うつ傾向」(42.0%)、「認知機能低下」(35.7%)が上位となっている。

介護予防・日常生活支援総合事業対象者別にみると、該当者割合は、総合事業対象者では、50%以上が該当する項目は「口腔機能の低下」(77.1%)が最も多く、以下「うつ傾向」(60.1%)、「認知機能低下」(55.8%)となっている。

一般高齢者では、「うつ傾向」(36.0%)、「認知機能低下」(29.7%)、「転倒リスク」(19.5%)の順となっており、「うつ傾向」、「認知機能低下」が総合事業対象者同様に上位となっている。

なお、一般高齢者、総合事業対象者ともに「低栄養の傾向」の該当者割合が最も低くなっている。

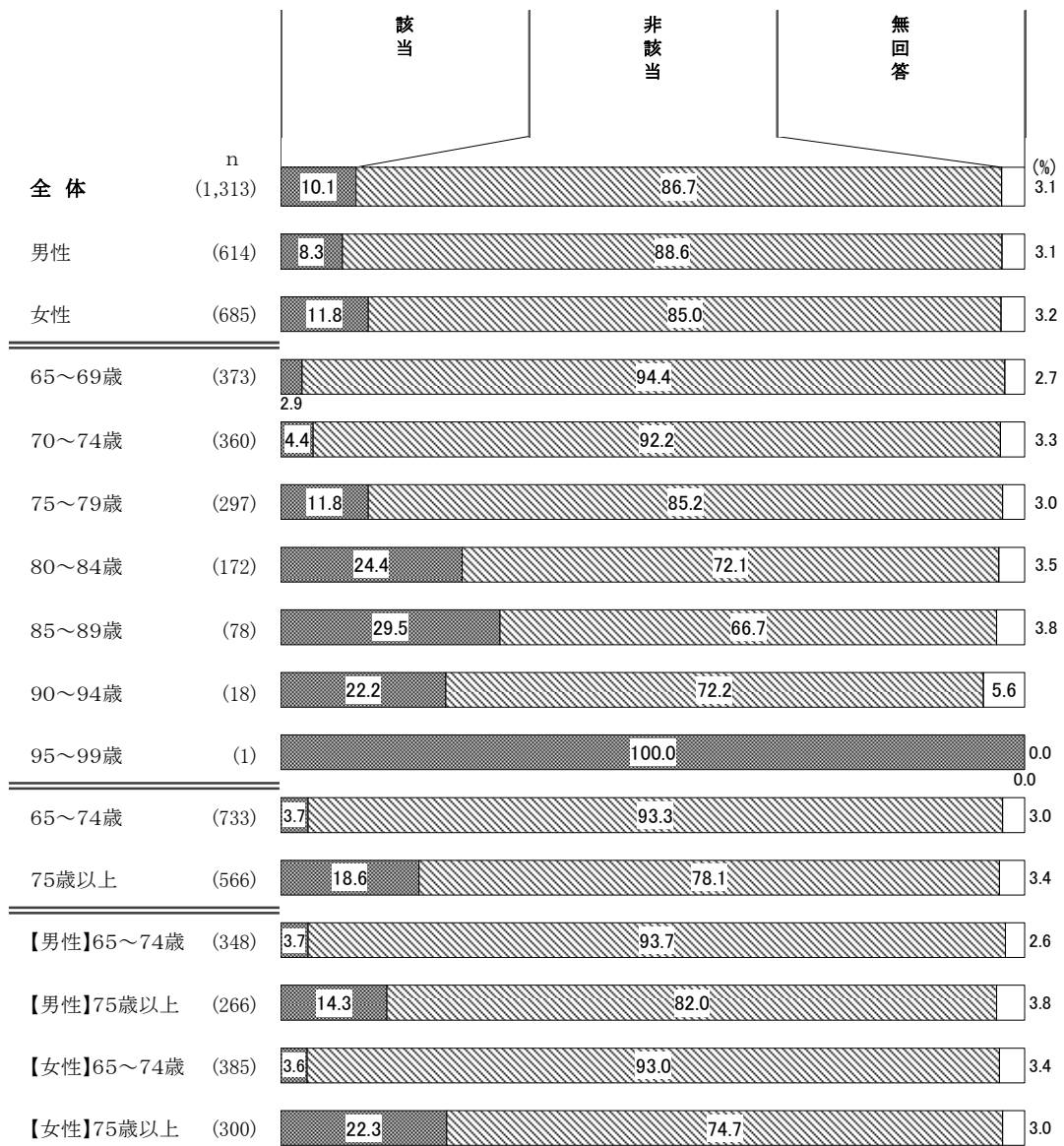
(2) 運動器の機能低下



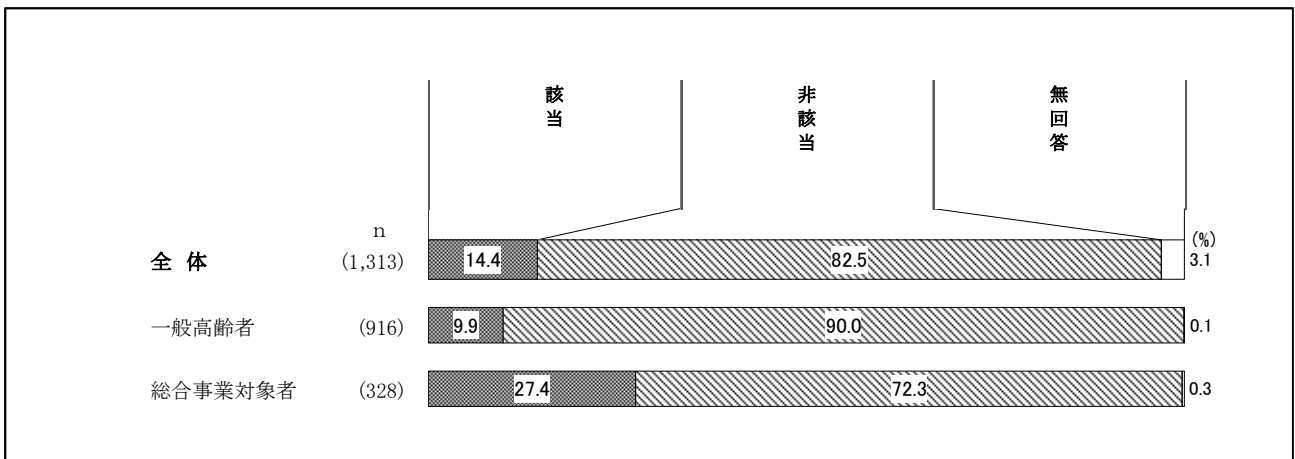
基本チェックリストに基づく運動器の機能低下の該当者割合は、全体で10.1%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業対象者別にみると、該当者割合は、総合事業対象者で38.7%となっている。

該当者割合は、男性より女性が高く、年齢が上がるにしたがって増加している。

【性別・年齢別・性年齢別】



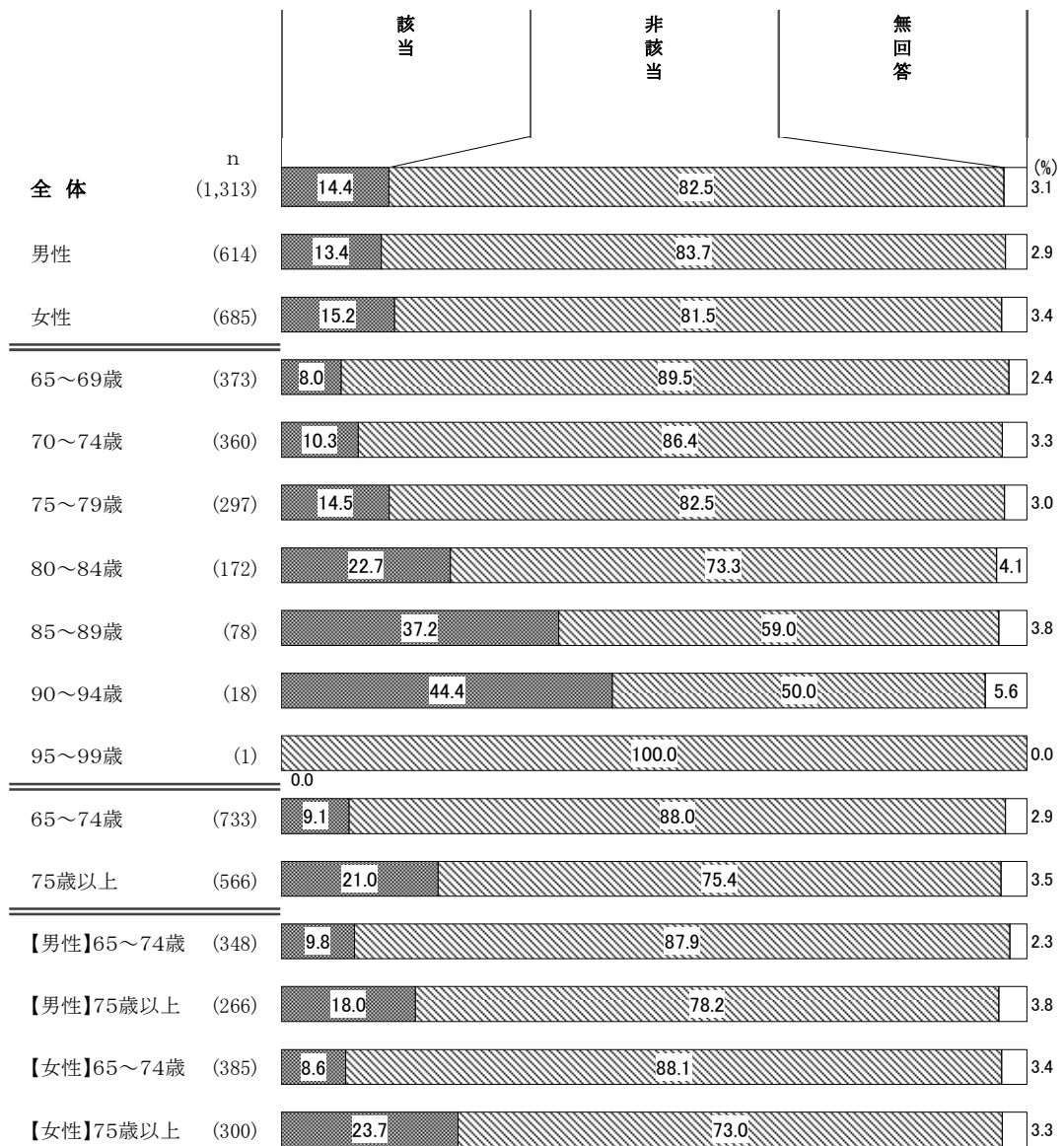
(3) 閉じこもり傾向



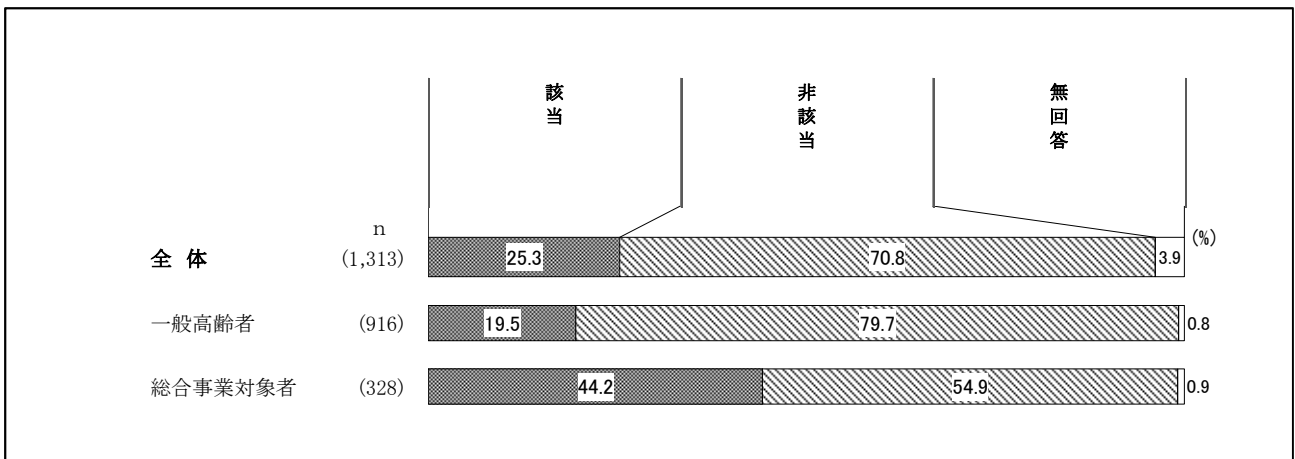
基本チェックリストに基づく閉じこもり傾向の該当者割合は、全体では14.4%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業対象者別にみると、該当者割合は一般高齢者では9.9%、総合事業対象者では27.4%となっている。

該当者割合は、男性より女性がやや高く、年齢が上がるにしたがって増加しており、性・年齢別にみると、【男性】65～74歳では同年代の女性をやや上回っている。

【性別・年齢別・性年齢別】



(4) 転倒リスク

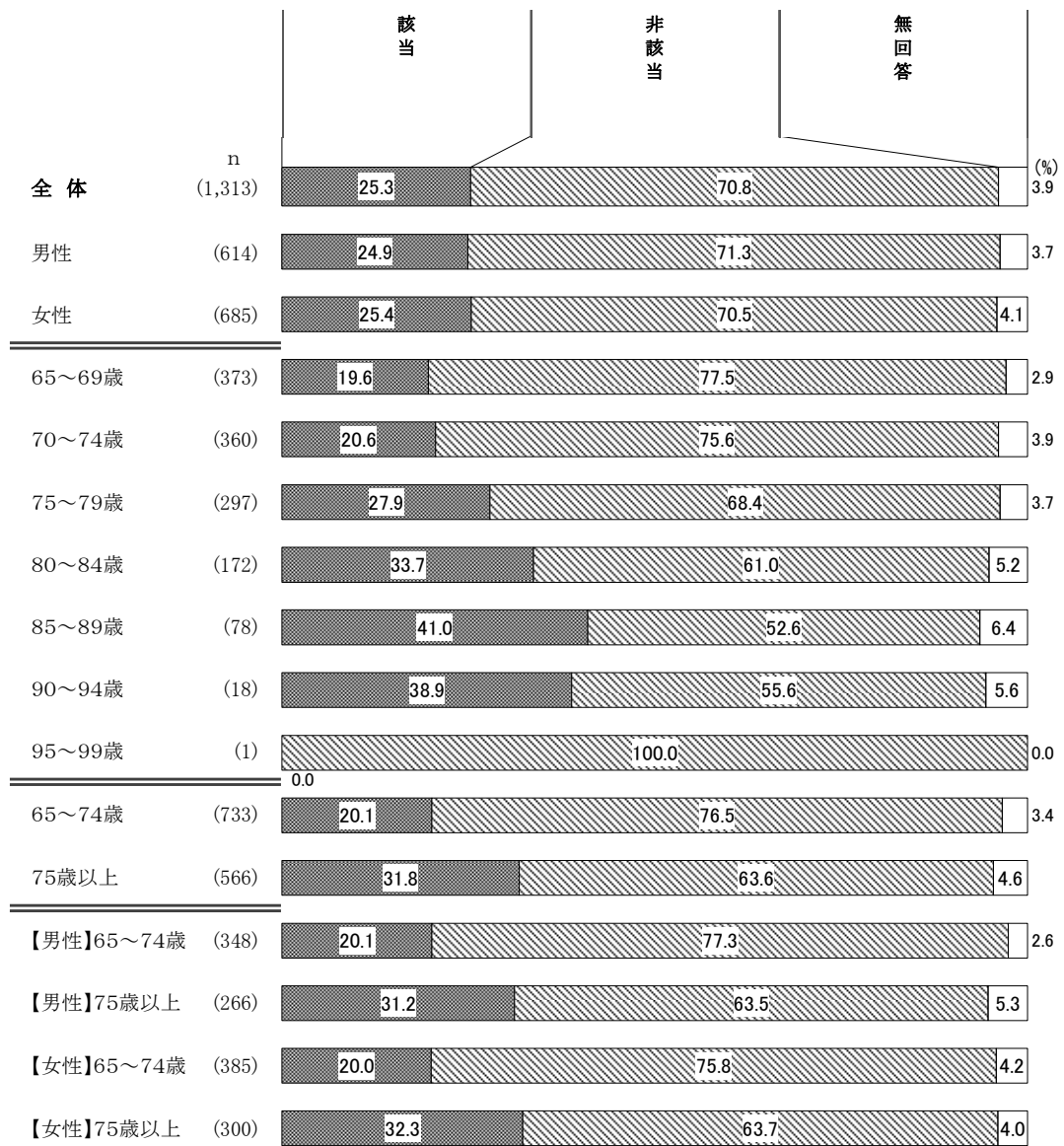


基本チェックリストに基づく転倒リスクの該当者割合は、全体では25.3%となっている。

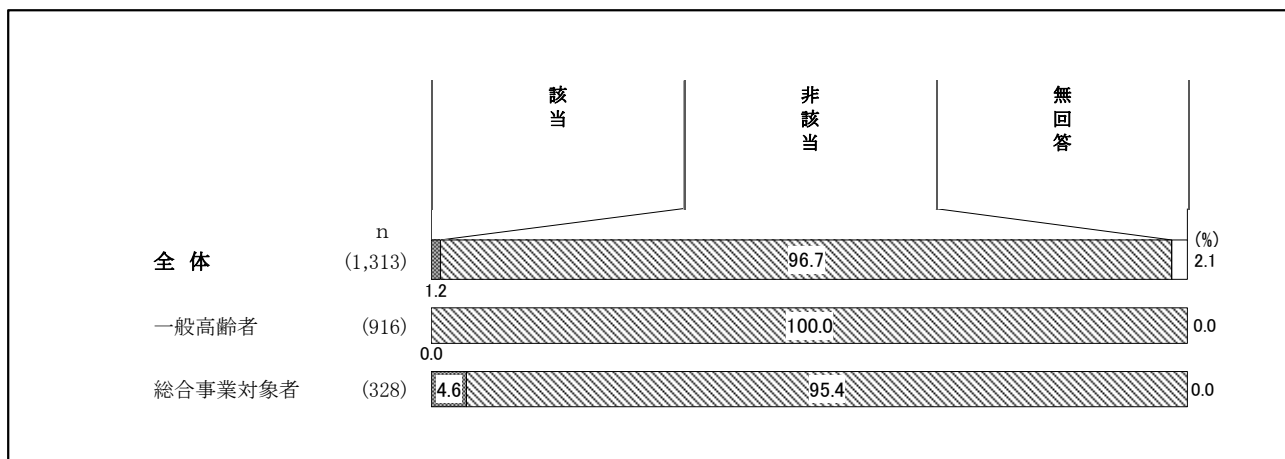
介護予防・日常生活支援総合事業対象者別にみると、該当者割合は一般高齢者では19.5%、総合事業対象者では44.2%となっている。

該当者割合は、性別には大きな違いはみられず、概ね年齢が上がるにしたがって増加している。

【性別・年齢別・性年齢別】

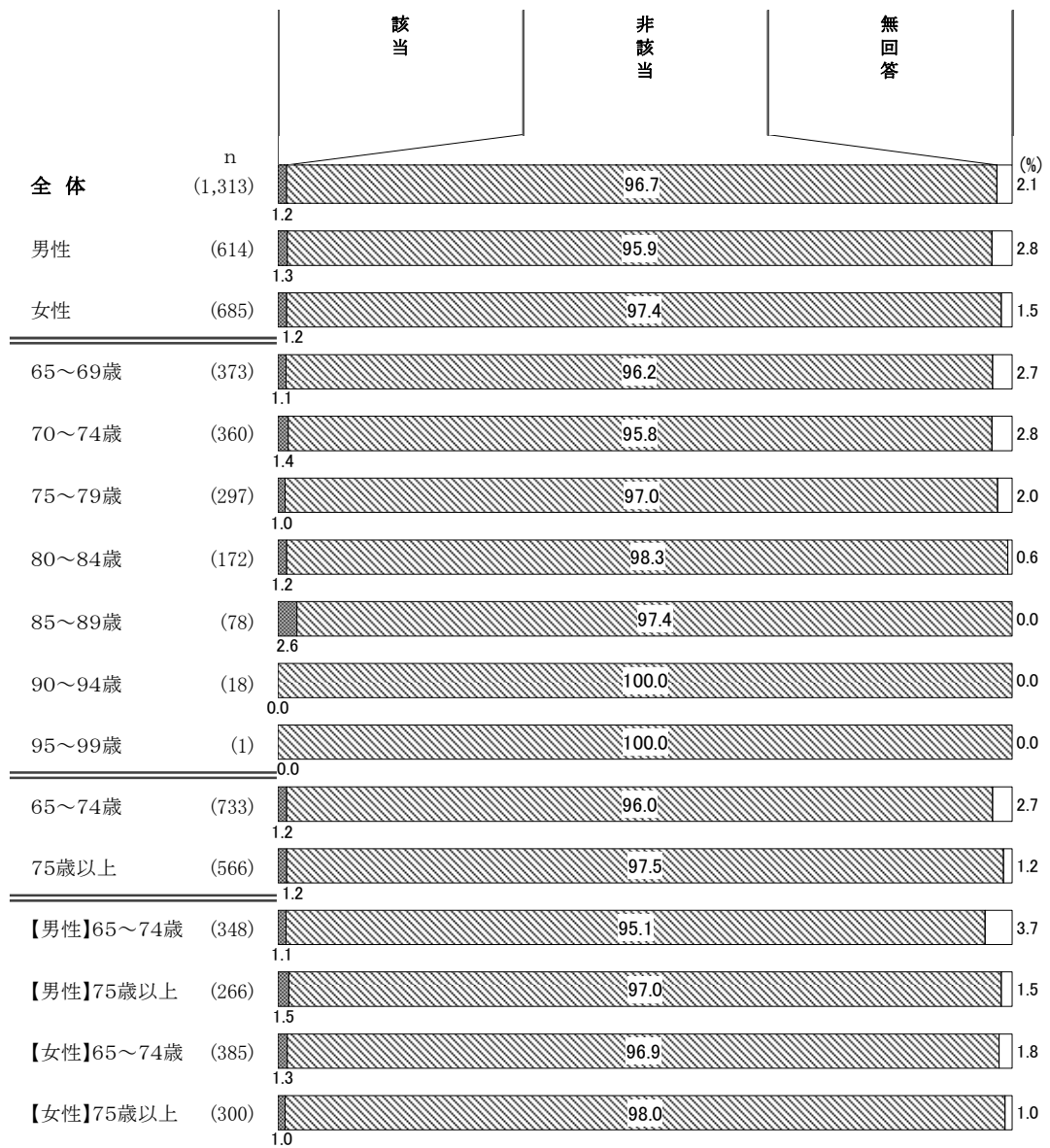


(5) 低栄養の傾向

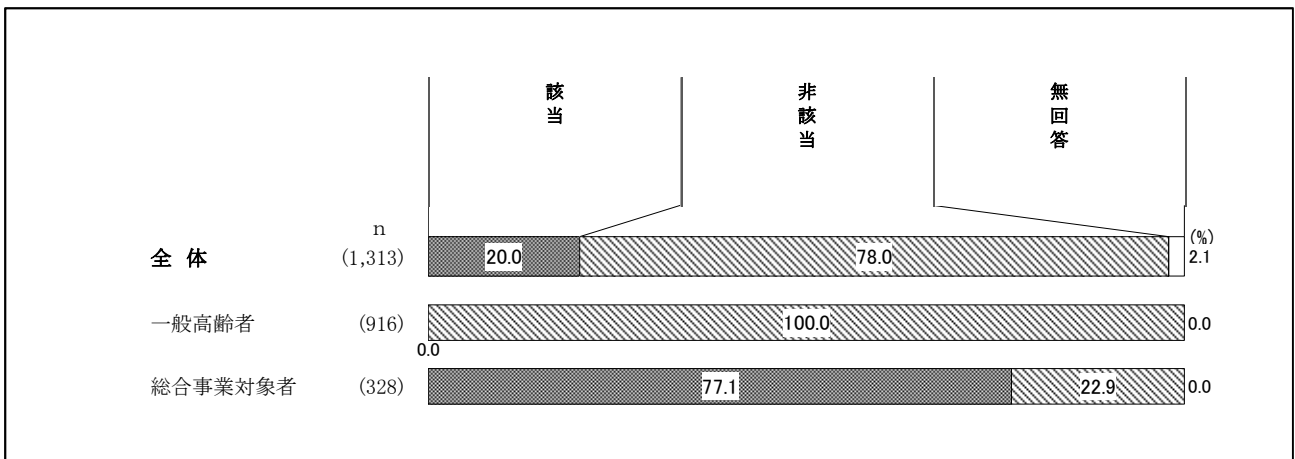


基本チェックリストに基づく低栄養の傾向の該当者割合は、全体では1.2%となっている。
 介護予防・日常生活支援総合事業対象者別にみると、該当者割合は総合事業対象者では4.6%となっている。
 該当者割合は、性別、年齢別で大きな違いはみられない。

【性別・年齢別・性年齢別】



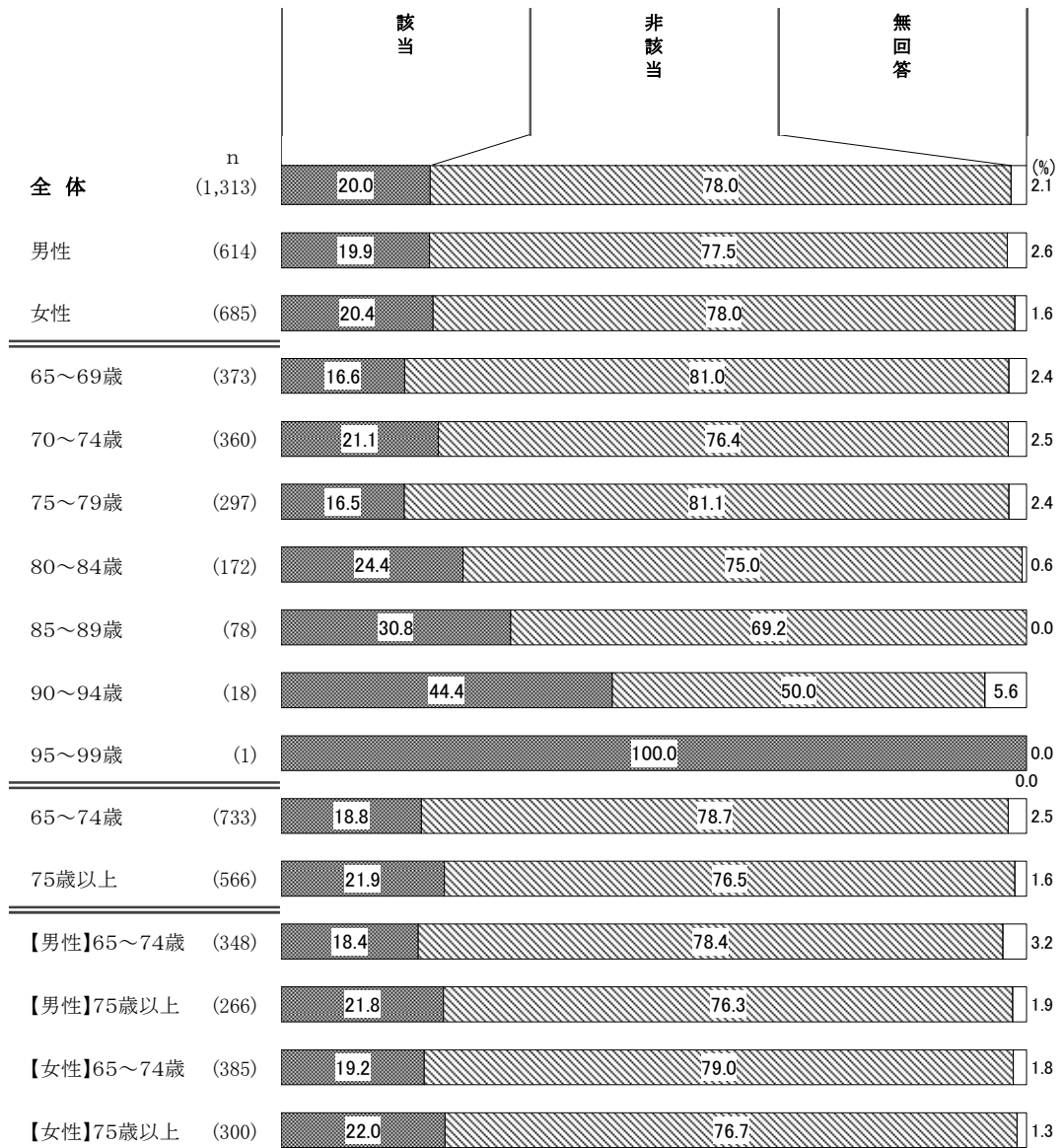
(6) 口腔機能の低下



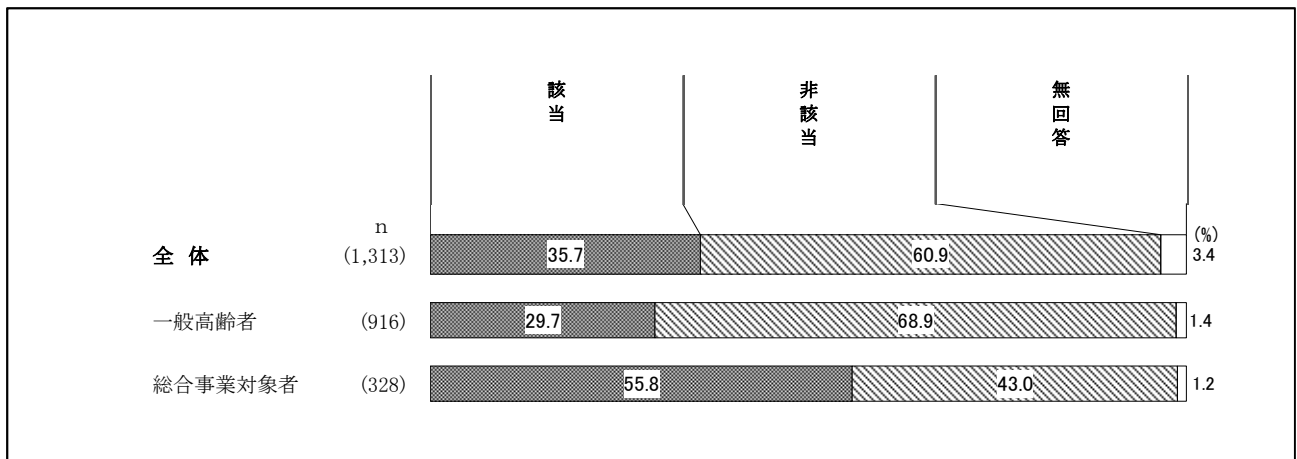
基本チェックリストに基づく口腔機能の低下の該当者割合は、全体では20.0%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業対象別にみると、該当者割合は総合事業対象者では77.1%となっている。

該当者割合は、性別には大きな違いはみられず、概ね年齢が上がるにしたがって増加している。

【性別・年齢別・性年齢別】



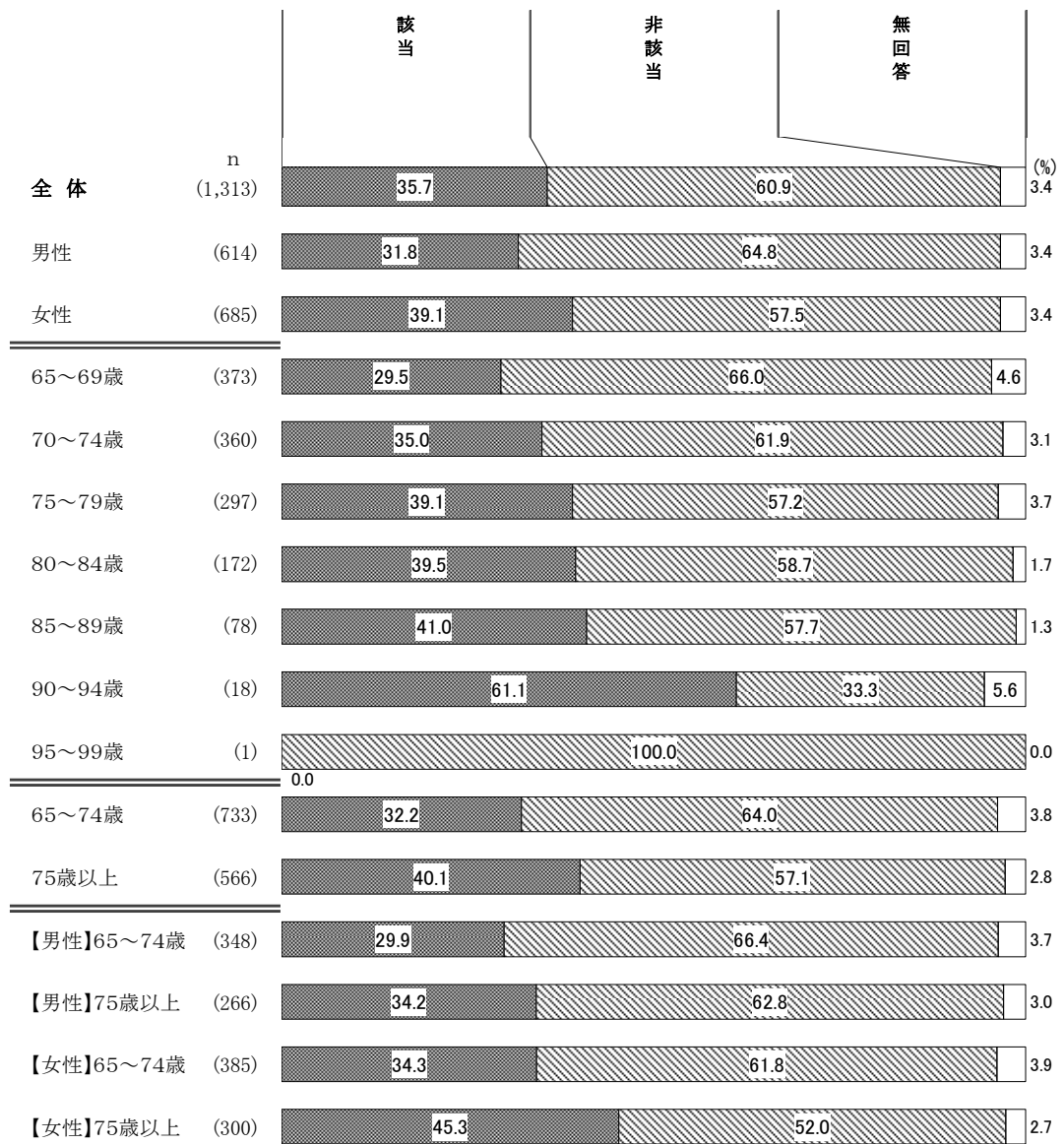
(7) 認知機能低下



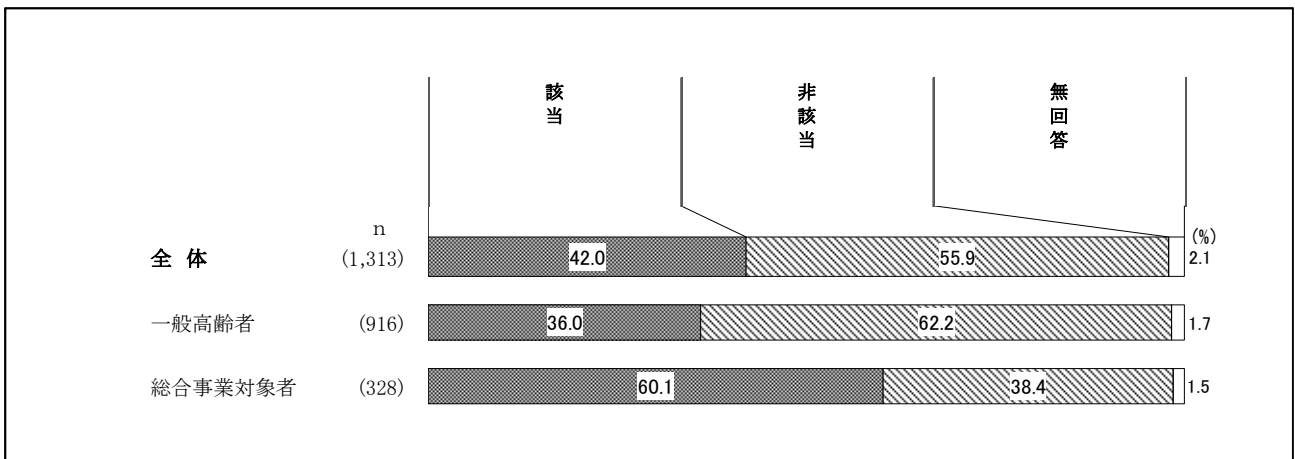
基本チェックリストに基づく認知機能低下の該当者割合は、全体では35.7%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業対象者別にみると、該当者割合は一般高齢者では29.7%、総合事業対象者では55.8%となっている。

該当者割合は、男性より女性が高く、年齢が上がるにしたがって増加しており、性・年齢別にみると、【女性】75歳以上では45.3%と同年代の男性を11.1ポイント上回っている。

【性別・年齢別・性年齢別】



(8) うつ傾向

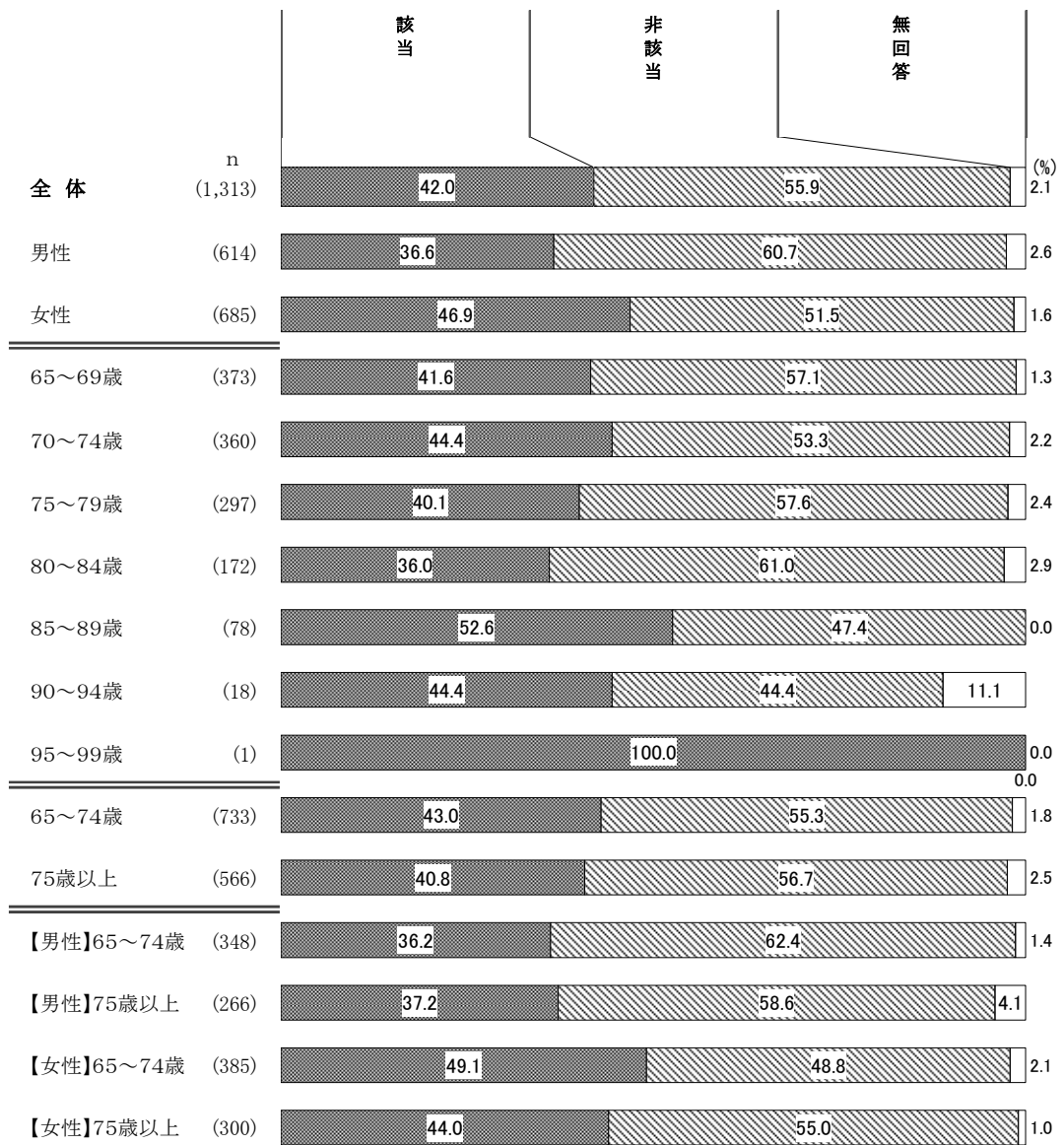


基本チェックリストに基づくうつ傾向の該当者割合は、全体では42.0%となっている。

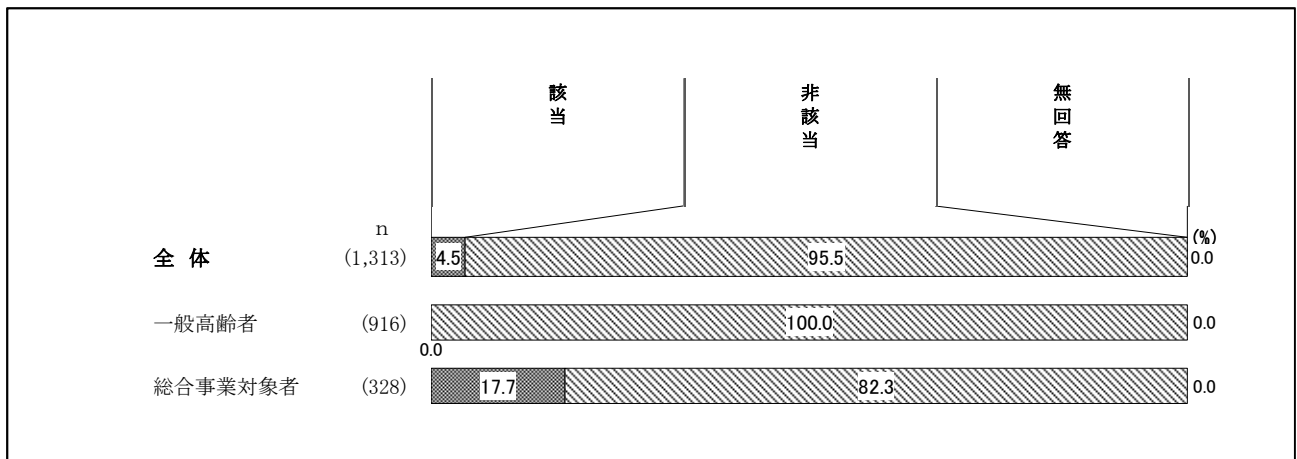
介護予防・日常生活支援総合事業対象者別にみると、該当者割合は一般高齢者では36.0%、総合事業対象者では60.1%となっている。

該当者割合は、男性より女性が高く、年齢は65～74歳の若い世代がやや高くなっており、性・年齢別にみると【女性】65～74歳では49.1%と同年代の男性を12.9ポイント上回っている。

【性別・年齢別・性年齢別】



(9) 虚弱

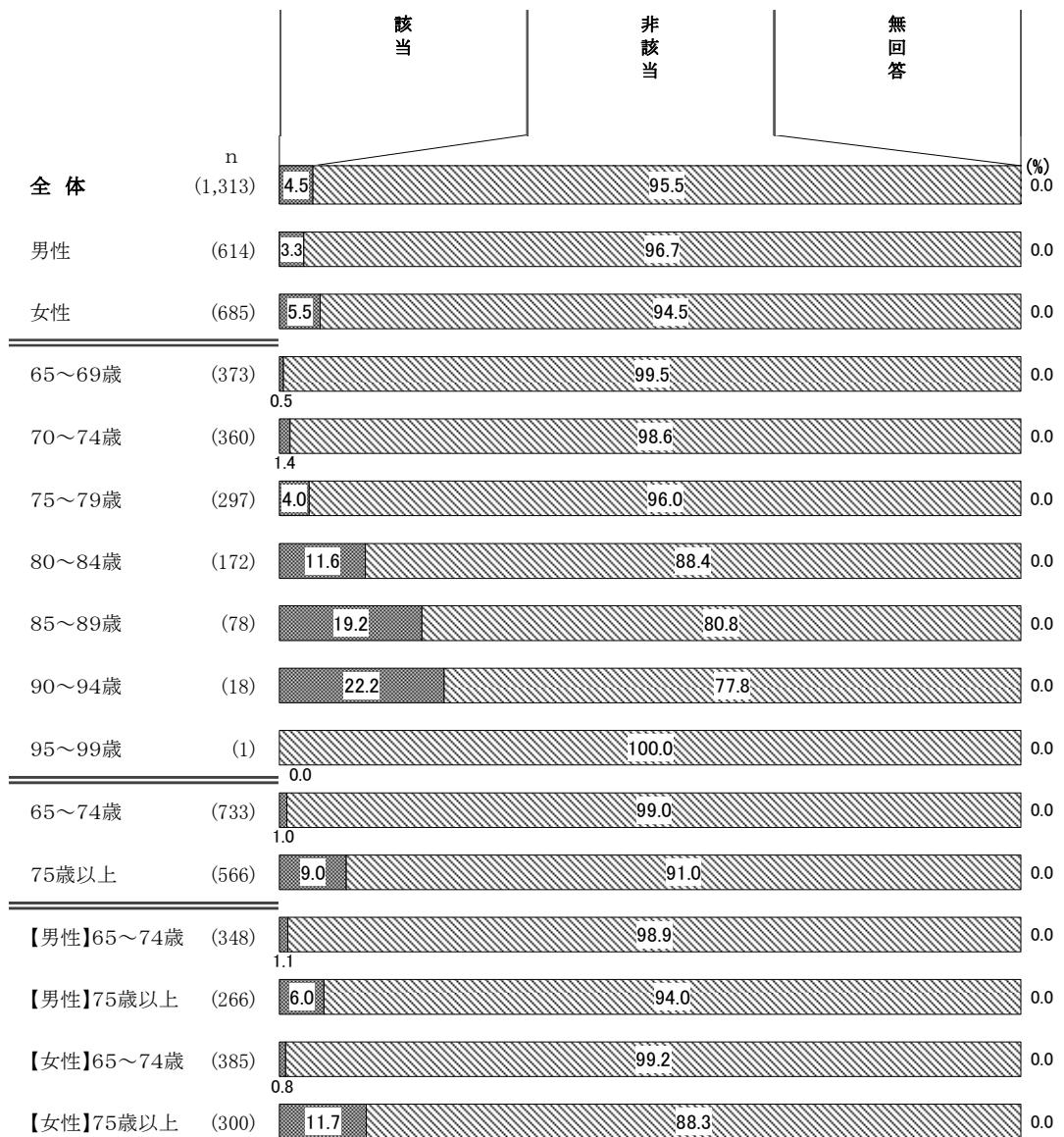


基本チェックリストに基づく虚弱の該当者割合は、全体では4.5%となっている。

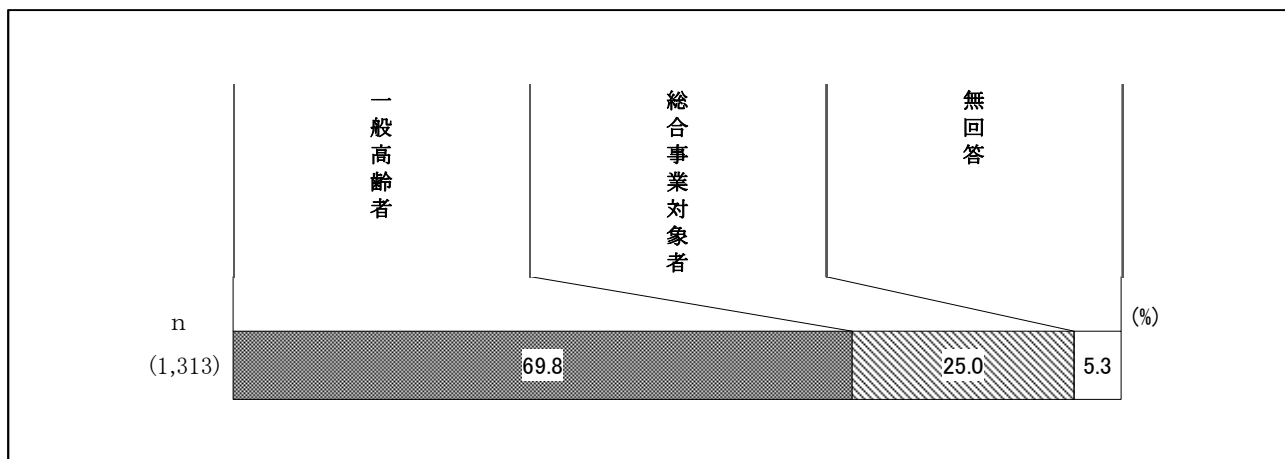
介護予防・日常生活支援総合事業対象別にみると、該当者割合は総合事業対象者で17.7%となっている。

該当者割合は、男性より女性がやや高く、年齢が上がるにしたがって増加しており、性・年齢別にみると、【女性】75歳以上では11.7%と同年代の男性を5.7ポイント上回っている。

【性別・年齢別・性年齢別】



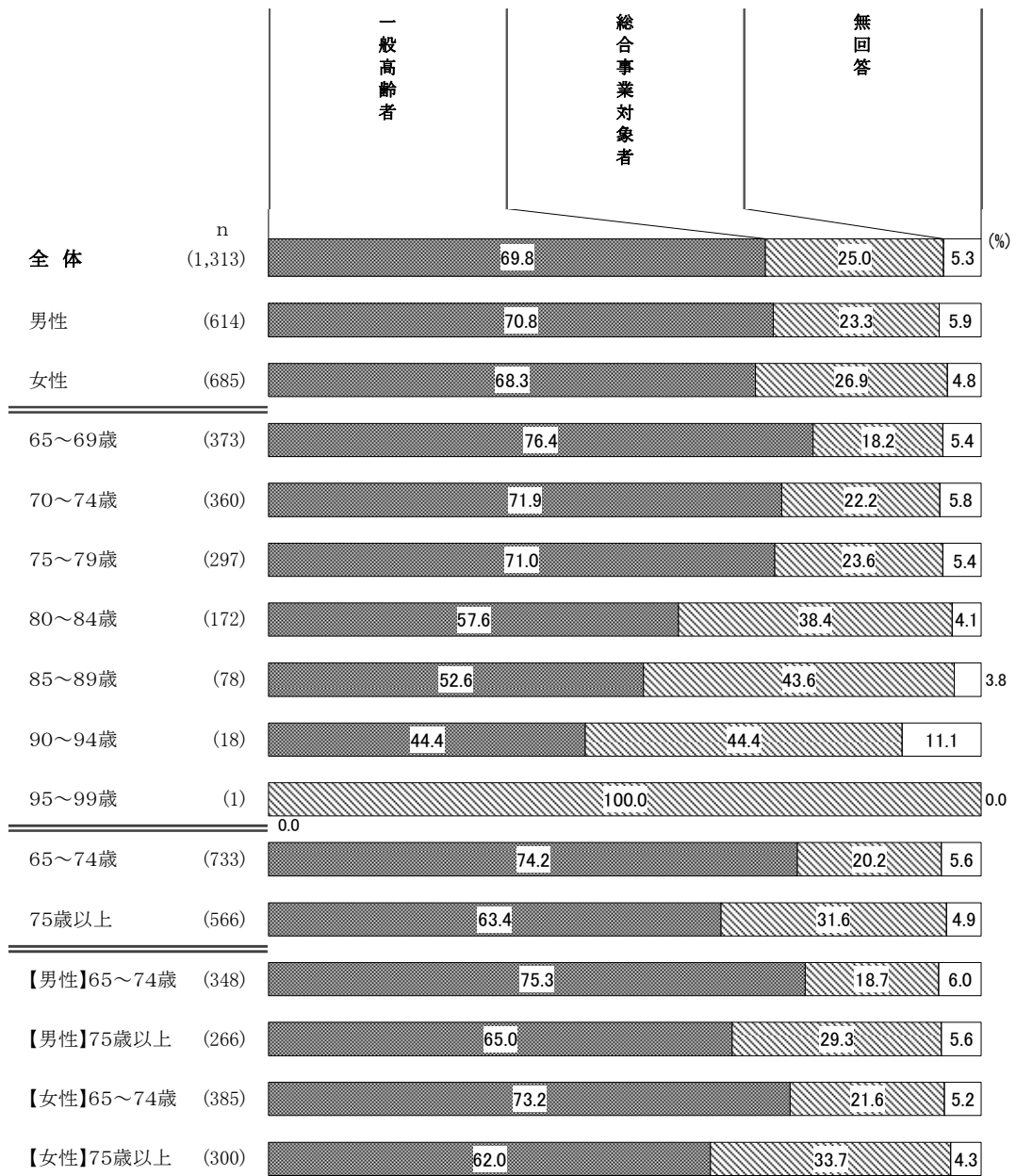
(10) 介護予防・日常生活支援総合事業対象者



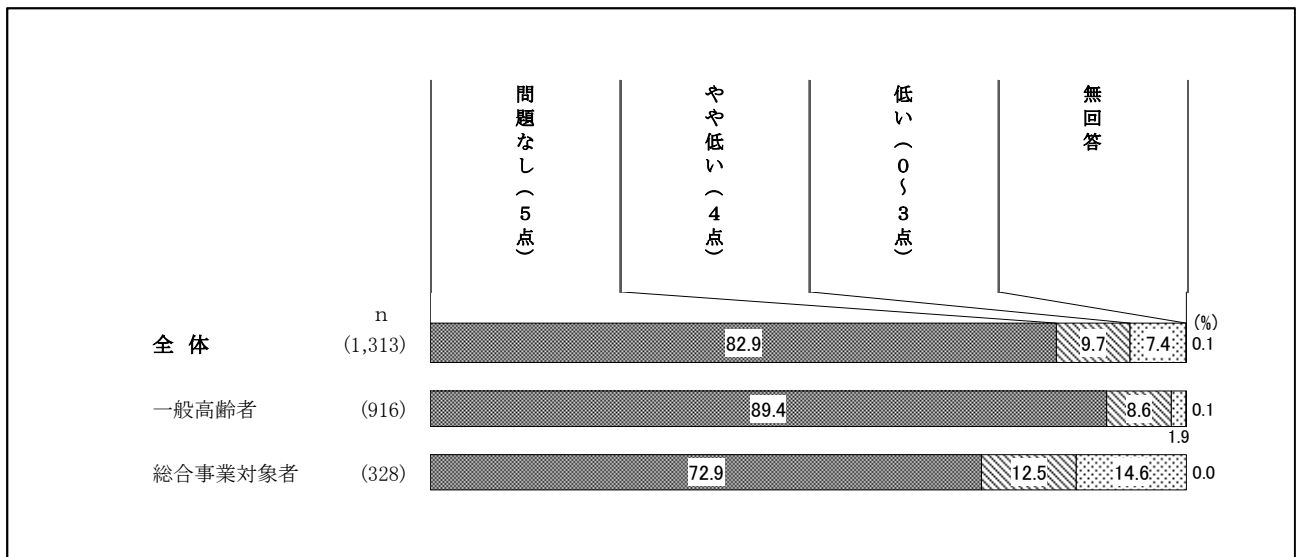
虚弱、運動器の低下、低栄養の傾向、口腔機能の低下の4つの項目すべてを判定できた回答者において、1つでも該当した場合、総合事業対象者となる。総合事業対象者割合は、全体では25.0%となっている。

該当者割合は、男性より女性がやや高く、年齢が上がるにしたがって増加している。

【性別・年齢別・性年齢別】



(11) IADL (手段的自立度)



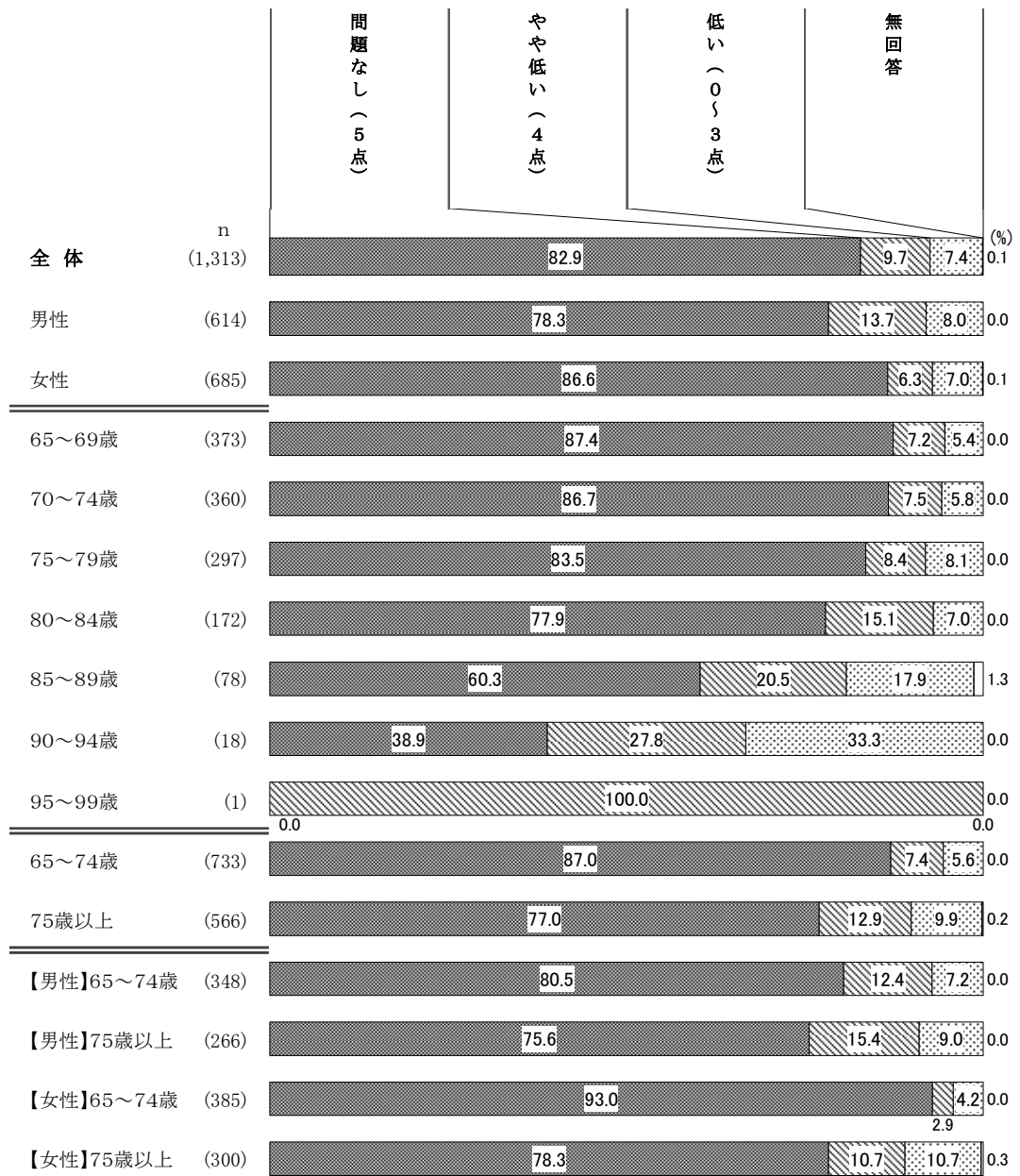
本調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が設けられている。このうちIADL (手段的自立度) については、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として5点満点で評価し、5点を「問題なし」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価している。

4点以下を低下者とした評価結果をみると、低下者割合は全体では17.1%となっている。

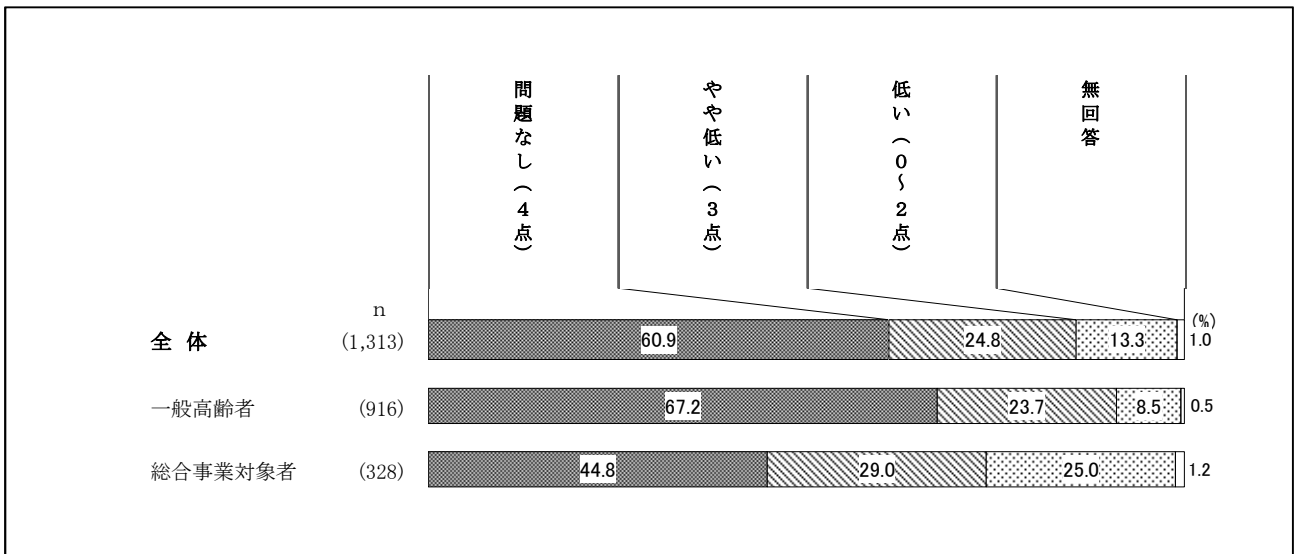
介護予防・日常生活支援総合事業対象者別にみると、低下者割合は、一般高齢者では10.5%、総合事業対象者では27.1%となっている。

低下者割合は、女性より男性が高く、年齢が上がるにしたがって増加しており、性・年齢別にみると、【男性】65~74歳では19.6%と同年代の女性を12.5ポイント上回っている。

【性別・年齢別・性年齢別】



(12) 社会参加（知的能動性）



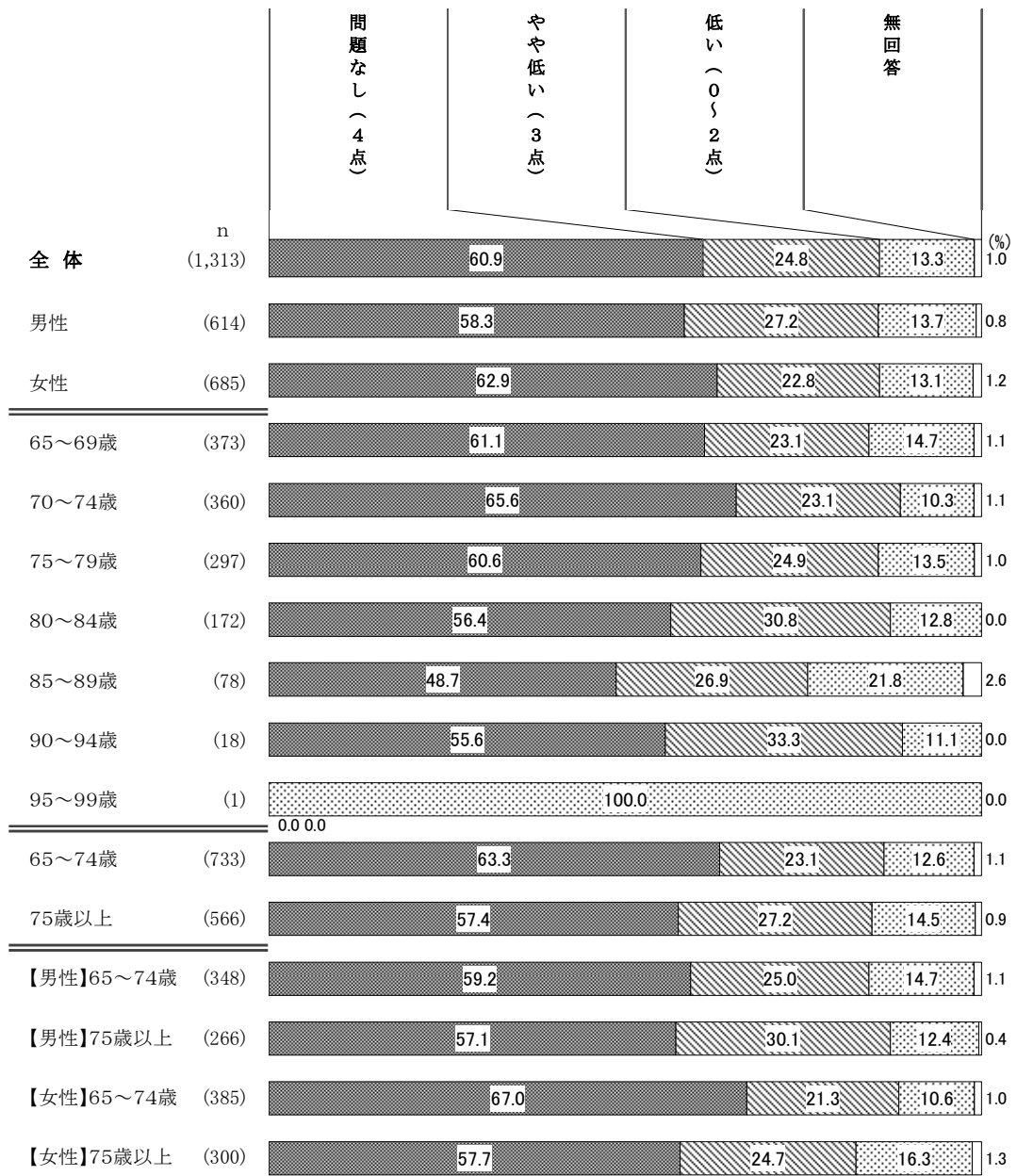
老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられ、「知的能動性」として尺度化されている。評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「問題なし」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価している。

3点以下を低下者とした評価結果をみると、低下者割合は全体で38.1%となっている。

介護予防・日常生活支援総合事業対象別にみると、低下者割合は、一般高齢者では32.2%、総合事業対象者では54.0%となっている。

低下者割合は、女性より男性が高く、年齢が上がるにしたがって増加している。性・年齢別にみると、【男性】65～74歳では39.7%と同年代の女性を7.8ポイント上回っているが、【女性】75歳以上では「低い」が増加し、75歳以上の低下者割合は男性と同程度となっている。

【性別・年齢別・性年齢別】



(13) 日常生活圏域ニーズにおける生活機能判定評価の概要

◆ 基本チェックリスト

- ・判定は「介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル」による。
- ・本調査における該当する設問は以下の通り。
- ・基本得点は以下の設問 19 問で該当する選択肢を回答した場合を 1 点としたときの合計点

| 番号 | 設問内容 | 該当する選択肢 |
|--------|---|----------------------------------|
| 問4 (2) | バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) | 「2. できるけどしていない」 or 「3. できない」 |
| 問4 (3) | 自分で食品・日用品の買物をしていますか | 「2. できるけどしていない」 or 「3. できない」 |
| 問4 (6) | 自分で預貯金の出し入れをしていますか | 「2. できるけどしていない」 or 「3. できない」 |
| 問2 (1) | 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか | 「3. できない」 |
| 問2 (2) | 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか | 「3. できない」 |
| 問2 (3) | 15分位続けて歩いていますか | 「3. できない」 |
| 問2 (4) | 過去1年間に転んだ経験がありますか | 「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」 |
| 問2 (5) | 転倒に対する不安は大きいですか | 「1. とても不安である」 or 「2. やや不安である」 |
| 問3 (8) | 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか | 「1. はい」 |
| 問3 (1) | 身長 cm 体重 kg: BMIは18.5未満か? | 「18.5未満」 |
| 問3 (2) | 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか | 「1. はい」 |
| 問3 (5) | お茶や汁物等でむせることがありますか | 「1. はい」 |
| 問3 (6) | 口の渇きが気になりますか | 「1. はい」 |
| 問2 (6) | 週に1回以上は外出していますか | 「1. ほとんど外出しない」 or 「2. 週1回」 |
| 問2 (7) | 昨年と比べて外出の回数が減っていますか | 「1. とても減っている」 or 「2. 減っている」 |
| 問4 (1) | 物忘れが多いと感じますか | 「1. はい」 |
| 問4 (7) | 今日が何月何日かわからない時がありますか | 「1. はい」 |
| 問7 (3) | この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか | 「1. はい」 |
| 問7 (4) | この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか | 「1. はい」 |

①虚弱 … 問2 (1)～問2 (7)、問3 (1) (2) (5) (6) (8)、
問4 (1) (2) (3) (6) (7) の17問

②運動器の機能低下… 問2 (1)～問2 (5)

③閉じこもり傾向 … 問2 (6)

④転倒リスク … 問2 (4)

⑤低栄養の傾向 … 問3 (1) (8)

⑥口腔機能の低下 … 問3 (2) (5) (6)

⑦認知機能低下 … 問4 (1)

⑧うつ傾向 … 問7 (3) (4)

※介護予防・日常生活支援総合事業対象者は、①虚弱、②運動器の機能低下、⑤低栄養の傾向、⑥口腔機能の低下の4つすべてを判定できた回答者を判定の対象者とし、その中でいずれかに該当した場合である。今回基本チェックリストのうち、虚弱判定の3問（友人の家を訪ねる、家族や友人の相談にのる、自分で電話番号を調べて電話をかける）は設計検討で割愛しているため17要素で判定している。

◆ その他の判定・評価

①老研指数（IADL（手段的自立度））

| 番号 | 設問内容 | 選択肢 |
|--------|-----------------------------------|--|
| 問4 (2) | バスや電車を使って1人で外出していますか （自家用車でも可） | 「1. できるし、している」 or 「2. できるけどしていない」 : 1点 |
| 問4 (3) | 自分で食品・日用品の買物をしていますか | |
| 問4 (4) | 自分で食事の用意をしていますか | |
| 問4 (5) | 自分で請求書の支払いをしていますか | |
| 問4 (6) | 自分で預貯金の出し入れをしていますか | |

5点：問題なし 4点：やや低い 0～3点：低い

②老研指数（社会参加（知的能動性））

| 番号 | 設問内容 | 選択肢 |
|---------|-----------------------------|------------|
| 問4 (8) | 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか | 「1. はい」：1点 |
| 問4 (9) | 新聞を読んでいますか | |
| 問4 (10) | 本や雑誌を読んでいますか | |
| 問4 (11) | 健康についての記事や番組に関心がありますか | |

4点：問題なし 3点：やや低い 0～2点：低い

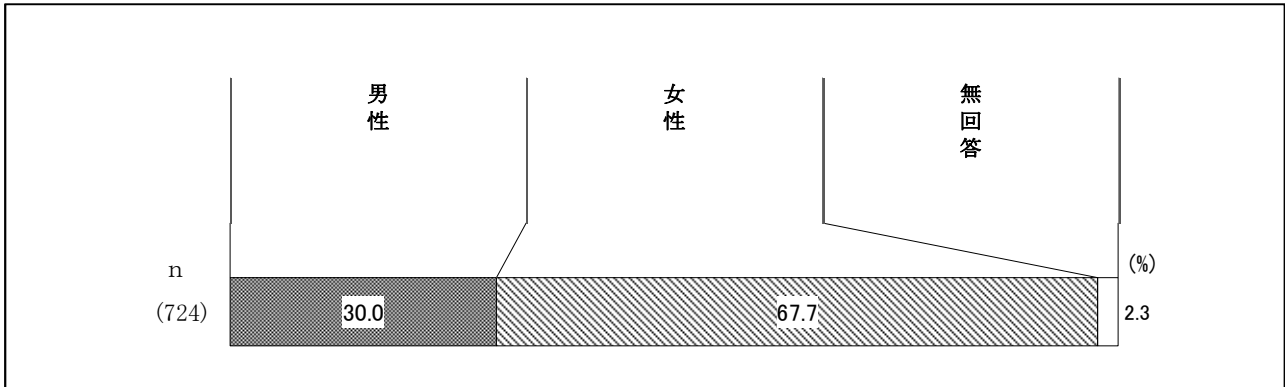
第2部 調査結果の分析

第2章 在宅介護実態調査

第2章 在宅介護実態調査

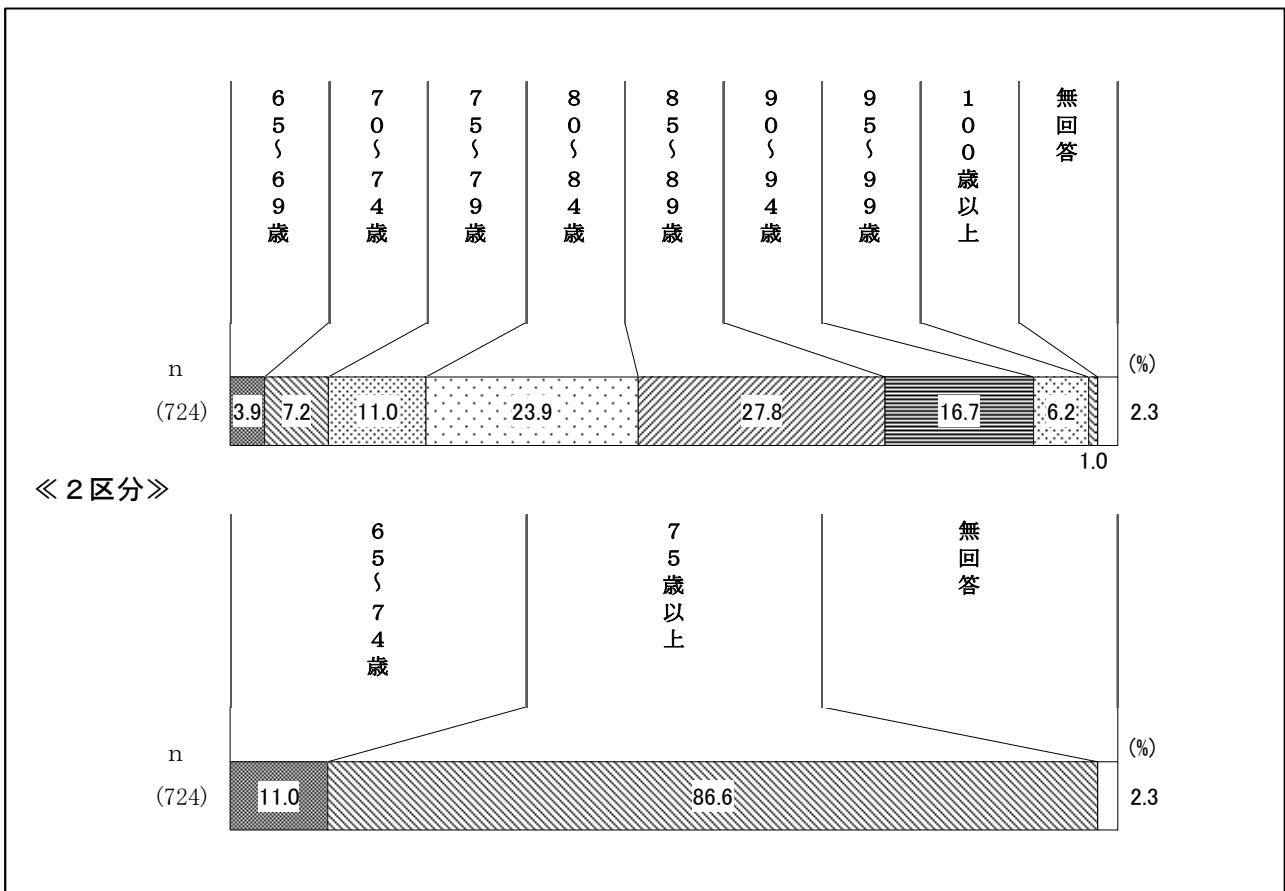
1. 回答者の属性について

(1) 回答者の性別



性別は、「女性」が67.7%となっており、「男性」(30.0%)を上回っている。

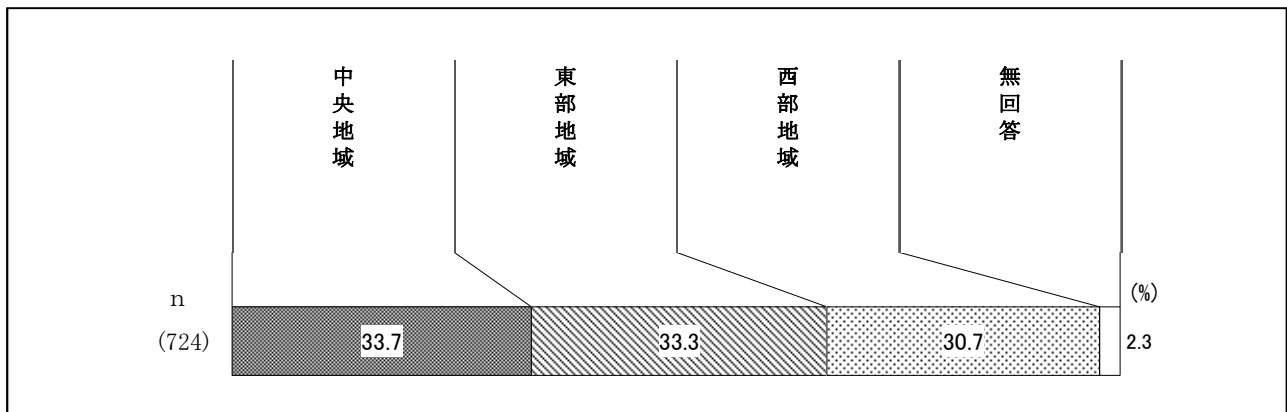
(2) 回答者の年齢



年齢は、「85～89歳」が27.8%と最も多く、以下「80～84歳」(23.9%)、「90～94歳」(16.7%)、「75～79歳」(11.0%)、「70～74歳」(7.2%)などとなっている。

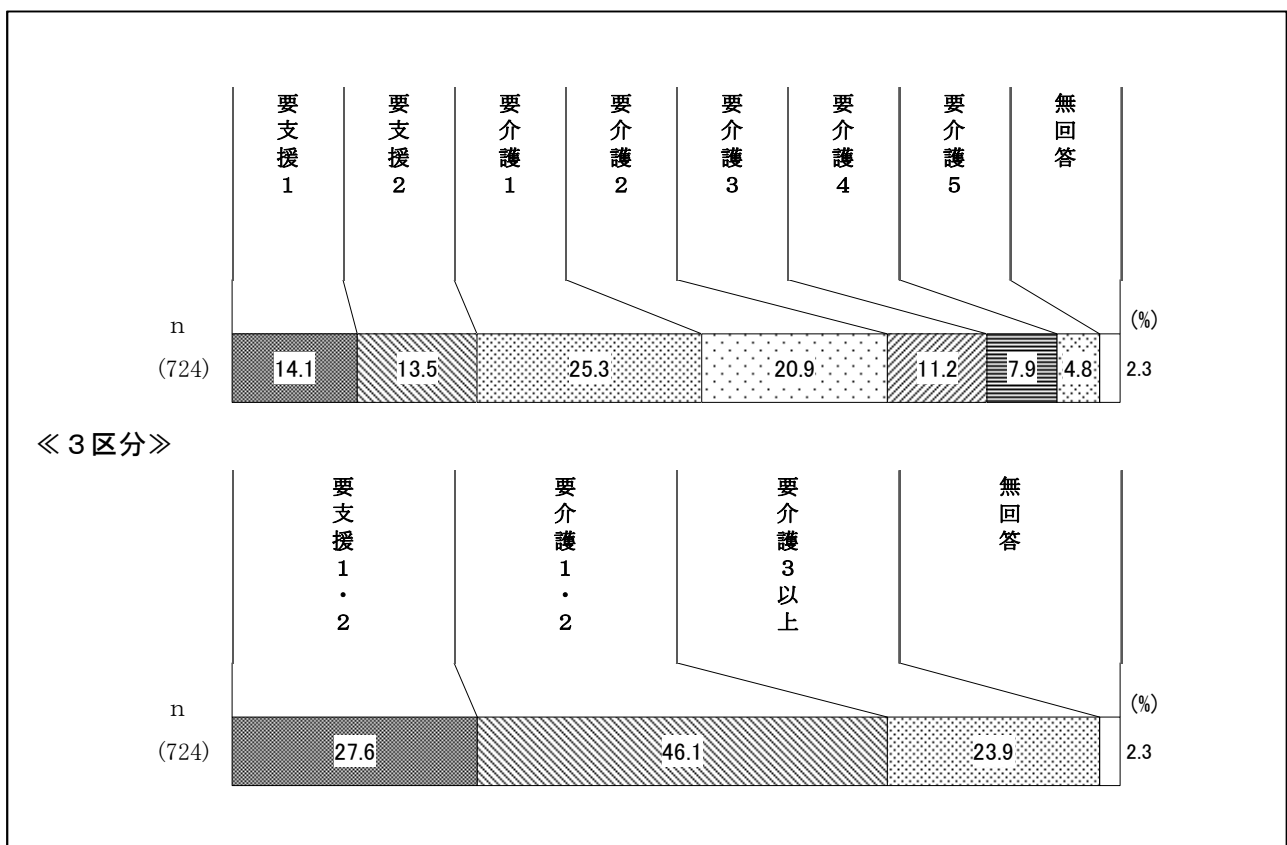
年齢「2区区分」は、「75歳以上」が86.6%を占めており、「65～74歳」は11.0%となっている。

(3) 回答者の居住地



居住地は、「中央地域」が33.7%、「東部地域」が33.3%、「西部地域」が30.7%となっている。

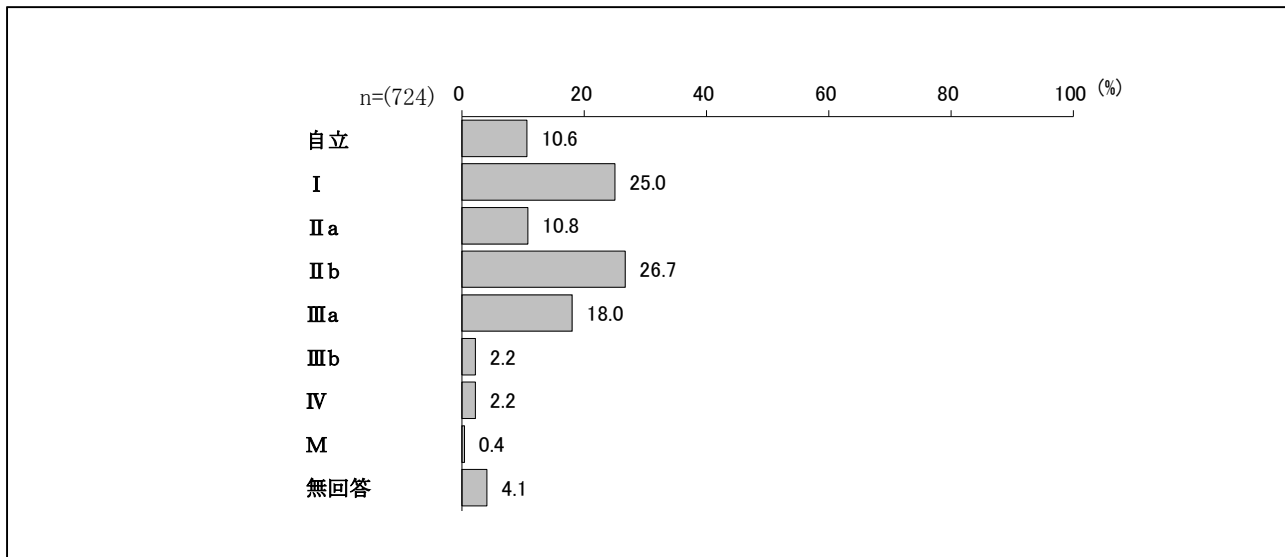
(4) 回答者の要介護度



回答者の要介護度は、「要介護1」が25.3%と最も多く、以下「要介護2」(20.9%)、「要支援1」(14.1%)、「要支援2」(13.5%)、「要介護3」(11.2%)などとなっている。

要介護度<<3区分>>では、「要介護1・2」が46.1%と最も多く、以下「要支援1・2」(27.6%)、「要介護3以上」(23.9%)となっている。

(5) 回答者の認知症高齢者の日常生活自立度



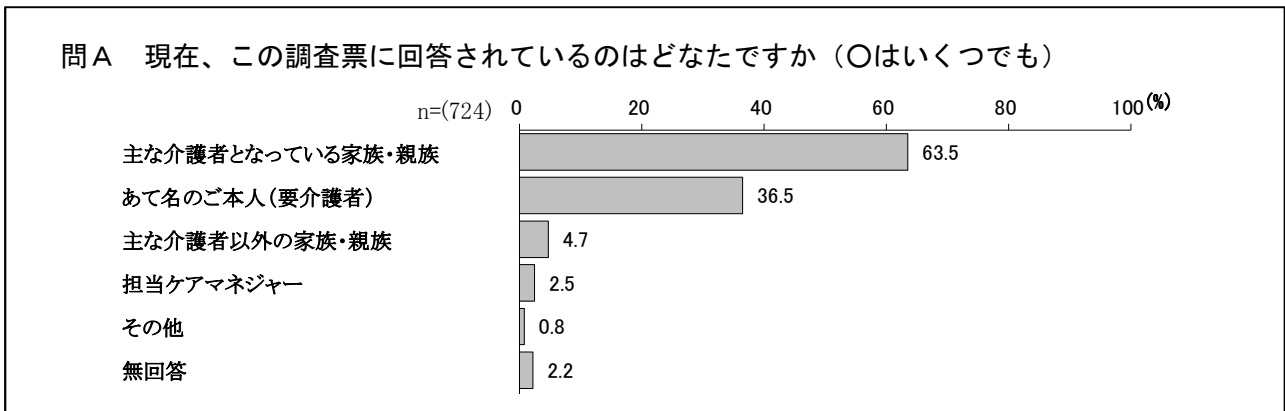
回答者の認知症高齢者の日常生活自立度は、「II b」(26.7%)、「I」(25.0%) がともに多く、以下「III a」(18.0%)、「II a」(10.8%) となっている。

< 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準 >

| レベル | 判断基準 |
|-------|---|
| I | 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している状態で基本的には在宅で自立した生活が可能なレベル |
| II a | 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭外で多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態 |
| II b | 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭内で見られるようになるが、誰かが注意していれば自立できる状態 |
| III a | 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが主に日中を中心に見られ、介護を必要とする状態 |
| III b | 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが夜間にも見られるようになり、介護を必要とする状態 |
| IV | 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態 |
| M | 著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする状態 |

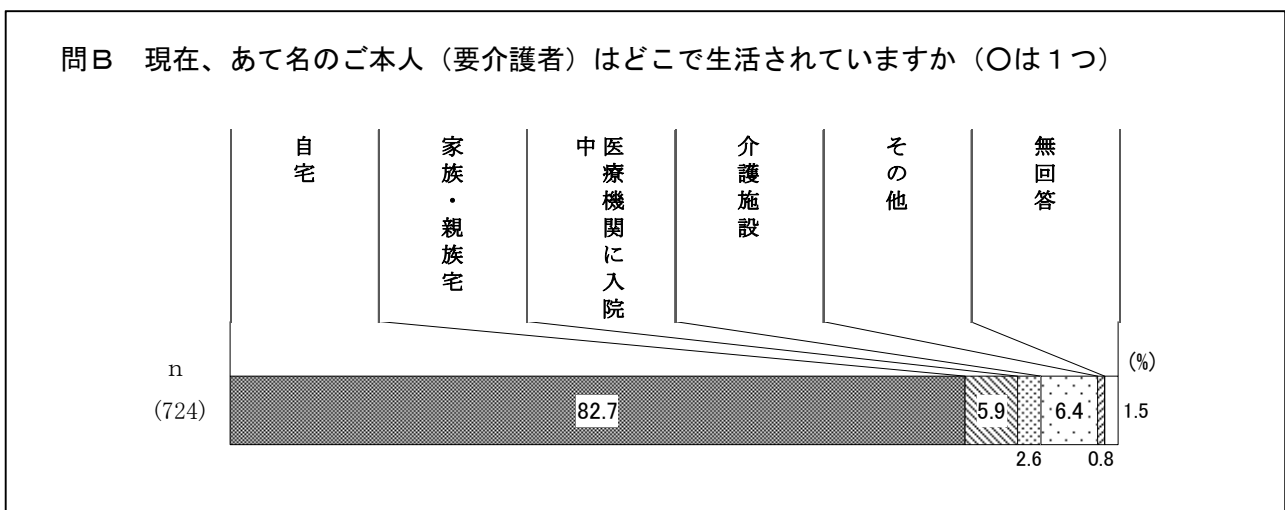
2. ご本人（要介護者）の状況について

(1) 調査票の回答者



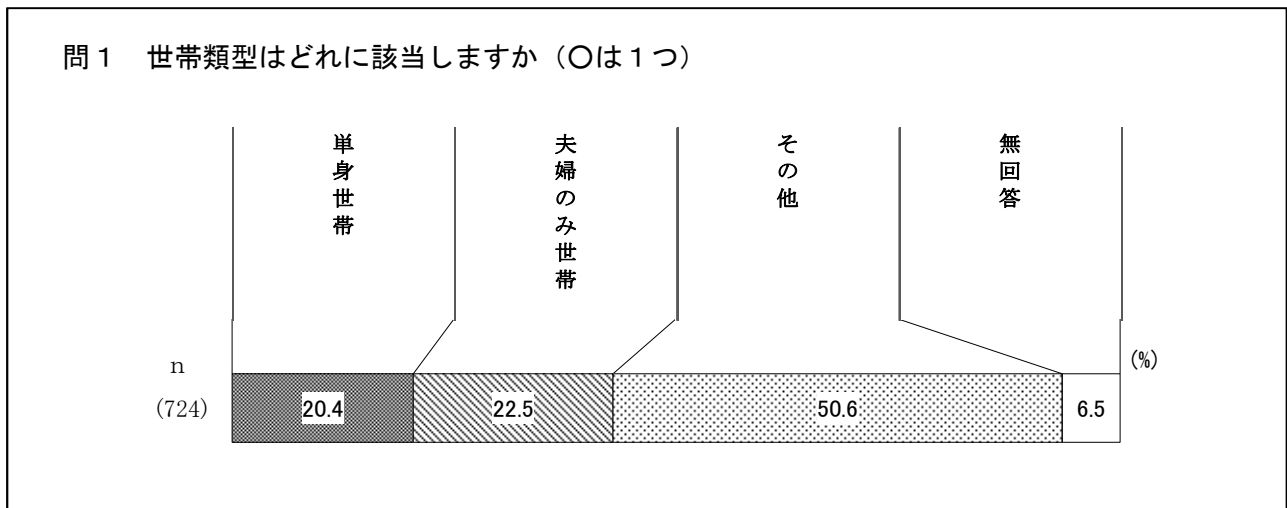
調査票の回答者をたずねたところ、「主な介護者となっている家族・親族」が 63.5%と最も多く、以下「あて名のご本人（要介護者）」(36.5%)、「主な介護者以外の家族・親族」(4.7%)、「担当ケアマネジャー」(2.5%) となっている。

(2) 本人（要介護者）の生活場所



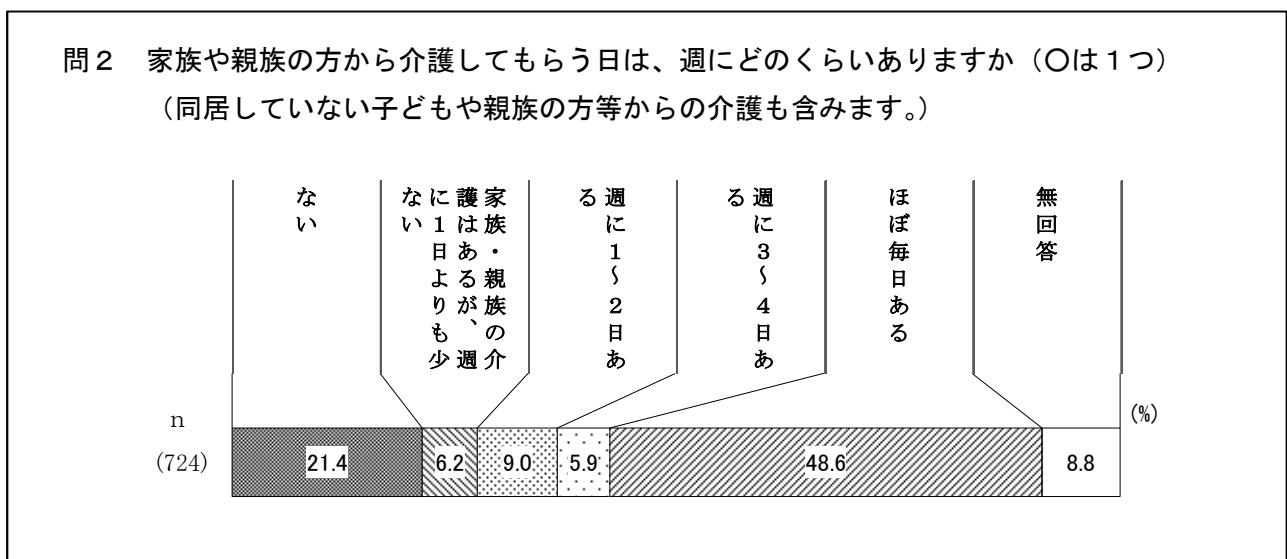
本人（要介護者）の生活場所をたずねたところ、「自宅」が 82.7%を占めている。

(3) 世帯類型



世帯類型をたずねたところ、「その他」の世帯が 50.6%と最も多く、以下「夫婦のみ世帯」(22.5%)、「単身世帯」(20.4%) となっている。

(4) 家族や親族の方から介護してもらう日数

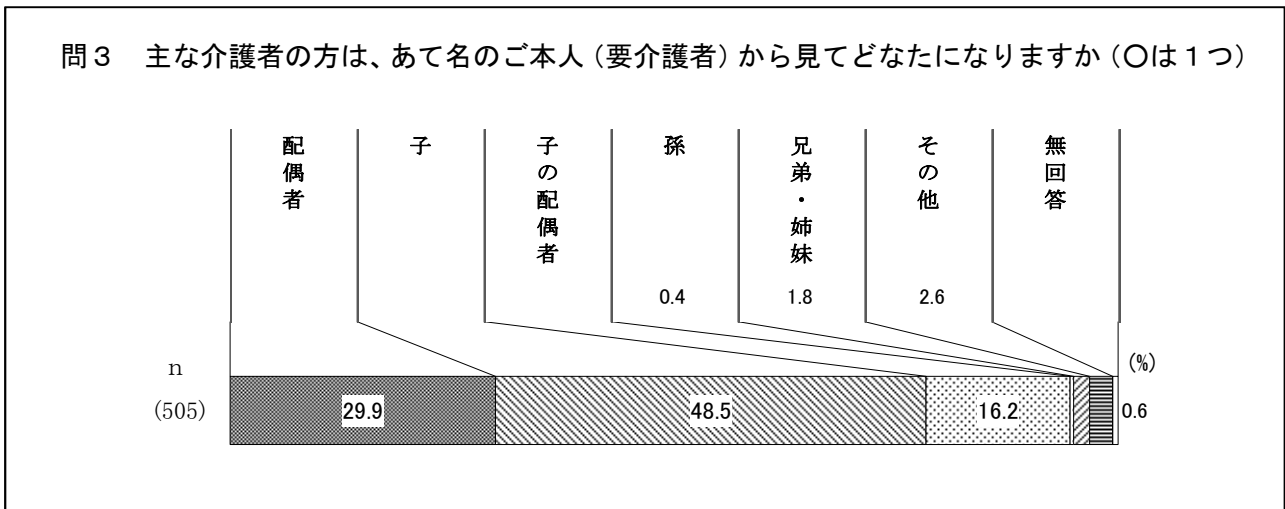


家族や親族の方から介護してもらう日数をたずねたところ、「ほぼ毎日ある」が 48.6%と最も多く、以下「週に1～2日ある」(9.0%)、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(6.2%)、「週に3～4日ある」(5.9%) となっている。

一方、「ない」は 21.4%となっている。

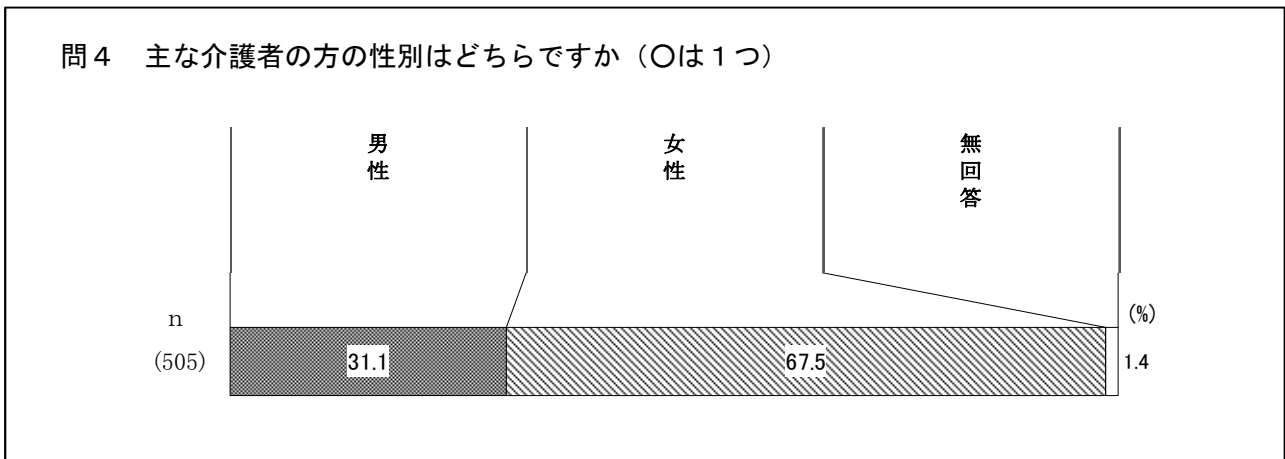
3. 主な介護者等の状況（属性等）について

(1) 主な介護者の続柄



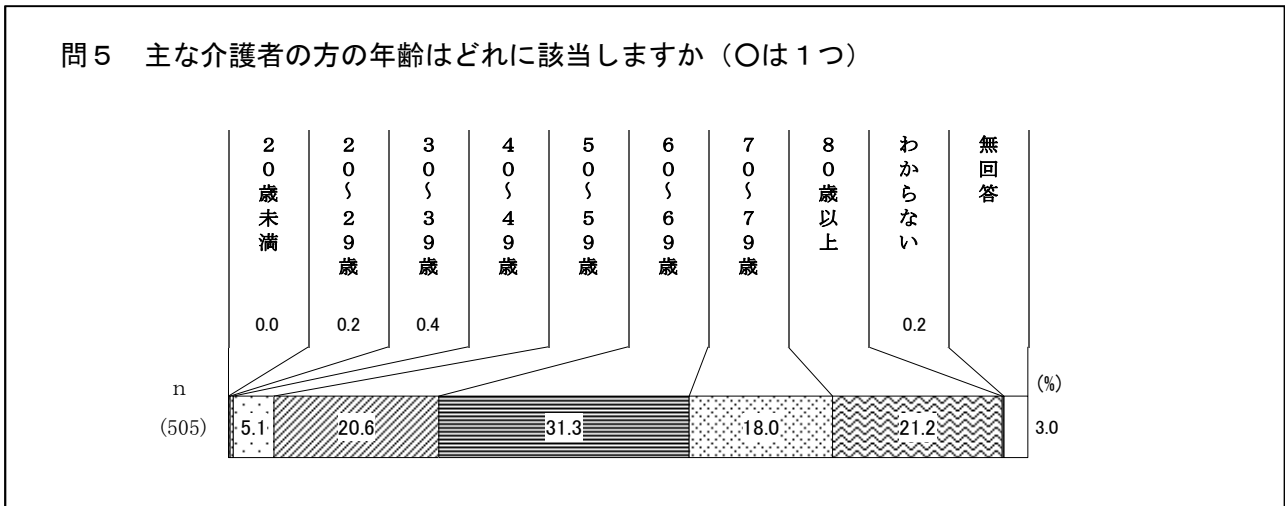
主な介護者の続柄をたずねたところ、「子」が48.5%と最も多く、以下「配偶者」(29.9%)、「子の配偶者」(16.2%) などとなっている。

(2) 主な介護者の性別



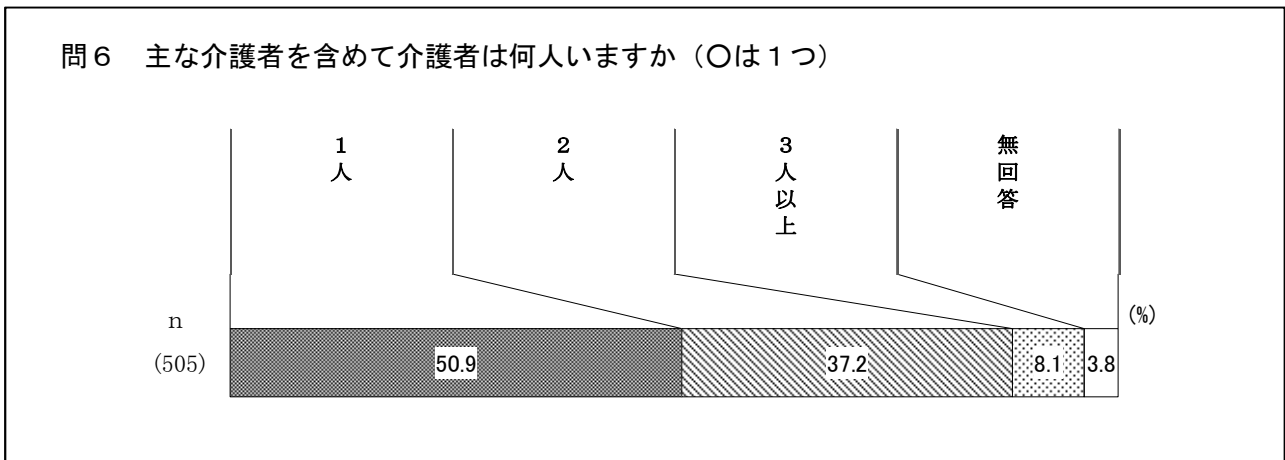
主な介護者の性別をたずねたところ、「女性」が67.5%となっており、「男性」(31.1%)を上回っている。

(3) 主な介護者の年齢



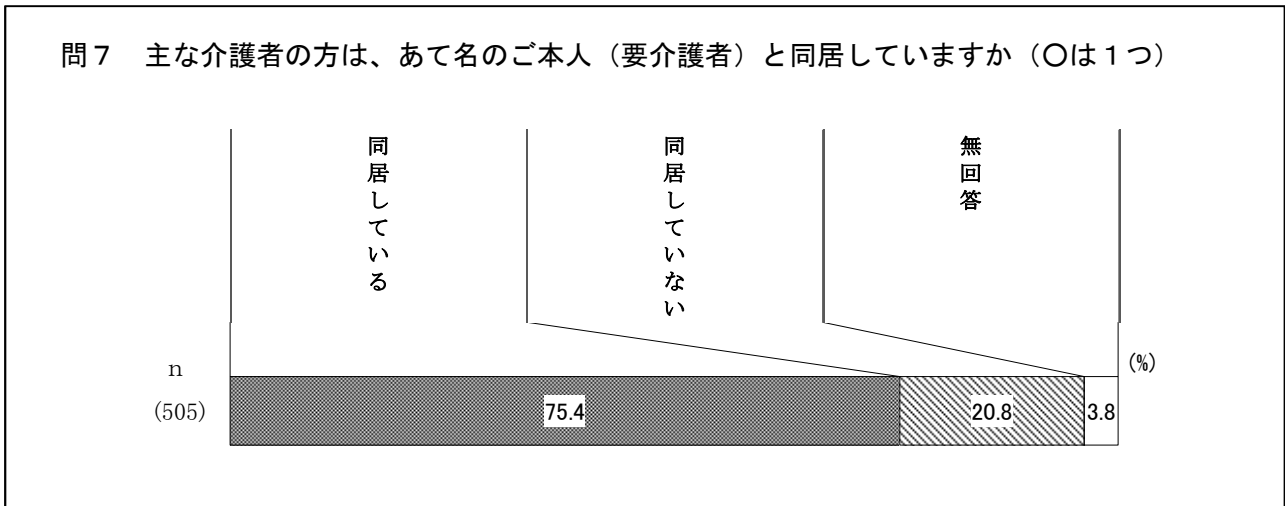
主な介護者の年齢をたずねたところ、「60～69歳」が31.3%と最も多く、以下「80歳以上」(21.2%)、「50～59歳」(20.6%)、「70～79歳」(18.0%)、「40～49歳」(5.1%)となっており、60歳以上の介護者は70.5%を占めている。

(4) 主な介護者を含めた介護者数



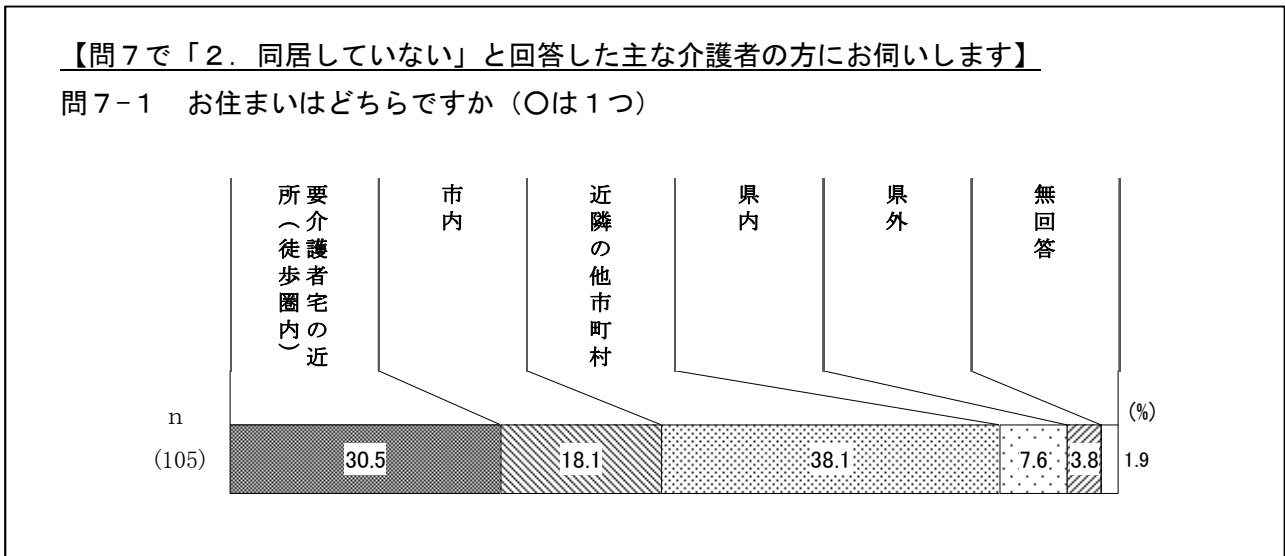
主な介護者を含めた介護者数をたずねたところ、「1人」が50.9%と最も多く、以下「2人」(37.2%)、「3人以上」(8.1%)となっている。

(5) 主な介護者の、本人（要介護者）との同居状況



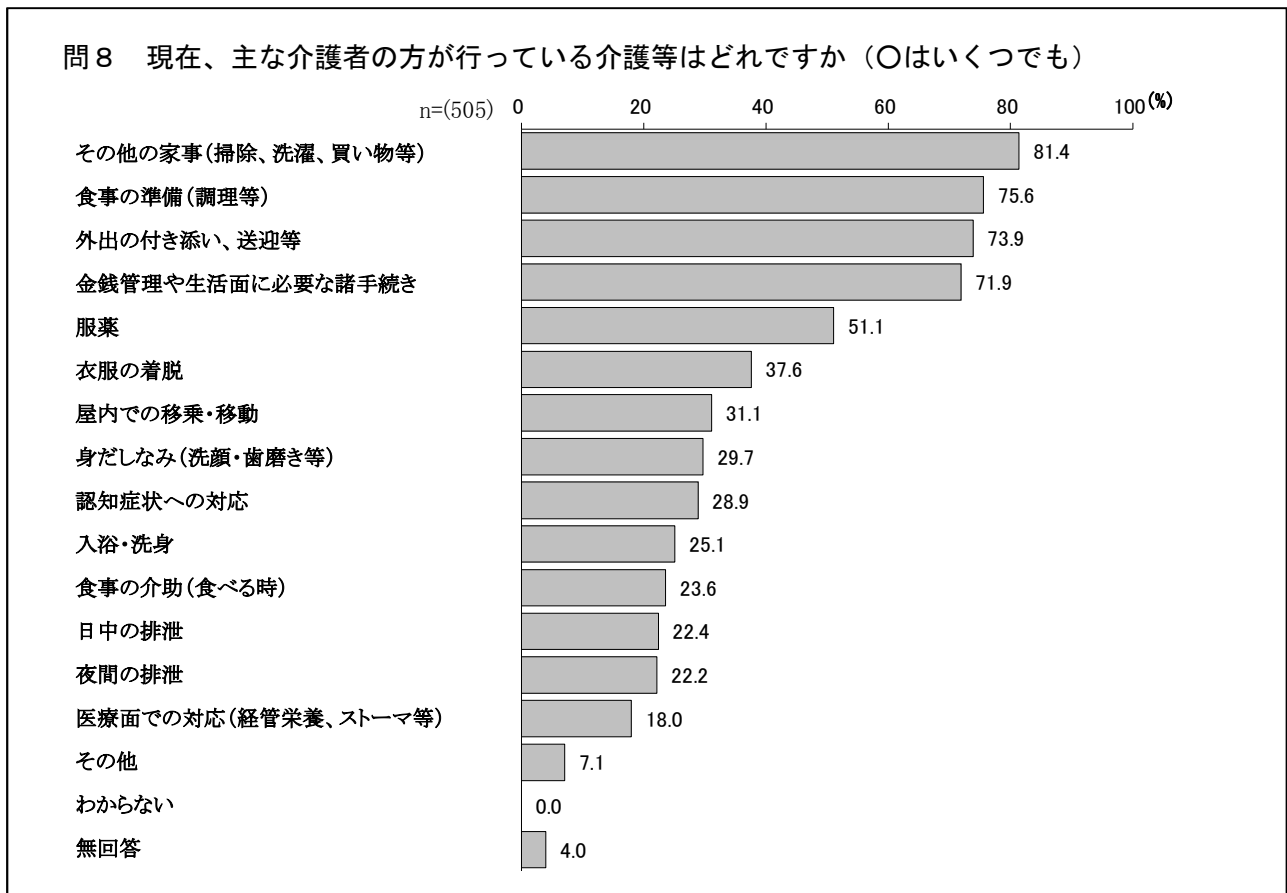
主な介護者の、本人（要介護者）との同居状況をたずねたところ、「同居している」が75.4%を占めている。

(6) 本人と同居していない場合の居住地



本人と同居していない場合の居住地をたずねたところ、「近隣の他市町村」が38.1%と最も多く、以下「要介護者宅の近所（徒歩圏内）」(30.5%)、「市内」(18.1%)、「県内」(7.6%)、「県外」(3.8%)となっている。

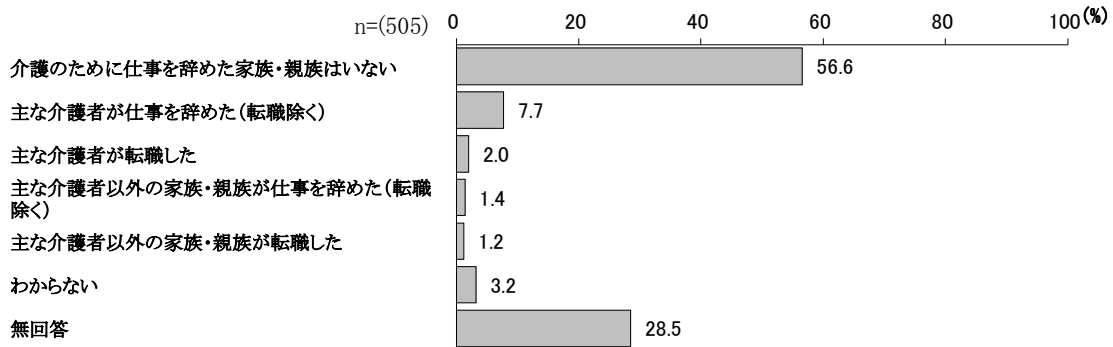
(7) 主な介護者が行っている介護等



主な介護者が行っている介護等をたずねたところ、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が81.4%と最も多く、以下「食事の準備（調理等）」(75.6%)、「外出の付き添い、送迎等」(73.9%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(71.9%)、「服薬」(51.1%) などとなっている。

(8) 本人(要介護者)の介護のために、仕事を辞めた・転職した家族や親族の有無

問9 ご家族や親族の方で、あて名のご本人(要介護者)の介護のために、過去1年の間に仕事*を辞めた方・転職された方はいますか(〇はいくつでも)
(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)

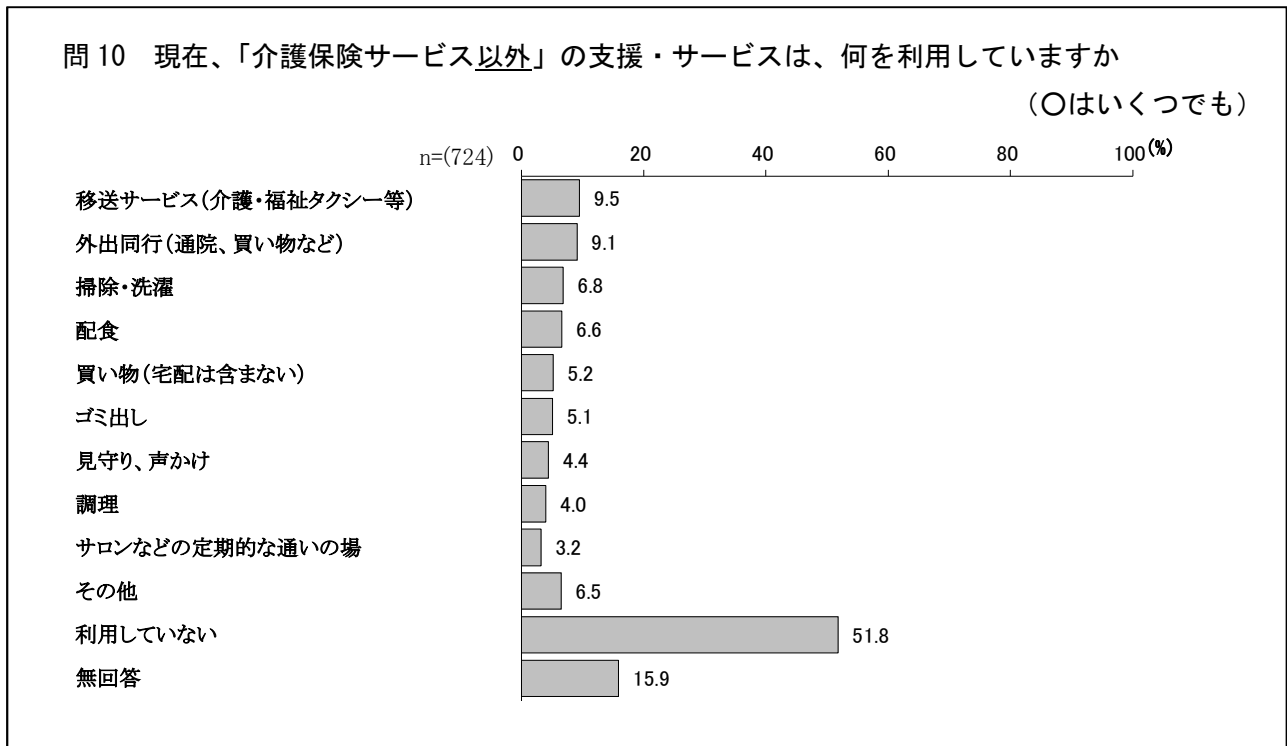


*自営業や農林水産業の仕事を辞めた・転職した場合も含みます。

本人(要介護者)の介護のために、仕事を辞めた・転職した家族や親族の有無をたずねたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が56.6%と最も多く、以下「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(7.7%)、「主な介護者が転職した」(2.0%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(1.4%)、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」(1.2%)となっている。

4. 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

(1) 「介護保険サービス以外」で利用している支援・サービス



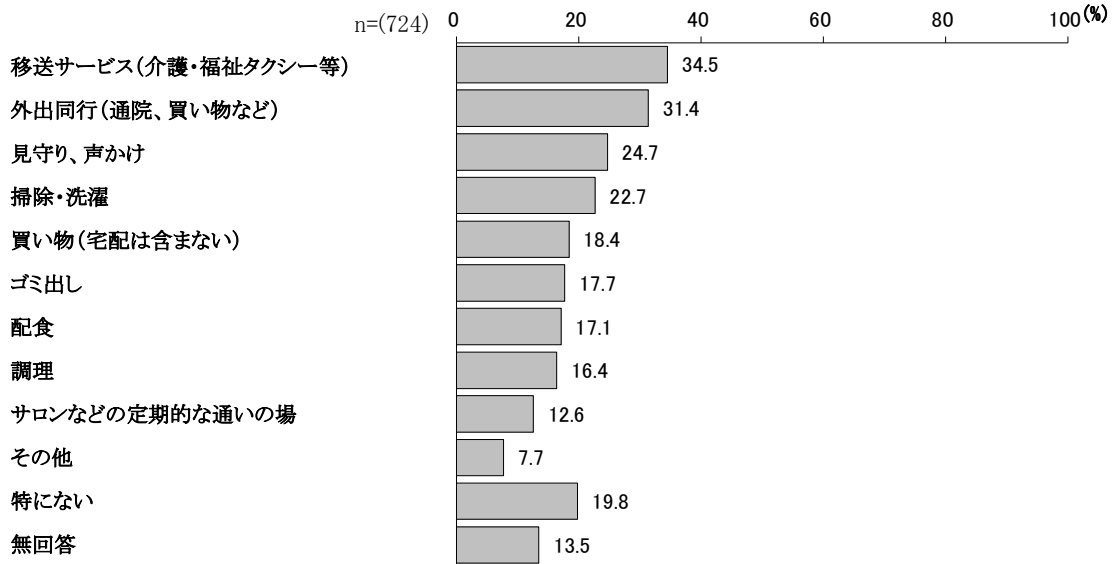
「介護保険サービス以外」で利用している支援・サービスをたずねたところ、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が9.5%と最も多く、以下「外出同行(通院、買い物など)」(9.1%)、「掃除・洗濯」(6.8%)、「配食」(6.6%) などとなっている。

一方、「利用していない」は51.8%となっている。

(2) 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス

問11 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス※（現在利用中を含む）が必要だと思いますか（〇はいくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。



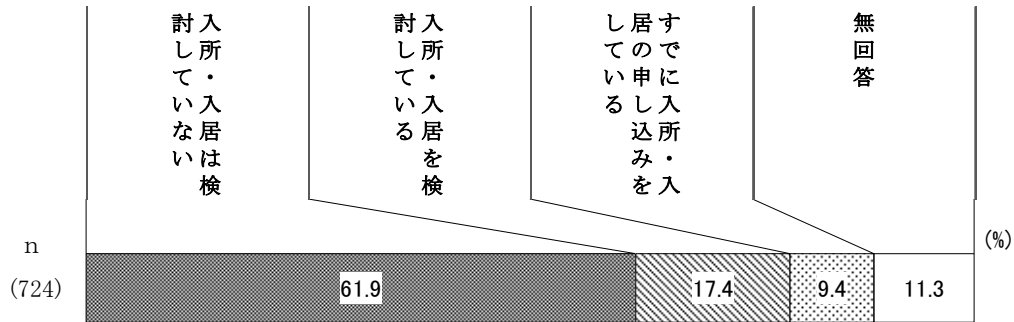
在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービスをたずねたところ、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が34.5%と最も多く、以下「外出同行(通院、買い物など)」(31.4%)、「見守り、声かけ」(24.7%)、「掃除・洗濯」(22.7%)、「買い物(宅配は含まない)」(18.4%)、「ゴミ出し」(17.7%)、「配食」(17.1%)、「調理」(16.4%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(12.6%)となっている。

一方、「特にない」は19.8%となっている。

(3) 施設等への入所・入居の検討状況

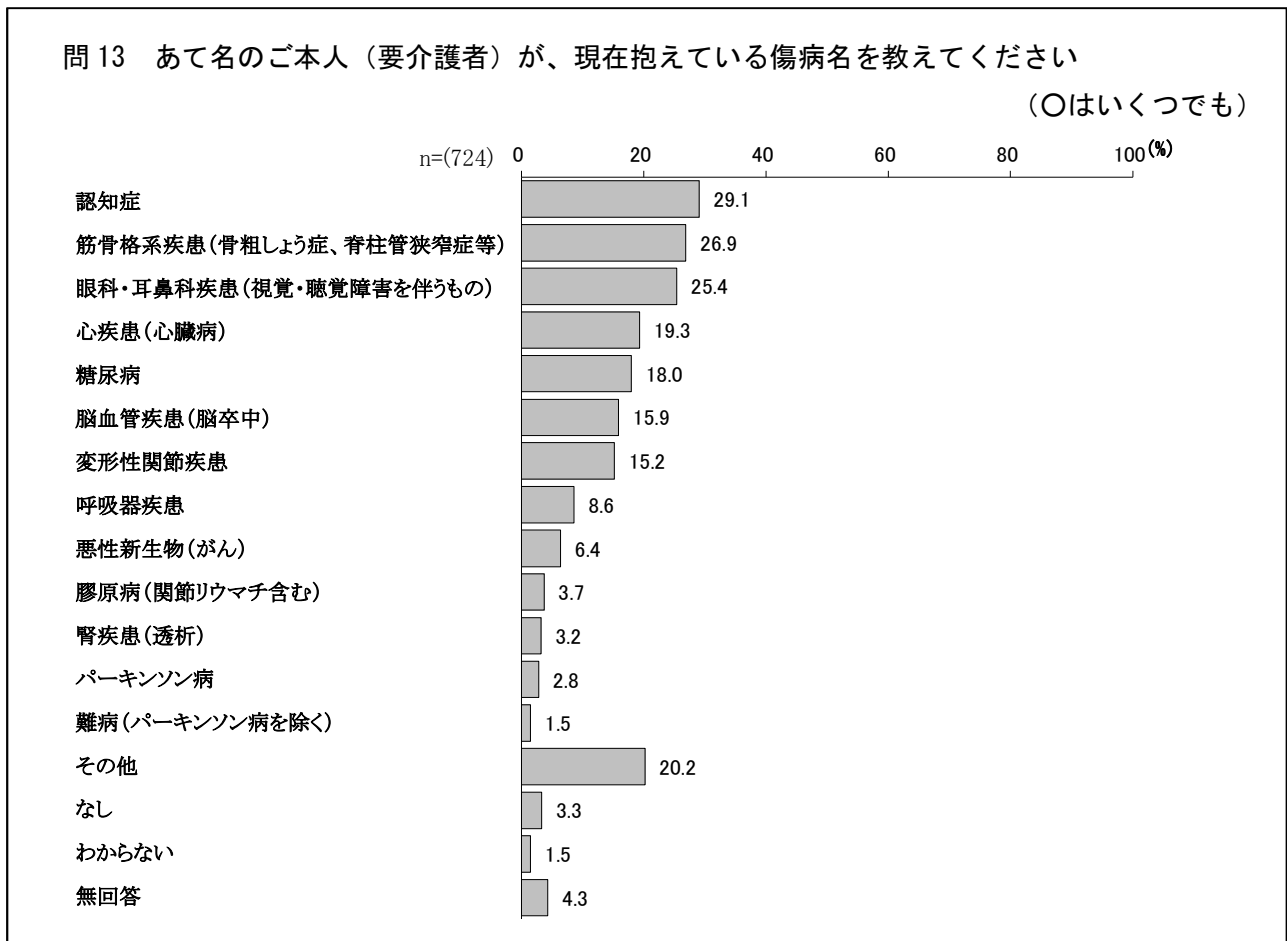
問12 現時点において、施設等[※]への入所・入居を検討されていますか（○は1つ）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。



施設等への入所・入居の検討状況をたずねたところ、「入所・入居は検討していない」が61.9%と最も多く、以下「入所・入居を検討している」(17.4%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(9.4%)となっている。

(4) 本人(要介護者)が現在抱えている傷病名



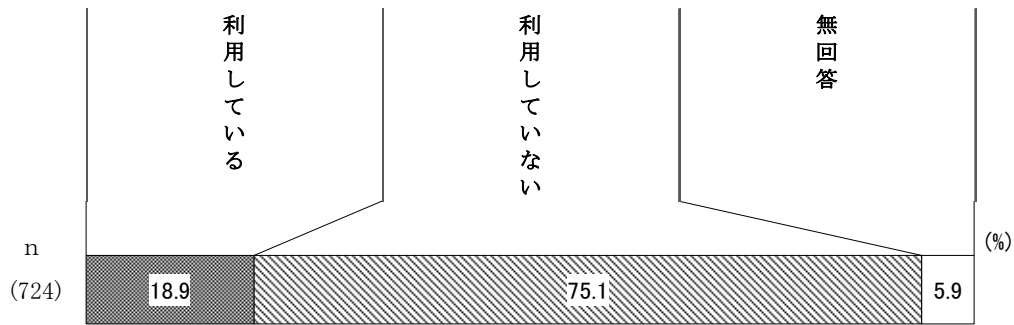
本人(要介護者)が現在抱えている傷病名をたずねたところ、「認知症」が29.1%と最も多く、以下「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(26.9%)、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(25.4%)、「心疾患(心臓病)」(19.3%)、「糖尿病」(18.0%)、「脳血管疾患(脳卒中)」(15.9%)、「変形性関節疾患」(15.2%)などとなっている。

一方、「なし」は3.3%となっている。

(5) 訪問診療の利用状況

問 14 あて名のご本人（要介護者）は、現在、訪問診療※を利用していますか（○は1つ）

※「訪問診療」とは、計画的な医療サービスを行うことであり、訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

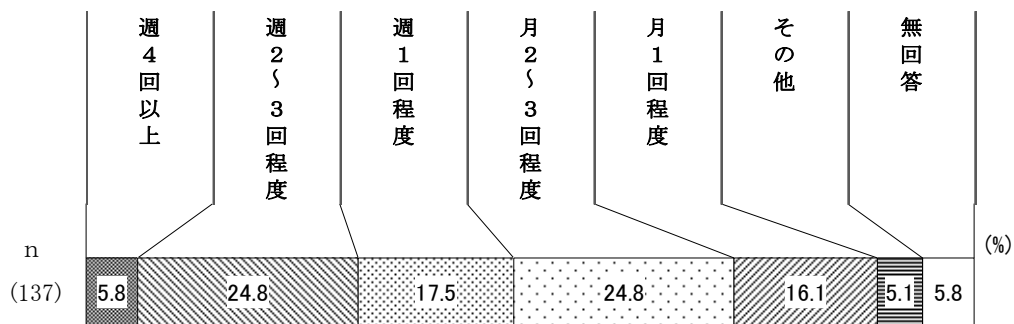


訪問診療の利用状況をたずねたところ、「利用していない」が75.1%を占めており、「利用している」は18.9%となっている。

(6) 訪問診療の利用頻度

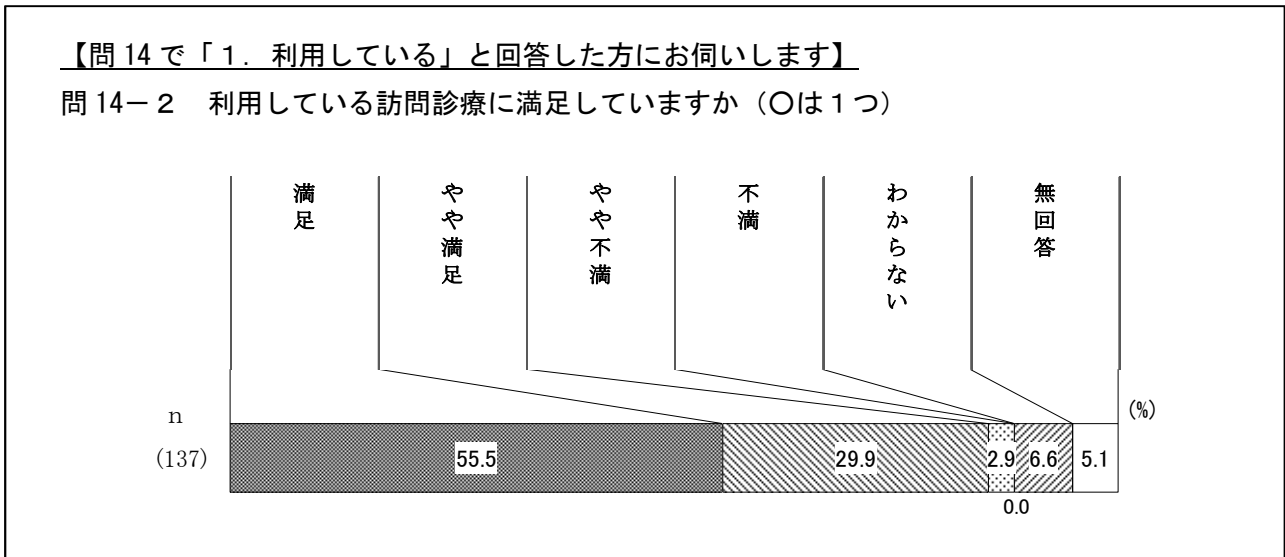
【問 14 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします】

問 14-1 どの程度利用していますか（○は1つ）



訪問診療の利用頻度をたずねたところ、「週2〜3回程度」「月2〜3回程度」がともに24.8%と最も多く、以下「週1回程度」(17.5%)、「月1回程度」(16.1%)、「週4回以上」(5.8%)となっている。

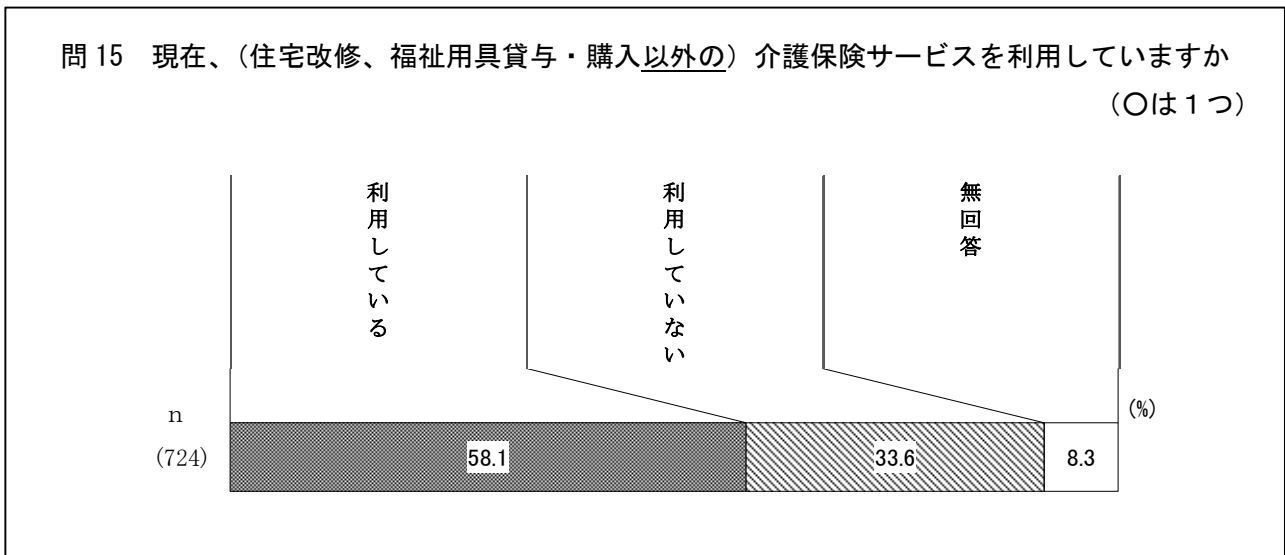
(7) 利用している訪問診療への満足度



利用している訪問診療への満足度をたずねたところ、「満足」が55.5%と最も多く、「やや満足」(29.9%)を合わせた“満足”は85.4%となっている。

一方、「やや不満」(2.9%)、「不満」(0.0%)を合わせた“不満”は2.9%となっている。

(8) 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）の利用状況

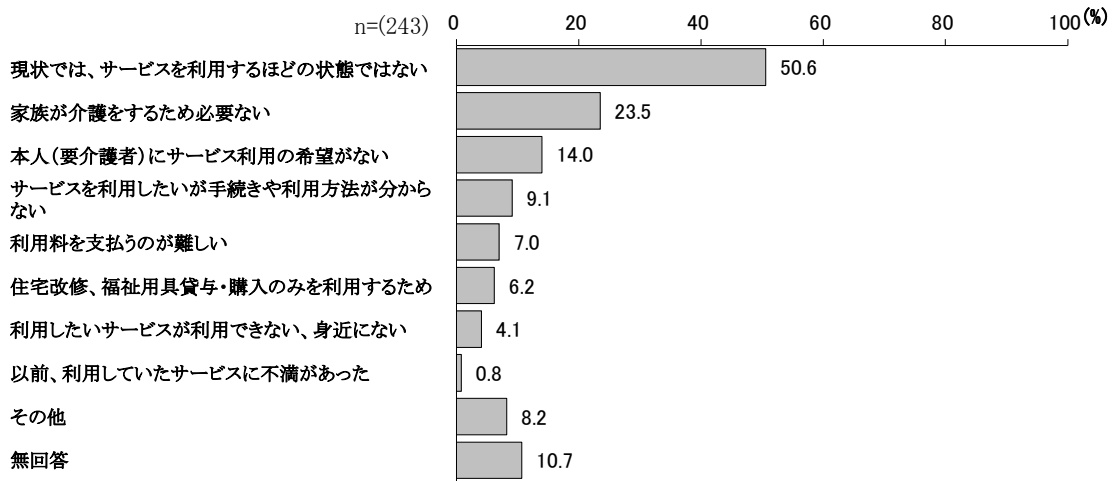


介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）の利用状況をたずねたところ、「利用している」が58.1%となっており、「利用していない」(33.6%)を上回っている。

(9) 介護保険サービスを利用していない理由

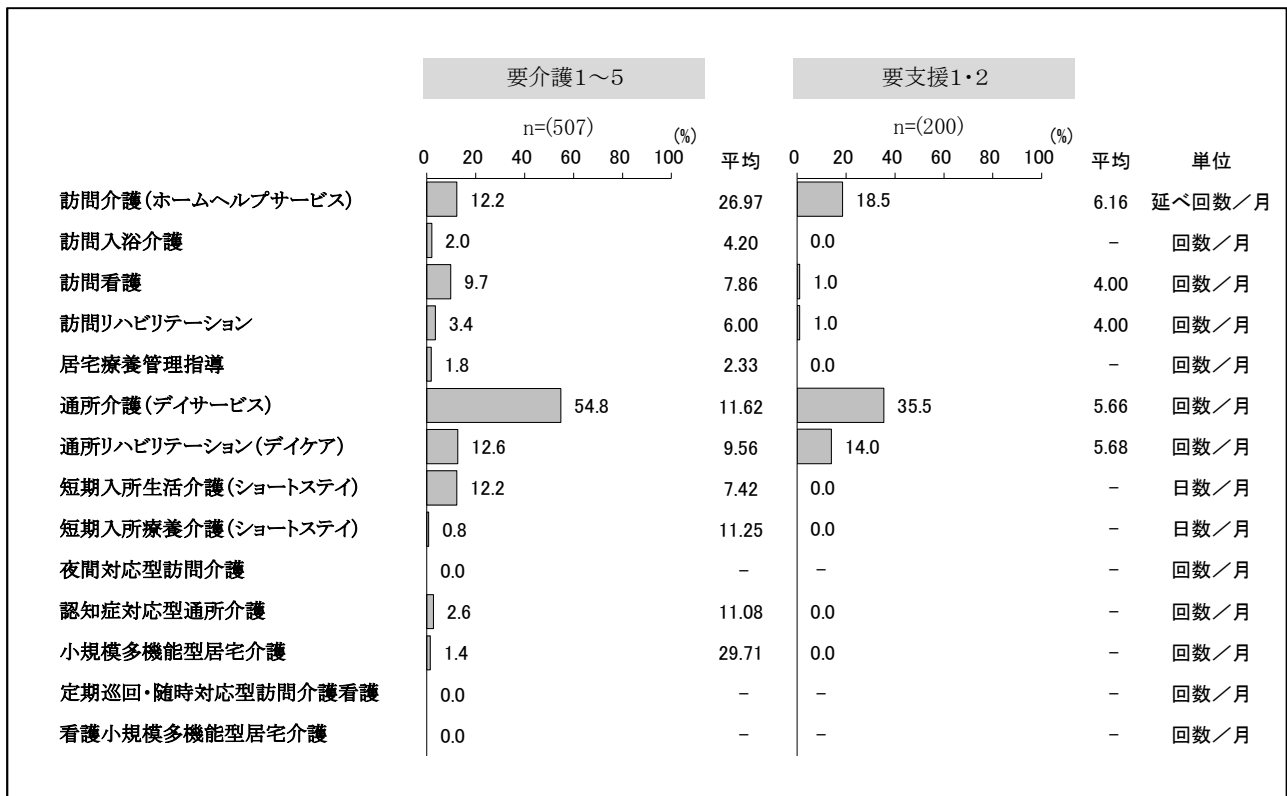
【問 15 で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします】

問 15-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）



介護保険サービスを利用していない理由をたずねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.6%と最も多く、以下「家族が介護をするため必要ない」(23.5%)、「本人(要介護者)にサービス利用の希望がない」(14.0%)、「サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない」(9.1%) などとなっている。

(10) 利用している介護保険サービス



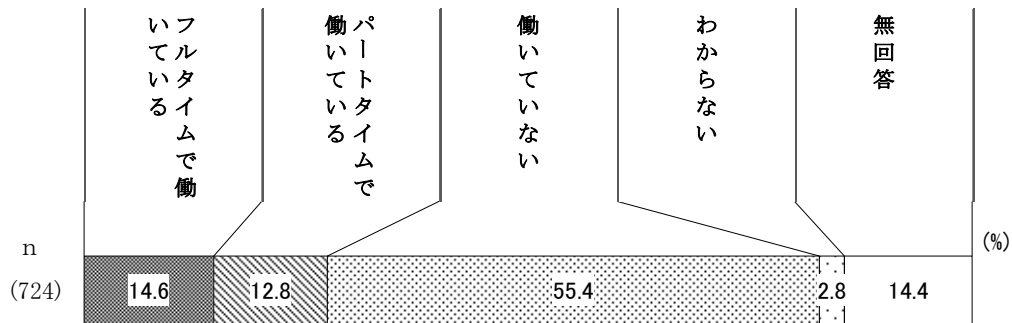
利用している主要介護保険サービスを認定データと突合したところ、「通所介護（デイサービス）」（要介護1～5：54.8%、要支援1・2：35.5%）が最も多くなっており、月あたりの平均回数は要介護1～5が11.62回と要支援1・2の5.66回の約2倍となっている。

2位以下のサービスについてみると、要介護1～5では「通所リハビリテーション（デイケア）」（12.6%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「短期入所生活介護（ショートステイ）」（ともに12.2%）、「訪問看護」（9.7%）となっている。要支援1・2では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（18.5%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（14.0%）となっている。

5. 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の現在の勤務形態

問 16 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか（○は1つ）



※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆるアルバイト、嘱託、契約社員等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

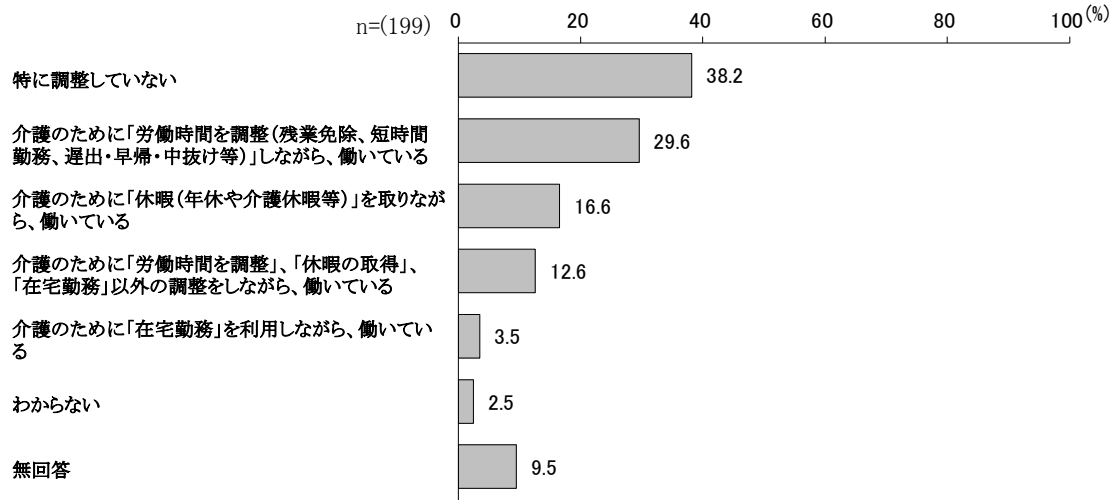
主な介護者の現在の勤務形態をたずねたところ、「働いていない」が55.4%を占めており、「フルタイムで働いている」(14.6%)、「パートタイムで働いている」(12.8%)を合わせた“働いている”(27.4%)を上回っている。

(2) 介護をするにあたって、行っている働き方についての調整等

【問16で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

問16-1 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか

(〇はいくつでも)

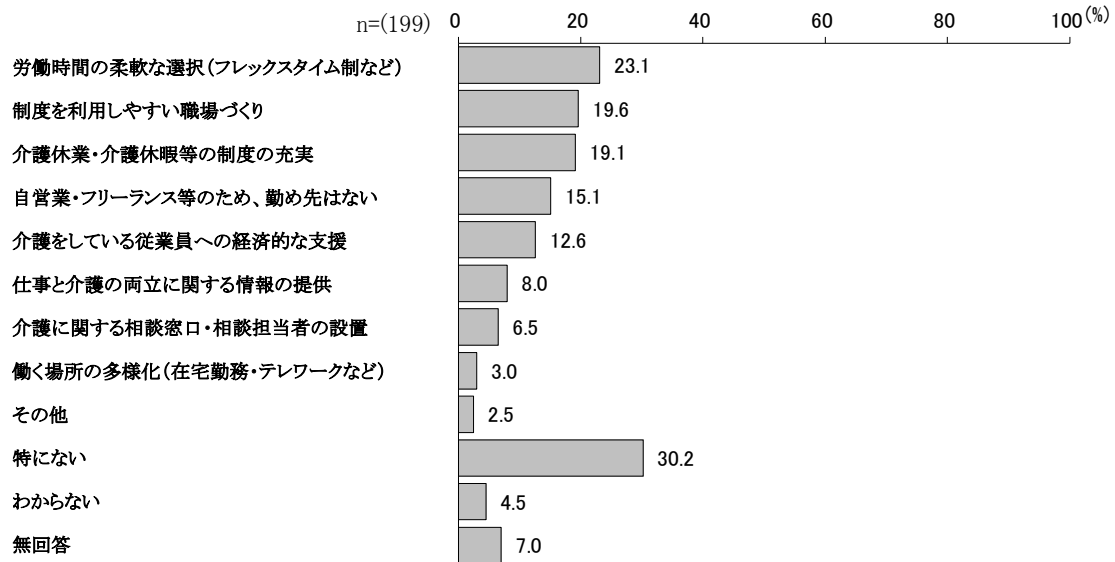


介護をするにあたって、行っている働き方についての調整等をたずねたところ、「特に調整していない」が38.2%と最も多く、以下「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（29.6%）、「介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（16.6%）、「介護のために「労働時間を調整」、「休暇の取得」、「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」（12.6%）、「介護のために「在宅勤務」を利用しながら、働いている」（3.5%）となっている。

(3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

【問16で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

問16-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援はどれですか(○は3つまで)



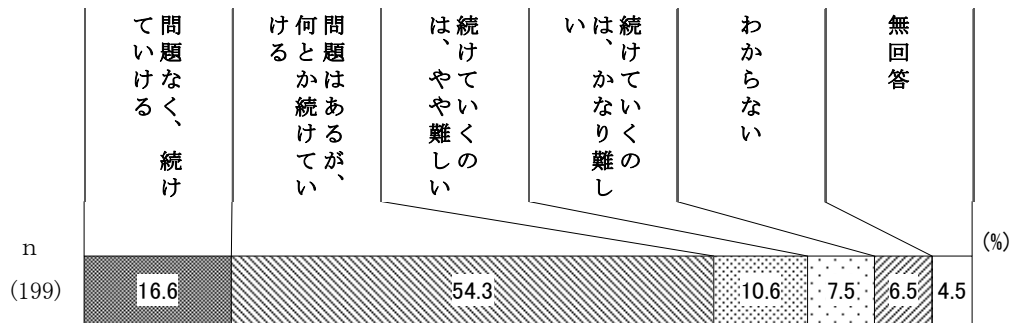
仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をたずねたところ、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が23.1%と最も多く、以下「制度を利用しやすい職場づくり」(19.6%)、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(19.1%)、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(15.1%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(12.6%)などとなっている。

一方、「特にない」は30.2%となっている。

(4) 主な介護者が今後も働きながら介護を継続できる可能性

【問16で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

問16-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか (○は1つ)



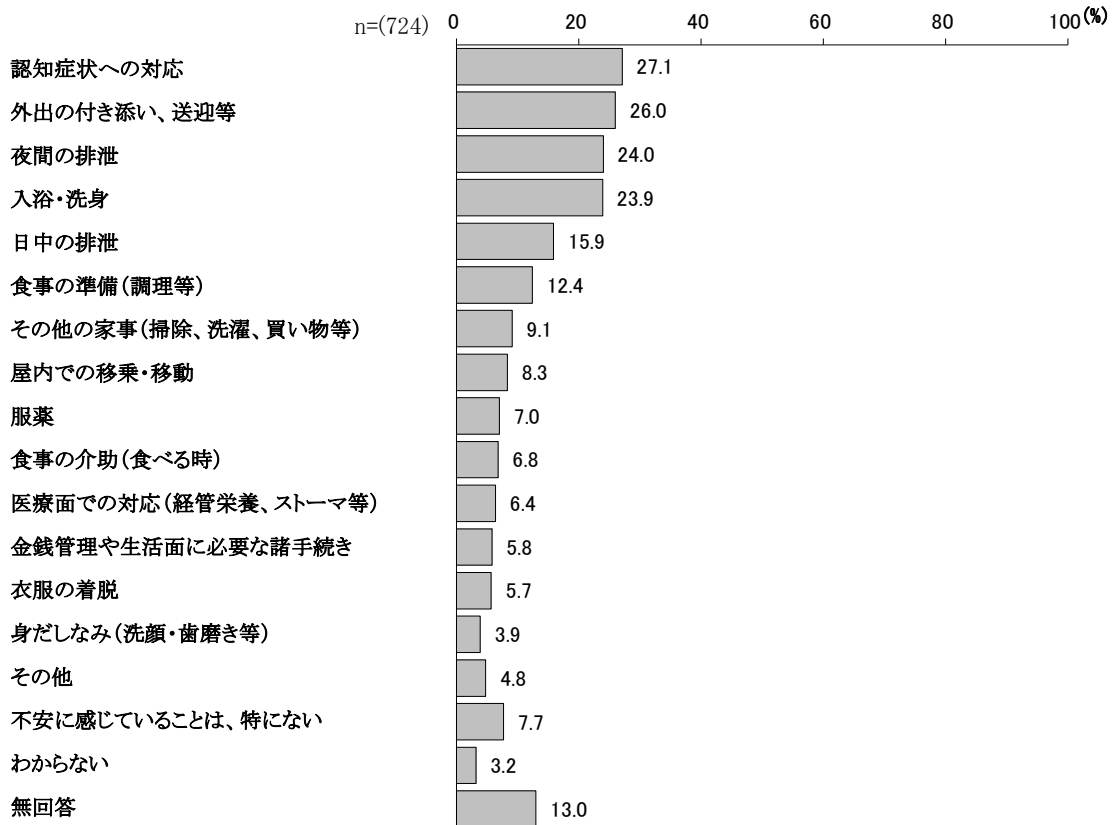
主な介護者が今後も働きながら介護を継続できる可能性をたずねたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が54.3%と最も多く、「問題なく、続けていける」(16.6%)を合わせた“続けていける”は70.9%となっている。

一方、「続けていくのは、やや難しい」(10.6%)、「続けていくのは、かなり難しい」(7.5%)を合わせた“続けていくのは難しい”は18.1%となっている。

6. 介護生活を続ける際の不安や困りごと

(1) 現在の生活を今後も続けていくにあたり、主な介護者が不安に感じる介護等

問17 (在宅生活を送る要介護者を介護している) 現在の生活を今後も続けていくためには、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか (〇は3つまで)
(現在行っているかどうかは問いません。)



現在の生活を今後も続けていくにあたり、主な介護者が不安に感じる介護等をたずねたところ、「認知症状への対応」が27.1%と最も多く、以下「外出の付き添い、送迎等」(26.0%)、「夜間の排泄」(24.0%)、「入浴・洗身」(23.9%)、「日中の排泄」(15.9%)、「食事の準備(調理等)」(12.4%)などとなっている。

認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、重くなるにしたがって「認知症状への対応」、「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「食事の介助（食べる時）」が増加している。

【認知症高齢者の日常生活自立度（詳細・3区分）別】

| | 調査数 | 認知症状への対応 | 外出の付き添い、送迎 | 夜間の排泄 | 入浴・洗身 | 日中の排泄 | 食事の準備（調理等） | 洗濯、買い物等（掃除、その他家事） | 屋内での移乗・移動 | 服薬 | 食事の介助（食べる時） | 栄養、面での対応（経管、ストーマ等） | 金銭管理や生活面に必要な手続き | 衣服の着脱 | 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） |
|----|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------------|-----------|-----------|-------------|--------------------|-----------------|-----------|----------------|
| 全体 | 724 100.0 | 196 27.1 | 188 26.0 | 174 24.0 | 173 23.9 | 115 15.9 | 90 12.4 | 66 9.1 | 60 8.3 | 51 7.0 | 49 6.8 | 46 6.4 | 42 5.8 | 41 5.7 | 28 3.9 |

認知症高齢者の日常生活自立度

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 自立 | 77 100.0 | 10 13.0 | 27 35.1 | 11 14.3 | 18 23.4 | 6 7.8 | 13 16.9 | 15 19.5 | 7 9.1 | 2 2.6 | 4 5.2 | 1 1.3 | 3 3.9 | 7 9.1 | 3 3.9 |
| I | 181 100.0 | 27 14.9 | 48 26.5 | 30 16.6 | 46 25.4 | 19 10.5 | 28 15.5 | 25 13.8 | 14 7.7 | 4 2.2 | 4 2.2 | 15 8.3 | 12 6.6 | 8 4.4 | 4 2.2 |
| II a | 78 100.0 | 12 15.4 | 18 23.1 | 15 19.2 | 20 25.6 | 10 12.8 | 12 15.4 | 8 10.3 | 5 6.4 | 2 2.6 | 4 5.1 | 4 5.1 | 4 5.1 | 1 1.3 | 3 3.8 |
| II b | 193 100.0 | 74 38.3 | 47 24.4 | 49 25.4 | 46 23.8 | 36 18.7 | 22 11.4 | 11 5.7 | 18 9.3 | 24 12.4 | 17 8.8 | 14 7.3 | 13 6.7 | 11 5.7 | 9 4.7 |
| III a | 130 100.0 | 52 40.0 | 37 28.5 | 47 36.2 | 33 25.4 | 30 23.1 | 12 9.2 | 7 5.4 | 10 7.7 | 16 12.3 | 11 8.5 | 4 3.1 | 5 3.8 | 10 7.7 | 4 3.1 |
| III b | 16 100.0 | 8 50.0 | 2 12.5 | 5 31.3 | 2 12.5 | 3 18.8 | 1 6.3 | - | - | - | 3 18.8 | 3 18.8 | 1 6.3 | - | 2 12.5 |
| IV | 16 100.0 | 4 25.0 | 2 12.5 | 5 31.3 | - | 3 18.8 | 1 6.3 | - | 4 25.0 | - | 3 18.8 | 3 18.8 | 1 6.3 | 1 6.3 | 2 12.5 |
| M | 3 100.0 | 1 33.3 | 1 33.3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

認知症高齢者の日常生活自立度（3区分）

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 自立+I | 258 100.0 | 37 14.3 | 75 29.1 | 41 15.9 | 64 24.8 | 25 9.7 | 41 15.9 | 40 15.5 | 21 8.1 | 6 2.3 | 8 3.1 | 16 6.2 | 15 5.8 | 15 5.8 | 7 2.7 |
| II | 271 100.0 | 86 31.7 | 65 24.0 | 64 23.6 | 66 24.4 | 46 17.0 | 34 12.5 | 19 7.0 | 23 8.5 | 26 9.6 | 21 7.7 | 18 6.6 | 17 6.3 | 12 4.4 | 4 4.4 |
| III以上 | 165 100.0 | 65 39.4 | 42 25.5 | 57 34.5 | 35 21.2 | 36 21.8 | 14 8.5 | 7 4.2 | 14 8.5 | 16 9.7 | 17 10.3 | 10 6.1 | 7 4.2 | 11 6.7 | 8 4.8 |

| | その他 | 不安、特に感じていること | わからない | 無回答 |
|----|-----------|--------------|-----------|------------|
| 全体 | 35 4.8 | 56 7.7 | 23 3.2 | 94 13.0 |

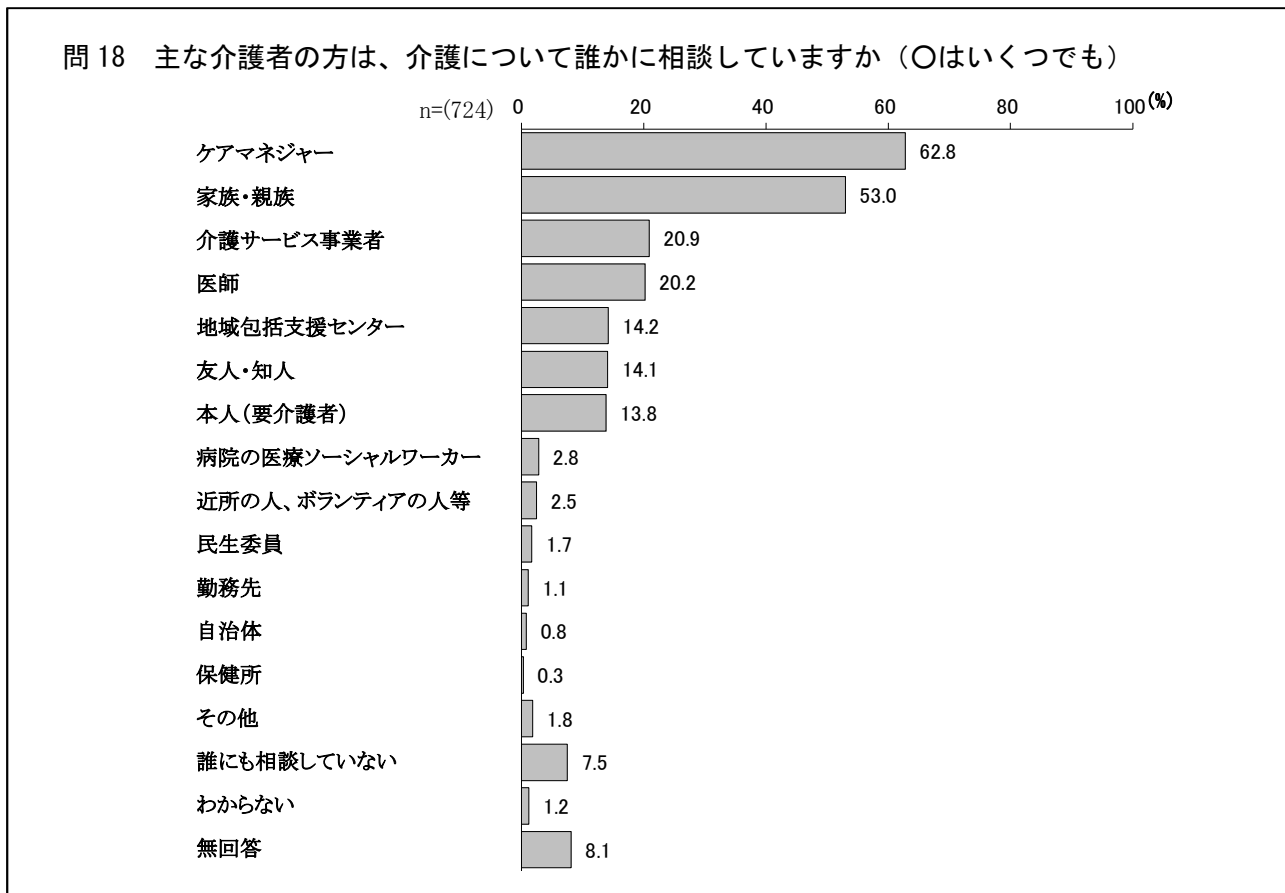
認知症高齢者の日常生活自立度

| | | | | |
|-------|-----------|------------|----------|------------|
| 自立 | 2 2.6 | 11 14.3 | 5 6.5 | 7 9.1 |
| I | 11 6.1 | 20 11.0 | 4 2.2 | 31 17.1 |
| II a | 5 6.4 | 5 6.4 | 6 7.7 | 13 16.7 |
| II b | 7 3.6 | 10 5.2 | 7 3.6 | 20 10.4 |
| III a | 5 3.8 | 8 6.2 | 1 0.8 | 11 8.5 |
| III b | 2 12.5 | - | - | 2 12.5 |
| IV | 1 6.3 | - | - | 4 25.0 |
| M | 1 33.3 | 1 33.3 | - | - |

認知症高齢者の日常生活自立度（3区分）

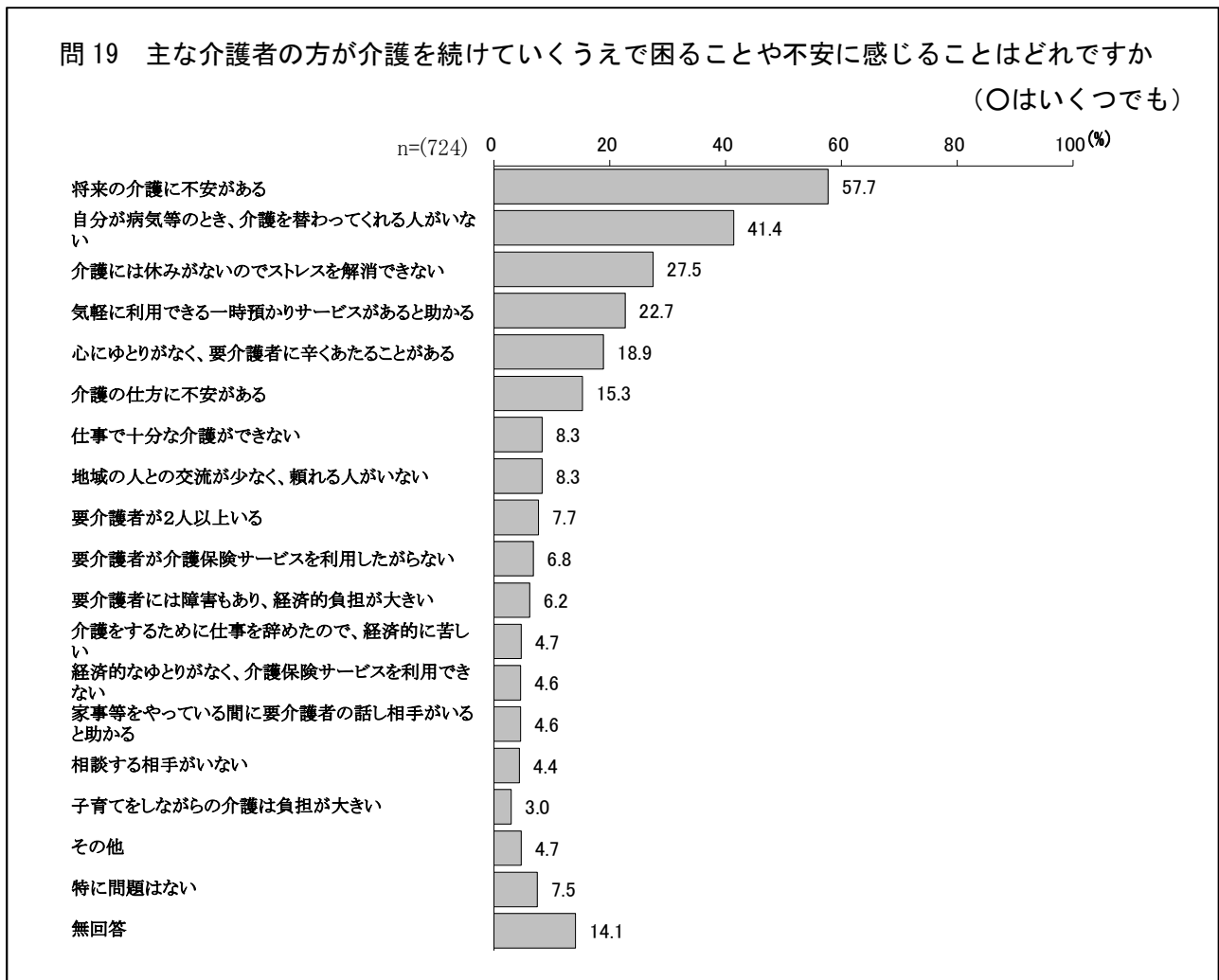
| | | | | |
|-------|-----------|------------|-----------|------------|
| 自立+I | 13 5.0 | 31 12.0 | 9 3.5 | 38 14.7 |
| II | 12 4.4 | 15 5.5 | 13 4.8 | 33 12.2 |
| III以上 | 9 5.5 | 9 5.5 | 1 0.6 | 17 10.3 |

(2) 主な介護者が、介護について相談している人



主な介護者が、介護について相談している人をたずねたところ、「ケアマネジャー」が62.8%と最も多く、以下「家族・親族」(53.0%)、「介護サービス事業者」(20.9%)、「医師」(20.2%)、「地域包括支援センター」(14.2%)、「友人・知人」(14.1%)、「本人(要介護者)」(13.8%)などとなっている。

(3) 主な介護者が介護を続けていくうえで困ることや不安に感じること



主な介護者が介護を続けていくうえで困ることや不安に感じることをたずねたところ、「将来の介護に不安がある」が57.7%と最も多く、以下「自分が病気等のとき、介護を替わってくれる人がいない」(41.4%)、「介護には休みがないのでストレスを解消できない」(27.5%)、「気軽に利用できる一時預かりサービスがあると助かる」(22.7%)、「心にゆとりがなく、要介護者に辛くあたることもある」(18.9%)、「介護の仕方に不安がある」(15.3%) などとなっている。

認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、重くなるにしたがって「将来の介護に不安がある」、「自分が病気等のとき、介護を替わってくれる人がいない」、「介護には休みがないのでストレスを解消できない」、「気軽に利用できる一時預かりサービスがあると助かる」、「心にゆとりがなく、要介護者に辛くあたることもある」、「介護の仕方に不安がある」などが増加しており、特にⅡ以上で多くなっている。

【認知症高齢者の日常生活自立度（詳細・3区分）別】

| 調査数 | 将来の介護に不安がある | 自分が病気等のとき、介護を替わってくれる人がいない | 介護には休みがないのでストレスを解消できない | 気軽に利用できる一時預かりサービスがあると助かる | 心にゆとりがなく、要介護者に辛くあたることもある | 介護の仕方に不安がある | 仕事で十分な介護がでない | いなく、頼れる人が少ない | 地域の人の交流が少ない | 要介護者が2人以上いる | 要介護者が介護保険がでない | 要介護者に経済的負担が大きい | 介護をするために経済的に苦しい | 介護保険サービスを利用できない | 経済的なゆとりがない | 家事等をやるのに介護者の話し相手がない |
|-----|--------------|---------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|---------------|----------------|-----------------|-----------------|------------|---------------------|
| 全体 | 724 100.0 | 418 57.7 | 300 41.4 | 199 27.5 | 164 22.7 | 137 18.9 | 111 15.3 | 60 8.3 | 60 8.3 | 56 7.7 | 49 6.8 | 45 6.2 | 34 4.7 | 33 4.6 | 33 4.6 | 33 4.6 |

認知症高齢者の日常生活自立度

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 自立 | 77 100.0 | 39 50.6 | 24 31.2 | 12 15.6 | 19 24.7 | 7 9.1 | 7 9.1 | 4 5.2 | 6 7.8 | 6 7.8 | 3 3.9 | 6 7.8 | 3 3.9 | 2 2.6 | 5 6.5 | 5 6.5 |
| I | 181 100.0 | 87 48.1 | 63 34.8 | 30 16.6 | 35 19.3 | 18 9.9 | 22 12.2 | 14 7.7 | 16 8.8 | 9 5.0 | 11 6.1 | 7 3.9 | 4 2.2 | 4 2.2 | 2 1.1 | 2 1.1 |
| Ⅱ a | 78 100.0 | 42 53.8 | 30 38.5 | 20 25.6 | 15 19.2 | 14 17.9 | 8 10.3 | 5 6.4 | 6 7.7 | 5 6.4 | 4 5.1 | 3 3.8 | 4 5.1 | 5 6.4 | 3 3.8 | 3 3.8 |
| Ⅱ b | 193 100.0 | 120 62.2 | 81 42.0 | 66 34.2 | 45 23.3 | 53 27.5 | 32 16.6 | 24 12.4 | 19 9.8 | 14 7.3 | 15 7.8 | 16 8.3 | 12 6.2 | 13 6.7 | 7 3.6 | 7 3.6 |
| Ⅲ a | 130 100.0 | 86 66.2 | 67 51.5 | 47 36.2 | 31 23.8 | 29 22.3 | 27 20.8 | 9 6.9 | 6 4.6 | 17 13.1 | 14 10.8 | 9 6.9 | 9 6.9 | 9 6.9 | 13 10.0 | 13 10.0 |
| Ⅲ b | 16 100.0 | 12 75.0 | 9 56.3 | 8 50.0 | 3 18.8 | 4 25.0 | 5 31.3 | 1 6.3 | 1 6.3 | - | - | 1 6.3 | - | - | 2 12.5 | 2 12.5 |
| Ⅳ | 16 100.0 | 10 62.5 | 7 43.8 | 4 25.0 | 6 37.5 | 3 18.8 | 4 25.0 | 2 12.5 | 1 6.3 | 2 12.5 | - | - | 1 6.3 | - | - | - |
| M | 3 100.0 | 1 33.3 | 2 66.7 | - | 1 33.3 | - | - | - | - | - | - | - | 1 33.3 | - | 1 33.3 | 1 33.3 |

認知症高齢者の日常生活自立度（3区分）

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 自立+Ⅰ | 258 100.0 | 126 48.8 | 87 33.7 | 42 16.3 | 54 20.9 | 25 9.7 | 29 11.2 | 18 7.0 | 22 8.5 | 15 5.8 | 14 5.4 | 13 5.0 | 7 2.7 | 6 2.3 | 7 2.7 | 7 2.7 |
| Ⅱ | 271 100.0 | 162 59.8 | 111 41.0 | 86 31.7 | 60 22.1 | 67 24.7 | 40 14.8 | 29 10.7 | 25 9.2 | 19 7.0 | 19 7.0 | 19 7.0 | 16 5.9 | 18 6.6 | 10 3.7 | 10 3.7 |
| Ⅲ以上 | 165 100.0 | 109 66.1 | 85 51.5 | 59 35.8 | 41 24.8 | 36 21.8 | 36 21.8 | 12 7.3 | 8 4.8 | 20 12.1 | 14 8.5 | 10 6.1 | 11 6.7 | 9 5.5 | 16 9.7 | 16 9.7 |

| 調査数 | 相談する相手がない | 護子は育てる相手がいない | その他 | 特に問題はない | 無回答 |
|-----|-----------|--------------|-----------|-----------|-------------|
| 全体 | 32 4.4 | 22 3.0 | 34 4.7 | 54 7.5 | 102 14.1 |

認知症高齢者の日常生活自立度

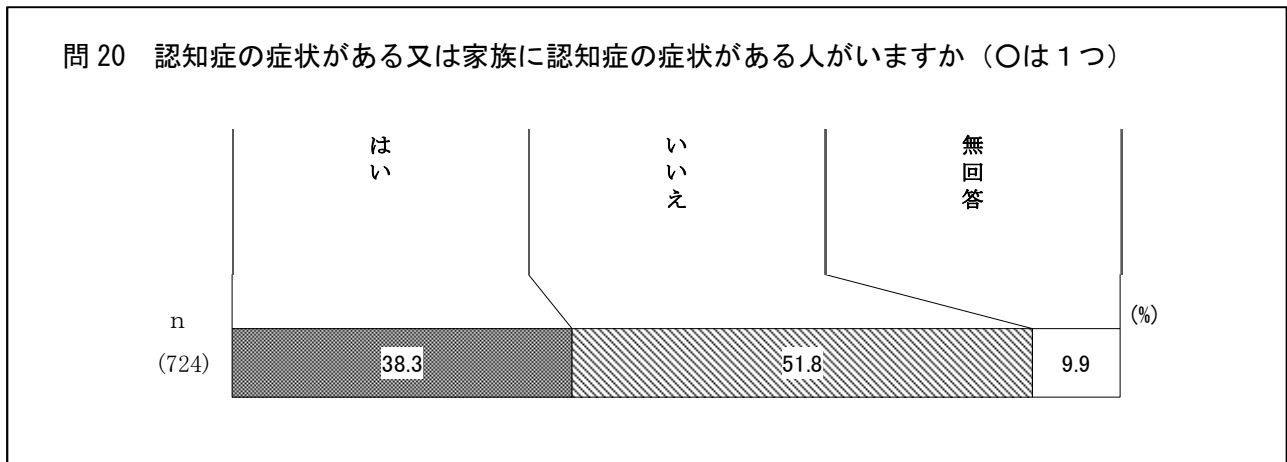
| | | | | | |
|-----|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 自立 | 5 6.5 | - | 3 3.9 | 7 9.1 | 14 18.2 |
| I | 258 4.4 | 126 2.8 | 87 5.0 | 42 11.0 | 54 19.9 |
| Ⅱ a | 78 3.8 | 42 3.8 | 30 3.8 | 20 5.1 | 15 14.1 |
| Ⅱ b | 193 3.6 | 120 2.6 | 81 3.6 | 66 5.7 | 45 11.9 |
| Ⅲ a | 130 5.4 | 86 6.2 | 67 6.2 | 47 8.5 | 31 6.9 |
| Ⅲ b | 16 6.3 | 12 6.3 | 9 6.3 | 8 - | 3 12.5 |
| Ⅳ | 16 - | 10 - | 7 12.5 | 4 - | 6 18.8 |
| M | 3 - | 1 - | 2 - | - | - |

認知症高齢者の日常生活自立度（3区分）

| | | | | | |
|------|-----------|----------|-----------|------------|------------|
| 自立+Ⅰ | 13 5.0 | 5 1.9 | 12 4.7 | 27 10.5 | 50 19.4 |
| Ⅱ | 10 3.7 | 8 3.0 | 10 3.7 | 15 5.5 | 34 12.5 |
| Ⅲ以上 | 8 4.8 | 9 5.5 | 11 6.7 | 11 6.7 | 14 8.5 |

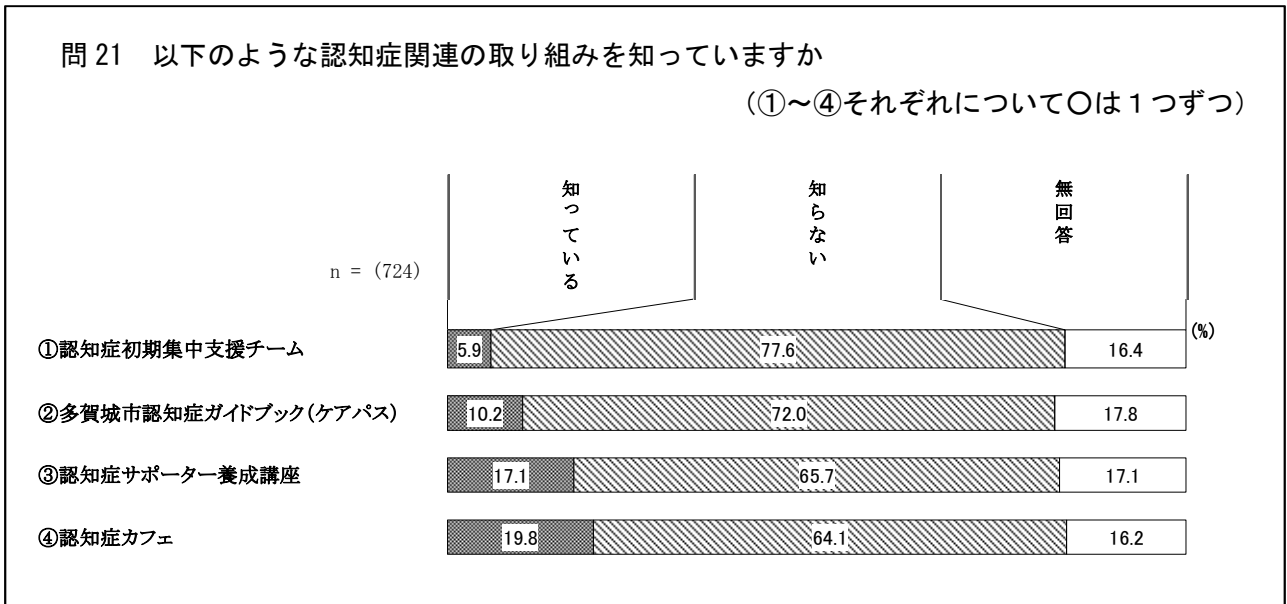
7. 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかをたずねたところ、「いいえ」が51.8%を占めており、「はい」(38.3%)を上回っている。

(2) 認知症関連の取り組みの認知度



認知症関連の取り組みの認知度をたずねたところ、すべての取り組みで「知らない」が60.0%以上となっている。

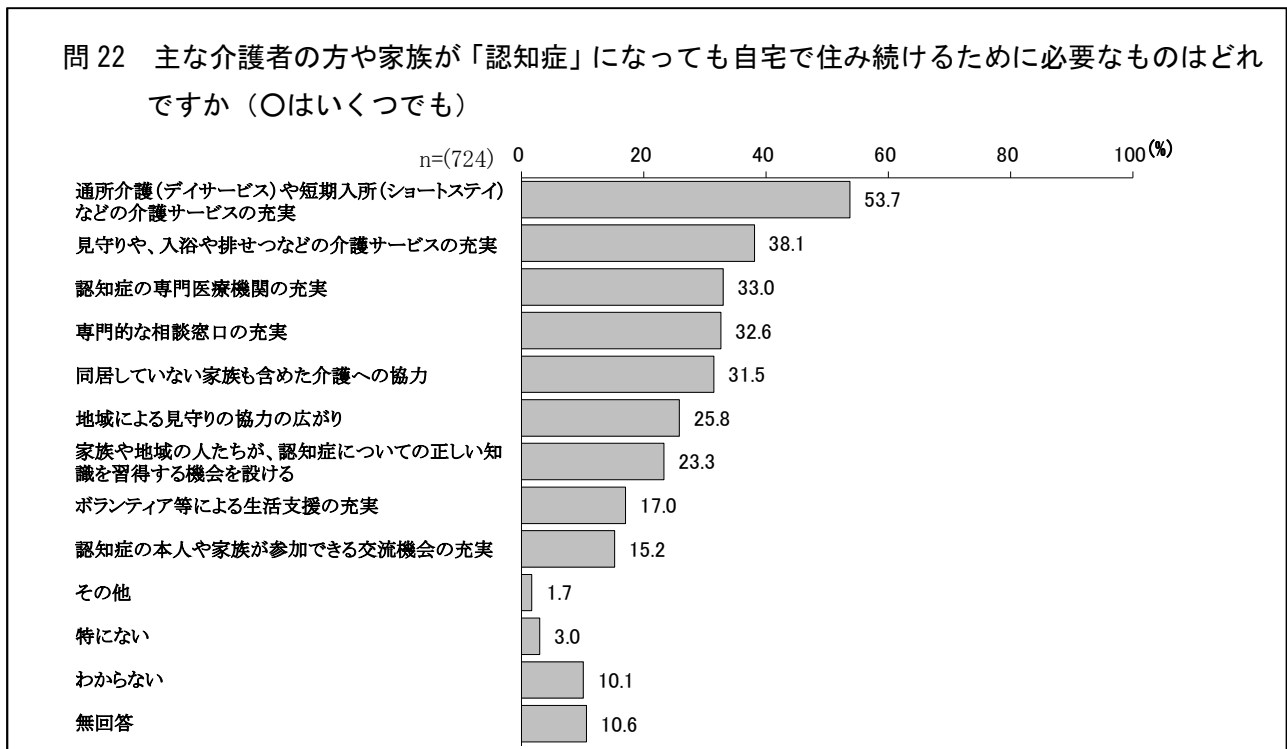
認知度が高い取り組みは、『④認知症カフェ』(19.8%)、『③認知症サポーター養成講座』(17.1%)、『②多賀城市認知症ガイドブック(ケアパス)』(10.2%)となっており、一方、認知度が低い取り組みは『①認知症初期集中支援チーム』で「知っている」が5.9%となっている。

認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、重くなるにしたがって認知度が高くなっている。

【認知症高齢者の日常生活自立度(詳細・3区分)別】

| | ①認知症初期集中支援チーム | | | | ②多賀城市認知症ガイドブック(ケアパス) | | | | ③認知症サポーター養成講座 | | | | ④認知症カフェ | | | |
|---------------------|---------------|-------|------|------|----------------------|-------|------|------|---------------|-------|------|------|---------|-------|------|------|
| | 調査数 | 知っている | 知らない | 無回答 | 調査数 | 知っている | 知らない | 無回答 | 調査数 | 知っている | 知らない | 無回答 | 調査数 | 知っている | 知らない | 無回答 |
| 全体 | 724 | 43 | 562 | 119 | 724 | 74 | 521 | 129 | 724 | 124 | 476 | 124 | 724 | 143 | 464 | 117 |
| | 100.0 | 5.9 | 77.6 | 16.4 | 100.0 | 10.2 | 72.0 | 17.8 | 100.0 | 17.1 | 65.7 | 17.1 | 100.0 | 19.8 | 64.1 | 16.2 |
| 認知症高齢者の日常生活自立度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立 | 77 | 5 | 53 | 19 | 77 | 7 | 50 | 20 | 77 | 9 | 47 | 21 | 77 | 13 | 45 | 19 |
| | 100.0 | 6.5 | 68.8 | 24.7 | 100.0 | 9.1 | 64.9 | 26.0 | 100.0 | 11.7 | 61.0 | 27.3 | 100.0 | 16.9 | 58.4 | 24.7 |
| I | 181 | 6 | 139 | 36 | 181 | 13 | 130 | 38 | 181 | 21 | 124 | 36 | 181 | 27 | 119 | 35 |
| | 100.0 | 3.3 | 76.8 | 19.9 | 100.0 | 7.2 | 71.8 | 21.0 | 100.0 | 11.6 | 68.5 | 19.9 | 100.0 | 14.9 | 65.7 | 19.3 |
| II a | 78 | 6 | 61 | 11 | 78 | 6 | 60 | 12 | 78 | 14 | 51 | 13 | 78 | 15 | 50 | 13 |
| | 100.0 | 7.7 | 78.2 | 14.1 | 100.0 | 7.7 | 76.9 | 15.4 | 100.0 | 17.9 | 65.4 | 16.7 | 100.0 | 19.2 | 64.1 | 16.7 |
| II b | 193 | 10 | 155 | 28 | 193 | 22 | 139 | 32 | 193 | 34 | 131 | 28 | 193 | 44 | 125 | 24 |
| | 100.0 | 5.2 | 80.3 | 14.5 | 100.0 | 11.4 | 72.0 | 16.6 | 100.0 | 17.6 | 67.9 | 14.5 | 100.0 | 22.8 | 64.8 | 12.4 |
| III a | 130 | 12 | 104 | 14 | 130 | 18 | 96 | 16 | 130 | 30 | 85 | 15 | 130 | 29 | 86 | 15 |
| | 100.0 | 9.2 | 80.0 | 10.8 | 100.0 | 13.8 | 73.8 | 12.3 | 100.0 | 23.1 | 65.4 | 11.5 | 100.0 | 22.3 | 66.2 | 11.5 |
| III b | 16 | - | 14 | 2 | 16 | - | 14 | 2 | 16 | - | 14 | 2 | 16 | - | 14 | 2 |
| | 100.0 | - | 87.5 | 12.5 | 100.0 | - | 87.5 | 12.5 | 100.0 | - | 87.5 | 12.5 | 100.0 | - | 87.5 | 12.5 |
| IV | 16 | 3 | 12 | 1 | 16 | 4 | 11 | 1 | 16 | 7 | 8 | 1 | 16 | 7 | 8 | 1 |
| | 100.0 | 18.8 | 75.0 | 6.3 | 100.0 | 25.0 | 68.8 | 6.3 | 100.0 | 43.8 | 50.0 | 6.3 | 100.0 | 43.8 | 50.0 | 6.3 |
| M | 3 | - | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | - | 3 | 3 | - | - | 3 | 2 | 1 | - |
| | 100.0 | - | 66.7 | 33.3 | 100.0 | 66.7 | 33.3 | - | 100.0 | 100.0 | - | - | 100.0 | 66.7 | 33.3 | - |
| 認知症高齢者の日常生活自立度(3区分) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立+I | 258 | 11 | 192 | 55 | 258 | 20 | 180 | 58 | 258 | 30 | 171 | 57 | 258 | 40 | 164 | 54 |
| | 100.0 | 4.3 | 74.4 | 21.3 | 100.0 | 7.8 | 69.8 | 22.5 | 100.0 | 11.6 | 66.3 | 22.1 | 100.0 | 15.5 | 63.6 | 20.9 |
| II | 271 | 16 | 216 | 39 | 271 | 28 | 199 | 44 | 271 | 48 | 182 | 41 | 271 | 59 | 175 | 37 |
| | 100.0 | 5.9 | 79.7 | 14.4 | 100.0 | 10.3 | 73.4 | 16.2 | 100.0 | 17.7 | 67.2 | 15.1 | 100.0 | 21.8 | 64.6 | 13.7 |
| III以上 | 165 | 15 | 132 | 18 | 165 | 24 | 122 | 19 | 165 | 40 | 107 | 18 | 165 | 38 | 109 | 18 |
| | 100.0 | 9.1 | 80.0 | 10.9 | 100.0 | 14.5 | 73.9 | 11.5 | 100.0 | 24.2 | 64.8 | 10.9 | 100.0 | 23.0 | 66.1 | 10.9 |

(3) 主な介護者や家族が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なもの



主な介護者や家族が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なものをたずねたところ、「通所介護(デイサービス)や短期入所(ショートステイ)などの介護サービスの充実」が53.7%と最も多く、以下「見守りや、入浴や排せつなどの介護サービスの充実」(38.1%)、「認知症の専門医療機関の充実」(33.0%)、「専門的な相談窓口の充実」(32.6%)、「同居していない家族も含めた介護への協力」(31.5%)、「地域による見守りの協力の広がり」(25.8%)、「家族や地域の人たちが、認知症についての正しい知識を習得する機会を設ける」(23.3%)などとなっている。

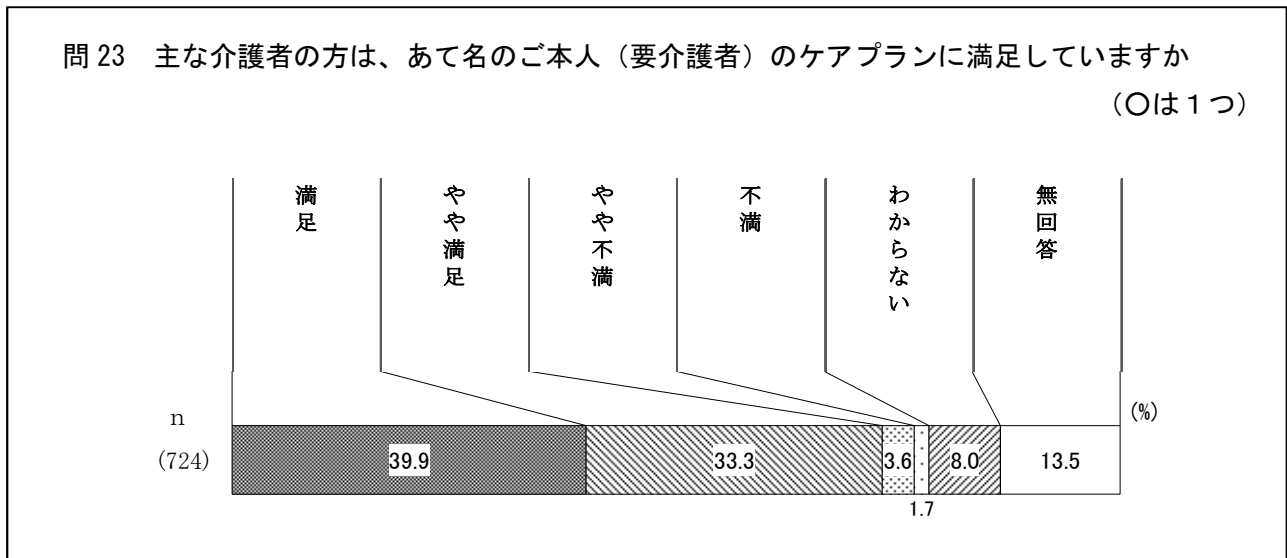
認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、概ね重くなるにしたがって「通所介護（デイサービス）や短期入所（ショートステイ）などの介護サービスの充実」、「見守りや、入浴や排せつなどの介護サービスの充実」、「同居していない家族も含めた介護への協力」が増加しており、特にⅢ以上で多くなっている。

【認知症高齢者の日常生活自立度（詳細・3区分）別】

| | 調査数 | 通所介護（デイサービス）や短期入所（ショートステイ）などの介護サービスの充実 | 見守りや、入浴や排せつなどの介護サービスの充実 | 認知症の専門医療機関の充実 | 専門的な相談窓口の充実 | 同居していない家族も含めた介護への協力 | 地域による見守りの協力の広がり | 家族や地域の人が、認知症に関する機会を設ける | ボランティア等による生活支援の充実 | 認知症の本人や家族が参加できる交流機会の充実 | その他 | 特になし | わからない | 無回答 |
|---------------------|--------------|--|-------------------------|---------------|-------------|---------------------|-----------------|------------------------|-------------------|------------------------|-----------|-----------|------------|------------|
| 全体 | 724 100.0 | 389 53.7 | 276 38.1 | 239 33.0 | 236 32.6 | 228 31.5 | 187 25.8 | 169 23.3 | 123 17.0 | 110 15.2 | 12 1.7 | 22 3.0 | 73 10.1 | 77 10.6 |
| 認知症高齢者の日常生活自立度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立 | 77 100.0 | 41 53.2 | 28 36.4 | 21 27.3 | 23 29.9 | 27 35.1 | 23 29.9 | 17 22.1 | 15 19.5 | 11 14.3 | - | 1 1.3 | 10 13.0 | 11 14.3 |
| I | 181 100.0 | 89 49.2 | 70 38.7 | 65 35.9 | 71 39.2 | 49 27.1 | 47 26.0 | 47 26.0 | 31 17.1 | 33 18.2 | 1 0.6 | 11 6.1 | 22 12.2 | 24 13.3 |
| II a | 78 100.0 | 34 43.6 | 21 26.9 | 25 32.1 | 15 19.2 | 27 34.6 | 16 20.5 | 15 19.2 | 10 12.8 | 7 9.0 | 1 1.3 | 2 2.6 | 9 11.5 | 10 12.8 |
| II b | 193 100.0 | 106 54.9 | 76 39.4 | 56 29.0 | 68 35.2 | 62 32.1 | 50 25.9 | 44 22.8 | 40 20.7 | 30 15.5 | 5 2.6 | 3 1.6 | 17 8.8 | 17 8.8 |
| III a | 130 100.0 | 85 65.4 | 60 46.2 | 51 39.2 | 42 32.3 | 47 36.2 | 37 28.5 | 30 23.1 | 23 17.7 | 17 13.1 | 4 3.1 | 3 2.3 | 13 10.0 | 5 3.8 |
| III b | 16 100.0 | 9 56.3 | 4 25.0 | 6 37.5 | 3 18.8 | 5 31.3 | 5 31.3 | 4 25.0 | 1 6.3 | 1 6.3 | - | - | 2 12.5 | 2 12.5 |
| IV | 16 100.0 | 9 56.3 | 6 37.5 | 7 43.8 | 6 37.5 | 5 31.3 | 3 18.8 | 4 25.0 | - | 4 25.0 | - | 1 6.3 | - | 2 12.5 |
| M | 3 100.0 | 2 66.7 | 1 33.3 | 1 33.3 | - | 2 66.7 | 1 33.3 | 1 33.3 | 1 33.3 | 2 66.7 | - | 1 33.3 | - | - |
| 認知症高齢者の日常生活自立度（3区分） | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立+I | 258 100.0 | 130 50.4 | 98 38.0 | 86 33.3 | 94 36.4 | 76 29.5 | 70 27.1 | 64 24.8 | 46 17.8 | 44 17.1 | 1 0.4 | 12 4.7 | 32 12.4 | 35 13.6 |
| II | 271 100.0 | 140 51.7 | 97 35.8 | 81 29.9 | 83 30.6 | 89 32.8 | 66 24.4 | 59 21.8 | 50 18.5 | 37 13.7 | 6 2.2 | 5 1.8 | 26 9.6 | 27 10.0 |
| III以上 | 165 100.0 | 105 63.6 | 71 43.0 | 65 39.4 | 51 30.9 | 59 35.8 | 46 27.9 | 39 23.6 | 25 15.2 | 24 14.5 | 4 2.4 | 5 3.0 | 15 9.1 | 9 5.5 |

8. ケアプラン等について

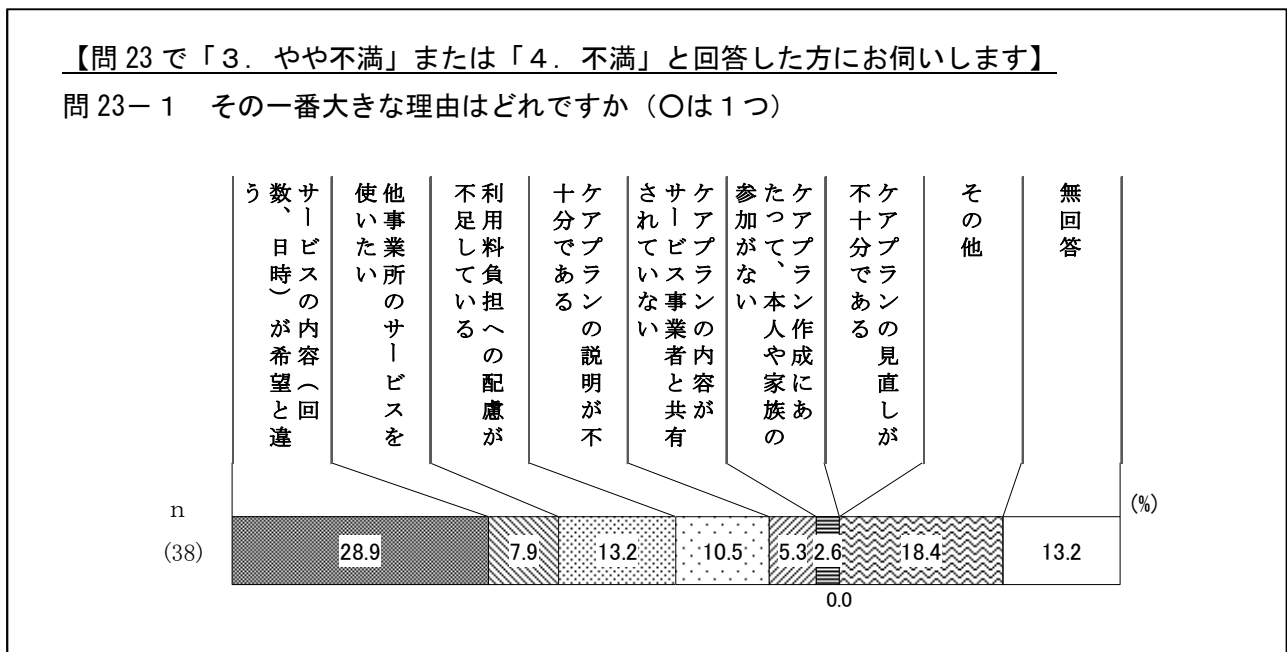
(1) 本人（要介護者）のケアプランに対する主な介護者の満足度



本人（要介護者）のケアプランに対する主な介護者の満足度をたずねたところ、「満足」が39.9%と最も多く、「やや満足」(33.3%)を合わせた“満足”は73.2%となっている。

一方、「やや不満」(3.6%)、「不満」(1.7%)を合わせた“不満”は5.3%となっている。

(2) 本人（要介護者）のケアプランに主な介護者が不満な一番の理由

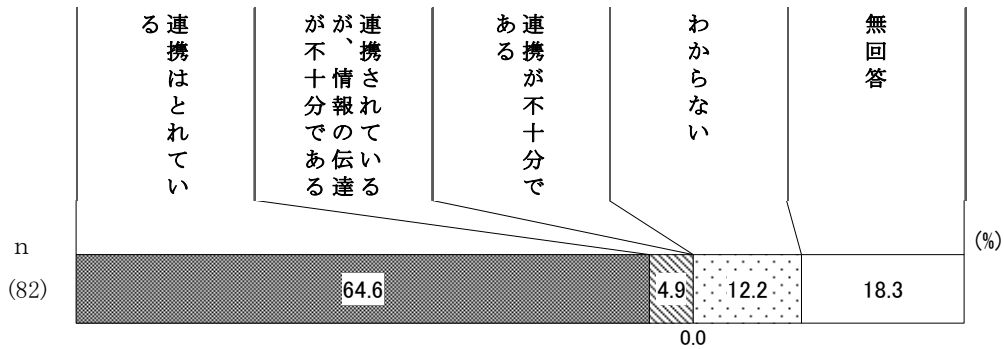


本人（要介護者）のケアプランに主な介護者が不満な一番の理由をたずねたところ、「サービスの内容(回数、日時)が希望と違う」が28.9%と最も多く、以下「利用料負担への配慮が不足している」(13.2%)、「ケアプランの説明が不十分である」(10.5%)、「他事業所のサービスを使いたい」(7.9%)などとなっている。

(3) 訪問診療と訪問介護などのサービス提供者間での連携状況

【あて名のご本人（要介護者）が訪問診療、介護保険サービスの両方を「利用している」方にお伺いします】

問 24 主な介護者の方から見て、訪問診療と訪問介護などのサービス提供者の間で情報共有（連携）はできていると感じますか（〇は1つ）

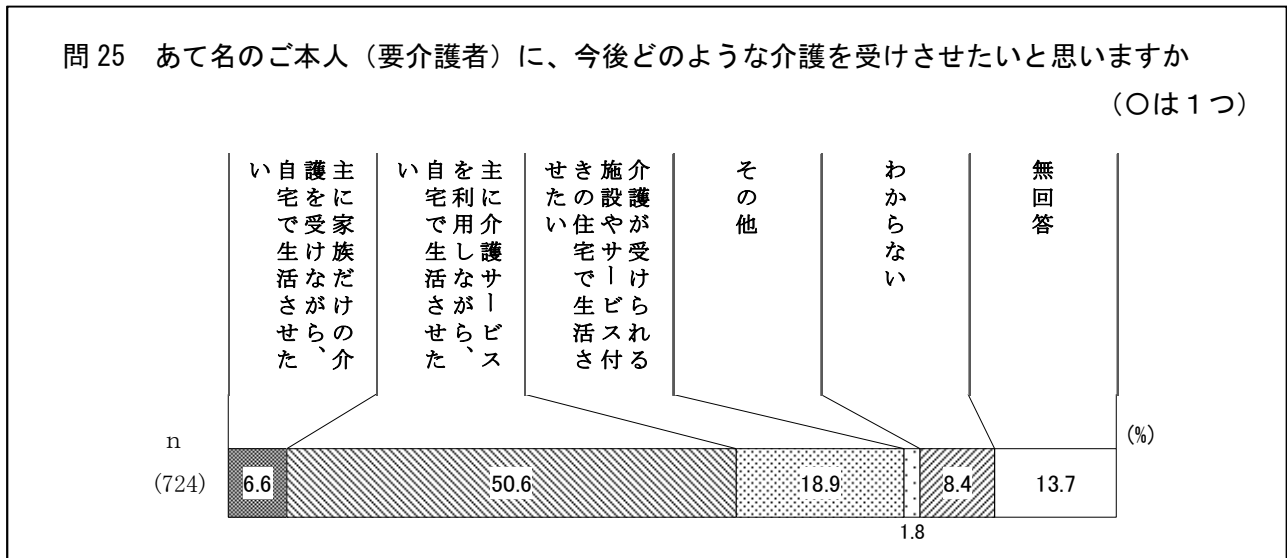


訪問診療と訪問介護などのサービス提供者間での連携状況をたずねたところ、「連携はとれている」が64.6%と最も多く、「連携されているが、情報の伝達が不十分である」(4.9%)となっている。

なお、「わからない」は12.2%となっている。

9. 介護保険制度について

(1) 本人（要介護者）に、今後受けさせたい介護

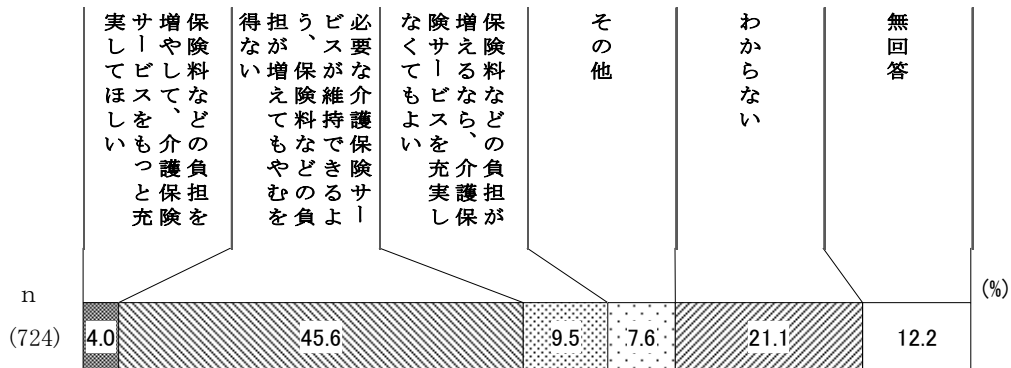


本人（要介護者）に、今後受けさせたい介護をたずねたところ、「主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活させたい」が50.6%と最も多く、以下「介護が受けられる施設やサービス付きの住宅で生活させたい」（18.9%）、「主に家族だけの介護を受けながら、自宅で生活させたい」（6.6%）となっている。

なお、「わからない」は8.4%となっている。

(2) 必要な介護保険サービス提供のための保険料などの負担増についての考え

問 26 超高齢社会を迎え、本市に必要な介護保険サービスを提供できるようにするため、保険料などの負担が増えることについて、あなたはどのように思いますか（○は1つ）

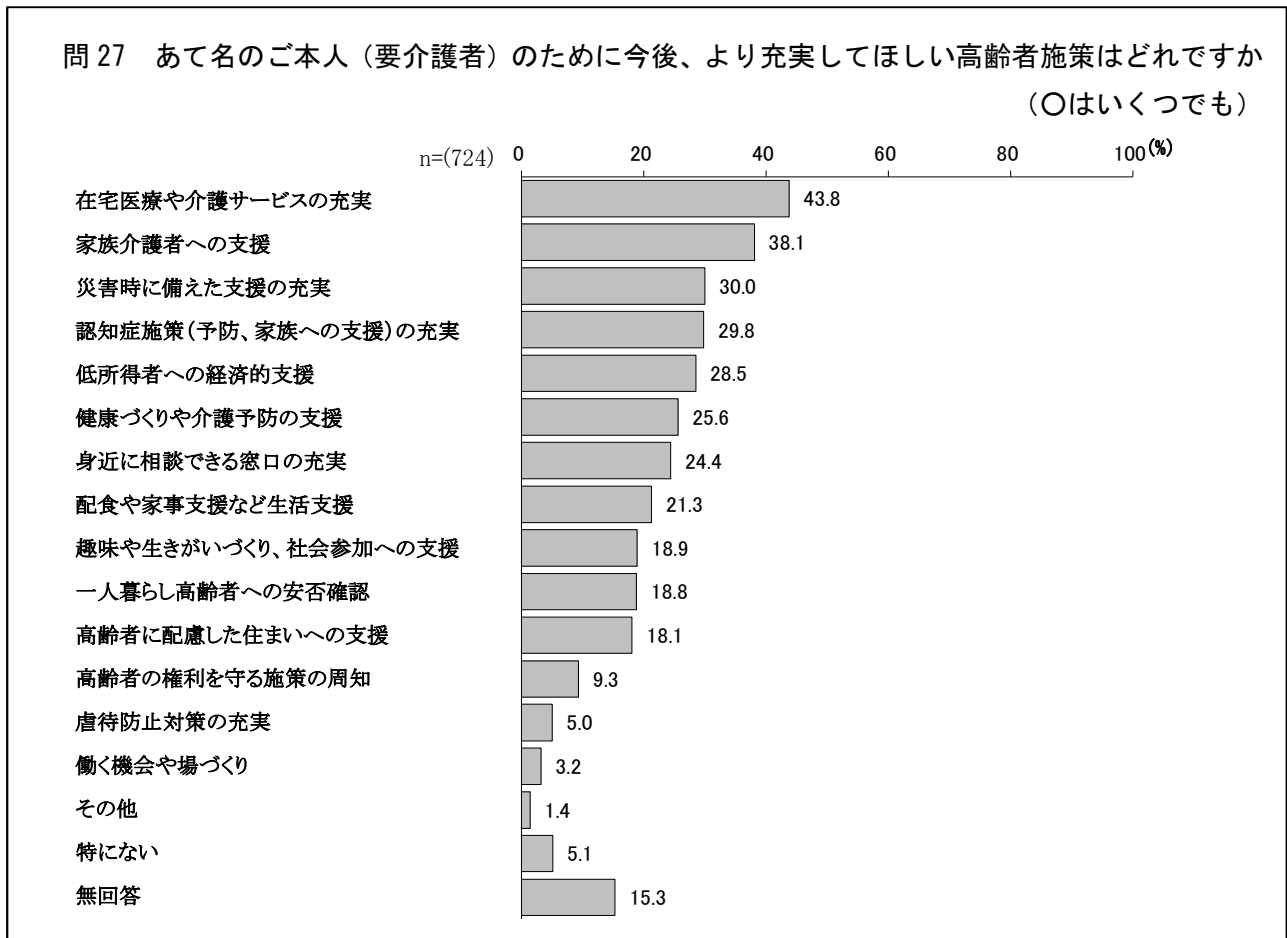


必要な介護保険サービス提供のための保険料などの負担増についての考えをたずねたところ、「必要な介護保険サービスが維持できるように、保険料などの負担が増えてもやむを得ない」が45.6%と最も多く、以下「保険料などの負担が増えるなら、介護保険サービスを充実しなくてもよい」(9.5%)、「保険料などの負担を増やして、介護保険サービスをもっと充実してほしい」(4.0%)となっている。

なお、「わからない」は21.1%となっている。

10. 今後の施策について

(1) 本人（要介護者）のために今後、より充実してほしい高齢者施策



本人（要介護者）のために今後、より充実してほしい高齢者施策をたずねたところ、「在宅医療や介護サービスの充実」が43.8%と最も多く、以下「家族介護者への支援」(38.1%)、「災害時に備えた支援の充実」(30.0%)、「認知症施策(予防、家族への支援)の充実」(29.8%)、「低所得者への経済的支援」(28.5%)などとなっている。

認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、概ね重くなるにしたがって「在宅医療や介護サービスの充実」、「家族介護者への支援」、「認知症施策（予防、家族への支援）の充実」が増加しており、特にⅢ以上で多くなっている。

【認知症高齢者の日常生活自立度（詳細・3区分）別】

| | 調査数 | 在宅医療や介護サービスの充実 | 家族介護者への支援 | 災害時に備えた支援の充実 | 認知症施策（予防、家族への支援）の充実 | 低所得者への経済的支援 | 健康づくりや介護予防の支援 | 身近に相談できる窓口の充実 | 配食や家事支援など生活支援 | 趣味や生きがいづくりに、社会参加への支援 | 一人暮らし高齢者への安否確認 | 高齢者に配慮した住まいへの支援 | 高齢者の権利を守る施策の周知 | 虐待防止対策の充実 | 働く機会や場づくり |
|---------------------|--------------|----------------|-------------|--------------|---------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|----------------------|----------------|-----------------|----------------|-----------|-----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | 724 100.0 | 317 43.8 | 276 38.1 | 217 30.0 | 216 29.8 | 206 28.5 | 185 25.6 | 177 24.4 | 154 21.3 | 137 18.9 | 136 18.8 | 131 18.1 | 67 9.3 | 36 5.0 | 23 3.2 |
| 認知症高齢者の日常生活自立度 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立 | 77 100.0 | 26 33.8 | 26 33.8 | 26 33.8 | 17 22.1 | 18 23.4 | 25 32.5 | 15 19.5 | 22 28.6 | 19 24.7 | 19 24.7 | 12 15.6 | 7 9.1 | 2 2.6 | - |
| I | 181 100.0 | 80 44.2 | 66 36.5 | 62 34.3 | 36 19.9 | 50 27.6 | 56 30.9 | 48 26.5 | 36 19.9 | 42 23.2 | 46 25.4 | 37 20.4 | 21 11.6 | 12 6.6 | 7 3.9 |
| Ⅱ a | 78 100.0 | 35 44.9 | 25 32.1 | 18 23.1 | 21 26.9 | 17 21.8 | 19 24.4 | 17 21.8 | 19 24.4 | 11 14.1 | 16 20.5 | 11 14.1 | 4 5.1 | 3 3.8 | 2 2.6 |
| Ⅱ b | 193 100.0 | 79 40.9 | 67 34.7 | 42 21.8 | 68 35.2 | 53 27.5 | 42 21.8 | 51 26.4 | 39 20.2 | 31 16.1 | 31 16.1 | 33 17.1 | 16 8.3 | 7 3.6 | 8 4.1 |
| Ⅲ a | 130 100.0 | 65 50.0 | 62 47.7 | 46 35.4 | 49 37.7 | 47 36.2 | 27 20.8 | 31 23.8 | 26 20.0 | 23 17.7 | 15 11.5 | 26 20.0 | 11 8.5 | 6 4.6 | 5 3.8 |
| Ⅲ b | 16 100.0 | 7 43.8 | 12 75.0 | 7 43.8 | 9 56.3 | 6 37.5 | 4 25.0 | 1 6.3 | 3 18.8 | 2 12.5 | - | 2 12.5 | - | - | - |
| Ⅳ | 16 100.0 | 7 43.8 | 6 37.5 | 4 25.0 | 6 37.5 | 4 25.0 | 2 12.5 | 3 18.8 | 2 12.5 | 1 6.3 | 1 6.3 | 2 12.5 | 1 6.3 | 1 6.3 | - |
| M | 3 100.0 | 3 100.0 | 2 66.7 | 3 100.0 | 1 33.3 | 2 66.7 | 1 33.3 | - | - | 1 33.3 | 1 33.3 | 2 66.7 | 2 66.7 | - | - |
| 認知症高齢者の日常生活自立度（3区分） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立+Ⅰ | 258 100.0 | 106 41.1 | 92 35.7 | 88 34.1 | 53 20.5 | 68 26.4 | 81 31.4 | 63 24.4 | 58 22.5 | 61 23.6 | 65 25.2 | 49 19.0 | 28 10.9 | 14 5.4 | 7 2.7 |
| Ⅱ | 271 100.0 | 114 42.1 | 92 33.9 | 60 22.1 | 89 32.8 | 70 25.8 | 61 22.5 | 68 25.1 | 58 21.4 | 42 15.5 | 47 17.3 | 44 16.2 | 20 7.4 | 10 3.7 | 10 3.7 |
| Ⅲ以上 | 165 100.0 | 82 49.7 | 82 49.7 | 60 36.4 | 65 39.4 | 59 35.8 | 34 20.6 | 35 21.2 | 31 18.8 | 27 16.4 | 17 10.3 | 32 19.4 | 14 8.5 | 7 4.2 | 5 3.0 |

| | その他 | 特にな い | 無回 答 |
|---------------------|-----------|-----------|-------------|
| 上段：件数 下段：% | | | |
| 全体 | 10 1.4 | 37 5.1 | 111 15.3 |
| 認知症高齢者の日常生活自立度 | | | |
| 自立 | - | 1 1.3 | 14 18.2 |
| I | 2 1.1 | 11 6.1 | 28 15.5 |
| Ⅱ a | 1 1.3 | 4 5.1 | 11 14.1 |
| Ⅱ b | 3 1.6 | 14 7.3 | 29 15.0 |
| Ⅲ a | 1 0.8 | 4 3.1 | 21 16.2 |
| Ⅲ b | - | 1 6.3 | 1 6.3 |
| Ⅳ | - | 1 6.3 | 4 25.0 |
| M | - | - | - |
| 認知症高齢者の日常生活自立度（3区分） | | | |
| 自立+Ⅰ | 2 0.8 | 12 4.7 | 42 16.3 |
| Ⅱ | 4 1.5 | 18 6.6 | 40 14.8 |
| Ⅲ以上 | 1 0.6 | 6 3.6 | 26 15.8 |

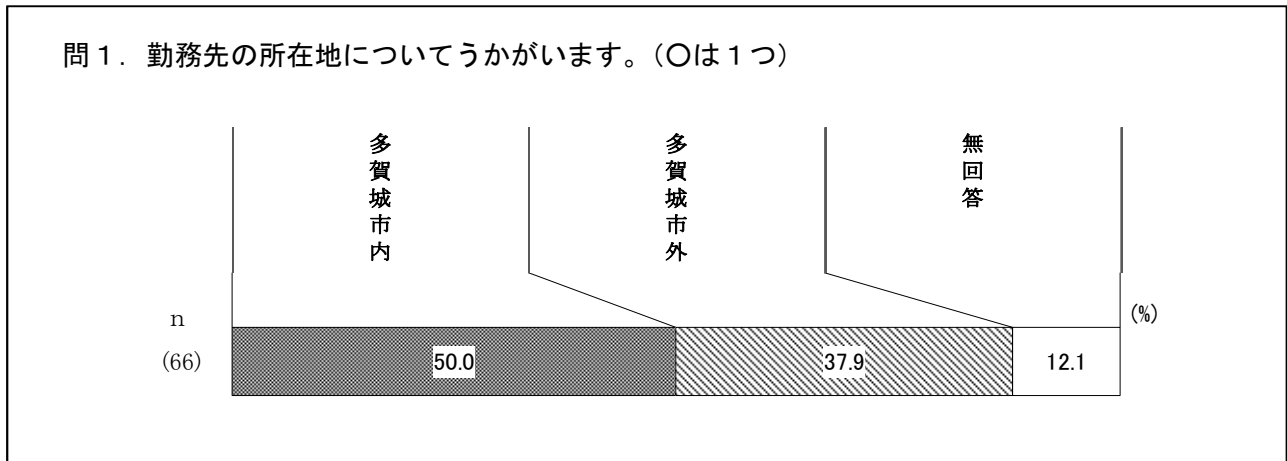
第2部 調査結果の分析

第3章 ケアマネジャーに対する調査

第3章 ケアマネジャーに対する調査

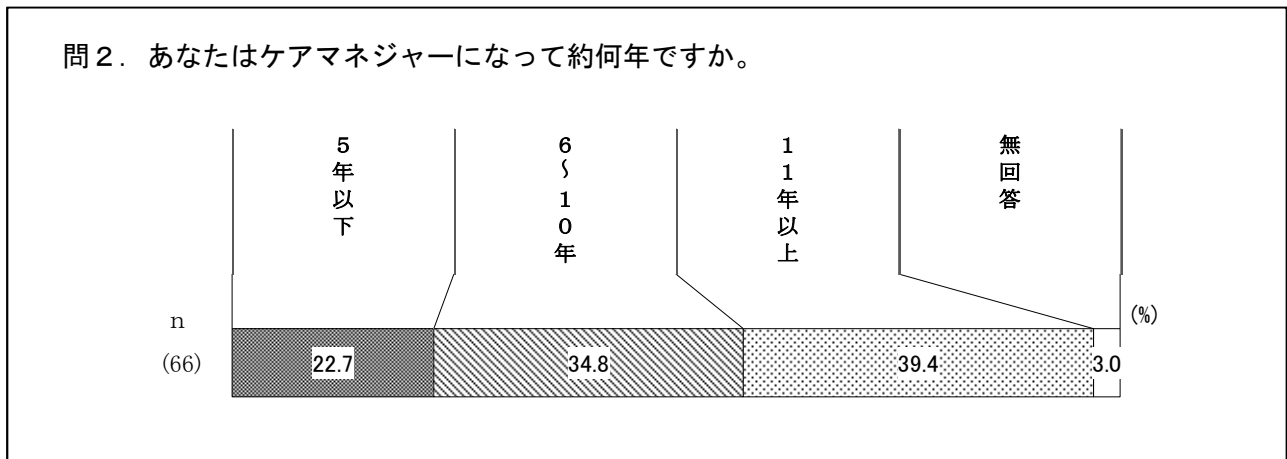
1. 回答者の属性について

(1) 勤務先の所在地



勤務先の所在地をたずねたところ、「多賀城市内」が 50.0%、「多賀城市外」が 37.9%となっている。

(2) ケアマネジャー歴



ケアマネジャー歴をたずねたところ、「11年以上」が 39.4%と最も多く、以下「6～10年」(34.8%)、「5年以下」(22.7%) となっている。

(3) ケアプラン担当人数

問3. 令和元年12月1日現在、あなたは何人のケアプランを担当していますか。

問3-1. 問3のうち、多賀城市の被保険者を何人担当していますか。

問3-2. 担当している多賀城市の被保険者のうち、介護サービスの上限を超えてサービスを利用するケアプランを立てている方がいますか。12月1日現在の担当者についてお答えください。

| | 要介護者 | | 要支援者 | | 合計 | |
|--------------------------------|------|-------|------|------|-----|-------|
| | 調査数 | 平均 | 調査数 | 平均 | 調査数 | 平均 |
| 担当しているケアプランの人数 | 66 | 26.97 | 66 | 2.27 | 66 | 29.24 |
| うち、担当している被保険者の人数 | 66 | 11.17 | 66 | 0.64 | 66 | 11.80 |
| うち介護サービスの上限を超えたケアプランを立てている方の人数 | 66 | 0.41 | 66 | 0.0 | 66 | 0.41 |

ケアプラン担当人数をたずねたところ、要介護者の平均は26.97人、要支援者の平均は2.27人、合計の平均は29.24人となっている。

担当しているうち、多賀城市の被保険者の人数をたずねたところ、要介護者の平均は11.17人、要支援者の平均は0.64人、合計の平均は11.80人となっている。

担当している多賀城市の被保険者うち、介護サービスの上限を超えたケアプランを立てている方の人数をたずねたところ、要介護者の平均は0.41人、要支援者は該当者なしで、合計の平均は0.41人となっている。

2. サービスの過不足について

(1) 介護保険対象サービスの過不足

問4. 現時点の多賀城市における介護保険対象サービスについて、(ア) 現在、供給が不足していると感じるサービス、(イ) 今後、需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。(ア) (イ) それぞれについて〇はいくつでも)

| | 調査数 | 訪問介護 | 訪問入浴介護 | 訪問看護 | 訪問リハビリテーション | 居宅療養管理指導 | 通所介護 | 通所リハビリテーション | 短期入所生活介護 | 短期入所療養介護 | 特定施設入居者生活介護 | 福祉用具貸与 | 居宅介護支援 | 介護老人福祉施設 |
|------------------------------|-------------|------------|-----------|------------|-------------|------------|----------|-------------|------------|------------|-------------|----------|-----------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | | |
| (ア) 現在供給が不足していると感じるサービス | 66 100.0 | 17 25.8 | 9 13.6 | 11 16.7 | 17 25.8 | 12 18.2 | 3 4.5 | 10 15.2 | 18 27.3 | 16 24.2 | 3 4.5 | 1 1.5 | 7 10.6 | 24 36.4 |
| (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス | 66 100.0 | 16 24.2 | 6 9.1 | 17 25.8 | 19 28.8 | 14 21.2 | 4 6.1 | 10 15.2 | 10 15.2 | 12 18.2 | 4 6.1 | 5 7.6 | 9 13.6 | 19 28.8 |

| | 介護老人保健施設 | 介護療養型医療施設 | 介護医療院 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 夜間対応型訪問介護 | 地域密着型通所介護 | 認知症対応型通所介護 | 小規模多機能型居宅介護 | 認知症対応型共同生活介護 | 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 生活介護 | 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 | 複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護） | 介護予防訪問入浴介護 | 介護予防訪問看護 |
|------------------------------|------------|------------|------------|------------------|------------|-----------|------------|-------------|--------------|------------------|----------|----------------------|------------------------|------------|----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | | | |
| (ア) 現在供給が不足していると感じるサービス | 15 22.7 | 16 24.2 | 13 19.7 | 19 28.8 | 12 18.2 | 3 4.5 | 8 12.1 | 7 10.6 | 7 10.6 | 2 3.0 | 5 7.6 | 12 18.2 | 12 18.2 | 3 4.5 | 1 1.5 |
| (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス | 14 21.2 | 15 22.7 | 14 21.2 | 23 34.8 | 14 21.2 | 3 4.5 | 12 18.2 | 13 19.7 | 12 18.2 | 4 6.1 | 5 7.6 | 21 31.8 | 5 7.6 | 5 7.6 | 5 7.6 |

| | 介護予防訪問リハビリテーション | 介護予防居宅療養管理指導 | 介護予防通所リハビリテーション | 介護予防短期入所生活介護 | 介護予防短期入所療養介護 | 介護予防特定施設入居者生活介護 | 介護予防福祉用具貸与 | 介護予防支援 | 介護予防認知症対応型通所介護 | 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 無回答 |
|------------------------------|-----------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|-----------------|------------|----------|----------------|-----------------|------------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | |
| (ア) 現在供給が不足していると感じるサービス | 2 3.0 | 1 1.5 | 1 1.5 | 1 1.5 | 1 1.5 | 1 1.5 | 1 1.5 | 4 6.1 | 2 3.0 | 1 1.5 | 1 1.5 | 11 16.7 |
| (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス | 3 4.5 | 4 6.1 | 4 6.1 | 4 6.1 | 4 6.1 | 4 6.1 | 3 4.5 | 6 9.1 | 5 7.6 | 5 7.6 | 4 6.1 | 15 22.7 |

介護保険対象サービスについて、現在供給が不足していると感じるサービスをたずねたところ、「介護老人福祉施設」(36.4%)が最も多く、以下「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(28.8%)、「短期入所生活介護」(27.3%)、「訪問介護」「訪問リハビリテーション」(ともに25.8%)、「短期入所療養介護」「介護療養型医療施設」(ともに24.2%)、「介護老人保健施設」(22.7%)などとなっている。

今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスをたずねたところ、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(34.8%)が最も多く、以下「複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)」(31.8%)、「訪問リハビリテーション」「介護老人福祉施設」(ともに28.8%)、「訪問看護」(25.8%)、「訪問介護」(24.2%)、「介護療養型医療施設」(22.7%)などとなっている。

(2) 最も供給が不足していると感じる介護保険対象サービスとその理由

問4-1. 多賀城市内で最も供給が不足していると感じるサービスは何ですか。また、その理由を記入してください。

最も供給が不足していると感じるサービスとその理由をたずねたところ、29件の回答があった。内容は以下の通りである。

| サービス名 | 不足していると感じる理由 |
|----------------------------|---|
| 訪問介護 | 希望の時間にサービスを導入することができない。各事業所にあっても空きがないと言われてしまう。 |
| 訪問介護 | 身体介護ができない、若い担当者が希望できない等、プラン設定、ニーズ対応に支障が出ている。 |
| 訪問介護 | 全体的にヘルパーが不足している。在宅生活する上では困難の要因。 |
| 訪問介護 | 通院が普通となっており、訪問による健康管理が大事だと思うため。 |
| 短期入所生活介護 | ベッド数が少なく予約が困難。市内に事業所数が少ない。 |
| 短期入所生活介護 | 提供している施設が少ない。他地域のショートステイを利用している現状にある。 |
| 短期入所生活介護 | 家族から近くのショートステイを利用したいと要望がありましたが、1カ所のみで選択肢がありませんでした。 |
| 短期入所生活介護 | 予約が取れない。 |
| 短期入所生活介護 | 市内施設空きがなく市外6カ所の利用となっている。 |
| 介護老人福祉施設 | 待機者が3桁と言われること多々あり。 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 空きがなく利用できなかった事がある。 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | お願いしたものの、希望の時間にはスタッフの数が足りなく入ってもらえなかった。他に頼めるところもない。 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 介護力が乏しい家、独居の方が増えていると実感することがある。 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 事業所が少ない。 |
| 夜間対応型訪問介護 | 夜間お願いできる事業所（契約書には載っていても実際規制がある）。 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 数が少ないため。 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 小規模多機能とは定員いっぱいのごが多いようです。認知症で常時見守りが必要な方は居宅介護では対応できないと感じます。 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 認知症対応が多い。 |
| 複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護) | 喀痰吸引等、医療依存度がある方の受け入れサービスが限られているため。サービス種別としてはあるのに市内に事業所がなく利用できない。 |
| 複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護) | 在宅での生活を継続するためには医療との連携が必要である。特に独居の方に関しては体調管理等を把握していただける上記のサービスが必要であると考えます。 |

| サービス名 | 不足していると感じる理由 |
|-----------------------------------|--|
| 複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護) | 医療医依存度の高い方、痰吸引が必要な方のショートステイ先の確保が困難で、入院の対応になる。 |
| その他 (ショートステイ) | 吸引できる施設がない。 |
| その他 (施設サービス全般) | 希望通り利用できない。 |
| その他 (医療依存度の高い方のショート先 (吸引・吸痰のある方)) | 夜間吸引がある方はNS がないため、ショート先が見つからない。 |
| その他 (施設サービス) | 在宅生活が困難になった場合の受け皿が少ない。 |
| その他 (通所介護 (短時間対応)、入浴特化デイサービス) | 短時間の利用で食事＋入浴、又は入浴のみで対応できるデイサービスが少ない。利用者の身体状況や体力的なところで長時間デイにすることに不安を感じ利用しない方もいます。 |
| その他 (予防訪問介護) | 要支援者へのヘルパー訪問事業所が減ってきている |
| その他 (予防訪問介護) | 予防を受け入れない事業所が多くなっている。 |
| その他 (通所介護 (半日) リハビリ) | 半日でリハビリ入浴が可能な施設が少ない。 |

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業の過不足

問5. 現時点の多賀城市内における介護予防・日常生活支援総合事業について、(ア) 現在、供給が不足していると感じるサービス、(イ) 今後、需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。(ア)(イ)それぞれについて〇はいくつでも)

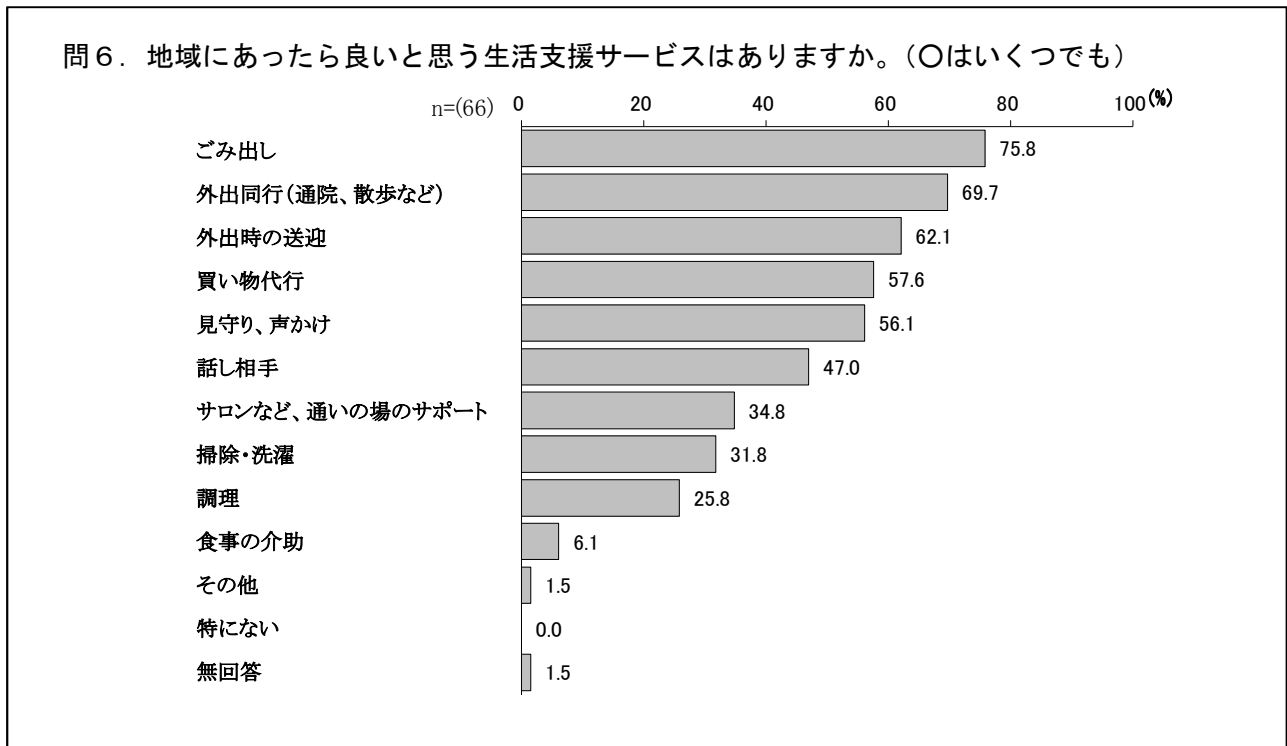
| | 調査数 | 介護予防訪問介護相当サービス | 軽度生活援助サービス事業（市の独自基準によるサービス） | 介護予防通所介護相当サービス | 短期集中予防サービス事業（市の独自基準によるサービス） | 認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス） | 健康ストレッチ教室 | 筋運アップ教室 | 地域リハビリテーション活動支援事業 | 無回答 |
|------------------------------|-------------|----------------|-----------------------------|----------------|-----------------------------|----------------------------------|------------|------------|-------------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | |
| (ア) 現在供給が不足していると感じるサービス | 66 100.0 | 18 27.3 | 18 27.3 | 6 9.1 | 7 10.6 | 11 16.7 | 4 6.1 | 4 6.1 | 6 9.1 | 32 48.5 |
| (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス | 66 100.0 | 10 15.2 | 20 30.3 | 9 13.6 | 8 12.1 | 18 27.3 | 11 16.7 | 12 18.2 | 13 19.7 | 35 53.0 |

介護予防・日常生活支援総合事業について、現在供給が不足していると感じるサービスをたずねたところ、「介護予防訪問介護相当サービス」「軽度生活援助サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（ともに 27.3%）が最も多く、以下「認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（16.7%）、「短期集中予防サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（10.6%）などとなっている。

今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスをたずねたところ、「軽度生活援助サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（30.3%）が最も多く、以下「認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（27.3%）、「地域リハビリテーション活動支援事業」（19.7%）、「筋運アップ教室」（18.2%）、「健康ストレッチ教室」（16.7%）などとなっている。

3. 必要なサービスについて

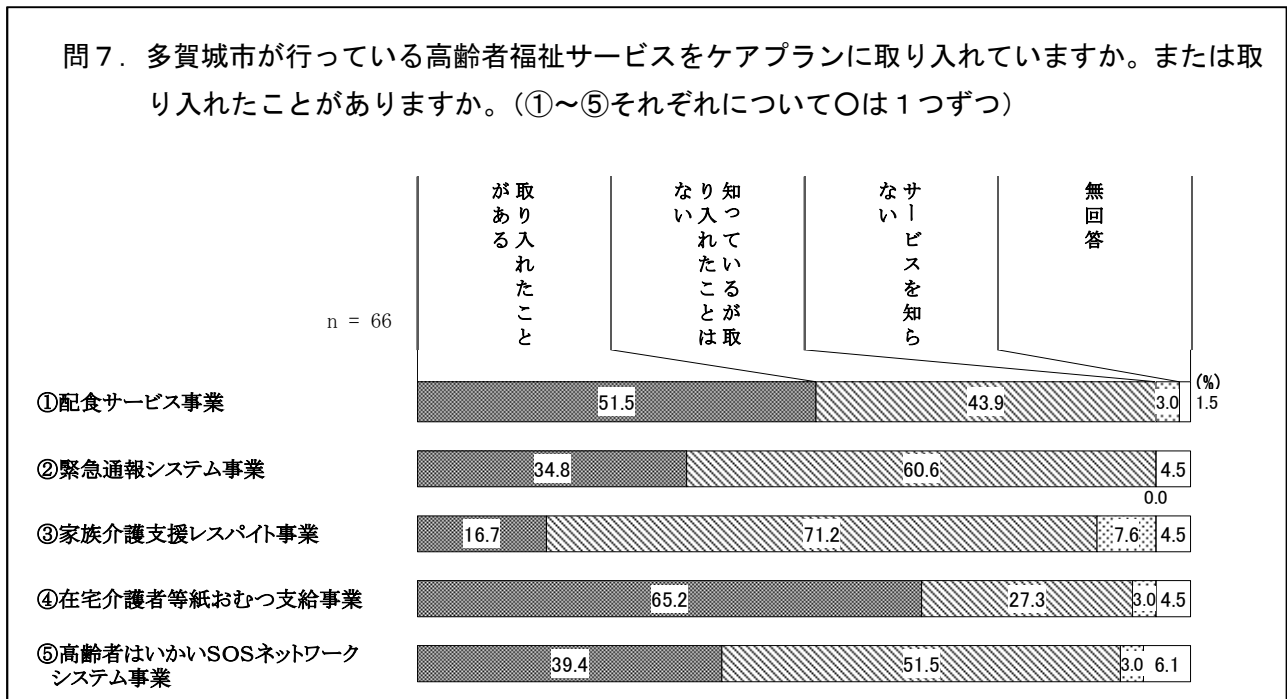
(1) 地域にあったら良いと思う生活支援サービス



地域にあったら良いと思う生活支援サービスをたずねたところ、「ごみ出し」が75.8%と最も多く、以下「外出同行(通院、散歩など)」(69.7%)、「外出時の送迎」(62.1%)、「買い物代行」(57.6%)、「見守り、声かけ」(56.1%)、「話し相手」(47.0%)などとなっている。

4. 介護保険以外のサービスについて

(1) 多賀城市が行っている高齢者福祉サービスのケアプランへの取り入れ



多賀城市が行っている高齢者福祉サービスのケアプランへの取り入れをたずねたところ、『①配食サービス事業』、『④在宅介護者等紙おむつ支給事業』は「取り入れたことがある」が50.0%以上となっている。

一方、『②緊急通報システム事業』、『③家族介護支援レスパイト事業』、『⑤高齢者はいかいSOSネットワークシステム事業』は「知っているが取り入れたことはない」が50.0%以上となっており、特に『③家族介護支援レスパイト事業』は71.2%と多くなっている。

なお、「サービスを知らない」はすべてのサービスで10.0%未満となっている。

(2) 高齢者向け施設（介護保険サービス以外）の過不足

問8. 現時点の高齢者向け施設（介護保険サービス以外）について、(ア) 現在、多賀城市内において供給が不足していると感じる施設、(イ) 今後、多賀城市内の需要が増えたり必要となると考えられる施設はありますか。（(ア) (イ) それぞれについて○はいくつでも）

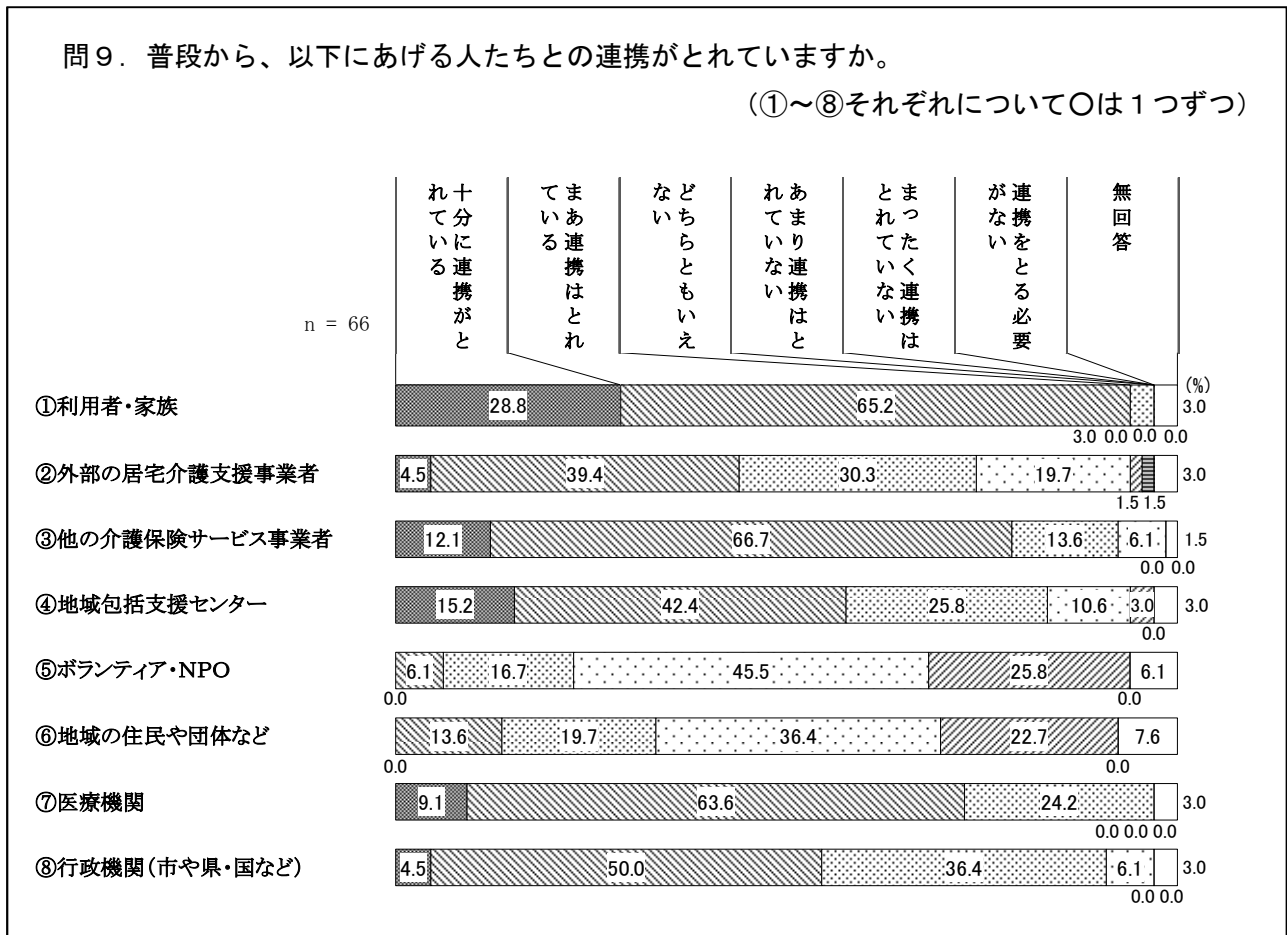
| | 調査数 | 住宅型有料老人ホーム | 健康型有料老人ホーム | サービス付き高齢者向け住宅 | 無回答 |
|----------------------------|-------------|------------|------------|---------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | |
| (ア) 現在供給が不足していると感じる施設 | 66 100.0 | 3 4.5 | 6 9.1 | 7 10.6 | 54 81.8 |
| (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられる施設 | 66 100.0 | 4 6.1 | 8 12.1 | 14 21.2 | 46 69.7 |

高齢者向け施設（介護保険サービス以外）について、現在供給が不足していると感じる施設をたずねたところ、「サービス付き高齢者向け住宅」(10.6%)、「健康型有料老人ホーム」(9.1%)、「住宅型有料老人ホーム」(4.5%) となっている。

今後需要が増えたり必要となると考えられる施設をたずねたところ、「サービス付き高齢者向け住宅」(21.2%)、「健康型有料老人ホーム」(12.1%)、「住宅型有料老人ホーム」(6.1%) となっている。

5. 関係者・関係機関との連携について

(1) 関係者・関係機関との連携状況

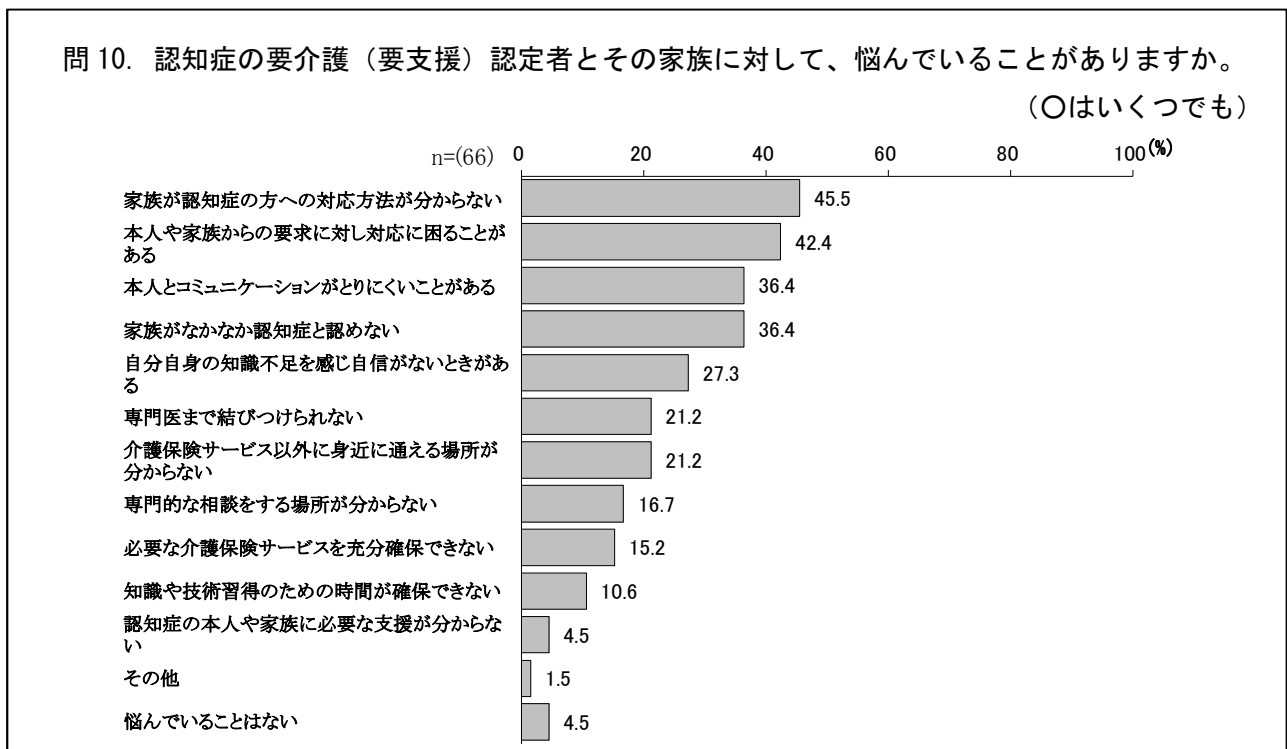


関係者・関係機関との連携をたずねたところ、『②外部の居宅介護支援事業者』『⑤ボランティア・NPO』『⑥地域の住民や団体など』を除くすべての関係者・関係機関で「十分に連携がとれている」、「まあ連携はとれている」を合わせた“連携はとれている”が50.0%以上となっており、特に『①利用者・家族』(94.0%)、『③他の介護保険サービス事業者』(78.8%)、『⑦医療機関』(72.7%)は70.0%以上となっている。

一方、「あまり連携はとれていない」、「まったく連携はとれていない」を合わせた“連携はとれていない”は『⑤ボランティア・NPO』(71.3%)、『⑥地域の住民や団体など』(59.1%)で多くなっている。

6. 認知症の対応について

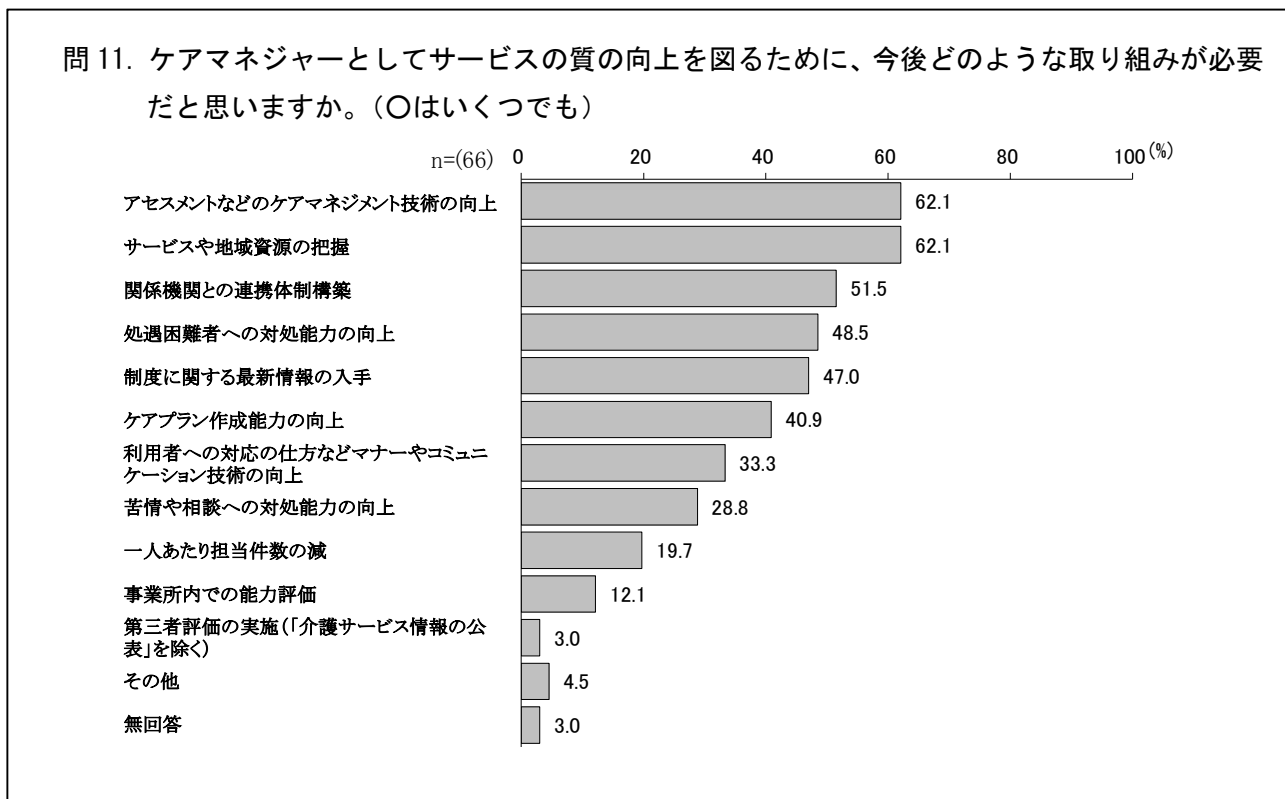
(1) 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいること



認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対し、悩んでいることをたずねたところ、「家族が認知症の方への対応方法が分からない」が45.5%と最も多く、以下「本人や家族からの要求に対し対応に困ることがある」(42.4%)、「本人とコミュニケーションがとりにくいことがある」、「家族がなかなか認知症と認めない」(ともに36.4%)、「自分自身の知識不足を感じ自信がないときがある」(27.3%) などとなっている。

7. サービスの質の向上を図ることについて

(1) サービスの質の向上を図るために必要な取り組み

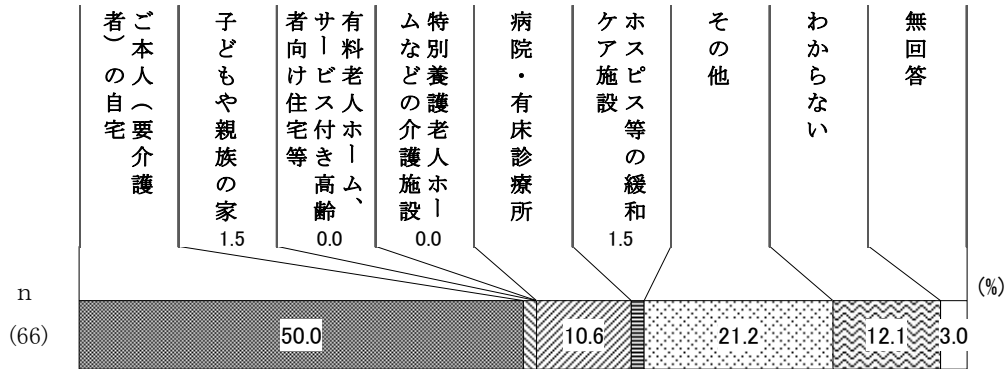


サービスの質の向上のために、今後必要な取り組みをたずねたところ、「アセスメントなどのケアマネジメント技術の向上」「サービスや地域資源の把握」がともに 62.1%と最も多く、以下「関係機関との連携体制構築」(51.5%)、「処遇困難者への対処能力の向上」(48.5%)、「制度に関する最新情報の入手」(47.0%) などとなっている。

8. 地域包括ケアの実現に向けた取り組みについて

(1) 利用者にとっての望ましい人生の最期の場所

問 12. 日々の業務を通じて、ケアマネジャーとして、利用者は人生の最期をどこで迎えるのが望ましいと思いますか。(〇は1つ)

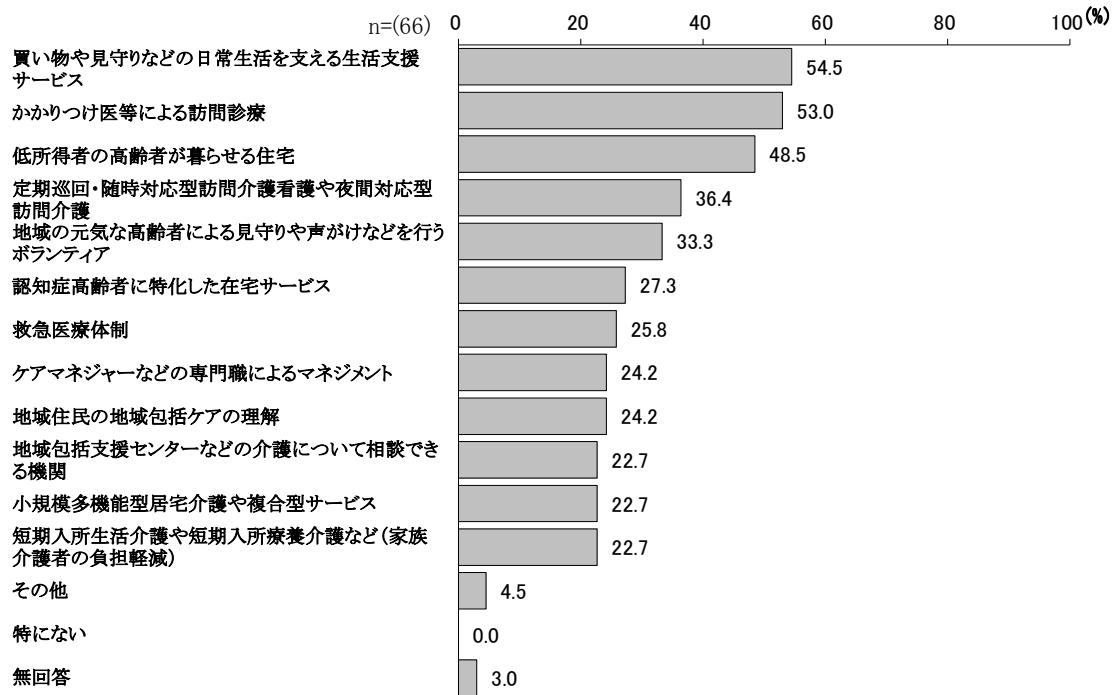


利用者にとっての望ましい人生の最期の場所をたずねたところ、「ご本人（要介護者）の自宅」が50.0%と最も多く、以下「病院・有床診療所」（10.6%）、「子どもや親族の家」「ホスピス等の緩和ケア施設」（ともに1.5%）となっている。

なお、「その他」は21.2%となっている。

(2) 自分らしい暮らしを最期まで続けるため、特に重要だと思うこと

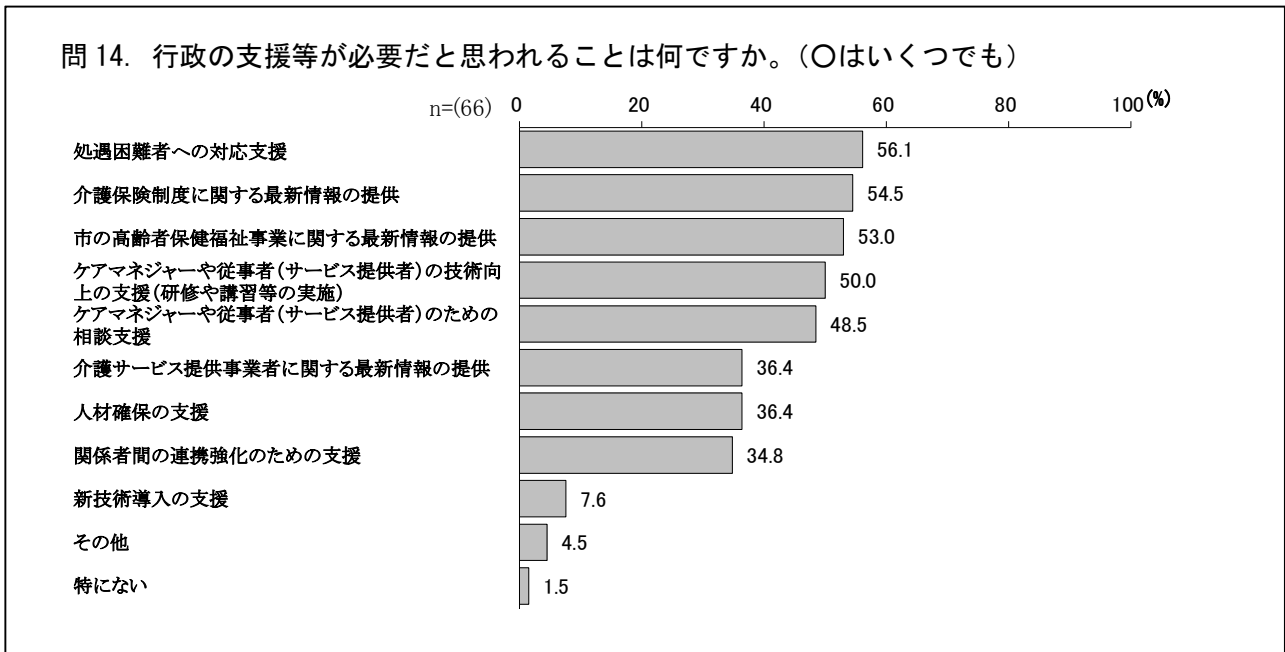
問 13. 地域包括ケアシステムの推進に向け、たとえ重度の要介護者となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるようにするために、ケアマネジャーの視点からどのようなことが特に重要だと思いますか。(〇は5つまで)



自分らしい暮らしを最期まで続けるため、特に重要だと思うことをたずねたところ、「買い物や見守りなどの日常生活を支える生活支援サービス」が54.5%と最も多く、以下「かかりつけ医等による訪問診療」(53.0%)、「低所得者の高齢者が暮らせる住宅」(48.5%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護や夜間対応型訪問介護」(36.4%)、「地域の元気な高齢者による見守りや声かけなどを行うボランティア」(33.3%) などとなっている。

9. 行政に対する要望について

(1) 行政の支援等が必要だと思われること



行政の支援等が必要だと思われることをたずねたところ、「処遇困難者への対応支援」が56.1%と最も多く、以下「介護保険制度に関する最新情報の提供」(54.5%)、「市の高齢者保健福祉事業に関する最新情報の提供」(53.0%)、「ケアマネジャーや従事者(サービス提供者)の技術向上の支援(研修や講習等の実施)」(50.0%)、「ケアマネジャーや従事者(サービス提供者)のための相談支援」(48.5%)などとなっている。

第2部 調査結果の分析

第4章 介護サービス事業所に対する調査

第4章 介護サービス事業所に対する調査

1. 回答者の属性について

(1) 職員数

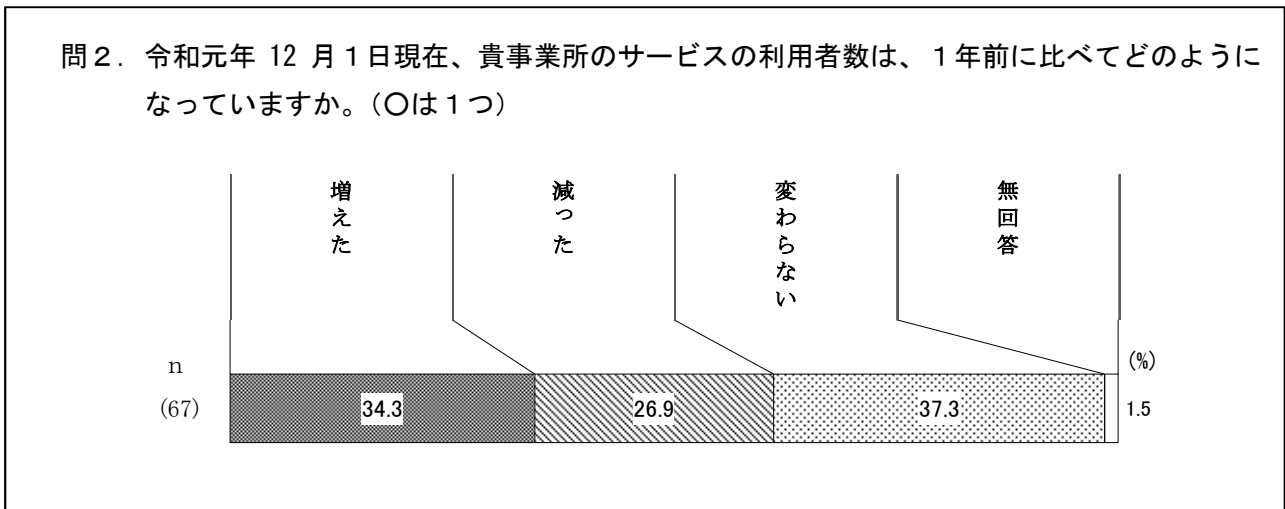
問1. 貴事業所の全従業員は何人ですか。(令和元年12月1日現在)

| | 調査数 | 平均 | 標準偏差 | 最小値 | 最大値 |
|--------|-------------|---------------|-------|-----|-----|
| 正規職員数 | 67 100.0 | 913 13.63 | 26.53 | 1 | 159 |
| 非正規職員数 | 67 100.0 | 456 6.81 | 10.93 | 0 | 62 |
| 合計の人数 | 67 100.0 | 1379 20.58 | 36.59 | 1 | 221 |

職員数をたずねたところ、正規職員数の平均は13.63人、非正規職員数の平均は6.81人、合計従業員数の平均は20.58人となっている。

2. 運営状況について

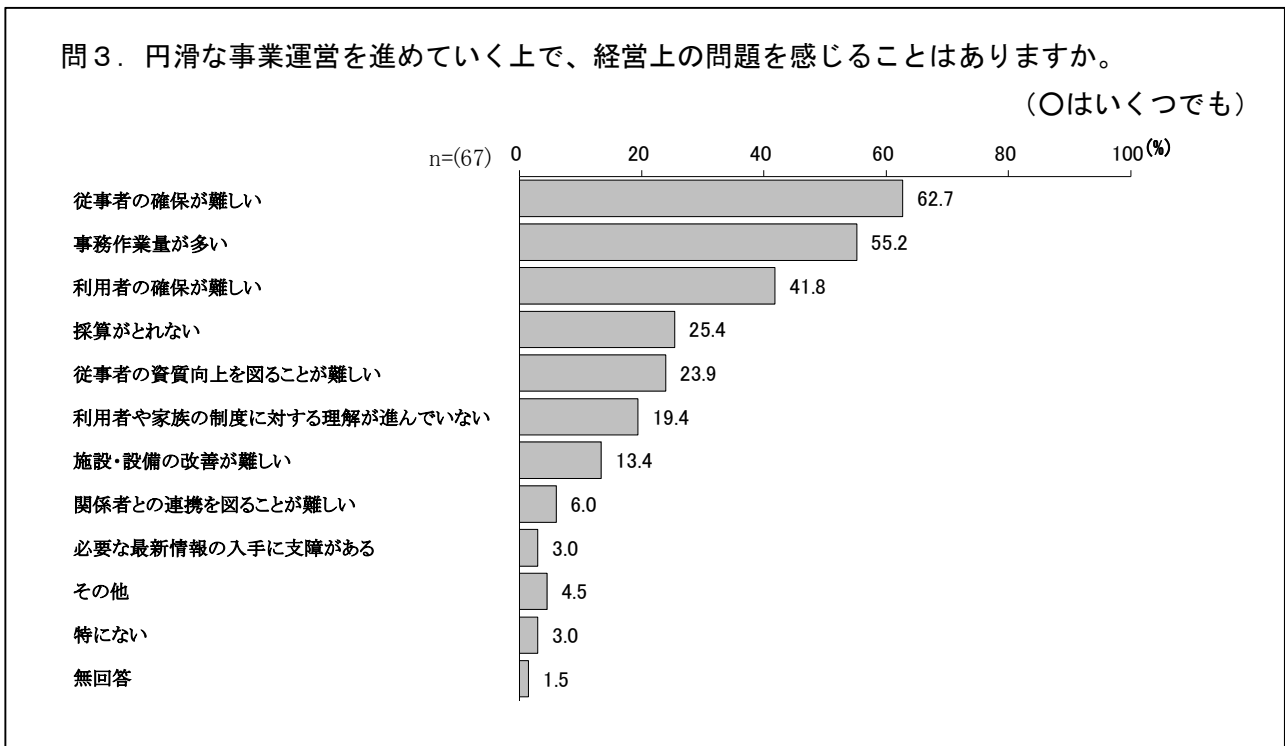
(1) 1年前と比べたサービスの利用者数の変化



1年前と比べたサービスの利用者数の変化をたずねたところ、「増えた」が34.3%、「減った」が26.9%となっている。

なお、「変わらない」は37.3%となっている。

(2) 経営上の問題



経営上の問題をたずねたところ、「従事者の確保が難しい」が62.7%と最も多く、以下「事務作業量が多い」(55.2%)、「利用者の確保が難しい」(41.8%)、「採算がとれない」(25.4%)、「従事者の資質向上を図ることが難しい」(23.9%)などとなっている。

3. サービスの提供状況等について

(1) 介護保険対象サービスの現状と今後

問4. 現時点の多賀城市内における介護保険対象サービスについて、(ア) 現在提供しているサービス、(イ) 規模縮小・廃止したいサービス、(ウ) 新規に参入したいサービスはありますか。((ア)(イ)(ウ)それぞれについて○はいくつでも)

| | 調査数 | 訪問介護 | 訪問入浴介護 | 訪問看護 | 訪問リハビリテーション | 居宅療養管理指導 | 通所介護 | 通所リハビリテーション | 短期入所生活介護 | 短期入所療養介護 | 特定施設入居者生活介護 | 福祉用具貸与 | 居宅介護支援 | 介護老人福祉施設 |
|--------------------|-------------|------------|--------|----------|-------------|----------|------------|-------------|----------|----------|-------------|----------|------------|----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | | |
| (ア) 現在提供しているサービス | 67 100.0 | 15 22.4 | - | 5 7.5 | 4 6.0 | 1 1.5 | 20 29.9 | 6 9.0 | 2 3.0 | 3 4.5 | - | - | 32 47.8 | 1 1.5 |
| (イ) 規模縮小・廃止したいサービス | 67 100.0 | 1 1.5 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| (ウ) 新規に参入したいサービス | 67 100.0 | - | - | 1 1.5 | 1 1.5 | - | - | 1 1.5 | 1 1.5 | 1 1.5 | 1 1.5 | 1 1.5 | - | - |

| | 介護老人保健施設 | 介護療養型医療施設 | 介護医療院 | 定期巡回・随時対応型訪問看護 | 夜間対応型訪問介護 | 地域密着型通所介護 | 認知症対応型通所介護 | 小規模多機能型居宅介護 | 認知症対応型共同生活介護 | 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護） | 介護予防訪問入浴介護 | 介護予防訪問看護 |
|--------------------|----------|-----------|-------|----------------|-----------|-----------|------------|-------------|--------------|------------------|----------------------|------------------------|------------|----------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | | |
| (ア) 現在提供しているサービス | 3 4.5 | - | - | 3 4.5 | - | 3 4.5 | 4 6.0 | 2 3.0 | 6 9.0 | - | 1 1.5 | - | - | 4 6.0 |
| (イ) 規模縮小・廃止したいサービス | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| (ウ) 新規に参入したいサービス | - | - | - | 1 1.5 | - | - | - | 2 3.0 | - | - | - | - | - | - |

| | 介護予防訪問リハビリテーション | 介護予防居宅療養管理指導 | 介護予防通所リハビリテーション | 介護予防短期入所生活介護 | 介護予防短期入所療養介護 | 介護予防特定施設入居者生活介護 | 介護予防福祉用具貸与 | 介護予防支援 | 介護予防認知症対応型通所介護 | 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 指定介護予防支援（地域包括支援センター） | 無回答 |
|--------------------|-----------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|-----------------|------------|------------|----------------|-----------------|------------------|----------------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | | | | |
| (ア) 現在提供しているサービス | 4 6.0 | 1 1.5 | 5 7.5 | 1 1.5 | 3 4.5 | - | - | 12 17.9 | 2 3.0 | 2 3.0 | 4 6.0 | 2 3.0 | 2 3.0 |
| (イ) 規模縮小・廃止したいサービス | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 1.5 | - | - | 65 97.0 |
| (ウ) 新規に参入したいサービス | - | - | - | 2 3.0 | 1 1.5 | 1 1.5 | - | 1 1.5 | - | 1 1.5 | - | 1 1.5 | 61 91.0 |

介護保険対象サービスについて、現在提供しているサービスをたずねたところ、「居宅介護支援」(47.8%)が最も多く、以下「通所介護」(29.9%)、「訪問介護」(22.4%)などとなっている。

規模縮小・廃止したいサービスをたずねたところ、「訪問介護」「介護予防小規模多機能型居宅介護」(ともに1.5%)となっている。

新規に参入したいサービスをたずねたところ、「小規模多機能型居宅介護」「介護予防短期入所生活介護」（ともに 3.0%）、「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「短期入所療養介護」「特定施設入居者生活介護」「福祉用具貸与」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「介護予防短期入所療養介護」「介護予防特定施設入居者生活介護」「介護予防支援」「介護予防小規模多機能型居宅介護」「指定介護予防支援（地域包括支援センター）」（いずれも 1.5%）となっている。

(2) 新規に参入したいと考える一番の介護保険対象サービスとその理由

問4-1. 新規に参入したいと考える一番のサービスは何ですか。また、その理由を記入してください。

新規に参入したいと考える一番の介護保険対象サービスとその理由をたずねたところ、6件の回答があった。内容は以下の通りである。

| サービス名 | 参入したいと考える理由 |
|------------------|---|
| 訪問看護 | ニーズが高く、利用者が求めているから。 |
| 特定施設入居者生活介護 | 既に仙台市内に特定施設入居者生活介護事業を14年前に開設した経験値から、今後は多賀城市を中心としたエリアで、地域ニーズに応じた介護サービスの充実に貢献したいため。 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | この地域において、やれている事業所はごく限られている（ただ人件費、体制など容易ではない）。 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 訪問が必要な時に対応可能である。自前ケアプランで必要性、適性の利用者が多い。問題点・職員の確保・施設確保（建築費、改修費） |
| 介護予防短期入所生活介護 | 若干ではあるがニーズがあるため。 |
| その他 | ショートステイ、デイケアサービス・デイケアの補完（小規模多機能型も検討中）。 |

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業の過不足

問5. 現時点の多賀城市内における介護予防・日常生活支援総合事業について、(ア) 現在、供給が不足していると感じるサービス、(イ) 今後、需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。((ア)(イ)それぞれについて〇はいくつでも)

| | 調査数 | 介護予防訪問介護相当サービス | 軽度生活援助サービス事業（市の独自基準によるサービス） | 介護予防通所介護相当サービス | 短期集中予防サービス事業（市の独自基準によるサービス） | 認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス） | 健康ストレッチ教室 | 筋運アップ教室 | 地域リハビリテーション活動支援事業 | 無回答 |
|------------------------------|-------------|----------------|-----------------------------|----------------|-----------------------------|----------------------------------|------------|------------|-------------------|------------|
| 上段：件数 下段：% | | | | | | | | | | |
| (ア) 現在供給が不足していると感じるサービス | 67 100.0 | 13 19.4 | 5 7.5 | 7 10.4 | 3 4.5 | 15 22.4 | - - | - - | 2 3.0 | 37 55.2 |
| (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス | 67 100.0 | 12 17.9 | 11 16.4 | 13 19.4 | 10 14.9 | 27 40.3 | 15 22.4 | 12 17.9 | 16 23.9 | 26 38.8 |

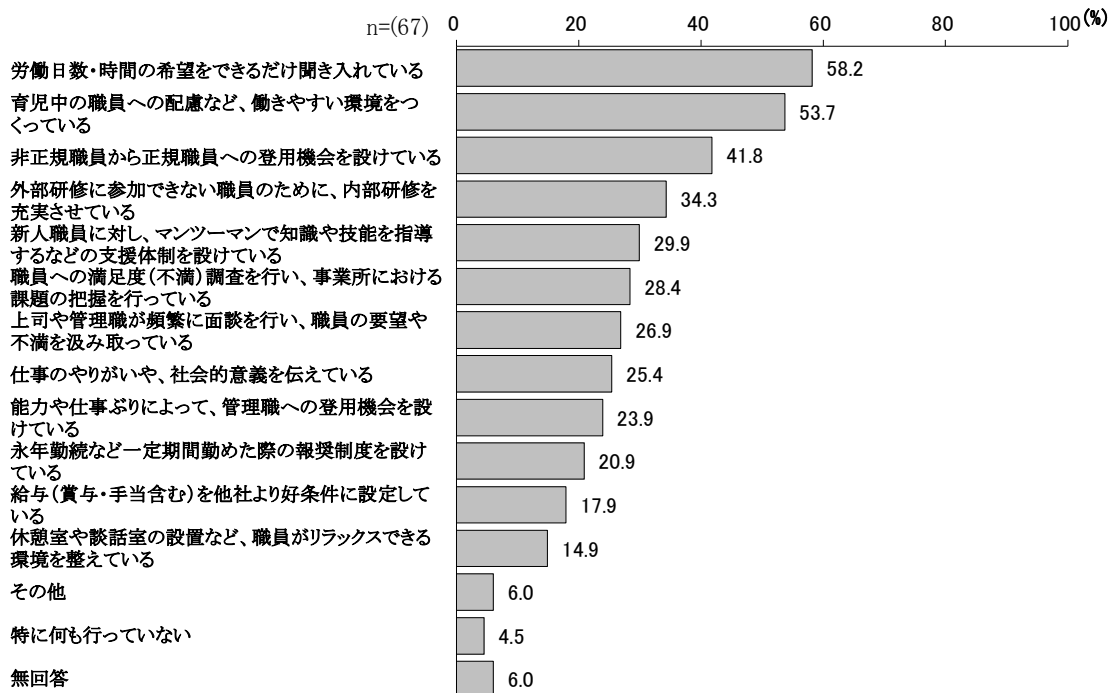
介護予防・日常生活支援総合事業について、現在供給が不足していると感じるサービスをたずねたところ、「認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（22.4%）が最も多く、以下「介護予防訪問介護相当サービス」（19.4%）、「介護予防通所介護相当サービス」（10.4%）、「軽度生活援助サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（7.5%）などとなっている。

今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスをたずねたところ、「認知症高齢者見守り支援サービス事業（市の独自基準によるサービス）」（40.3%）が最も多く、以下「地域リハビリテーション活動支援事業」（23.9%）、「健康ストレッチ教室」（22.4%）、「介護予防通所介護相当サービス」（19.4%）、「介護予防訪問介護相当サービス」「筋運アップ教室」（ともに17.9%）などとなっている。

4. 人材の定着・育成などについて

(1) 人材の定着・育成についての取り組み

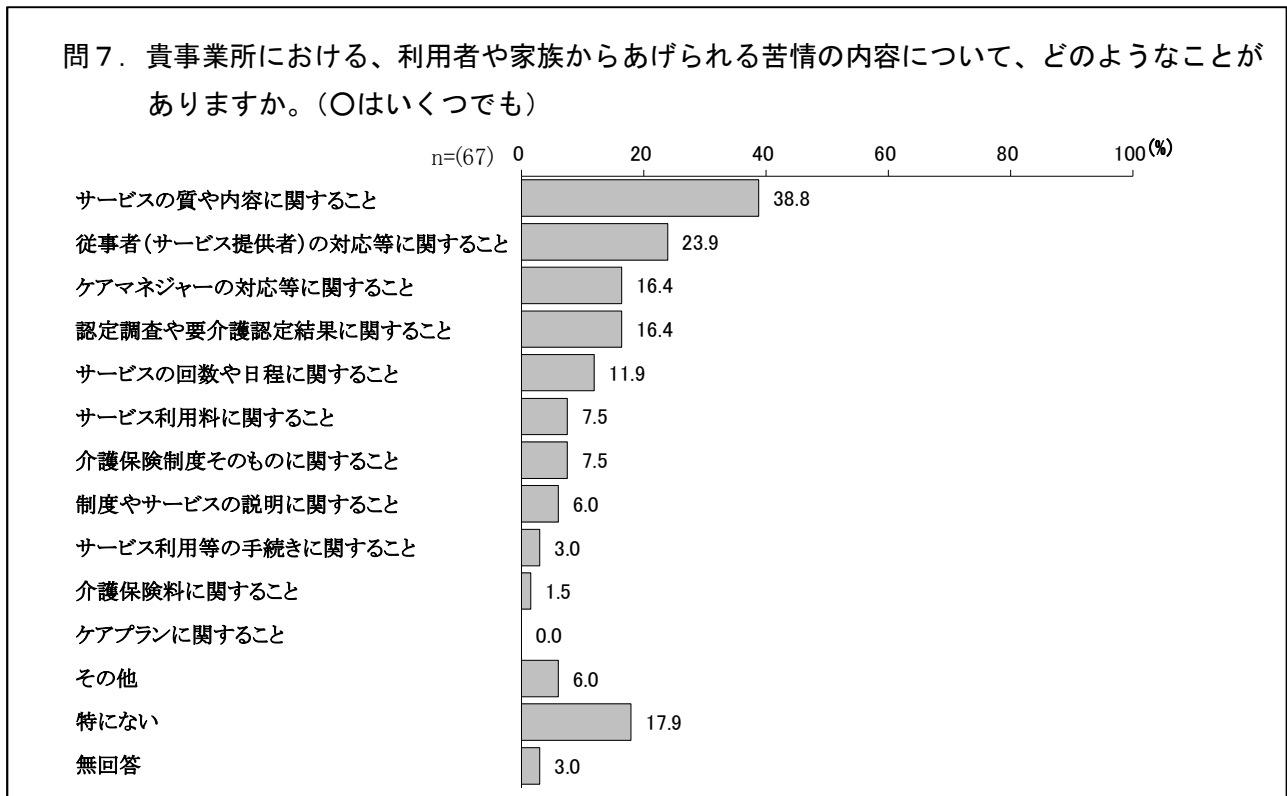
問6. 貴事業所では、多賀城市内において人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（〇はいくつでも）



人材の定着・育成（離職の防止）についての取り組みをたずねたところ、「労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」が58.2%と最も多く、以下「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」（53.7%）、「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」（41.8%）、「外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている」（34.3%）、「新人職員に対し、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている」（29.9%）、「職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている」（28.4%）などとなっている。

5. 苦情処理体制やサービスの質の向上への対策について

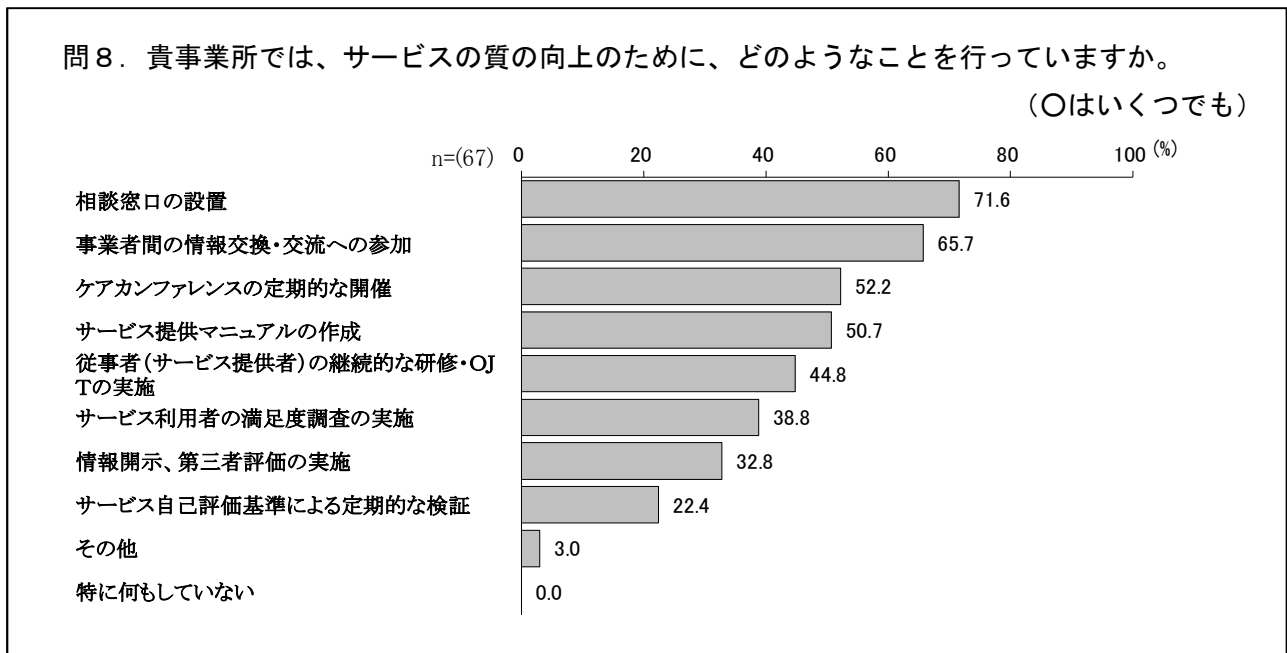
(1) 利用者や家族からあげられる苦情の内容



利用者や家族からあげられる苦情の内容をたずねたところ、「サービスの質や内容に関すること」が38.8%と最も多く、以下「従事者(サービス提供者)の対応等に関すること」(23.9%)、「ケアマネジャーの対応等に関すること」「認定調査や要介護認定結果に関すること」(ともに16.4%)、「サービスの回数や日程に関すること」(11.9%)などとなっている。

なお、「特にない」は17.9%となっている。

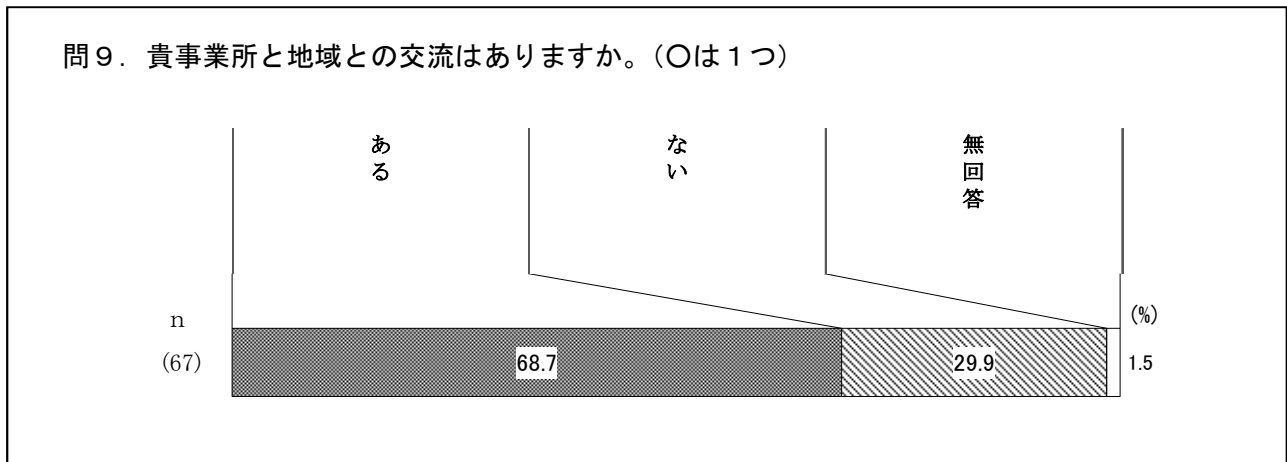
(2) サービスの質の向上のためにやっていること



サービスの質の向上のためにやっていることをたずねたところ、「相談窓口の設置」が71.6%と最も多く、以下「事業者間の情報交換・交流への参加」(65.7%)、「ケアカンファレンスの定期的な開催」(52.2%)、「サービス提供マニュアルの作成」(50.7%)、「従事者(サービス提供者)の継続的な研修・OJTの実施」(44.8%)などとなっている。

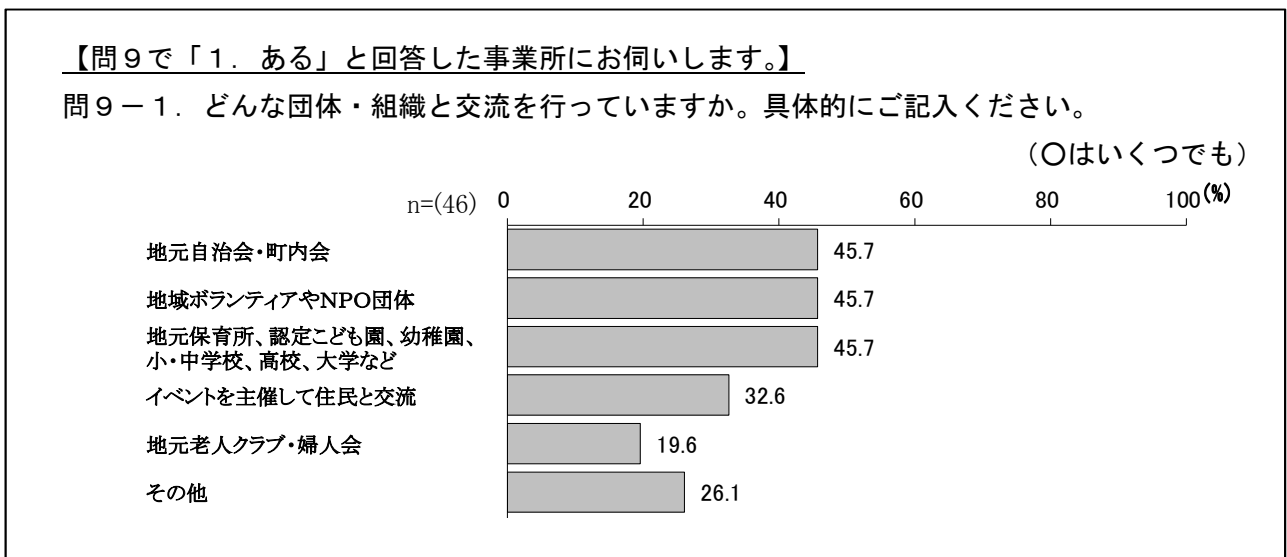
6. 地域とのつながりについて

(1) 地域との交流状況



地域との交流状況をたずねたところ、「ある」が68.7%となっており、「ない」(29.9%)を上回っている。

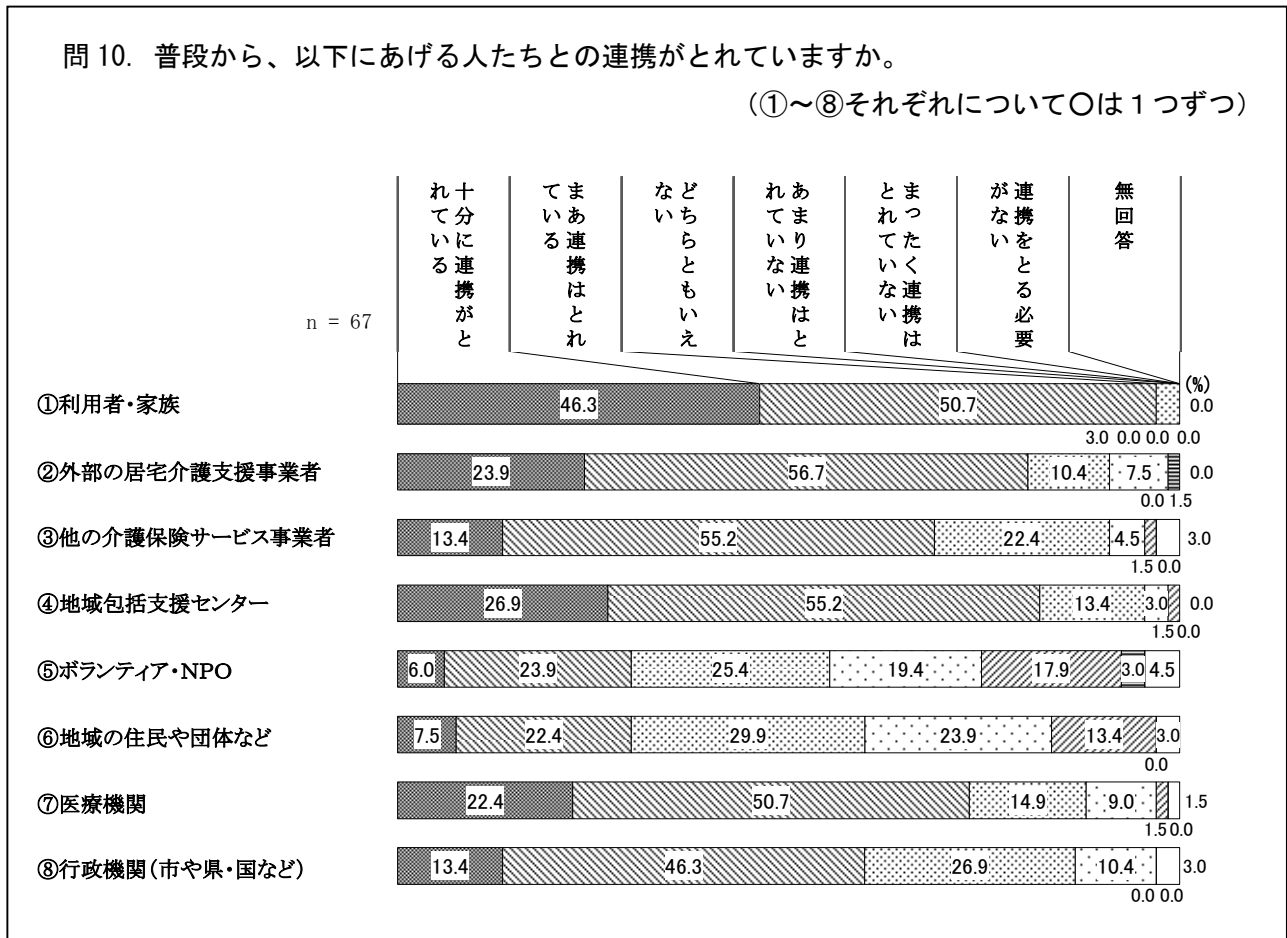
(2) 交流を行っている団体・組織



交流を行っている団体・組織をたずねたところ、「地元自治会・町内会」「地域ボランティアやNPO団体」「地元保育所、認定こども園、幼稚園、小・中学校、高校、大学など」がいずれも45.7%と最も多く、以下「イベントを主催して住民と交流」(32.6%)、「地元老人クラブ・婦人会」(19.6%)となっている。

7. 関係者・関係機関との連携について

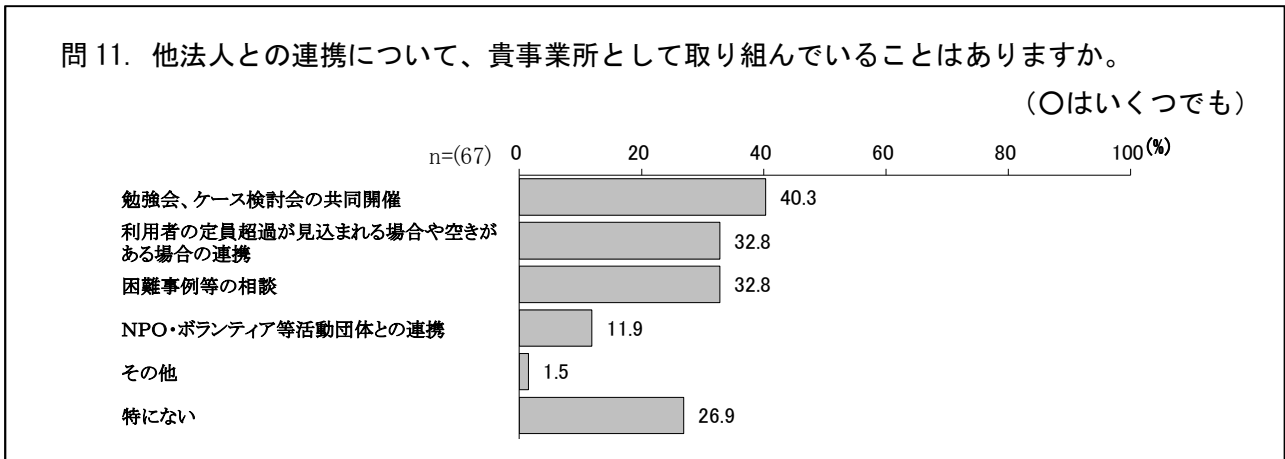
(1) 関係者・関係機関との連携状況



関係者・関係機関との連携をたずねたところ、『⑤ボランティア・NPO』、『⑥地域の住民や団体など』を除くすべての関係者・関係機関で「十分に連携がとれている」、「まあ連携はとれている」を合わせた“連携はとれている”が50.0%以上となっており、特に『①利用者・家族』(97.0%)、『②外部の居宅介護支援事業者』(80.6%)、『④地域包括支援センター』(82.1%)が80.0%以上と多くなっている。

一方、「あまり連携はとれていない」、「まったく連携はとれていない」を合わせた“連携はとれていない”は『⑤ボランティア・NPO』、『⑥地域の住民や団体など』(ともに37.3%)で多くなっている。

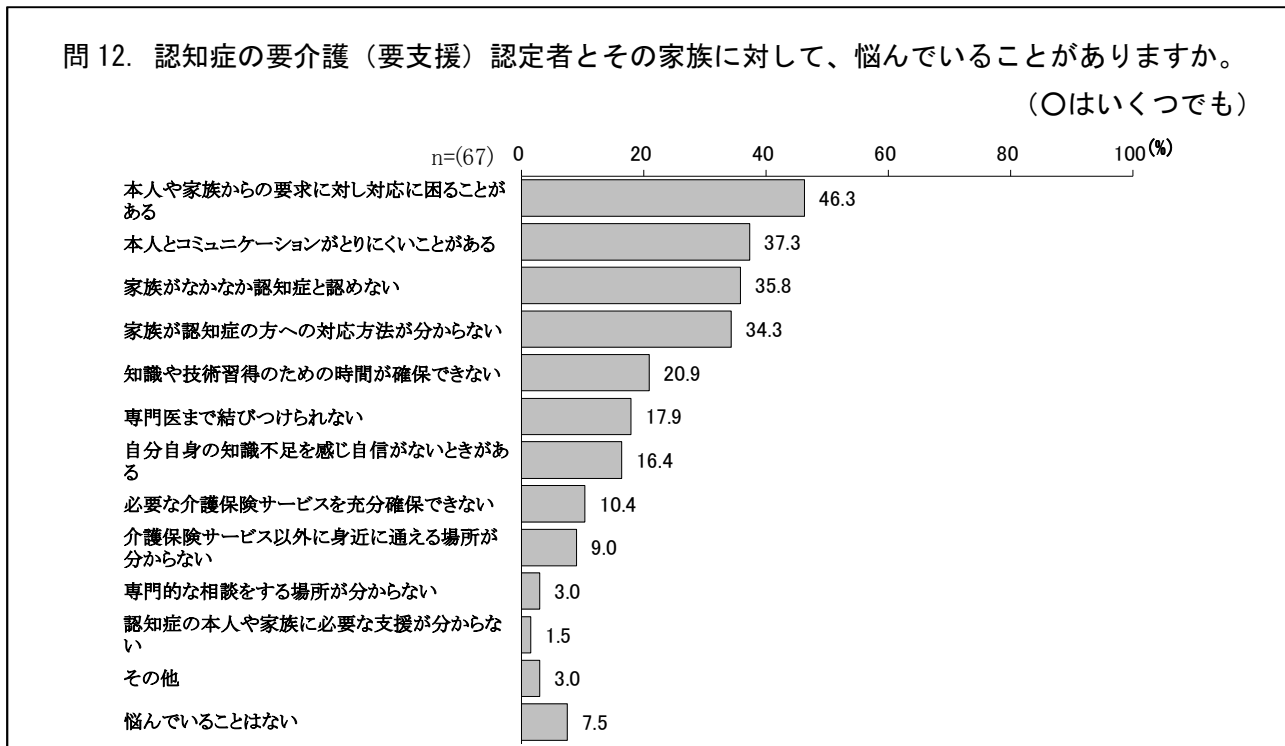
(2) 他法人との連携について取り組んでいること



他法人との連携について取り組んでいることをたずねたところ、「勉強会、ケース検討会の共同開催」が40.3%と最も多く、以下「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」「困難事例等の相談」（ともに32.8%）、「NPO・ボランティア等活動団体との連携」（11.9%）となっている。

8. 認知症の対応について

(1) 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいること

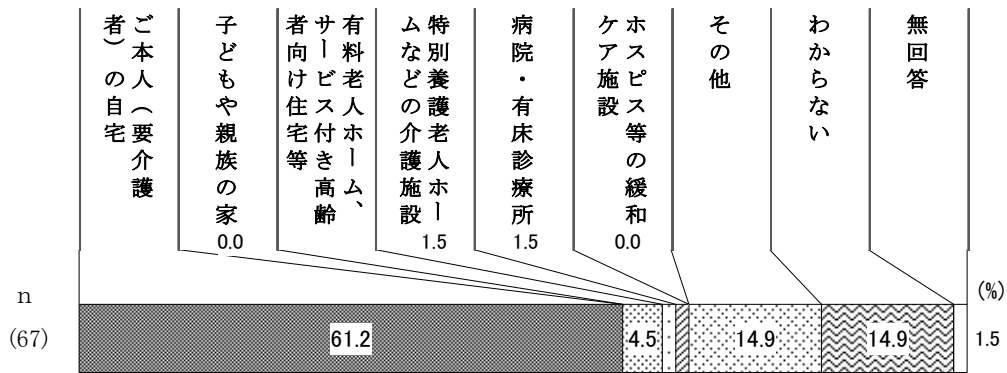


認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいることをたずねたところ、「本人や家族からの要求に対し対応に困ることがある」が46.3%と最も多く、以下「本人とコミュニケーションがとりにくいことがある」(37.3%)、「家族がなかなか認知症と認めない」(35.8%)、「家族が認知症の方への対応方法が分からない」(34.3%)、「知識や技術習得のための時間が確保できない」(20.9%)、「専門医まで結びつけられない」(17.9%)、「自分自身の知識不足を感じ自信がないときがある」(16.4%) などとなっている。

9. 地域包括ケアの実現に向けた取り組みについて

(1) 利用者にとっての望ましい人生の最期の場所

問13. 日々の業務を通じて、事業所として、利用者は人生の最期をどこで迎えるのが望ましいと思いますか。(〇は1つ)

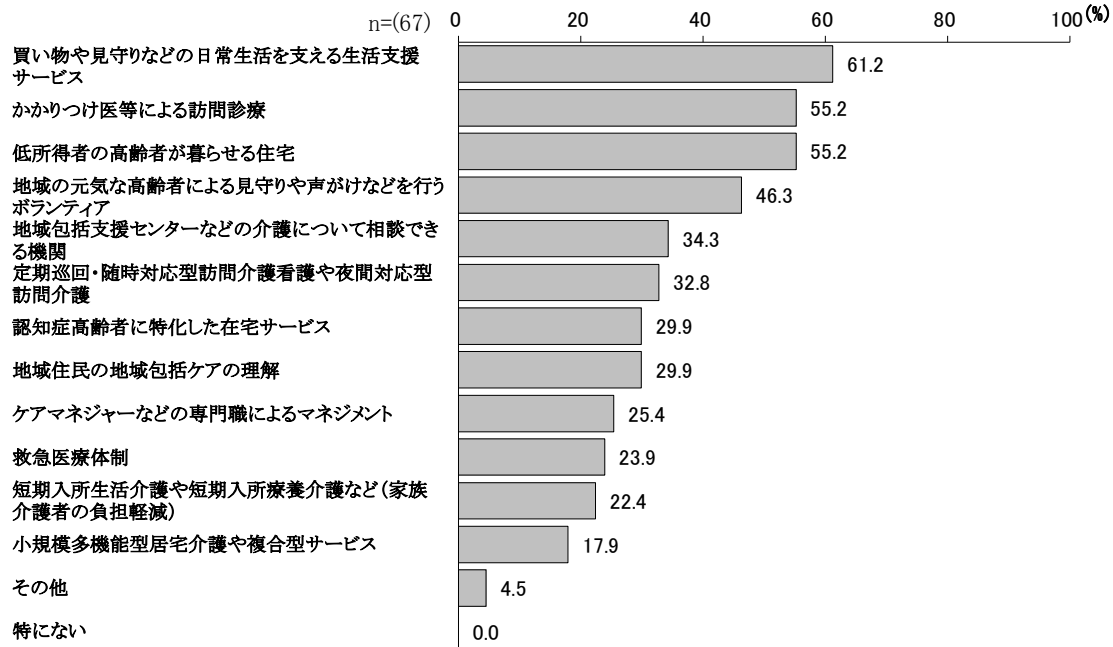


望ましい人生の最期の場所をたずねたところ、「ご本人（要介護者）の自宅」が61.2%と最も多く、以下「有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等」(4.5%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設」「病院・有床診療所」(ともに1.5%)などとなっている。

なお、「その他」「わからない」はともに14.9%となっている。

(2) 自分らしい暮らしを最期まで続けるため、特に重要だと思うこと

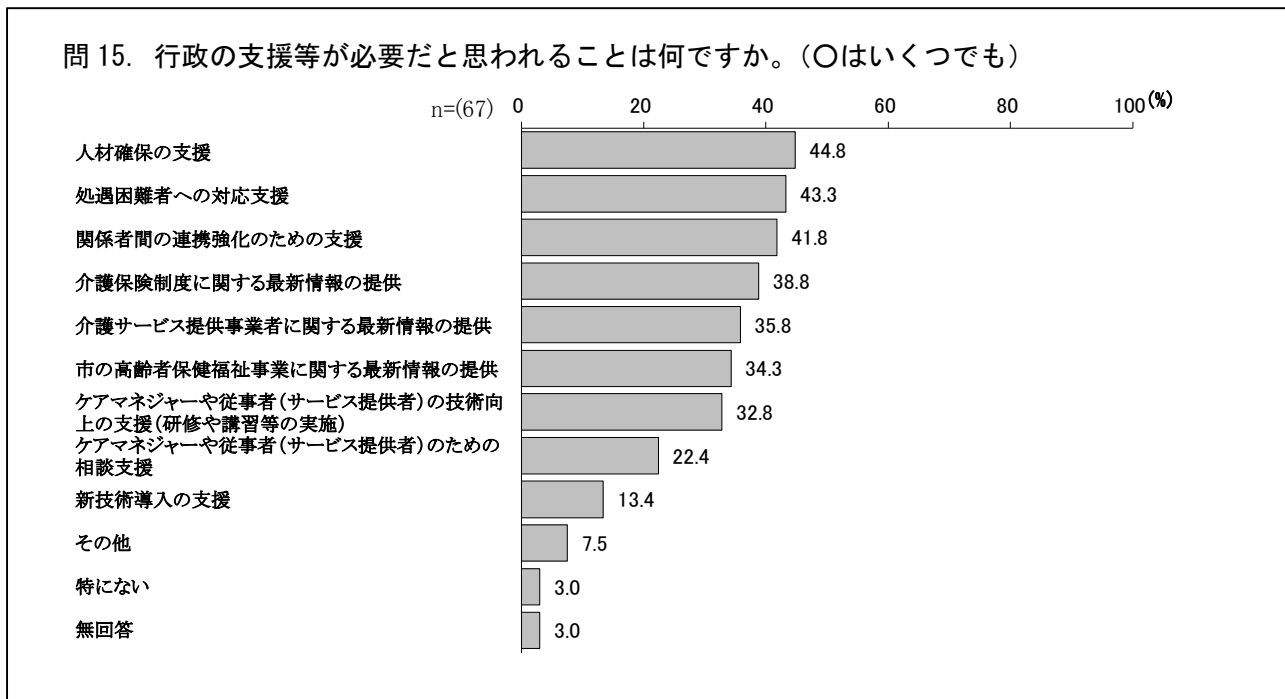
問 14. 地域包括ケアシステムの推進に向け、たとえ重度の要介護者となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるようにするために、事業所の視点からどのようなことが特に重要だと思いますか。(〇は5つまで)



自分らしい暮らしを最期まで続けるため、特に重要だと思うことをたずねたところ、「買い物や見守りなどの日常生活を支える生活支援サービス」が61.2%と最も多く、以下「かかりつけ医等による訪問診療」「低所得者の高齢者が暮らせる住宅」(ともに55.2%)、「地域の元気な高齢者による見守りや声かけなどを行うボランティア」(46.3%)、「地域包括支援センターなどの介護について相談できる機関」(34.3%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護や夜間対応型訪問介護」(32.8%)、「認知症高齢者に特化した在宅サービス」「地域住民の地域包括ケアの理解」(ともに29.9%) などとなっている。

10. 行政に対する要望について

(1) 行政の支援等が必要だと思われること



行政の支援等が必要だと思われることをたずねたところ、「人材確保の支援」が 44.8%と最も多く、以下「処遇困難者への対応支援」(43.3%)、「関係者間の連携強化のための支援」(41.8%)、「介護保険制度に関する最新情報の提供」(38.8%)、「介護サービス提供事業者に関する最新情報の提供」(35.8%)、「市の高齢者保健福祉事業に関する最新情報の提供」(34.3%)、「ケアマネジャーや従事者(サービス提供者)の技術向上の支援(研修や講習等の実施)」(32.8%) などとなっている。

資料（調査票）

資料（調査票）

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

ご記入にあたってのお願い

- この調査の対象者は、多賀城市にお住まいの65歳以上の方です。
- 回答にあたっては表紙に記載の「あて名のご本人（以下、「あなた」という）についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- 回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、その他の場合は（ ）内に直接ご記入ください。（例、 kg）
- この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】
この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、多賀城市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）策定と効果評価の目的以外には利用いたしません、また当該情報については、本市で適切に管理いたします。
ただし、多賀城市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

多賀城市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【調査票】

◎：市独自
★：オプション

調査協力のおお願い

皆様には、日頃から多賀城市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。



このたび本市では、令和3年（2021年）度から実施する高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）を策定するにあたり、地域の課題や高齢者の皆さまの要望（ニーズ）等を把握するためのアンケート調査を実施することになりました。

皆様のご意見・ご要望を反映し、「高齢者が自分らしく生き生きと暮らせるまちづくり」を目標に、いつまでも住み慣れた地域において元気に暮らすことができる“まちづくり”を進めてまいりますので、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いたします。

令和元年12月
多賀城市長 菊地 健次郎

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票は、鉛筆・ボールペン等で記入してください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、12月26日（木）までに投函してください。

《調査に関するお問い合わせ先》
多賀城市保健福祉部介護福祉課介護保険係
〒985-8531 多賀城市中央二丁目1-1
電話：022-368-1141（内線667）
FAX：022-368-7394

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお聞きます (○は1つ)

- | | | |
|-----------------------|--------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし | ⇒ (2) ^ | 2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 | |
| 5. その他 () | | |

【(1)で「2」・「3」・「4」及び「5」と回答した方にお伺いします】

◎① 日中、1人になることがありますか (○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3) ^

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお伺いします】

★① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 |
| 3. がん (悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気 (肺炎種・肺炎等) |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等) | 6. 認知症 (アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 薄尿病 |
| 9. 腎臓病 (透析) | 10. 聴覚・聴覚障害 |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 骨格損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他 () |
| 15. 不明 | |

【(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお伺いします】

★② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

★ (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○は1つ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 持家 (一戸建て) | 2. 持家 (集合住宅) |
| 3. 公営賃貸住宅 | 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) |
| 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅) | 6. 借家 (借料が発生しない場合) |
| 7. その他 () | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|----------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていません | 3. できない |
|--------------|----------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|----------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていません | 3. できない |
|--------------|----------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|----------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていません | 3. できない |
|--------------|----------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何回もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問3 食べることについて

(1) 身長・体重（数字を記入）

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお伺いします（○は1つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、 入れ歯を利用 | 2. 自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、 入れ歯を利用 | 4. 自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし |

★① 噛み合わせは良いですか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

【(3) で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、
かつ入れ歯を利用」と回答した方にお伺いします】

★② 毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(4) どなたかと食事をもににする機会はありますか（○は1つ）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

★(5) お茶や汁物等でむせることがありますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

4

(5) 転倒に対する不安は大きいですか（○は1つ）

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

(6) 週に1回以上は外出していますか（○は1つ）

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2～4回 | 4. 週5回以上 |

【(6) で「1. ほとんど外出しない」と回答した方にお伺いします】

★① 外出を控えている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害（脳卒中の後遺症など） |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配（失禁など） |
| 5. 耳の障害（聞こえの問題など） | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他（ ） |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（○は1つ）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

★(8) 外出する際の移動手段は何ですか（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車（自分で運転） | 5. 自動車（人に乗せてもらう） | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす（カート） | 11. 歩行器・シルハーカー | 12. タクシー |
| 13. その他（ ） | | |

3

★ (6) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

★ (7) 歯磨き (人にやってもらおう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

★ (8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

1. できるし、している ⇒ (4) へ 2. できるけどしていない
3. できない

【(3)で「2. できるけどしていない」「3. できない」と回答した方にお伺いします】

◎① 食品・日用品の買物をする人は主にどなたですか (○は1つ)

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー
4. 配達を依頼 5. その他

5

(4) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

1. できるし、している ⇒ (5) へ 2. できるけどしていない
3. できない

【(4)で「2. できるけどしていない」「3. できない」と回答した方にお伺いします】

◎① 食事の用意をする人は主にどなたですか (○は1つ)

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー
4. 配達サービスを利用 5. その他

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

★ (7) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

★ (8) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

★ (9) 新聞を読んでいますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

★ (10) 本や雑誌を読んでいますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

★ (11) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

6

★ (12) 趣味はありますか (○は1つ)

1. 趣味あり → () 2. 思いつかない

★ (13) 生きがいがありますか (○は1つ)

1. 生きがいあり → () 2. 思いつかない

◎ (14) 生活の中で、自身が毎日担っている役割などはありませんか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか

(①~⑧それぞれについて○は1つずつ)

| | 週4回以上 | 週2~3回 | 週1回 | 月1~3回 | 年に数回 | 参加していません |
|-------------------|-------|-------|-----|-------|------|----------|
| ① ボランティアのグループ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ② スポーツ関係のグループやクラブ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③ 趣味関係のグループ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ④ 学習・教養サークル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑤ 市が主催する介護予防運動教室 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑥ 老人クラブ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑦ 町内会・自治会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑧ 収入のある仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

◎ (4) あなたは地域でどんな支援ができると思いますか (○はいくつでも)

| | |
|------------------|--------------------|
| 1. 食事の介助 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物代行 |
| 5. 外出同行(通院、散歩など) | 6. こみ出し |
| 7. 見守り、声かけ | 8. サロンなど、通いの場のサポート |
| 9. 外出時の送迎 | 10. 話し相手 |
| 11. その他 () | 12. できない |

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお聞きます

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか (○はいくつでも)

| | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげてくれる人はいいますか
(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいいますか
(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はいいますか (○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

★ (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所 | 6. その他 () |
| 7. そのような人はいない | |

★ (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

★ (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は1つ)
同じ人には何度会っても1人と数えることとします

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1~2人 | 3. 3~5人 |
| 4. 6~9人 | 5. 10人以上 | |

★ (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 () | 8. いない |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか (○は1つ)
「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください

- | | | | | | | | | | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--------------|
| とても不幸 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 とても幸せ |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--------------|

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか (○は1つ)

| | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

| | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 目の病気 |
| | 19. その他 () |

★ (7) お酒は飲みますか (○は1つ)

| | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 2. 時々飲む |
| 3. ほとんど飲まない | 4. もともと飲まない |

◎ (8) 現在、病院・医院 (診療所、クリニック) に通院していますか (○は1つ)

| | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問8 認知症等について

(1) 認知症の症状がある又はは家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

| | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

| | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

◎ (3) 以下のような認知症関連の取り組みを知っていますか (①~④それぞれについて○は1つずつ)

| | 知っている | 知らない |
|------------------------|-------|------|
| ① 認知症初期集中支援チーム | 1 | 2 |
| ② 多賀城市認知症ガイドブック (ケアパス) | 1 | 2 |
| ③ 認知症サポーター養成講座 | 1 | 2 |
| ④ 認知症カフェ | 1 | 2 |

◎ (4) あなた自身や家族が「認知症」になっても自宅で住み続けるために必要なものはどれですか (○はいくつでも)

| | |
|----------------------------|--|
| 1. 同じ居ていない家族も含めた介護への協力 | 2. 家族や地域の人が、認知症についての正しい知識を習得する機会を設ける |
| 3. 地域による見守りの協力の広がり | 4. ボランティア等による生活支援の充実 |
| 5. 認知症の本人や家族が参加できる交際機会の充実 | 6. 専門的な相談窓口の充実 |
| 7. 見守りや、入浴や排せつなどの介護サービスの充実 | 8. 通所介護 (デイサービス) や短期入所 (ショートサービス) などの介護サービスの充実 |
| 9. 認知症の専門医療機関の充実 | 10. その他 () |
| 11. 特になし | 12. わからず |

問9 多賀城市の高齢者福祉サービスについて

◆ 高齢者福祉サービスについて

年齢を重ねることにより、徐々にからだの自由が利かなくなると、普段の生活で何らかの「支え」が必要になってきます。
 家にひとりでいる時間が多くなった場合、いざという時の連絡先やその方法をあらかじめ準備するなどの「備え」が重要です。
 そこで皆様にお伺いします。

◎ (1) 高齢者の総合相談窓口として市内3か所に設置している地域包括支援センターを知っていますか (○は1つ)

1. 自分の地域の包括支援センターを知っている
2. 名前は知っている
3. 知らない

◎ (2) あなたは、家にひとりでいる時間に助けを呼ぶ場合、誰に連絡しますか (○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟姉妹
6. その他 ()

◎ (3) あなたが、普段、使用している通信手段は何ですか (○はいくつでも)

1. 固定電話
2. 携帯電話 (スマートフォン)
3. 携帯電話 (スマートフォン以外)
4. PHS
5. その他 ()
6. 持っていない

◎ (4) 誰もが加齢に伴い、からだは徐々に弱りますが、あなたは、ご自身が将来からだの自由が利かなくなつた際に、地域でどんな支えあいをしてもらいたいと思いますか (○はいくつでも)

1. 食事の介助
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物代行
5. 外出同行 (通院、散歩など)
6. ごみ出し
7. 見守り、声かけ
8. サロンなど、通いの場の開催
9. 外出時の送迎
10. 話し相手
11. その他 ()
12. 知らない

◆ シルバーヘルスプラザについて

高齢者の各種相談に応じ、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に無料で提供する施設です。

◎ (5) シルバーヘルスプラザを利用したことがありますか (○は1つ)

1. ある
2. ない ⇒③へ

【(5)で「1. ある」と回答した方にお伺いします】

◎① 利用する回数ほどのくらいですか (○は1つ)

1. 週4回以上
2. 週2~3回程度
3. 週1回程度
4. 月2~3回程度
5. 月1回程度
6. その他 ()

◎② よく利用する事業等は何ですか (○はいくつでも)

1. 健康相談
2. 健康ストレッチ教室
3. お風呂
4. 趣味・サークル活動
5. ヘルストロン (電位治療器)
6. マッサージ器
7. その他 ()

※趣味・サークル活動：囲碁、将棋、カラオケ、健康体操、麻雀、ダンス等

【(5)で「2. ない」と回答した方にお伺いします】

◎③ 利用していない理由はなんですか（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 興味はあるが、事業内容等がわからないから | 2. 事業内容等に興味がないから |
| 3. 忙しく、時間が足りないから | 4. 施設が存在を知らなかったから |
| 5. その他（ ） | |

◎ (6) 今後、利用してみたい事業等がありますか（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 健康相談 | 2. 健康ストレッチ教室 |
| 3. お風呂 | 4. 趣味・サークル活動 |
| 5. ヘルストロン（電位治療器） | 6. マッサージ器 |
| 7. その他（ ） | 8. 特にない |

◎ (7) シルバーヘルスプラザは必要と思われるますか（○は1つ）

- | | | |
|-------|--------------|---------|
| 1. 必要 | 2. どちらともいえない | 3. 必要ない |
|-------|--------------|---------|

問 10 介護保険制度について

◎ (1) あなたは、今後、ご自分に介護が必要な状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか（○は1つ）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 主に家族だけの介護を受けながら、自宅で生活したい |
| 2. 主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい |
| 3. 介護が受けられる施設やサービス付きの住宅で生活したい |
| 4. その他（ ） |
| 5. わからない |

15

◎ (2) 超高齢社会を迎え、本市に必要な介護保険サービスを提供できるようにするために保険料などの負担が増えることについて、あなたはどのように感じますか。（○は1つ）

- | |
|---|
| 1. 保険料などの負担を増やして、介護保険サービスをもっと充実してほしい |
| 2. 必要な介護保険サービスが維持できるよう、保険料などの負担が増えてもむを得ない |
| 3. 保険料などの負担が増えるなら、介護保険サービスを充実しなくてもよい |
| 4. その他（ ） |
| 5. わからない |

問 11 今後の施策について

◎ (1) あなたが今後、より充実してほしい高齢者施策はどれですか（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 趣味や生きがいづくり、社会参加への支援 | 2. 働く機会や場づくり |
| 3. 健康づくりや介護予防の支援 | 4. 配食や家事支援など生活支援 |
| 5. 家族介護者への支援 | 6. 認知症施策（予防、家族への支援）の充実 |
| 7. 一人暮らし高齢者への安否確認 | 8. 災害時に備えた支援の充実 |
| 9. 身近に相談できる窓口の充実 | 10. 高齢者の権利を守る施策の周知 |
| 11. 虐待防止対策の充実 | 12. 低所得者への経済的支援 |
| 13. 高齢者に配慮した住まいの支援 | 14. 在宅医療や介護サービスの充実 |
| 15. その他（ ） | 16. 特にない |

16

2. 在宅介護実態調査

多賀城市
在宅介護実態調査
【調査票】

◎：市独自
★：オプション

調査協力のお願い

皆様には、日頃から多賀城市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび本市では、令和3年（2021年）度から実施する高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）を策定するにあたり、在宅で介護や支援を必要とする方々と家族介護者等の実態を把握するためのアンケート調査を実施することになりました。

皆様のご意見・ご要望を反映し、「高齢者が自分らしく生き生きと暮らせるまちづくり」を目標に、いつまでも住み慣れた地域において元気に暮らすことができる“まちづくり”を進めてまいりますので、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願ひします。

令和元年12月



多賀城市長 菊地 健次郎

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票は、鉛筆・ボールペン等で記入してください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、12月26日(木)までに投函してください。

《調査に関するお問い合わせ先》

多賀城市保健福祉部介護福祉課介護保険係
〒985-8531 多賀城市中央二丁目1-1
電話：022-368-1141（内線667）
FAX：022-368-7394

ご記入にあたってのお願い

1. この調査の対象者は、多賀城市にお住まいの65歳以上の要支援者・要介護者ご本人、及び主な介護者の方です。
2. 「要支援者・要介護者」については、調査票内では「（要介護者）」と表記します。
3. ご回答にあたっては表紙に記載の「あて名のご本人（要介護者）」についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
4. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、その他の場合は（ ）内に直接ご記入ください。
5. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、多賀城市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。

ただし、多賀城市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

問A 現在、この調査票に回答されているのはどなたですか（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. あて名のご本人（要介護者） | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 担当ケアマネジャー |
| 5. その他（ ） | |

◎問B 現在、あて名のご本人（要介護者）はどこで生活されていますか（○は1つ）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 自宅 | 2. 家族・親族宅 |
| 3. 医療機関に入院中 | 4. 介護施設 |
| 5. その他（ ） | |

※「3、4、5」とお答えの方は、自宅にいた時の状況で、以下の質問にお答えください。

1 ご本人（要介護者）の状況について

問1 世帯類型はどれに該当しますか（○は1つ）

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他（ ） |
|---------|-----------|-----------|

問2 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどのくらいありますか（○は1つ）
（同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。）

- | | | |
|--------------|---------------------------|-----------|
| 1. ない ⇒ 問10へ | 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | 4. 週に3～4日ある | 5. ほぼ毎日ある |

2 主な介護者等の状況（属性等）について

★問3 主な介護者の方は、あて名のご本人（要介護者）から見てどなたになりますか（○は1つ）

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他（ ） |

★問4 主な介護者の方の性別はどちらですか（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢はどれに該当しますか（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

◎問6 主な介護者を含めて介護者は何人いますか（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人以上 |
|-------|-------|---------|

◎問7 主な介護者の方は、あて名のご本人（要介護者）と同居していますか（○は1つ）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 同居している ⇒ 問8へ | 2. 同居していない ⇒ 問7-1へ |
|-----------------|--------------------|

【問7で「2. 同居していない」と回答した主な介護者の方にお伺いします】

◎問7-1 お住まいはどちらですか（○は1つ）

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 要介護者宅の近所（徒歩圏内） | 2. 市内 |
| 3. 近隣の他市町村 | 4. 県内 |
| 5. 県外 | |

★問8 現在、主な介護者の方が行っている介護等はどれですか（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-------------------------|----------------------|
| 【身体介護】 | | |
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助（食べる時） |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内での移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |
| 【生活援助】 | | |
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） | 14. 金銭管理や生活面に必要なお手続き |
| 【その他】 | | |
| 15. その他（ ） | 16. わからない | |

問9 ご家族や親族の方で、あて名のご本人(要介護者)の介護のために、過去1年の間に仕事*を辞めた方・転職された方はいいますか(○はいくつでも)(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

*自営業や農林水産業の仕事を除く。転職した場合は含みます。

3 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて

★問10 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか(○はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他()
11. 利用していない

★問11 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス* (現在利用中を含む)が必要だと思いますか(○はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他()
11. 特にない

*介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

問12 現時点において、施設等*への入所・入居を検討されていますか(○は1つ)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居の申し込みをしている

*「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別介護老人ホームを指します。

★問13 あて名のご本人(要介護者)が、現在抱えている傷病名を教えてください(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、肩こり、腰痛、肩関節炎等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節症
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他()
15. なし
16. わからない

★問14 あて名のご本人(要介護者)は、現在、訪問診療*を利用していますか(○は1つ)

1. 利用している ⇒ 問14-1~2へ
2. 利用していない ⇒ 問15へ

*「訪問診療」とは、計画的な医療サービスをを行うことであり、訪問歯科診療や在宅療養管理指導等は含みません。

【問14で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします】

◎問14-1 どの程度利用していますか(○は1つ)

1. 週4回以上
2. 週2~3回程度
3. 週1回程度
4. 月2~3回程度
5. 月1回程度
6. その他()

【問14で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします】

◎問14-2 利用している訪問診療に満足していますか(○は1つ)

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満
5. わからない

★問15 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか (〇は1つ)

1. 利用している ⇒ 問16へ 2. 利用していない ⇒ 問15-1へ

【問15で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします】

★問15-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (〇はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人(要介護者)にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない
9. その他 ()

※ここからは、「主な介護者」の方にご回答ください。「主な介護者」の方のご回答が難しい場合は、ご本人(要介護者)が記入してください。

4 主な介護者の就労状況について

問16 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか (〇は1つ)

1. フルタイムで働いている ⇒ 問16-1~3へ
2. パートタイム[※]で働いている ⇒ 問16-1~3へ
3. 働いていない ⇒ 問17へ
4. わからない ⇒ 問17へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆるアルバイト、嘱託、契約社員等の方をさします。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問16で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

問16-1 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか (〇はいくつでも)

1. 特に調整していない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている
6. わからない

★問16-2 仕事と介護の両立に効果があると思う動機先からの支援はどれですか (〇は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイト制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

問16-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか (〇は1つ)

1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい
5. わからない

5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

問 17 (在宅生活を送る要介護者を介護している)現在の生活を今後も続けていくためには、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか (○は3つまで)
(現在行っているかどうかは問いません。)

- | | | |
|----------------|-----------------------------|--------------------------|
| 【身体介護】 | | |
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助(食べる時) |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内での移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症への対応 | 11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等) | |
| 【生活援助】 | | |
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) | 14. 金銭管理や生活面に 必要な諸手続き |
| 【その他】 | | |
| 15. その他 () | 16. 不安に感じていることは、特になし | 17. わからない |

◎問 18 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか (○はいくつでも)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 本人(要介護者) | 4. ケアマネジャー |
| 5. 介護サービス事業者 | 6. 地域包括支援センター |
| 7. 自治体 | 8. 保健所 |
| 9. 医師 | 10. 病院の医療ソーシャルワーカー |
| 11. 民生委員 | 12. 近所の人、ボランティアの人等 |
| 13. 勤務先 | 14. その他 () |
| 15. 誰にも相談していない | 16. わからない |

7

◎問 19 主な介護者の方が介護を続けていくうえで困ることや不安に感じることはどれですか (○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 介護の仕方に不安がある |
| 2. 将来の介護に不安がある |
| 3. 子育てをしながらの介護は負担が大きい |
| 4. 仕事で十分な介護ができない |
| 5. 自分が病気等のとき、介護を替わってくれる人がいない |
| 6. 介護には休みがないのでストレスを解消できない |
| 7. 心にゆとりがなく、要介護者に辛くあたることがある |
| 8. 地域の人との交流が少なく、頼れる人がいない |
| 9. 相談する相手がいない |
| 10. 要介護者が2人以上いる |
| 11. 介護をするために仕事を辞めたので、経済的に苦しい |
| 12. 要介護者には障害もあり、経済的負担が大きい |
| 13. 経済的なゆとりがなく、介護保険サービスを利用できない |
| 14. 要介護者が介護保険サービスを利用したがいらない |
| 15. 気軽に利用できる一時預かりサービスがあると助かる |
| 16. 家事等をやっている間に要介護者の話し相手がいると助かる |
| 17. その他 () |
| 18. 特に問題はない |

8

3. ケアマネジャーに対する調査

1. あなたと勤務先について

問1. 勤務先の所在地についてうかがいます。(○は1つ)

1. 多賀城市内 2. 多賀城市外

問2. あなたはケアマネジャーになって約何年ですか。

年

問3. 令和元年12月1日現在、あなたは何人のケアプランを担当していますか。

要介護者 人 要支援者 人 ※問3～問3-2については、該当しない場合「0」をご記入ください

問3-1. 問3のうち、多賀城市の被保険者を何人担当していますか。

要介護者 人 要支援者 人

問3-2. 担当している多賀城市の被保険者のうち、介護サービスの上限を超えてサービスを利用するケアプランを立てている方がいますか。12月1日現在の担当者についてお答えください。

要介護者 人 要支援者 人

2. サービスの過不足について

問4. 現時点の多賀城市における介護保険対象サービスについて、(ア) 現在、供給が不足していると感じるサービス、(イ) 全態、需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。(ア) (イ) それぞれについて○はいくつでも)

| 区分 | サービス名 | (ア) 現時点供給が不足していると感じるサービス | (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス |
|--------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 訪問介護 | | 1 | 1 |
| 居宅サービス | 訪問入浴介護 | 2 | 2 |
| 介護給付関係 | 訪問看護 | 3 | 3 |
| | 訪問リハビリテーション | 4 | 4 |
| | 居宅介護管理指導 | 5 | 5 |

多賀城市ケアマネジャーに対する調査

《アンケート調査へのご協力をお願いします》

皆様には、日頃から多賀城市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。この調査は、『多賀城市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）』を策定するため、ケアマネジャーの皆様からご意見をいただき計画へ反映させるとともに、今後の高齢者福祉・介護保険行政を推進するうえでの貴重な資料とさせていただきます。

皆様のご意見・ご要望を反映し、「高齢者が自分らしく生き生きと暮らせるまちづくり」を目標に、いつまでも住み慣れた地域において元気に暮らすことができる“まちづくり”を進めてまいりますので、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、この調査は、目的以外に使用したり、事業者名及び個人名を公表することはありませんので、率直なご意見を御聞かせください。

令和元年12月

～ご記入にあたってのお願い～

1. 原則、令和元年12月1日現在の状況で記入してください。
2. 管理者以外の方に、お答えいただいても構いません。
3. 多賀城市内に居住する利用者の、ケアプランを作成している方にご記入をお願いします。
4. お答えは、あてはまる回答番号に○印を指定された数だけつけてください。また、「その他（ ）」に回答される場合は、()の中に具体的な内容を記入してください。
5. 設問の一部で用紙による回答が困難な場合は、関係資料等の同封や別途FAX等での補足の回答もいただきますようお願いいたします。
6. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、12月26日(木)までにご投函ください。よろしくお願いたします。

《調査に関するお問い合わせ先》

多賀城市保健福祉部介護福祉課介護保険係
〒985-8531 多賀城市中央二丁目1-1
電話：022-368-1141 (内線 667)
FAX：022-368-7394

問4-1. 多賀城市内で最も供給が不足していると感じるサービスは何ですか。また、その理由を記入してください。

【サービス名:]
【理由:]

問5. 現時点の多賀城市内における介護予防・日常生活支援総合事業について、(ア)現在、供給が不足していると感じるサービス、(イ)今後、需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。(ア) それぞれについて○はいくつでも)

| 区分 | サービス名 | (ア) 現在供給が不足しているサービス | (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス |
|------------------------------|------------------------------|---------------------|------------------------------|
| 介護予防・生活支援サービス事業 | 訪問型サービス | 1 | 1 |
| | 通所型サービス | 2 | 2 |
| | その他の生活支援サービス | 3 | 3 |
| | 介護予防普及啓発事業 | 4 | 4 |
| | 地域密着型サービス | 5 | 5 |
| | 健康ステレッチ教室 | 6 | 6 |
| | 介護予防講習会 | 7 | 7 |
| | 地域リハビリテーション活動支援事業 | 8 | 8 |
| | 介護予防訪問介護相当サービス | | |
| | 軽度生活援助サービス事業 (市の独自基準によるサービス) | | |
| 短期集中予防サービス事業 (市の独自基準によるサービス) | | | |
| 認知症高齢者見守り支援サービス事業 | | | |
| その他の生活支援サービス | | | |
| 介護予防普及啓発事業 | | | |
| 地域リハビリテーション活動支援事業 | | | |

3. 必要なサービスについて

問6. 地域にあつたら良いと思う生活支援サービスはありますか。(○はいくつでも)

1. 食事の介助
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物代行
5. 外出同行 (送迎、散歩など)
6. ごみ出し
7. 見守り、声かけ
8. サロンなど、通いの場のサポート
9. 外出時の送迎
10. 話し相手
11. その他 ()
12. 特にない

3

| 区分 | サービス名 | (ア) 現在供給が不足しているサービス | (イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス |
|-------------------------|------------------|---------------------|------------------------------|
| 介護給付関係 | 通所介護 | 6 | 6 |
| | 通所リハビリテーション | 7 | 7 |
| | 短期入所生活介護 | 8 | 8 |
| | 短期入所療養介護 | 9 | 9 |
| | 特定施設入居者生活介護 | 10 | 10 |
| | 福祉用具貸与 | 11 | 11 |
| | 居宅介護支援 | 12 | 12 |
| | 介護老人福祉施設 | 13 | 13 |
| | 介護老人保健施設 | 14 | 14 |
| | 介護療養型医療施設 | 15 | 15 |
| | 介護医療院 | 16 | 16 |
| | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 17 | 17 |
| | 夜間対応型訪問介護 | 18 | 18 |
| | 地域密着型通所介護 | 19 | 19 |
| | 認知症対応型通所介護 | 20 | 20 |
| | 小規模多機能型居宅介護 | 21 | 21 |
| | 認知症対応型共同生活介護 | 22 | 22 |
| | 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 23 | 23 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 | 24 | 24 | |
| 複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護) | 25 | 25 | |
| 介護予防訪問入浴介護 | 26 | 26 | |
| 介護予防訪問看護 | 27 | 27 | |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 28 | 28 | |
| 介護予防居宅介護管理指導 | 29 | 29 | |
| 介護予防通所リハビリテーション | 30 | 30 | |
| 介護予防短期入所生活介護 | 31 | 31 | |
| 介護予防短期入所療養介護 | 32 | 32 | |
| 介護予防特定施設入居者生活介護 | 33 | 33 | |
| 介護予防福祉用具貸与 | 34 | 34 | |
| 介護予防支援 | 35 | 35 | |
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 36 | 36 | |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 37 | 37 | |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 38 | 38 | |

2

4. 介護保険以外のサービスについて

問7. 多賀城市が行っている高齢者福祉サービスをケアプランに取り入れていますか。または取り入れたことがありますか。(①~⑤それぞれについて○は1つずつ)

| サービスの種類 | 内容 (利用できる対象者) | 取り入れたことがある | 知っているが取り入れ たことはない | サービスを知らない |
|-------------------------|---|------------|----------------------|-----------|
| ①配食サービス事業 | 在宅のひとり暮らし高齢者等で、調理をすることが困難なに対し、昼食又は夕食の配食サービスを提供することにより、食生活の改善及び健康増進を図るとともに、配食を通して利用者の安否を確認し、高齢者の社会的孤立の防止につなげています。 | 1 | 2 | 3 |
| ②緊急通報システム事業 | 在宅のひとり暮らし高齢者や障害身体障害者等で、持病等により日常生活に不安のある方に家庭用緊急通報機器を貸与し、緊急事態が発生した場合に通報を利用して通報することにより、地域の協力隊や聖徳会社の聖徳員が駆けつけやがな救済活動を行っています。 | 1 | 2 | 3 |
| ③緊急介護支援レスパイト事業 | 日常生活を営むために支障がある要介護高齢者を在宅で介護する家族が、緊急の事由により一時的に介護をすることが出来なくなったり、要介護高齢者を施設に一時入所させ、家族の介護負担の軽減を図っています。 | 1 | 2 | 3 |
| ④在宅介護者等親おむつ支給事業 | 在宅の方で要介護認定又は要支援認定を受けているか、又はそれと同等の状態にあり、常時失禁状態にある高齢者を介護している家族等の負担軽減を図るため、親おむつの支給を行っています。 | 1 | 2 | 3 |
| ⑤高齢者はいかいSOSネットワークシステム事業 | 認知症などの高齢者が「はいがい」により所在不明となった場合、迅速な捜索に協力が得られる関係機関に連絡し、早期発見につなげ、高齢者の事故防止及び家族等の精神的負担の軽減を図っています。 | 1 | 2 | 3 |

問8. 現時点の高齢者向け施設（介護保険サービス以外）について、(ア)現在、多賀城市内において供給が不足していると感じる施設、(イ)今後、多賀城市内の需要が増えたり必要となると考えられる施設はありますか。(ア)それぞれについて○はいくつでも)

| 施設名 | (ア)現在供給が不足していると感じるサービス | (イ)今後必要となるサービス |
|---------------|------------------------|----------------|
| 住宅型有料老人ホーム | 1 | 1 |
| 健康型有料老人ホーム | 2 | 2 |
| サービス付き高齢者向け住宅 | 3 | 3 |

5. 医療と介護の連携について

問9. 普段から、以下にあげる人たちの連携がとれていますか。

(①~⑧それぞれについて○は1つずつ)

| 項目 | 十分に連携がとれている | まあまあ連携がとれている | いささかも連携がとれていない | ほとんど連携がとれていない | 連携をとる必要がない |
|-----------------|-------------|--------------|----------------|---------------|------------|
| ① 利用者・家族 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 外部の居宅介護支援事業者 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 他の介護保険サービス事業者 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 地域包括支援センター | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ ボランティア・NPO | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 地域の住民や団体など | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 警察機関 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 行政機関（市や県・国など） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

9. 行政に対する要望について

問 14. 行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|--|---|
| 1. 介護保険制度に関する最新情報の提供 | |
| 2. 市の高齢者保健福祉事業に関する最新情報の提供 | |
| 3. 介護サービス提供事業者に関する最新情報の提供 | |
| 4. 関係者間の連携強化のための支援 | |
| 5. ケアマネジャーや従事者（サービス提供者）の技術向上の支援（研修や講習等の実施） | |
| 6. ケアマネジャーや従事者（サービス提供者）のための相談支援 | |
| 7. 処遇困難者への初任支援 | |
| 8. 人材確保の支援 | |
| 9. 新技術導入の支援 | |
| 10. その他（ | ） |
| 11. 特になし | |

問 15. 最後に、本市に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

以上で調査は終了です。

令和3年度から令和5年度の「多賀城市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）」策定の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

誠に恐縮ですが、返信用封筒（切手不要）に入れ、ポストにご投函ください。

4. 介護サービス事業所に対する調査

| | | | |
|------------------|---|--|--|
| 事業所名 (サービス種別) | | | |
| 電話番号 | | | |
| (フリガナ) | @ | | |
| メールアドレス | | | |
| 記入者 | | | |

※事業所名及び記入者名を公表することはありません。
 ※メールアドレスにつきましては、判別がしにくい文字が含まれる場合は、フリガナで補定をお願いいたします。例：0（ゼロ）、O（オー）等

1. 貴事業所の概要について

問1. 貴事業所の全従業員は何人ですか。(令和元年12月1日現在)

| 貴事業所の全従業員数 | 正規職員 | 非正規職員 | 合計 |
|------------|------|-------|----|
| 人 | 人 | 人 | 人 |

※貴事業所の全従業員数とは
 職種や役割等に関係なく、貴事業所が実施するすべての事業に従事する者の在籍者総数（常勤労働者換算ではありません）です。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。

※正規職員・非正規職員とは
 正規職員（雇用している労働者で労働時間に関係なく雇用期間の定めのない者）
 常勤労働者（1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者）
 短時間労働者（1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者）
 非正規職員（正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど））
 常勤労働者（1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者）
 短時間労働者（1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者）

多賀城市介護サービス事業所に対する調査

《アンケート調査へのご協力のお願い》

皆様には、日頃から多賀城市の福祉行政にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
 この調査は、『多賀城市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）』を策定するため、貴事業所様からご意見をいただき計画へ反映させるとともに、今後の高齢者福祉・介護保険行政を推進するうえで貴重な資料とさせていただきます。目的に実施するものです。

皆様のご意見・ご要望を反映し、「高齢者が自分らしく生き生きと暮らせるまちづくり」を目標に、いつまでも住み慣れた地域において元気に暮らすことができ“まちづくり”を進めてまいります。

なお、この調査は、目的以外に使用したり、事業所名及び個人名を公表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

令和元年12月

～ご記入にあたってのお願い～

1. 原則、令和元年12月1日現在の状況で記入してください。
2. お答えは、あてはまる回答番号に○印を指定された数だけつけてください。また、「その他（ ）」に回答される場合は、（ ）の中に具体的な内容を記入してください。
3. 設問の一部で用紙による回答が困難な場合は、関係資料等の写封や別途FAX等での補足の回答もいただきますようお願いいたします。
4. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、12月26日(木)までにご返函ください。よろしくお願いたします。

《調査に関するお問い合わせ先》

多賀城市保健福祉部介護福祉課介護保険係
 〒985-8531 多賀城市中央二丁目1-1
 電話：022-368-1141（内線667）
 FAX：022-368-7394

2. 運営状況について

(事業所が複数の場合は、多賀城市内にある事業所の状況をお答えください。)

問2. 令和元年12月1日現在、貴事業所のサービスの利用者数は、1年前に比べてどのような状況ですか。(〇は1つ)

1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない

問3. 円滑な事業運営を進めていく上で、経営上の問題を感じることはありますか。

(〇はいくつでも)

- 1. 従事者の確保が難しい
- 2. 利用者の確保が難しい
- 3. 事務作業量が多い
- 4. 施設・設備の改善が難しい
- 5. 必要な最新情報の入手に支障がある
- 6. 従事者の資質向上を図ることが難しい
- 7. 利用者や家族の理解に対する理解が進んでいない
- 8. 関係者との連携を図ることが難しい
- 9. 採算がとれない
- 10. その他 ()
- 11. 特にない

3. 介護サービスの提供状況等について

問4. 現時点の多賀城市内における介護保険対象サービスについて、(ア) 現在提供しているサービス、(イ) 規模縮小・廃止したいサービス、(ウ) 新規に導入したいサービスはありますか。(ア) (イ) (ウ) それぞれについて〇はいくつでも)

| 区分 | サービス名 | (ウ) 現在提供しているサービス | (イ) 規模縮小・廃止したいサービス | (ア) 新規に導入したいサービス |
|--------|-------------------------|------------------|--------------------|------------------|
| 介護給付原簿 | 訪問介護 | 1 | 1 | 1 |
| | 訪問入浴介護 | 2 | 2 | 2 |
| | 訪問看護 | 3 | 3 | 3 |
| | 訪問リハビリテーション | 4 | 4 | 4 |
| | 居宅介護支援指導 | 5 | 5 | 5 |
| | 通所介護 | 6 | 6 | 6 |
| | 通所リハビリテーション | 7 | 7 | 7 |
| | 短期入所生活介護 | 8 | 8 | 8 |
| | 短期入所療養介護 | 9 | 9 | 9 |
| | 特定施設入居者生活介護 | 10 | 10 | 10 |
| | 福祉用員貸与 | 11 | 11 | 11 |
| 介護給付原簿 | 居宅介護支援 | 12 | 12 | 12 |
| | 介護老人福祉施設 | 13 | 13 | 13 |
| | 介護老人保健施設 | 14 | 14 | 14 |
| | 介護療養型医療施設 | 15 | 15 | 15 |
| | 介護医療院 | 16 | 16 | 16 |
| | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 17 | 17 | 17 |
| | 夜間対応型訪問介護 | 18 | 18 | 18 |
| | 地域密着型通所介護 | 19 | 19 | 19 |
| | 認知症対応型通所介護 | 20 | 20 | 20 |
| | 小規模多機能型居宅介護 | 21 | 21 | 21 |
| | 認知症対応型共同生活介護 | 22 | 22 | 22 |
| | 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 23 | 23 | 23 |
| | 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 | 24 | 24 | 24 |
| | 複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護) | 25 | 25 | 25 |

問5. 現時点の多賀城市内における介護予防・日常生活支援総合事業について、(ア) 現状、供給が不足していると感じるサービス、(イ) 急遽、需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。((ア) それぞれについて○はいくつでも)

| 区分 | サービス名 | (イ) 急遽、需要が増えたり必要となると考えられるサービス | (ア) 現状、供給が不足しているサービス |
|------------|-------------------|--------------------------------------|----------------------|
| 介護予防サービス事業 | 訪問型サービス | 介護予防訪問介護担当サービス | 1 |
| | 通所型サービス | 軽度生活援助サービス事業 (市の独自基準によるサービス) | 2 |
| | | 介護予防通所介護担当サービス | 3 |
| | その他の生活支援サービス | 短期集中予防サービス事業 (市の独自基準によるサービス) | 4 |
| | | 認知症高齢者見守り支援サービス事業 (市の独自基準によるサービス) | 5 |
| 予防介護事業 | 介護予防普及啓発事業 | 健康ストレッチ教室 | 6 |
| | 地域リハビリテーション活動支援事業 | 防護アップ教室 | 7 |
| | | | 8 |

4. 人材の定着・育成等について

問6. 貴事業所では、多賀城市内において人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。(○はいくつでも)

- 給与（賞与・手当含む）を他社より好条件に設定している
- 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている
- 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている
- 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている
- 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている
- 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている
- 仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
- 労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
- 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
- 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている
- 上司や管理職が頻りに面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている
- 職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている
- その他（ ）
- 特に何も行っていない

| 区分 | サービス名 | (イ) 新規に参入したいサービス | (ア) 新規に参入しないサービス |
|----------------------|------------------|------------------|------------------|
| 介護予防サービス事業 | 介護予防訪問介護 | 26 | 26 |
| | 介護予防訪問看護 | 27 | 27 |
| | 介護予防訪問リハビリテーション | 28 | 28 |
| | 介護予防居宅介護支援指導 | 29 | 29 |
| | 介護予防通所リハビリテーション | 30 | 30 |
| | 介護予防短期入所生活介護 | 31 | 31 |
| | 介護予防短期入所介護 | 32 | 32 |
| | 介護予防特定施設入居者生活介護 | 33 | 33 |
| | 介護予防福祉用具貸与 | 34 | 34 |
| | 介護予防支援 | 35 | 35 |
| | 介護予防認知症対応型通所介護 | 36 | 36 |
| | 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 37 | 37 |
| | 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 38 | 38 |
| 指定介護予防支援（地域包括支援センター） | 39 | 39 | |

問4-1. 新規に参入したいと考える一番のサービスは何ですか。また、その理由を記入してください。

【サービス名：
【理由】

[]

5. 苦情処理体制やサービスの質の向上への対策について

問7. 貴事業所における、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、どのようなことがありますか。(Oはいくつでも)

1. ケアプランに関すること
2. サービスの質や内容に関すること
3. サービスの回数や日程に関すること
4. ケアマネジャーの対応等に関すること
5. 従事者(サービス提供者)の対応等に関すること
6. 認定調査や要介護認定結果に関すること
7. サービス利用等の手続きに関すること
8. 制度やサービスの説明に関すること
9. サービス利用料に関すること
10. 介護保険料に関すること
11. 介護保険制度そのものに関すること
12. その他()
13. 特になし

問8. 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのようなことを行っていますか。

(Oはいくつでも)

1. 相談窓口の設置
2. サービス提供マニュアルの作成
3. サービス利用者の満足度調査の実施
4. ケアカンファレンスの定期的な開催
5. 従事者(サービス提供者)の継続的な研修・OJTの実施
6. サービス自己評価基準による定期的な検証
7. 情報開示、第三者評価の実施
8. 事業者間の情報交換・交流への参加
9. その他()
10. 特に何もしていない

6. 地域とのつながりについて

問9. 貴事業所と地域との交流はありますか。(Oは1つ)

1. ある
2. ない

→ 問9-1. 問9で1と回答した事業所にお伺いします。どんな団体・組織と交流を行っていますか。具体的に記入ください。(Oはいくつでも)

1. 地元自治会・町内会
2. 地元老人クラブ・婦人会
3. 地域ボランティアやNPO団体
4. 地元保育所、認定こども園、幼稚園、小・中学校、高校、大学など
5. イベントを主催して住民と交流
6. その他()

7. 関係機関との連携について

問10. 普段から、以下にあげる人たちとの連携がとれていますか。

(①~⑧それぞれについてOは1つずつ)

| 項目 | 十分に連携がとれている | まあまあ連携がとれている | なにも連携がとれていない | ほとんど連携がとれていない | まったく連携がとれていない | 連携をとる必要はない |
|-----------------|-------------|--------------|--------------|---------------|---------------|------------|
| ① 利用者・家族 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ② 外部の居宅介護支援事業者 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③ 他の介護保険サービス事業者 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ④ 地域包括支援センター | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑤ ボランティア・NPO | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑥ 地域の住民や団体など | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑦ 医療機関 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑧ 行政機関(市や県・国など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問11. 他法人との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。

(〇はいくつでも)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催
2. 利用者の定員超過が見込まれる場合や空きや空きがある場合の連携
3. NPO・ボランティア等活動団体との連携
4. 困難事例等の相談
5. その他 ()
6. 特になし

8. 認知症の対応について

問12. 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいることがありますか。

(〇はいくつでも)

1. 本人とコミュニケーションがとりにくいことがある
2. 本人や家族からの要求に対し対応に困ることがある
3. 自分自身の知識不足を感じ自信がないときがある
4. 知識や技術習得のための時間が確保できない
5. 専門的な相談を要する場所が分からない
6. 必要な介護保険サービスを充分確保できない
7. 認知症の本人や家族に必要な支援が分からない
8. 専門医まで結びつけられない
9. 家族がなかなか認知症と認めない
10. 家族が認知症の方への対応方法が分からない
11. 介護保険サービス以外に身近に通える場所が分からない
12. その他 ()
13. 悩んでいない

9. 地域包括ケアの実現に向けた取り組みについて

問13. 日々の業務を通じて、事業所として、利用者は人生の最期をどこで迎えるのが望ましいかと思えますか。(〇は1つ)

1. ご本人（要介護者）の自宅
2. 子どもや親族の家
3. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等
4. 特別養護老人ホームなどの介護施設
5. 病院・有床診療所
6. ホスピス等の緩和ケア施設
7. その他 ()
8. わからない

問14. 地域包括ケアシステムの推進に向け、たとえ重度の要介護者となっても住み慣れた地域で自分流しい暮らしを最期まで続けることができるようにするために、事業所の視点からどのようなことが特に重要だと思いますか。(〇は6つまで)

1. 買い物や見守りなどの日常生活を支える生活支援サービス
2. 地域の元気な高齢者による見守りや声かけなどを行うボランティア
3. 地域包括支援センターなどの介護について相談できる機関
4. ケアマネジャーなどの専門職によるマネジメント
5. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護や夜間対応型訪問介護
6. 小規模多機能型居宅介護や複合型サービス
7. 認知症高齢者に特化した在宅サービス
8. 短期入所生活介護や短期入所療養介護など（家族介護者の負担軽減）
9. かかりつけ医等による訪問診療
10. 救急医療体制
11. 要所帯者の高齢者が暮らせる住宅
12. 地域住民の地域包括ケアの理解
13. その他 ()
14. 特になし

10. 行政に対する要望について

問15. 行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 介護保険制度に関する最新情報の提供
2. 市の高齢者保健福祉事業に関する最新情報の提供
3. 介護サービス提供事業者に関する最新情報の提供
4. 関係者間の連携強化のための支援
5. ケアマネジャーや従事者(サービス提供者)の技術向上の支援(研修や講習等の実施)
6. ケアマネジャーや従事者(サービス提供者)のための相談支援
7. 処遇困難者への対応支援
8. 人材確保の支援
9. 新技術導入の支援
10. その他()
11. 特になし

問16. 最後に、本市に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

以上で調査は終了です。

令和3年度から令和5年度の「多賀城市高齢者福祉計画(第8期介護保険事業計画)」策定の参考
にさせていただきます。

ご協力ありがとうございます。

誠に恐縮ですが、返信用封筒(切手不要)に入れ、ポストにご投函ください。

多賀城市
高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）
策定のための実態調査及び分析等報告書

発行日 令和2年3月
発行元 多賀城市 保健福祉部 介護福祉課
住所 〒985-8531
多賀城市中央二丁目1番1号
電話 022-368-1141
F A X 022-368-7394
U R L <http://www.city.tagajo.miyagi.jp/>
集計・分析 株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所